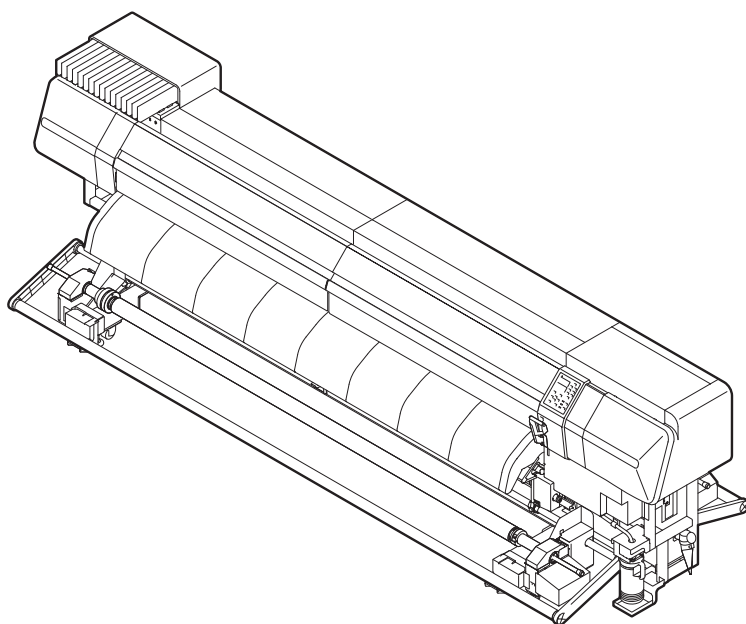


カラーインクジェットプリンタ

JV5-320S

取扱説明書



この取扱説明書はファームウェアバージョン 7.70 以降に対応しています。

はじめに

このたびは、カラーインクジェットプリンタ「JV5-320S」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

「JV5-320S」は、ソルベントインク（4/6/7色）または昇華転写インク（4/6色）で作図する高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

マニュアルの種類と使い方

本装置には、以下の説明書が付属しています。

取扱説明書（本書）

本装置の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明しています。
本書をよくお読みになり、本装置を安全に、かつ効果的にお使いいただけますようお願い申し上げます。

日常のお手入れのお願い（別冊）

本装置の、日常行うお手入れ方法について説明しています。

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書が紛失 / 破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

株式会社ミマキエンジニアリング

All Rights Reserved. Copyright 2016.11 MIMAKI ENGINEERING Co., Ltd.

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この装置の接続において、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCI ルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ / ラジオの受信障害について

本製品は、使用時に高周波が発生します。このため、この製品が不適切な条件下で設置または使用された場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって、特殊なラジオ / テレビに対しては保証しておりません。

この製品がラジオ / テレビ受信の障害原因と思われましたら、本製品の電源を切り、ご確認ください。電源を切ることにより受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせるをお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

メディアについて

ご不要になりましたロール紙やメディアは、地域の条例に従って処分してください。

本書の構成

本書は、本装置の取り扱いを、6つの章に分けて説明しています。

目次

本書の目次です。

目次

第1章 安全にお使いいただくために

本装置をご使用になる前に、ご理解していただきたいことを説明しています。

1

第2章 ご使用の前に

本装置の各部の名称、操作パネルの使いかたについて説明します。

2

第3章 作図のしかた

電源のONから作図を終了するまでの一連の動作、設定について説明します。

3

第4章 日常のメンテナンスについて

インクが詰まった際の復旧方法や各部の清掃方法について説明します。

4

第5章 困ったときは

本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブル解消方法について説明します。

5

第6章 各機能の操作方法

よく使われる機能について、操作方法とディスプレイのメッセージ例を紹介しています。

6

索引

本書の索引です。

索引



目次

ご注意

電波障害自主規制	ii
テレビ / ラジオの受信障害について	ii
メディアについて	ii
本書の構成	iii

第 1 章 安全にお使いいただくために

付属品の確認	1-2
本装置のご紹介	1-4
マーク表示について	1-7
設置時の注意	1-8
設置場所について	1-8
設置場所の注意	1-9
本装置の移動	1-10
電源の接続について	1-11
本装置仕様	1-11
使用上の警告と注意	1-12
使用上のご注意	1-13
ご注意とお願い	1-14
使用可能メディア	1-16
警告ラベルについて	1-17
本体仕様	1-19
インク仕様	1-21
USB 2.0 インターフェイスについての注意事項	1-23

第 2 章 ご使用の前に

各部の名称とはたらき	2-2
装置前面	2-2
装置背面	2-4
装置下面	2-5
フロントカバーとメンテナンスカバー	2-6
インクステーションとヘッドの関係	2-7

カートリッジ管理	2-9
キャリッジ	2-11
キャッピングステーション	2-11
カッター刃とカットライン	2-12
メディアセンサー	2-12
ピンチローラーとフィードローラー	2-13
ヒーター	2-14
操作パネル	2-16
ディスプレイ	2-17
ディスプレイの見かた	2-17
ランプの見かた	2-19
キーの使いかた	2-20
モードとメニュー画面	2-22
モードについて	2-22
機能メニューについて	2-23
メニュー画面の基本操作	2-23
機能メニューの設定操作	2-24
メニュー階層の概要	2-26
機能メニューの設定値一覧	2-29

第 3 章 作図のしかた

作業の流れ	3-2
電源をオンにする	3-3
電源スイッチについて	3-4
ヘッドギャップを調整する	3-5
ヘッドギャップを確認する	3-6
メディアのセット	3-7
重量ロールメディア（幅 2.0m 以上）のセット	3-8
ロールメディア（幅 2.0m 未満）のセット	3-23
巻取装置の使いかた	3-33
リーフメディアのセット	3-34
作図条件の選択と確認	3-37
ユーザータイプを選択する	3-37
ユーザータイプを確認する	3-37
ヒーターを設定する	3-38
ヒーターの電源を ON にする	3-38
設定温度の確認と作図中の温度設定	3-39

ビーディングとは	3-40
適温調整	3-41
ヒーターに異常がある場合	3-42
ドットズレ補正用の基準値の設定 [PG チャクダンチョウセイ] ...	3-43
ノズル詰まりを確認 / 解消する	3-45
テストパターンを作図する (テスト作図)	3-45
ヘッドの配列とテストパターンの関係	3-46
異常なパターンの場合 (クリーニング)	3-46
ノズル詰まりが復旧しない場合 [インク ジュウテン]	3-48
メディア送り量の補正 [メディアホセイ]	3-50
ドットの位置がずれたら [ドットイチホセイ]	3-52
作図範囲について	3-54
作図原点を設定する	3-55
画像データを作図する	3-57
作図を開始する	3-57
作図を中止する	3-58
作図終了後のメディアカット	3-59
オートクリーニング	3-62
サクズチュウ メンテナンス (専用昇華転写インクをご使用の場合)	3-64
[ニアエンド], [インクエンド] の表示	3-67
カートリッジ毎の残量表示	3-67
環境温度による動作条件を変更する	3-70
インクの有効期限を延長する	3-72
インクの有効期限を延長したカートリッジをセットすると	3-73
インクの有効期限を延長したときは	3-73
インク供給経路の切替設定	3-74
インクカートリッジと MBIS1 を混在している場合	3-75
電源をオフにする	3-76

第 4 章 日常のメンテナンスについて

日常のお手入れ	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
メンテナンス洗浄液について	4-3
外装のお手入れ	4-3
プラテンの清掃	4-3
メディアセンサー (2 個) の清掃	4-4
メディア押さえの清掃	4-4

メンテナンスカバーオープン	4-5
ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト]	4-7
ノズルの洗浄 [ノズルセンジョウ]	4-10
インク排出路の洗浄 [ハイロセンジョウ]	4-14
長期間使用しない場合 [ホカンセンジョウ]	4-16
[PUMP チューブセンジョウ] を行う前に	4-20
PUMP チューブセンジョウ	4-23
ワイパーセンジョウ	4-25
ヘッド周辺の清掃 [キャリッジメンテナンス]	4-28
電源オフ時のインク詰まり防止 [スリープセッテイ]	4-31
装置待機中の定期動作設定 [テイキセッテイ]	4-34
その他のメンテナンス機能	4-41
ワイパー交換の警告時期を変更する [ワイパーレベル]	4-41
フラッシング BOX クリーニングおよび交換の警告時期を変更する [BOX コウカン レベル]	4-43
廃インクが溜まったら	4-44
フラッシング BOX のクリーニング	4-46
昇華転写インク使用時のメンテナンス	4-50
F-BOX フィルターを交換する	4-50
フラッシングトレイのクリーニング	4-52
フラッシング BOX フィルター交換の警告時期を変更する [フィルター コウカン レベル]	4-54
昇華転写インクをより安定した品質でお使いいただくために	4-56
ワーニングメッセージの表示時期を設定する	4-57
ワイパーの交換 [ワイパーコウカン]	4-58
カッター刃の交換	4-60

第5章 困ったときは

故障？と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
作図できない	5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-3
[HEAT] ランプ, [CONSTANT] ランプが点灯しない	5-3
画質不良が発生した場合は	5-4
白スジ / カスレ (しぶき) / 色の濃いスジ (ヘッド移動方向)	5-4
文字が用紙送り方向に 2 重、3 重にブレる	5-4
往復作図でズレが発生する (飛行曲がり)	5-5
作図ズレやノズル抜けがある	5-5

作図中にインク滴が落ちる (ポタ落ち)	5-5
ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合	5-6
ノズル詰まりが解決しない場合 [ヘッドセンタク]	5-10
カートリッジ異常が発生したら	5-12
カートリッジ異常の詳細を表示する	5-12
ERROR 202 ソウチコウセイを表示したら	5-13
メッセージを表示するトラブル	5-14
エラー履歴情報を確認するには [エラー リレキ]	5-14
ワーニングエラー	5-15
エラーメッセージ	5-19

第 6 章 各機能の操作方法

FUNCTION 機能の導入	6-2
セッテイ機能の導入	6-3
作図条件をまとめて登録する (タイプ登録)	6-3
設定機能一覧	6-3
セッテイ機能の概要	6-5
メンテナンス機能の導入	6-13
設定機能一覧	6-13
メンテナンス機能の設定	6-14
メディア残量表示機能の設定を行う [メディアザンリョウ]	6-15
装置を安全に移動する [マシンイドウジュンビ]	6-16
マシンセッテイ機能の導入	6-17
設定機能一覧	6-17
マシンセッテイ機能の設定	6-19
マシンセッテイ機能の概要	6-19
NCU 機能の導入	6-26
設定機能一覧	6-26
NCU 機能の設定	6-26
NCU 機能の概要	6-27
DISPLAY 設定	6-29
機能の応用設定	6-30
ヒーターの設定	6-30
ヒーターの詳細設定	6-32
機能メニューの操作方法について	6-34
カッターに関する機能	6-35
用紙をカットしたいときは	6-35

【▶】キーをダイレクトカットキーに割り当てている場合	6-35
作図品質に関する機能	6-37
作図中にメディア送りを補正したいときは	
[メディアオクリ ホセイ]	6-37
インクに関する機能	6-38
インクセット (4色 / 6色 / 7色) を変更したいときは	6-38
機能フローチャート [BOOT]	6-40
機能フローチャート [ローカルモード]	6-42
機能フローチャート [リモートモード]	6-46
機能フローチャート [FUNCTION キー]	6-48

第1章

安全にお使いいただくために



この章では ...

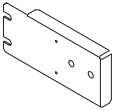
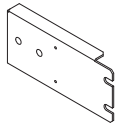
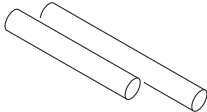
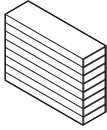
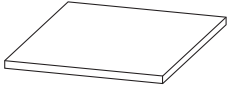
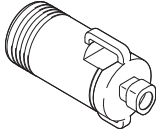
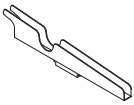
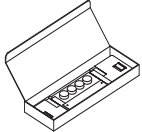
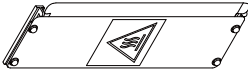
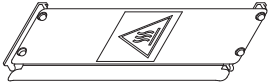

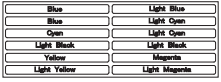
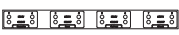
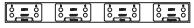
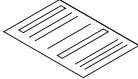

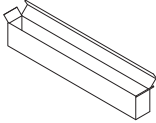
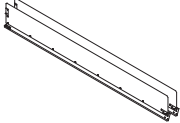
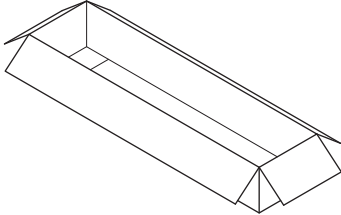
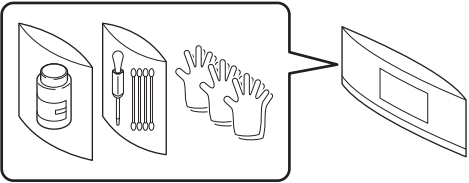
本装置をご使用になる前に、ご理解していただきたいことを説明しています。

付属品の確認	1-2
本装置のご紹介	1-4
マーク表示について	1-7
設置時の注意	1-8
電源の接続について	1-11
使用上の警告と注意	1-12
警告ラベルについて	1-17
本体仕様	1-19

付属品の確認

本装置には、以下の付属品を同梱しています。
 不足しているものや外観に異常がないかご確認ください。異常があった場合は、販売店または弊社営業所までご連絡ください。

Software CD-ROM JV5 用 : 1 枚		JV5 シリーズ 取扱説明書 : 1 冊	
保護メガネ : 1 個		日常のお手入れの お願い : 1 冊	
電源ケーブル (12m) : 1 本		プラスドライバ : 1 本	
モンキーレンチ 300 MM : 1 本		L 型六角レンチ : 対辺 6mm、 10mm 各 1 本	
ネジ : 6 個		ネジ : 2 個	
P4x12SMW (黒) (廃インクタンク BKT 用, 4 本) (廃インクトレー用, 2 本)		P3x10SMW (小巻取りユニット調整器具用)	
小巻取りユニット調 整器具 A : 1 個		小巻取りユニット調 整器具 B : 1 個	
ラチェットハンドル : 1 本 六角ヘッド : 2 個		廃インクトレー BKT Assy : 1 個	
クランプ固定スペー サ : 30 個		エクステンション バー : 1 個	

<p>巻取連結調整板 L : 1</p> 	<p>巻取連結調整板 R : 1</p> 
<p>紙巻 160 幅、320 幅 : 各 1 本</p> 	<p>ソルVENT 充填液カートリッジ (200 cc) : 8 個</p> 
<p>床板 : 6 枚</p> 	<p>廃インクタンク 4L Assy : 1 個</p> 
<p>T バーホルダー BKT ASSY:2 個</p> 	<p>メディアガイド ASSY 一式 : 1 個</p> 
<p>メディアプレート L ASSY : 1 個</p> 	<p>メディアプレート R ASSY : 1 個</p> 
<p>インクカートリッジ 向き注意銘板 : 1 枚</p> 	<p>インクスロットコレクターシール :</p> 
<p>インクスロット銘板 4C-L : 1 枚</p> 	<p>インクスロット銘板 4C-R : 1 枚</p> 
<p>クリーンスティックのご案内 (日・英) : 1 部</p> 	<p>クリーンスティック : 12 本</p> 
<p>開閉カバー梱包箱 : 1 個</p> 	<p>開閉カバー L 320 開閉カバー R 320 : 各 1 枚</p> 
<p>付属品箱 : 1 個</p> 	<p>ソルVENTインク用メンテナンス洗浄液キット 200 : 1 セット</p> 

目次

1

2

3

4

5

6

索引

本装置のご紹介

本装置の持つ特長をご紹介します。

本書で説明する操作方法と併せて作図のご理解にお役立てください。

横幅 3.2m までのメディアが使用可能

横幅 3.2m までの重量メディアが使用できます。重量メディアをセットするための繰出・巻取装置を搭載しています。

重量メディア用大型繰出 / 巻取装置により、高画質を確保

従来、メディア自身が持つ、回転ムラや静電気および重量メディアの搬送を安定化させることが可能となります。また、1600mm 幅以下のメディア用としても従来のメディアホルダー / 巻取装置を標準実装しています。

新世代のプリントヘッドと 4 スタガ のヘッド配列で、高画質な超高速プリント

1 ヘッドに 1,440 ノズル (180 ノズル x 8 列) を搭載した新開発のプリントヘッドを採用し、1 インチヘッドを 4 列のスタガ (互い違い) に配列することにより、4 インチのプリントヘッド幅を実現。バリアブルドットテクノロジーを採用することにより、高画質の高速プリントを可能にしました。

ダブルカートリッジ自動切換え機能と、1760 cc / 色の大容量インクにより インク切れの心配を解消

2 カートリッジ / 1 セットのインク自動切換え機能と 4 色モードで最大 1760 cc / 色 (440 cc x 4) のインクを搭載可能とし、インク切れの心配がない長時間連続プリントを実現します。

においが少なく、安全性の高い ES3 インク / 屋外サインに最適な HS インク、 SS21 インク / 環境に優しい Eco-HS1 インクが使用可能

ES3 インクは、特別な脱臭装置が不要で溶剤特有の刺激臭もほとんどなく、臭いを気にされるデザイナーやオペレーターも安心して使用できます。

HS インクは、屋外サインに最適で、優れた耐擦過性と高濃度を実現したインクです。排気装置は必須ですが、有機則非該当のため特別な取り扱いや免許は不要です。

SS21 インクは屋外サインに最適で、耐水性・耐候性に優れたインクです。有機則非該当のため、特別な取り扱いや免許は不要です。

Eco-HS1 インクは、環境有害物質を含まない、安全性の高いインクです。

塩ビフィルムへの影響を低減し、高い発色性と光沢感を実現しました。

また、ライトブラックの採用で、印刷階調の表現力が向上しました。

高画質・高速印字が可能な昇華転写インクが使用可能 (水性インクをお使いの場合)

昇華転写インクは、作図した画像を違うメディアに転写したいときに使用します。

インク残量を表示

使用中のインクの残量を表示して確認できます。インクやメディアを無駄なく使えます。

高速プリントを可能にする大型アフターヒーターの搭載

大型アフターヒーターを搭載し、高速でプリントされたメディアの乾燥を促進し、巻き取りを可能にします。

スタンバイモード、自動オフのインテリジェント機能を搭載。

使用するメディアに最適な加熱温度を設定できます。

簡単メンテナンス

ヘッドの自動キャッピング方式により、電源をオフする前のヘッド洗浄が不要です。

インク詰まりは、クリーニング機能を実行すると復旧できます。

本装置を使用しないで放置すると、一定時間毎にインク詰まりを回避する動作を自動的に行います。ただし、主電源をオンにしておく必要があります。

使用していない時間を監視して、電源をオンにしたとき、および作図開始時に自動クリーニングを実行し、インク詰まり等を防ぎます。

見やすいディスプレイ

プリンタの設定メニューを表示する「ディスプレイ」が2画面になり、更に見やすくなりました。バックライトも付いて、暗い場所でも表示を認識できます。

英語・スペイン語など7ヶ国語の表示が可能です。

便利なダイレクトキー

ダイレクトキーを使用することで、多彩な内蔵機能にすばやくアクセスできます。

作図情報を確認

作図中のプリント長をディスプレイに表示したり、作図条件の情報を作図して確認できます。

高速インターフェイス

高速インターフェイス「USB 2.0」を使用して、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

メディア送り量一定制御機能によるメディア搬送で安定した高画質を実現

メディアエンコーダーを搭載し、ロール重量に影響されることなく、設定したメディア送り量でメディアを一定して搬送し、安定した高品質のプリントを実現します。

メディアの左右端の浮きを防止

メディア押さえを使用して、幅の広いメディアの両端の浮きあがりを防止します。また、ヘッドとの接触を防ぎます。

ノズル抜け自動検出機能を搭載し、プリント不良によるロスを低減









クリーニング後およびプリント中のノズル抜けを監視、必要に応じて再クリーニングまたはプリントの中断を選択することで、メディアとインクの無駄を防止します。

メディア厚自動検出と自動ヘッド高さ調整機構により最適なプリントを実現

メディアの厚みを自動検出し、指定されたヘッドギャップへ自動で高さ調整をします。使用するメディアの厚みが変わっても、一定のヘッドギャップでプリント可能なため、常に最適なプリントを実現します。

マーク表示について

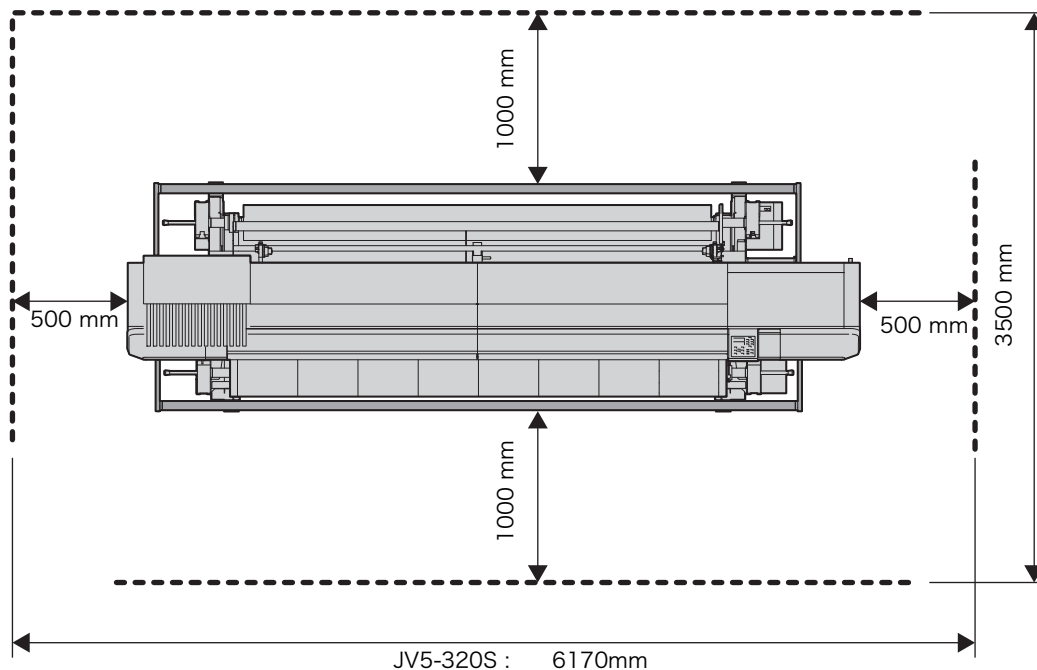
本書では、マーク表示により、操作上の注意内容を説明しています。
各マーク表示の持つ意味をよくご理解の上で、本装置を安全に正しくお使いください。

アイコン	内容
	「危険」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険な状況を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
(1-8 参照)	関連した内容の参照ページを示しています。
	△ マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

設置時の注意

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。



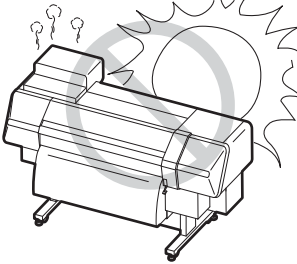
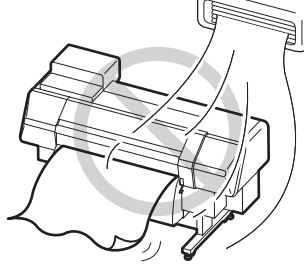
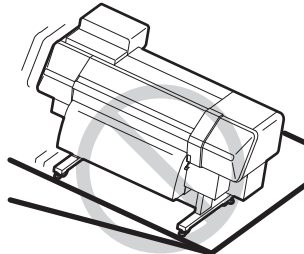
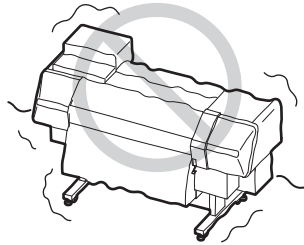
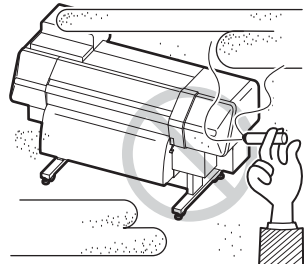
機種	横幅	奥行	高さ	全体重量
JV5-320S	5170 mm	1610 mm	1640 mm	1200 kg 以下

使用環境温度

本装置は安定したプリントを行うために、20～35℃の環境でご使用ください。周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

設置場所の注意

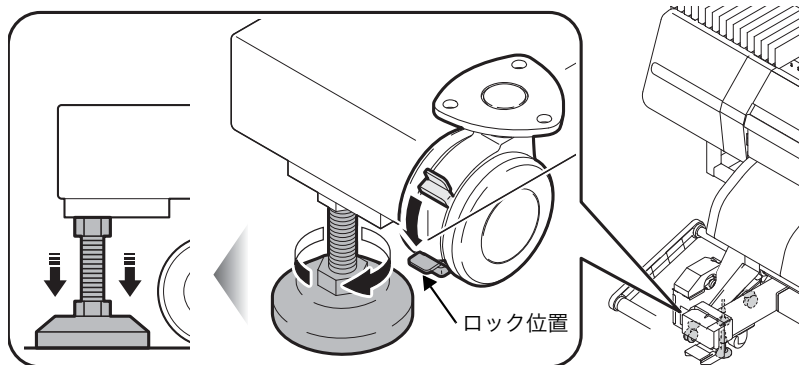
以下の場所には設置しないでください。

直射日光が当たる場所	温度や湿度の変化が激しい場所	エアコンなどの風が直接当たる場所
	<p>■ 次の環境下でお使いください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 使用環境：20 ~ 35 °C : 35 ~ 65 % (Rh) 	
水平でない場所	振動が発生する場所	火を使う場所
		

キャスタのロックとレベルフットでの固定

脚のキャスタには、ストッパとレベルフットが付いています。電源を投入する前に、必ずキャスタをロックし、レベルフットで本装置が固定されていることを確認してください。レベルフットで本装置を固定しないで作図すると、装置が動きだす場合があります。

レベルフットでの固定



■ 付属の鉄製（黒色）の床板を、レベルフットと床の間にご使用ください。本装置の重量を支えるため、床板の使用をおすすめします。

本装置の移動

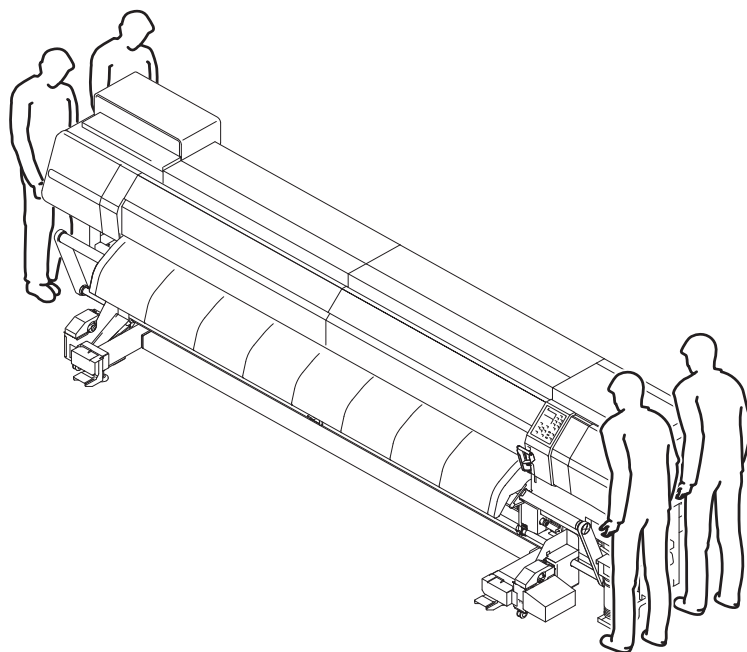
本装置を、やむを得ず段差のない同一フロア内で移動する場合は、次のことを必ず守ってください。

- 移動する前に、キャストのロックを解除してください。
- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずキャストを再ロックしてください。また、レベルフットの下に床板を敷いてください。

重要! ■本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
お客様が本装置の移設を行いますと、故障や破損の原因になります。本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

移動方法

本装置を移動するときは、複数人で図のように運んでください。
カバーを押すと割れる可能性がありますのでご注意ください。



電源の接続について

本装置仕様

単相 AC200～240V、30A 以下 (100V 系では使用できません)



- 本装置の設置は、お客様が行うことはできません。電気工事業者にお任せください。
- 本体への電源供給は、以下の電気工事が必要となります。工事は、電気工事業者に依頼してください。
 - ブレーカへのソケット工事
 - C 種接地工事 (特別第 3 種接地工事)
- コンセントは必ず本装置の近くにあるようにしてください。また、容易に取り外しが可能な場所に置いてください。
- 本装置の電気工事は、感電事故防止のため、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- 誤配線をしないようにご注意ください。火災や感電の恐れがあります。

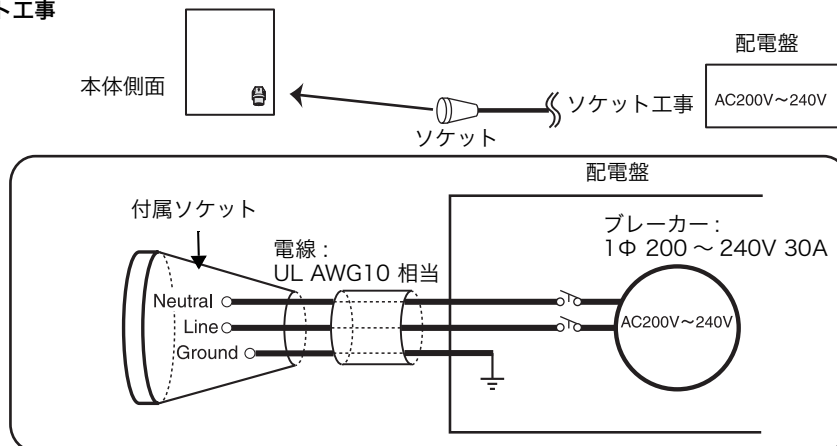


- 付属の電源ケーブル以外を使用する場合は、下記の電線相当を使用し、下図のように配線してください。
 - ・VCT-5.5m² x3 芯 (600V)
 - ・UL-AWG10x3C (600V)

本装置の電源接続は、「プラグ差し込み式 タイプ B」の規定に基づき、IEC60309 規格のプラグを使用しています。

本装置の電源ケーブルのプラグに合うソケット工事が必要な場合は、添付のソケットをご利用の上、配電盤とソケットの間の工事を行ってください。

ソケット工事



使用上の警告と注意

警告

換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。

表示された電源仕様で使用してください。本装置の電源電圧は、単相 AC200 ~ 240V 30A 以下です。(100V 系では、使用できません。)

電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずソケットを本体から抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。

インク漏れが発生した場合は、主電源を OFF にして電源ケーブルを抜き、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。

本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。

プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。

本装置で使用する専用インクは、危険物第 4 種第 2 石油類、または危険物第 4 類第 3 石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため、本プリンタを使用する場所は、火気厳禁としてください。

使用上のご注意

⚠ 注意

電源供給について

- 側面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。

ヒーターについて

- プラテン上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。
- プラテンのヒーターが熱いうちに素手で触らないでください。火傷の原因になります。
- 本装置を移動する場合は、ヒーターの温度が十分下がった状態で行ってください。目安として、ヒーターの電源を OFF にしてから 30 分以上お待ちください。なお、本装置の移動は、段差のない同一フロア内とします。移設の場合は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。

インクの取り扱い

- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診察を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。
- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
- インクには有機溶剤を使用しています。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。

メンテナンス上の注意

- インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。

レーザーセンサー

- 本装置には、レーザーセンサーが取り付けられています。レーザーセンサーは JIS 規格クラス 1 のレーザー製品に相当します。レーザー光をレンズなどの観察光学系を通して見ることは危険ですので、避けてください。目の痛みや視力障害の原因になります。

CAUTION
Laser radiation when open.
DO NOT STARE INTO BEAM.

クラス1レーザー製品
CLASS 1 LASER PRODUCT

目次

1

2

3

4

5

6

索引

ご注意とお願い

ご注意とお願い

インクカートリッジの取り扱い

- JV5 専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- JV5 専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。
- JV5 専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。
- カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておく、正常に作図できない場合があります。
- インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクカートリッジは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。
- インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。
- インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- 空になったインクカートリッジは、リサイクルセンターに発送するか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

フロントカバーとレバーについて

- 作図中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。作図が終了してしまいます。

メディアの取り扱い

- 推奨メディアをご使用ください。
安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。
メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーター、プリントヒーターおよびアフターヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- メディアの伸縮にご注意ください。
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。
室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。
包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。
紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。
また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。
コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

⚠️ ご注意とお願い

メディアとホコリについて

- メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。
- 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

メンテナンス上の注意

- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2 または3 に設定してください。(リフレッシュ (6-10 ページ) 参照)
- 作図しないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。
- 作図中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(オートクリーニング (3-62 ページ) 参照)
- キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除 (ホコリ、紙粉) は、こまめに行ってください。

定期交換部品

- 本装置には定期的に交換する部品があります。
機材を未永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

使用可能メディア

使用可能メディアは、ロールとリーフです。
本装置で使用可能なメディアの種類とサイズを説明します。

推奨メディアの種類

- ターポリン
- FF(Flexible Face)
- 耐候塩ビシート

使用可能メディアサイズ

ロール	最大幅	3300 mm
	最小幅	297 mm
	最大作図範囲	3290 mm
	厚さ	1.0 mm 以下
	ロール重量 *1	130 kg 以下
	ロール外径	φ 250 mm 以下
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ (巻き取り側は 2 インチのみ)
	作図面	ロール外側面
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
リーフ	最大幅	3300 mm
	最小幅	297 mm
	最大作図範囲	3250 mm

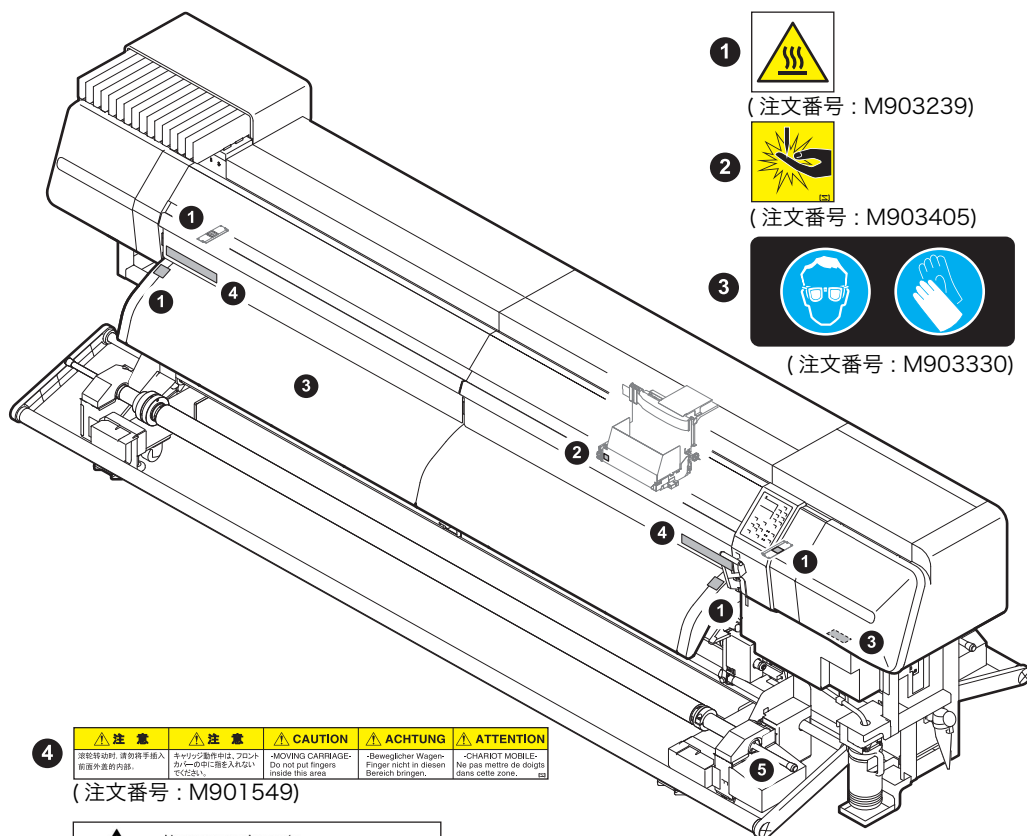
*1 ただしロールの左右を保持した際、ロールにタワミがないこと。

警告ラベルについて

本装置には警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

ラベルの位置

前面



① 
(注文番号 : M903239)

② 
(注文番号 : M903405)






③ 
(注文番号 : M903330)

④

⚠ 注意	⚠ 注意	⚠ CAUTION	⚠ ACHTUNG	⚠ ATTENTION
運転時、請勿手挿入 前後外蓋の内側。	手が動く部分、フック、 カバーの中に指を入れない でください。	MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area.	Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.	CHAÎNÉ MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone.

(注文番号 : M901549)

⑤

	Hazardous moving parts. Keep fingers and other body parts away.
	Pieces mobiles dangereuses. N'en Approchez jamais les doigts et autres parties du corp.
	Gefährliche bewegte teile! Nicht die finger oder andere körperteile in die nahe bringen!
	危険な可動部です。 指や身体を絶対に近づけないようにしてください。
	齿轮外露运转部！ 绝对不可用身体和手指接近。

(注文番号 : M903404)

目次

1

2

3

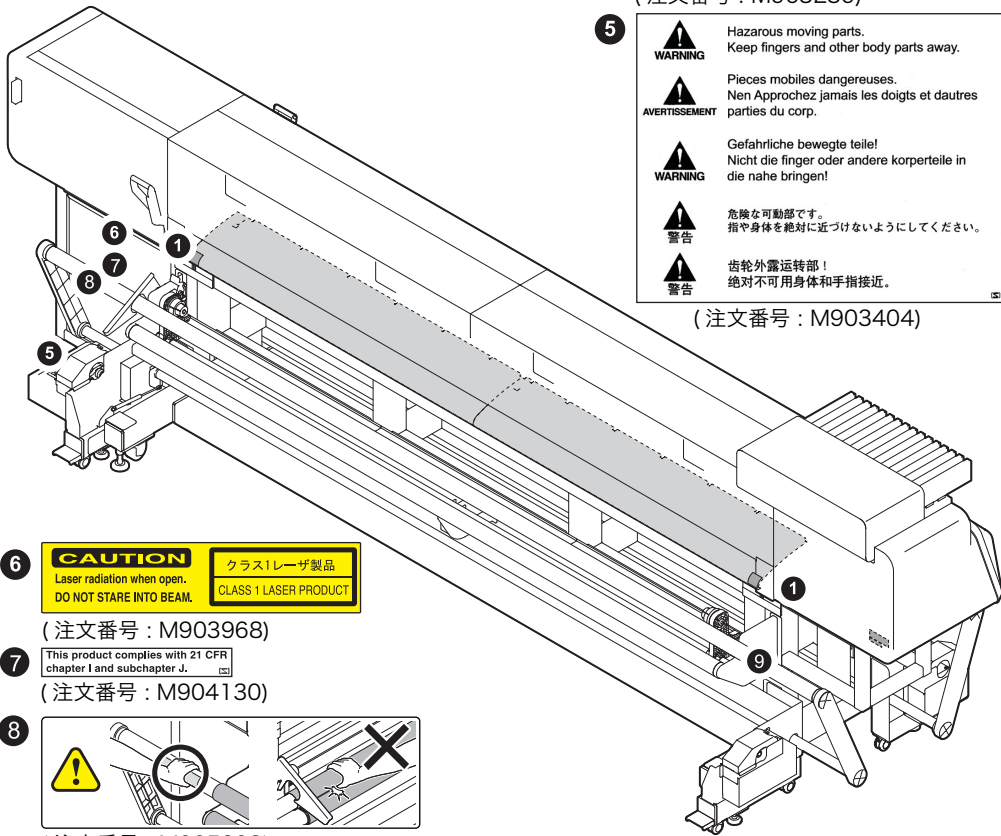
4

5

6

索引

背面



(注文番号 : M903239)

5

WARNING Hazardous moving parts. Keep fingers and other body parts away.

AVERTISSEMENT Pieces mobiles dangereuses. N'en Approchez jamais les doigts et autres parties du corp.

WARNING Gefährliche bewegte teile! Nicht die finger oder andere korperteile in die nähe bringen!

警告 危険な可動部です。指や身体を絶対に近づけないようにしてください。

警告 齿轮外露运转部！绝对不可用身体和手指接近。

(注文番号 : M903404)

6

CAUTION Laser radiation when open. DO NOT STARE INTO BEAM.

クラス1レーザー製品
CLASS 1 LASER PRODUCT

(注文番号 : M903968)

7

This product complies with 21 CFR chapter I and subchapter J.

(注文番号 : M904130)

8

(注文番号 : M905393)

9

(注文番号 : M905392)

本体仕様

項目		仕様
作図ヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	4ヘッドモデル: 4ヘッドスタガ配列
作図モード (スキャン x フィード)		720 x 540dpi 540or720 x 720dpi 540 x 900dpi 540or720 x 1080dpi 720 x 1440dpi 1440 x 1440dpi
使用可能インク	専用ソルベントインク	ES3 インク、HS インク、SS21 インク、エコ HS1 インクのいずれか 1 種 ES3 インク、HS インク、SS21 インク: 4 色 (Y,M,C,K) / 6 色 (Y,M,C,K,Lc,Lm) エコ HS1 インク: 4 色 (Y,M,C,K) / 6 色 (Y,M,C,K,Lc,Lm) / 7 色 (Y,M,C,K,Lk,Lc,Lm)
	専用水性インク	昇華転写インク: 4 色 (Y,M,BI,K) / 6 色 (Y,M,BI,K,LBI,Lm)
インク供給		2 カートリッジセットによる、トグル切り替え供給
インク容量	専用ソルベントインク	6 色搭載時: 440 cc カートリッジ各色 2 本, 880 cc / 1 色 (M、C のみ 4 本 1760 cc) 4 色搭載時: 440 cc カートリッジ各色 4 本, 1760 cc / 1 色 7 色搭載時: 440cc カートリッジ各色 2 本 880cc/1 色 (Lk のみ 4 本 1760cc)
	専用水性インク	6 色搭載時: 440cc カートリッジ各色 2 本 880cc/1 色 (M,BI のみ 4 本 1760cc) 4 色搭載時: 440cc カートリッジ各色 4 本 1760cc/1 色
使用可能メディア	専用ソルベントインク	ターポリン、FF、塩ビフィルム
	専用水性インク	転写紙
最大作図範囲		3290 mm
ロールメディアサイズ	最大幅	3300 mm
	最小幅	297 mm
	厚さ	1.0 mm 以下
	ロール外径	φ 250 mm 以下
	ロール重量*1	130 kg 以下
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ (巻き取り側は 2 インチのみ)
	作図面	ロール外側面
巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着	
リーフメディアサイズ	最大幅	3300 mm
	最小幅	297 mm
作図マージン	リーフメディア	左右: 25 mm (デフォルト値) 前: 150 mm 後: 200 mm
	ロールメディア	左右: 25 mm (デフォルト値) 前: 150 mm 後: 0 mm
距離精度	絶対精度	± 0.3 mm または指定距離の ± 0.3 % の大きい方
	再現性	± 0.2 mm または指定距離の ± 0.1 % の大きい方
直角度		± 0.5 mm / 1000 mm
メディアスキュー		5 mm 以下 / 10 m
ヘッド高さ調整		1.5 mm ~ 7 mm 無段階ユーザー設定 (メディア厚み自動認識、メッシュ使用時除く)
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット, 裁断精度 (段差) 1.0 mm 以下
排紙		ロール巻取装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能) 3 インチ専用

目次

1

2

3

4

5

6

索引

項目		仕様
廃インクタンク		ボトル式 (4000 cc), センサによる FULL 検出を行う
インターフェイス		USB 2.0
コマンド		MRL- III
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1 m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
ノズルチェックユニット		レーザー方式 (クラス 1 以下)
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, UL 60950-1, CE マーキング (EMC 指令、低電圧指令), CB レポート, RoHS 対応, クラス 1 レーザー
電源仕様		AC200V - 240V \pm 10%, 50/60 Hz \pm 1 Hz 30A 以下
消費電力 *2		7200 W 以下
設置環境	使用可能温度	20 °C ~ 35 °C
	相対湿度	35 ~ 65%Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 °C ~ 25 °C
	温度勾配	\pm 10 °C / h 以下
	粉塵	オフィス相当
重量		本体 1200 kg
外形寸法	幅	5170 mm
	奥行き	1610 mm
	高さ	1640 mm

*1. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと

*2. 本体とヒーター含む

インク仕様

項目		ソルベントインクをご使用の場合	水性インクをご使用の場合
形態		専用ソルベントインクカートリッジ	専用昇華転写インクカートリッジ
色		ブラックインクカートリッジ シアンインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトシアンインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ (ライトブラックインクカートリッジ*1)	ブラックインクカートリッジ ブルーインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトブルーインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ
インク容量		220cc / 440cc カートリッジ	440cc カートリッジ
有効期間		<ul style="list-style-type: none"> ■ HS インク 製造日より 20 ヶ月 (常温) ■ ES3 インク 製造日より 2 年間 (常温) ■ エコ HS1 インク 製造日より 14ヶ月間 (常温) ■ SS21 インク ブラック、シアン、ライトシアン 製造日より 12ヶ月 (常温) イエロー、マゼンタ、ライトマゼンタ 製造日より 18ヶ月 (常温) ■ 開封から 3 カ月以内 	製造日より 1 年間 (常温)
保存温度	保存時	1℃～40℃ (40℃の場合 1 カ月以内)	
	輸送時	1℃～60℃ (60℃の場合 120 時間以内、40℃の場合 1 カ月以内)	

*1. エコ HS1 インクカートリッジ使用時。

重要!

- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。
- インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。万一インクが凍結したときは、室温 (25℃) で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
 - 水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管してください。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

Eco-HS1 インクをより高い印刷品質でお使いいただくために

- ヘッドギャップ（メディアからヘッドノズル面までの高さ）は、1.5mm 以下を推奨いたします。
ヘッドギャップを 2.5mm を超えての設定でご使用になると、インク滴が飛び散ることがあり画質の保証はできません。
- 塩ビシートメディアでご使用になる場合のヒーター温度は、PRE/PRINT40 °C以下、AFTER50 °C以下を推奨します。
- PRINT ヒーターと環境温度の温度差を 30 °C未満に設定してください。
温度差が 30 °C以上でご使用になられた場合、ヘッド表面にインク溶剤成分の結露が発生し画質の保証はできません。
- インクカートリッジを本体に装着後は、インク漏れの原因となりますのでインクが終わるまでは抜き差しを行わないでください。
また、本体からカートリッジを取り外す場合は、針の差込口からインクが垂れる場合がありますので下に向けないようにしてください。

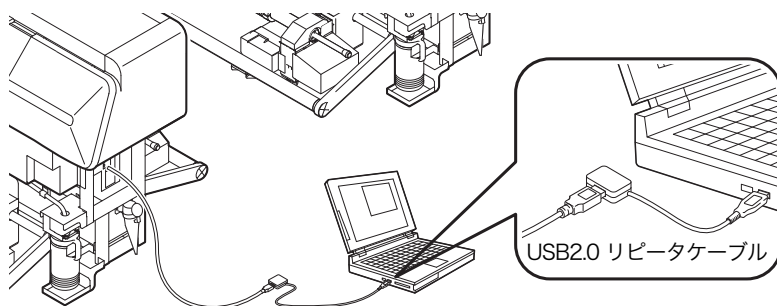
USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

重要! ■ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

1 台のパソコンに複数の JV5 を接続する場合

1 台のパソコンに JV5 を複数台接続する場合、JV5 を正常に認識できない場合があります。

複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して JV5 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても JV5 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。



USB ハイスピードモードの周辺機器について

JV5 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。

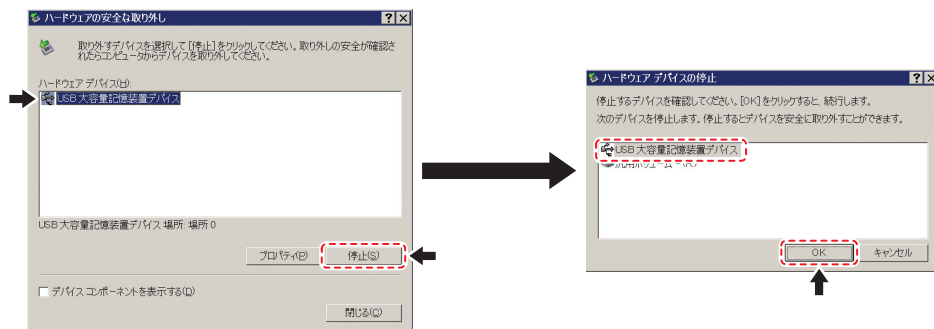
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに JV5 を接続した場合、JV5 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、作図中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

USB メモリの抜きかた

JV5 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。

[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。

スプールデータをハードディスクにコピーした後、作図出力してください。



目次

1

2

3

4

5

6

索引

USB メモリからのデータ出力について

USB メモリに保存してあるスプールデータを出力する場合、JV5 へのデータ転送速度が遅くなります。よって、作図中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

第2章 ご使用前に



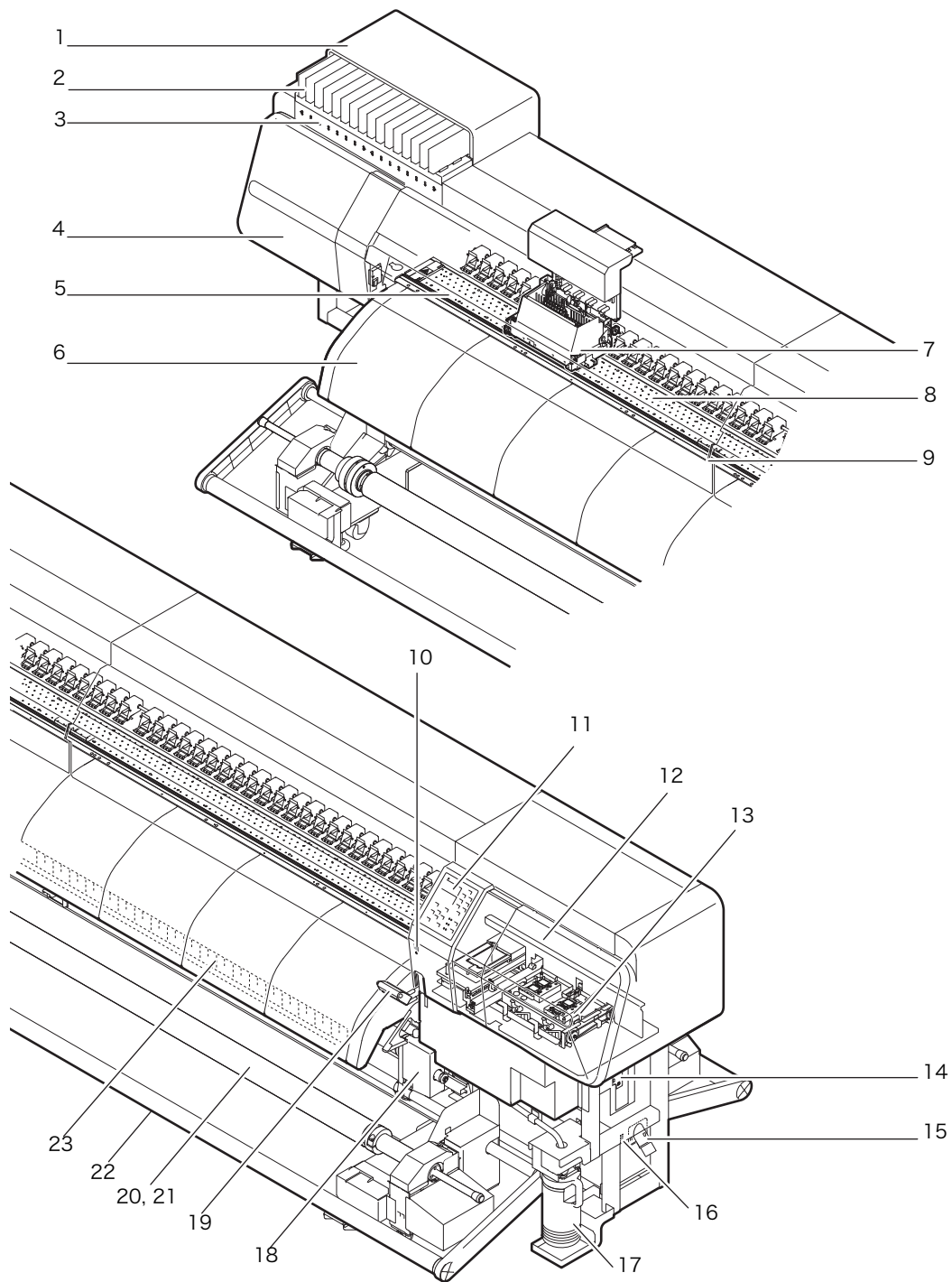
この章では ...

本装置の各部の名称、操作パネルの使いかたについて説明します。

各部の名称とはたらき	2-2
操作パネル	2-16
モードとメニュー画面	2-22
機能メニューについて	2-23

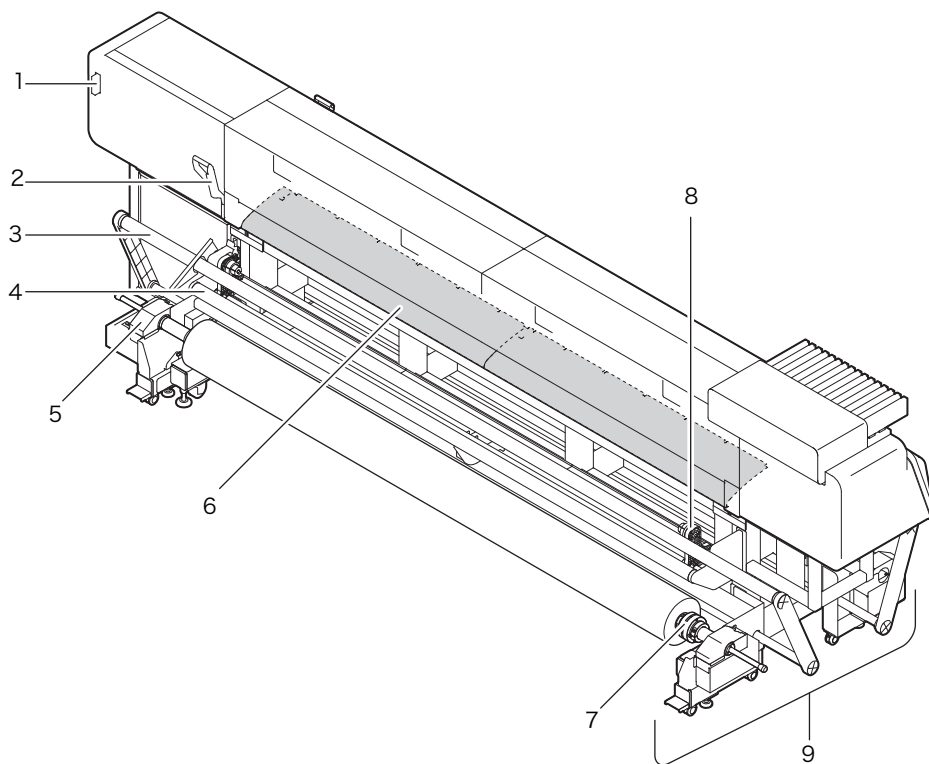
各部の名称とはたらき

装置前面



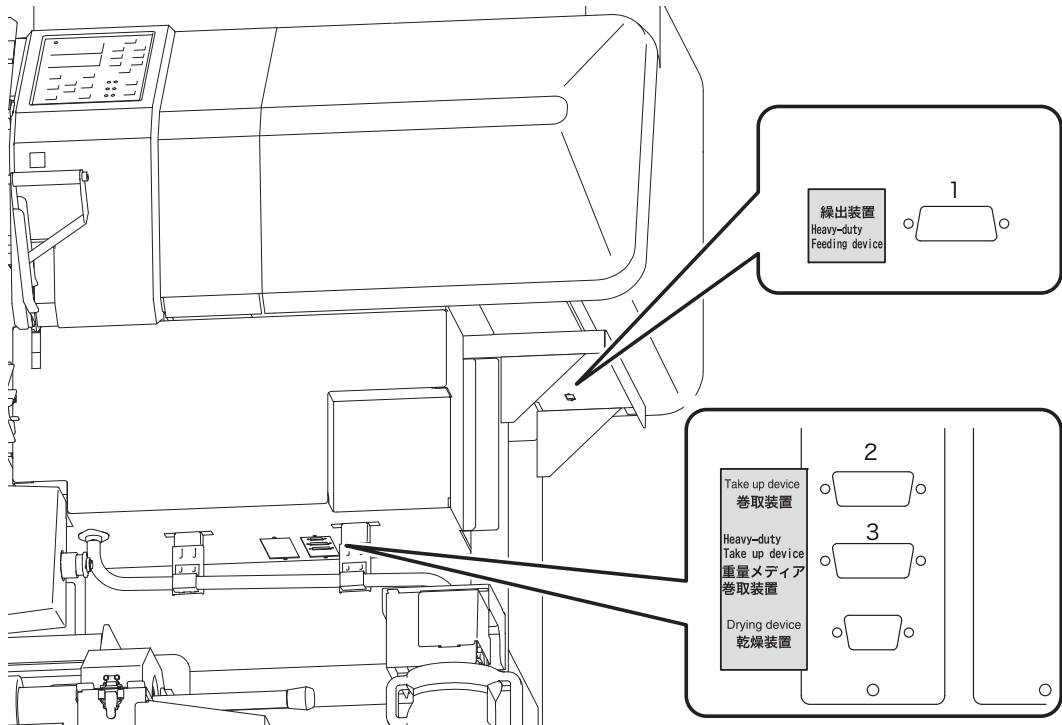
名称	はたらき
1 インクステーション	専用のインクカートリッジをセットします。
2 インクカートリッジ	各色のインクが入っています。
3 カートリッジ LED	各スロットの LED (緑、赤) により、カートリッジ状態を表します。
4 メンテナンスカバー L	ステーション内部のメンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。
5 プラテン	プラテンに沿って、メディアを出力します。プラテン内の 3 カ所にヒーターが内蔵されています。
6 アフターヒーター	作図後のインクを乾燥します。
7 キャリッジ	作図を行うヘッドがあり、左右にスキャンします。
8 プリントヒーター	作図中のインクの定着と乾燥を行います。(プラテンの内側にあります)
9 フロントカバー	メディアのセット、メディア詰まりの処置時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。
10 電源スイッチ	本装置の電源をオン / オフします。主電源スイッチをオンにしておく、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(フラッシング機能)
11 操作パネル	本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。 また、ヒーターの操作スイッチと、コンディションを示す LED ランプがあります。
12 メンテナンスカバー R	ステーション内部のメンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。
13 キャッピングステーション	ヘッドにキャッピングするキャップやワイパー等があります。
14 USB 2.0 コネクタ	USB 2.0 インターフェイスです。
15 AC インレット	電源ケーブルを接続します。
16 主電源スイッチ	本装置の主電源をオン / オフします。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。 主電源をオフする場合は、必ず前面の電源スイッチをオフしておいてください。
17 廃インクタンク	廃インクを溜めるタンクです。
18 巻取装置	作図終了後の (1600mm 幅以下の) ロールメディアを自動で巻き取ります。
19 クランプレバー (前)	ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 開放します。
20 重量メディア巻取装置	重量メディアを自動で巻き取ります。
21 メディアシャフト (前)	重量メディアを保持するシャフトです。
22 テンションバー (前)	大型ロールメディアの張りを調整します。
23 メディアセットラベル	メディアを中央にセットするための目盛りです。(本体背面のプリヒーターの下にあります)

装置背面



名称		はたらき
1	洗浄液カートリッジ	メンテナンス時に使用する、洗浄液カートリッジです。ソルベントインク使用時は MILD SOLVENT 洗浄液カートリッジ (SPC-0294) を、昇華転写インク使用時は水性洗浄液カートリッジ (SPC-0259) をお使いください。
2	クランプレバー (後)	本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。
3	テンションバー (後)	大型ロールメディアの張りを調整します。
4	メディア置きバー	ロールメディアのセット時に、メディアをのせてセットしやすくします。
5	重量メディア繰出装置	重量メディアを自動で繰り出します。
6	プリヒーター	プリント前のメディアに予熱をかけます。 (プラテンの内側にあります)
7	メディアシャフト (後)	重量メディアを保持するシャフトです。
8	ロールホルダー	ロールメディアの紙管の左右に入れて、メディアを保持します。 2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。
9	脚	本体を支える部分です。移動するためのキャスタが付いています。

装置下面



名称		はたらき
1	重量メディア線出装置 接続口	重量メディア線出装置のコネクタです。
2	巻取装置接続口	巻取装置のコネクタです。
3	重量メディア巻取装置 接続口	重量メディア巻取装置のコネクタです。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

フロントカバーとメンテナンスカバー

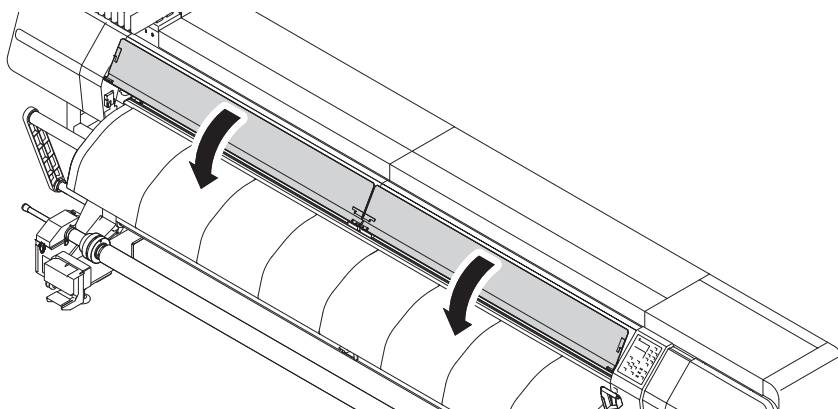
フロントカバー / メンテナンスカバーの開閉について

- 重要!** ■作図中にフロントカバーまたはメンテナンスカバーを開けないでください。作図中にカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、画像の作図が中断され、継続できなくなります。この場合、下の画面が表示されますので、次の操作手順で本装置、およびコンピュータを再起動してください。

カバーヲシメテクダサイ。

操作手順

- 1 フロントカバーまたはメンテナンスカバーを閉めます。



- 2 [ENTER] キーを1回押します。

(カバーオープン)
<ENT>ヲオシテクダサイ

- 3 キャリッジが動き始め、初期動作を行います。

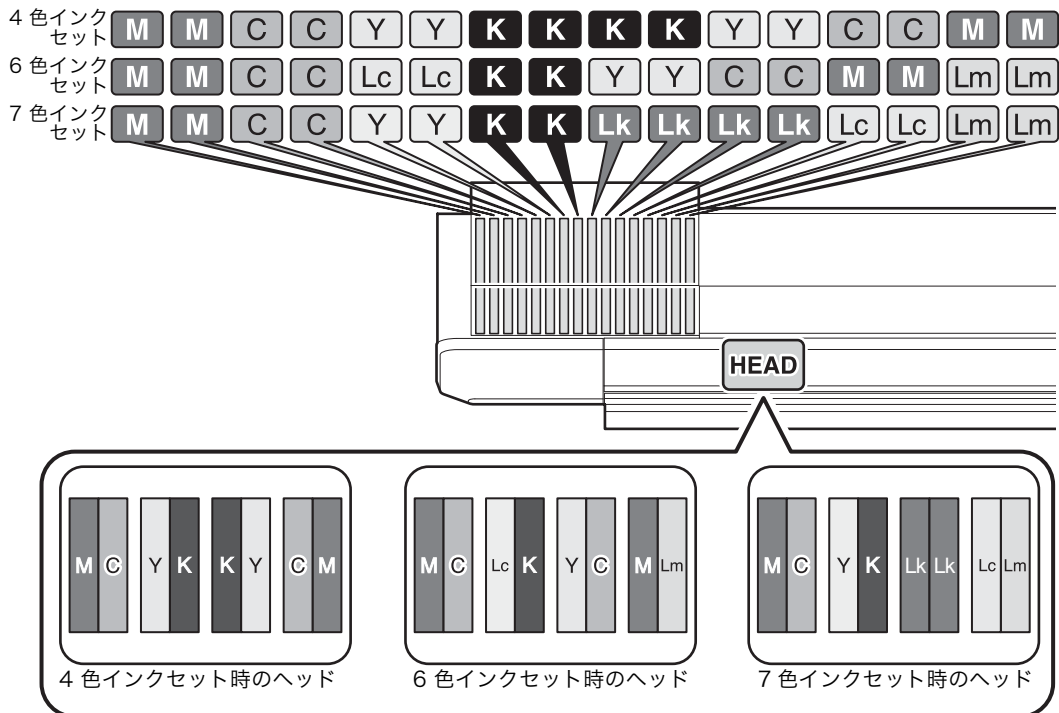
* ショキカチュウ *
シバラクオマチクダサイ

インクステーションとヘッドの関係

キャリッジには、4つのヘッドを搭載しています。1つのヘッドには、8列のノズルを配置しています。1列のノズルに対して1色のインクが対応しています。ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクエンドとなったカートリッジの交換、インクを充填する場合の対応関係にご使用ください。インクステーションのカートリッジは、初期充填の際に選択したインクセット(4色/6色/7色)により異なります。

ソルベントインクをご使用の場合

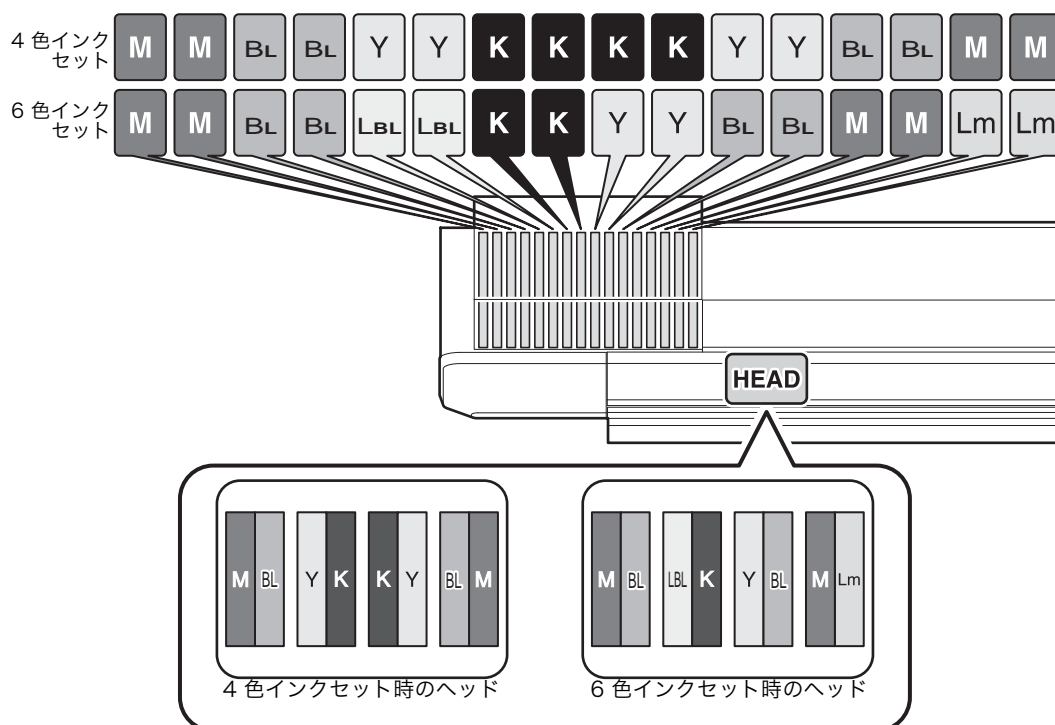
K	ブラック
M	マゼンタ
C	シアン
Y	イエロー
Lc	ライトシアン
Lm	ライトマゼンタ
Lk	ライトブラック



4色インクセット	インクカートリッジを各色4本ずつ搭載します
6色インクセット	K、Y、Lc、Lmは各2本ずつ、M、Cは4本ずつ搭載します
7色インクセット	M、C、K、Y、Lc、Lmは各2本ずつ、Lkは4本ずつ搭載します

水性インクをご使用の場合

K	ブラック
M	マゼンタ
BL	ブルー
Y	イエロー
LBL	ライトブルー
Lm	ライトマゼンタ

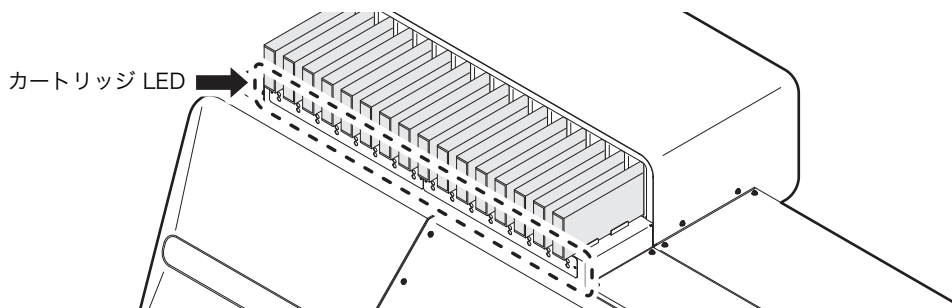


4色インクセット	インクカートリッジを各色4本ずつ搭載します
6色インクセット	K、Y、LBL、Lmは各2本ずつ、 M、BLは4本ずつ搭載します

重要! ■専用昇華転写インクをお使いの場合はブルーおよびライトブルーのインクをご利用になれます。

カートリッジ管理

インクカートリッジは1供給系(1ノズル列)あたり、2本のカートリッジを使用し、合計16本搭載されます。供給カートリッジは1供給系につき常に1本のみです。トグル切り替えにより交互にカートリッジを使用します。



カートリッジ LED

各スロットの LED (緑、赤) により、カートリッジ状態を表します。

緑 LED 点灯	供給カートリッジであることを示します
赤 LED 点滅	[インク エンド]、[インク ニアエンド]、[インク キゲン (1 カゲツ)]、[インク キゲン ギレ]が発生しているカートリッジであることを示します
赤 LED 点灯	インク IC ワーニングが発生しているカートリッジ、または残量 0 カートリッジ、カートリッジ無し状態を示します

使用できないカートリッジ

インク IC ワーニング	[ヒ ジュンセイ インク]、[インク IC イジョウ]、[インク シュルイ]、[インク カラー]、[カートリッジ イジョウ]、[インク キゲン (2 カゲツ)] のインク IC に関するエラー
残量 0 カートリッジ	インク使いきりクリーニング ([インクニアエンド]、[インクエンド])が発生したカートリッジを優先使用してクリーニングを行う機能)により、残量 0 となったカートリッジ

カートリッジの切り替え条件

供給カートリッジの切り替えは、以下の条件で発生します。

作図中の [インク エンド]
充填中の [インク ニアエンド]
インク IC ワーニング
カートリッジが抜かれた場合
インク使いきりクリーニング

ワーニングと動作の関係

1 供給系内での切り替えが不可能な場合は、現在の供給カートリッジについて発生しているワーニングを表示します。

ローカル/リモートアイドル ワーニング表示 (供給系単位の状態)		ガイダンス機能 ワーニング詳細表示 (カートリッジ単位の状態)	クリーニング	充填	作図
ニアエンド		インク ニアエンド	×	×	*1
インクエンド		インク エンド	×	×	×
カートリッジ	!CAR	カートリッジ ナシ	×	×	×
		ヒ ジュンセイ インク			
		インク IC イジョウ			
		インク シュルイ			
		インク カラー			
		カートリッジ イジョウ			
		インク キゲン (2 カゲツ)			
		ザンリョウ 0			
インクキゲン (1M)		インク キゲン (1 カゲツ)	○	○	○
インクキゲン		インク キゲン ギレ	○	○	○

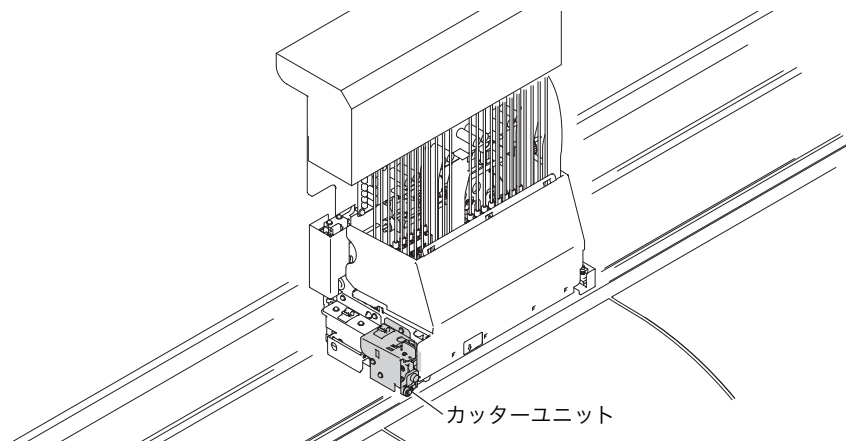
× : 不可

○ : 可能

*1 作図終了毎にローカルモードへ移行します。

キャリッジ

キャリッジには、作図用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。



キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。

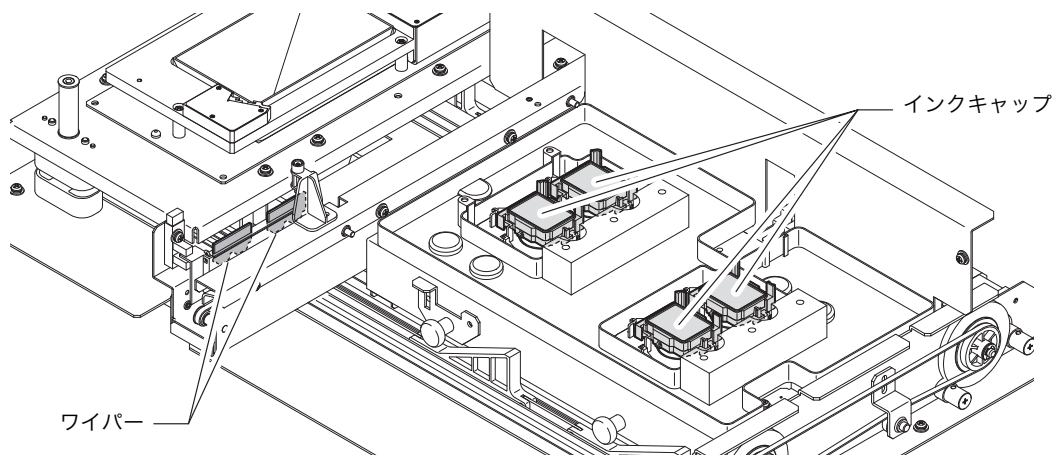
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。

ワイパーは、ヘッドのクリーニングに使用します。

ワイパーは、消耗品です。ワイパーが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパーに交換してください。



■キャッピングステーション内をクリーニングするときは、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。



目次

1

2

3

4

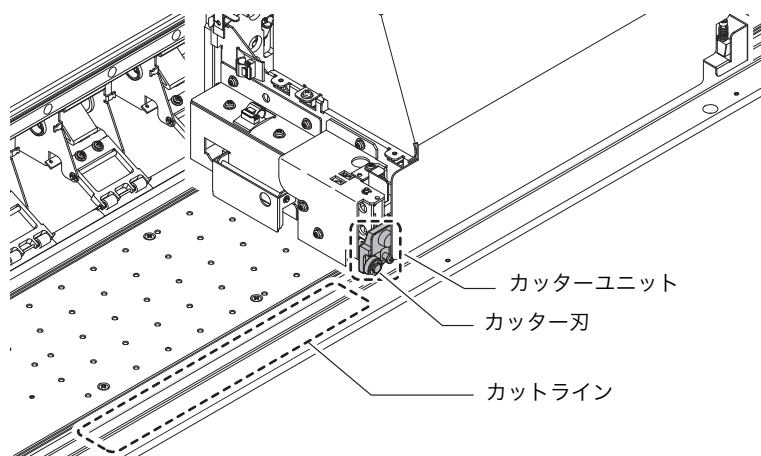
5

6

索引

カッター刃とカットライン

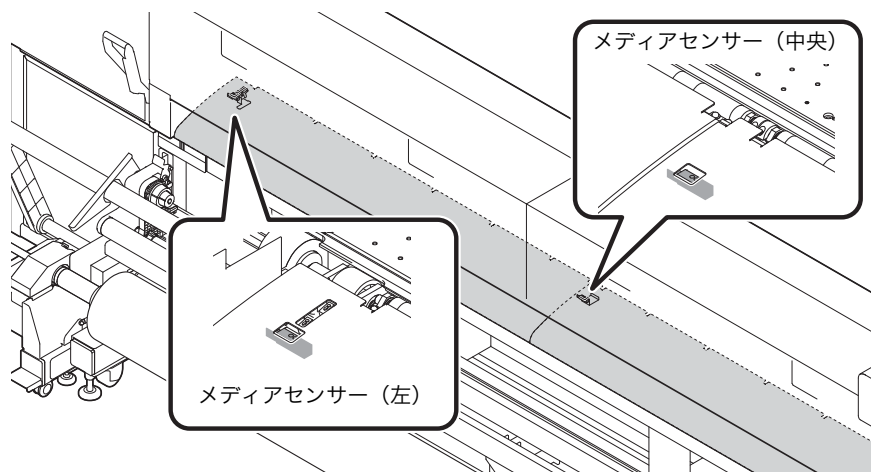
キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。プラテンのカットラインに沿ってメディアをカットします。
(作図終了後のメディアカット (3-59 ページ) 参照)、(オートカット (6-9 ページ) 参照)



メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。プラテン上 (背面側) にメディアセンサーが2箇所あります。

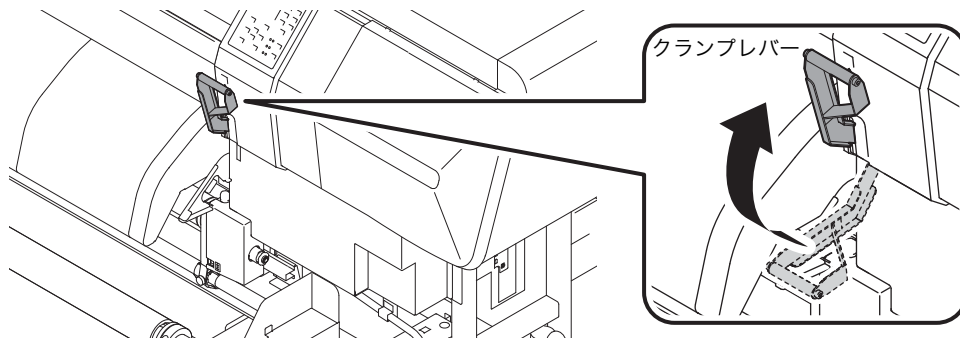
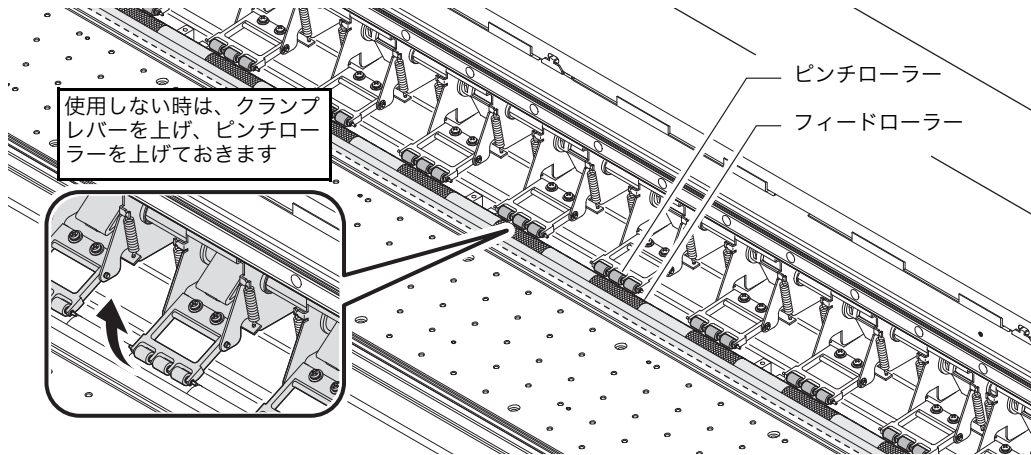
重要! ■メディアは、必ずプラテン後部側のメディアセンサーを1つ以上覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。



ピンチローラーとフィードローラー

本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、作図時にメディアを前側に送り出します。

- 重要!** ■本装置を使用しない時は、クランプレバーを上げ、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。
ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておく、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。



目次

1

2

3

4

5

6

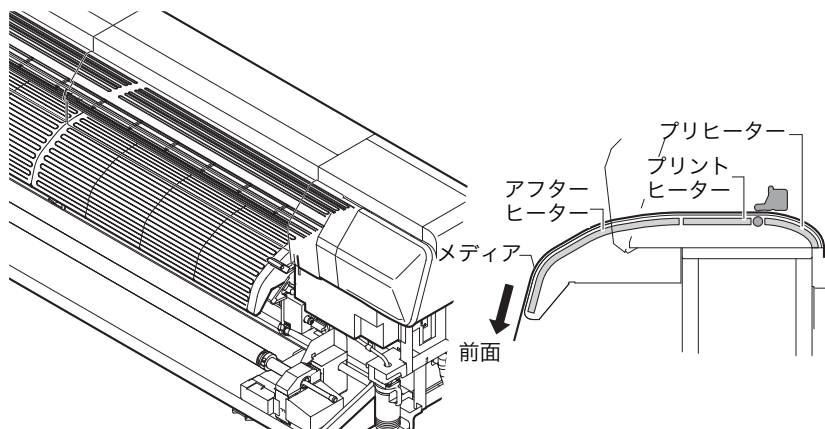
索引

ヒーター

プラテンには、次の3つのヒーターが内蔵されています。

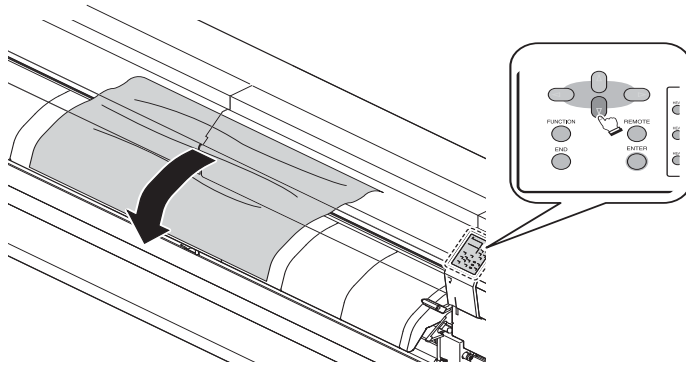
仕様	
プリヒーター	作図中のメディアを予熱し、プリント部での急激な温度変化を抑える
プリントヒーター	作図時の画像品質を上げる
アフターヒーター	作図後、インクを乾燥させる

ヒーターの電源オン / オフ、および各ヒーターの状態を LED ランプで表示します。本装置の電源スイッチをオフにすると、ヒーターの電源もオフになります。





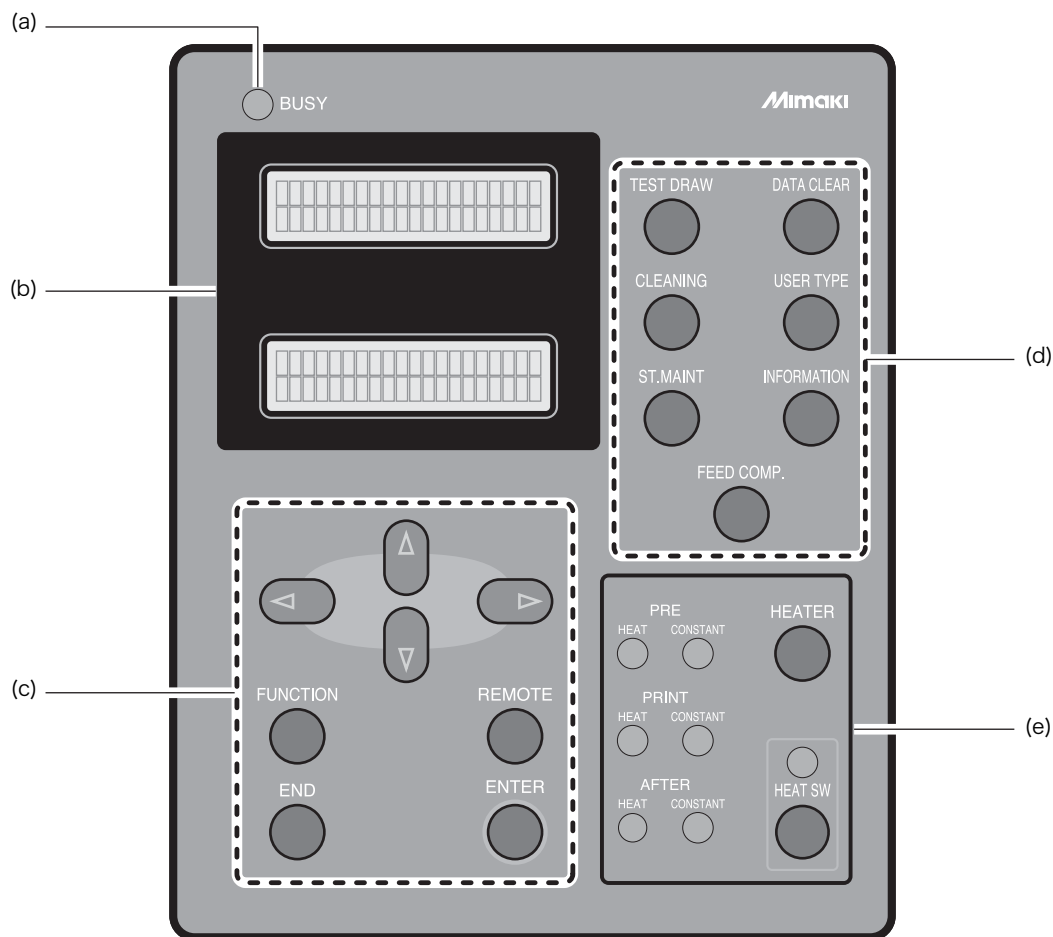
- ヒーターの加熱中は、プラテンが高温になっています。フロントカバーを開ける際やメディアを交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分に下がってから行ってください。火傷の原因になります。
- 薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分下がってから行ってください。プラテンが高温の状態で行うと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。
- 長時間メディアを作図せずにヒーターで加熱し続けしないでください。メディアの表面が波のように浮き上がり、ヘッドがメディアを擦る原因になります。メディアが波のように浮き上がっている場合は、浮き上がりのない場所まで【▼】キーでメディアを送ってから作図してください。



操作パネル

操作パネルは、作図方法の設定・各種操作に使用します。

操作パネルには、本装置の状態を知らせる1つのランプ (a)、2つのディスプレイ (b)、各種操作に使用する8個のキー (c)、多彩な機能が簡単に呼び出せる7個のダイレクトキー (d)、そして3カ所のヒーターを管理する2つのキーと7つのランプ (e) があります。



ディスプレイ

ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、本文中では [タイプ 1] や [シバラク オマチクダサイ] の様に [] を使用して説明しています。

また、操作キーは【太いカッコ】を使用して説明しています。

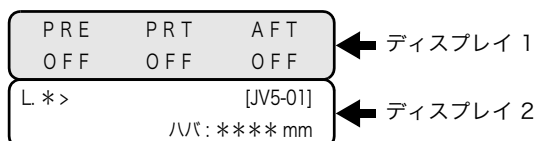
説明記号【▼】は、ジョグキーの下キーを押すことを意味しています。

その他の操作キーは、【FUNCTION】の様に操作キーの名称を【 】の中に表記しています。

ディスプレイの見かた

ディスプレイには状態によって、次のような内容が表示されます。

作図待機状態



ディスプレイ 1:

本装置の、各ヒーター温度が表示されます。

ディスプレイ 2:

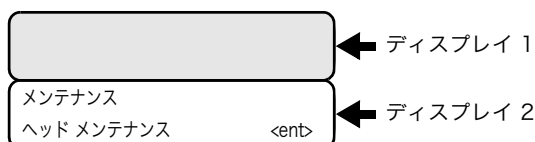
上段左側には、モード状態が表示されます。この場合はローカルモードです。

(ローカルモード (2-22 ページ) 参照)

上段右側には、現在本装置に割り当てられている [マシン名称] が表示されます。

下段右側には、本装置が検出したメディアの幅が表示されます。

機能メニュー表示状態



ディスプレイ 1:

メニュー階層の最上位、または [セッテイ] 機能選択時まで、各ヒーター温度が表示されます。選択項目によっては、何も表示しない場合もありますが、これは故障ではありません。

ディスプレイ 2:

上段には、選択項目が表示されます。

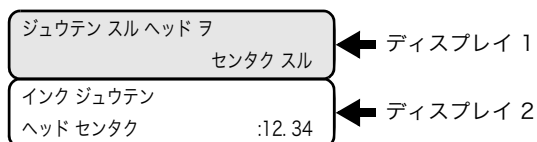
下段左側には、ジョブ名などが表示されます。

下段右側に、<ent> などの表示がある場合は、ジョブの選択 / 非選択、または下の階層があることを示しています。

機能メニューの操作については、「メニュー階層の概要」をご覧ください。(2-26 参照)

項目 / 設定値表示状態

選択されたジョブに対する、作業内容などが表示されます。



ディスプレイ 1:

選択項目によっては、何も表示しない場合もありますが、これは故障ではありません。

ディスプレイ 2:

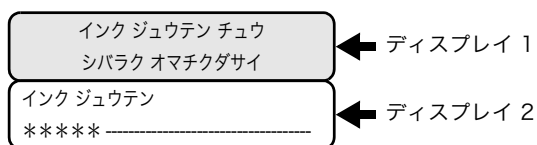
上段には、ジョブ名などが表示されます。

下段左側には、ジョブの選択項目などが表示されます。

下段右側には、項目 / 設定値などが表示されます。ジョグキーで設定値を入力します。この場合は [ヘッド メンテナンス] での [ヘッド選択] です。

機能メニューの操作については、「メニュー階層の概要」(2-26 参照) をご覧ください。

ジョブ処理状態



ディスプレイ 1:

本装置の動作状態が表示されます。

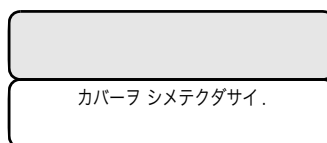
ディスプレイ 2:

上段には、ジョブ名などが表示されます。この場合は [ヘッド メンテナンス] での [インク充填中] です。

下段には、ジョブの進行状況などが表示されます。

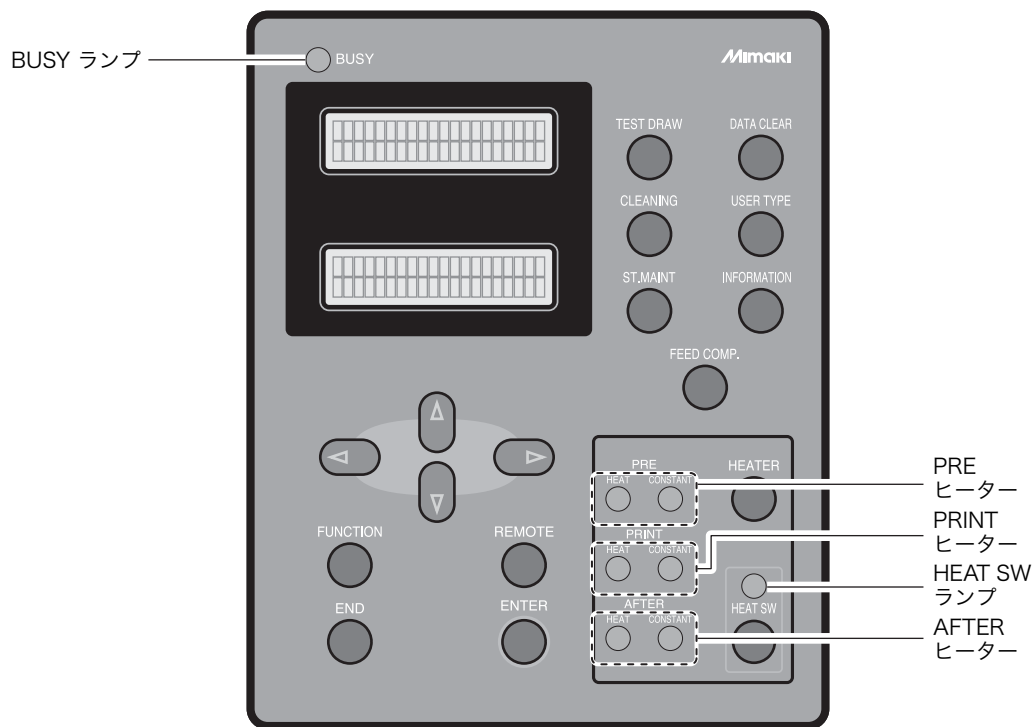
メッセージ表示状態

お客様による作業が必要な場合、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージの内容に従ってください。



ランプの見かた

ランプ点灯により、次の状態が表示されます。



目次

1

2

3

4

5

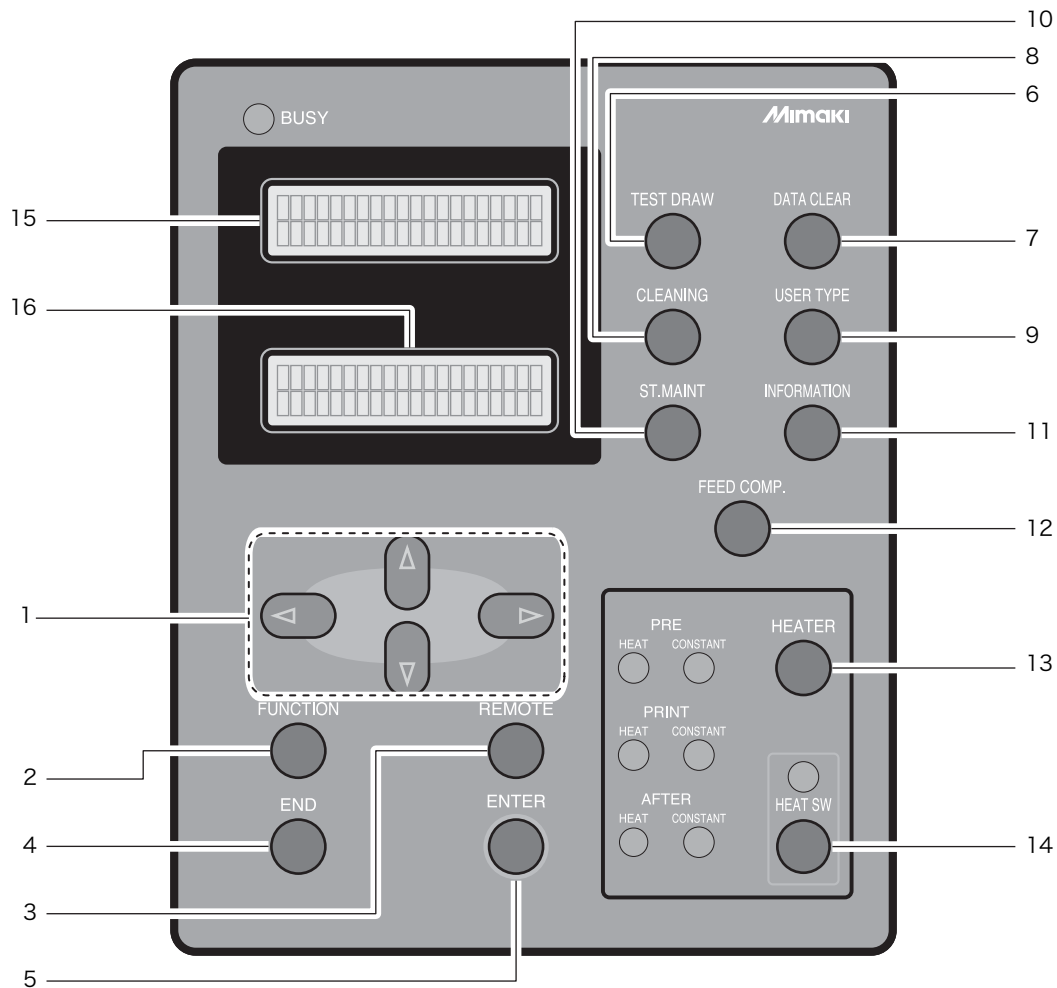
6

索引

ヒーター名	名称	はたらき
--	BUSY ランプ	処理中の動作がある場合に点灯します。点灯中は、本装置のカバーを開けたり、キー操作をしないでください。装置異常などの原因になります。
--	HEAT SW ランプ	ヒーターの電源を ON にすると、オレンジ色に点灯します。
PRE ヒーター	HEAT ランプ	PRE ヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。
	CONSTANT ランプ	PRE ヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。
PRINT ヒーター	HEAT ランプ	PRINT ヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。
	CONSTANT ランプ	PRINT ヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。
AFTER ヒーター	HEAT ランプ	AFTER ヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。
	CONSTANT ランプ	AFTER ヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。

キーの使いかた





操作パネルの各機能を説明します。



	名称	はたらき
1	ジョグキー 【▲】【▼】【◀】【▶】	【ローカルモード】でのヘッドやメディアの移動、作図条件の項目選択に使用します。
2	【FUNCTION】キー	各種機能設定メニューに入ります。
3	【REMOTE】キー	【ローカルモード】と【リモートモード】を切り替えます。
4	【END】キー	直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の階層に戻す場合に使用します。
5	【ENTER】キー	1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。
6	【TEST DRAW】キー	ノズル詰まりなどの作図不良がないかを確認するために、テストパターンを作図します。
7	【DATA CLEAR】キー	本装置が受信したデータを消去します。
8	【CLEANING】キー	クリーニングタイプを選択して、ヘッドクリーニングを実行します。
9	【USER TYPE】キー	ユーザータイプを変更します。
10	【ST.MAINT】キー	ステーションのメンテナンスを行います。 メンテナンス機能の【ステーションメンテナンス】をダイレクトに起動します。
11	【INFORMATION】キー	各種情報の表示、印刷を行います。
12	【FEED COMP.】キー	現在設定されているタイプに対して、セッテイ機能の【メディアホセイ】をダイレクトに起動します。
13	【HEATER】キー	プリヒーター、プリントヒーター、アフターヒーターの温度を設定します。現在のプラテンの温度も確認できます。
14	【HEAT SW】キー	ヒーターの電源をオン / オフします。
15	ディスプレイ 1	本装置の状態、設定項目、メニュー名などを表示します。通常は、各ヒーターの温度状態を表示します。
16	ディスプレイ 2	本装置に対して各種の詳細な設定が必要なとき、設定値の入力などに使用します。

ジョグキーのはたらき

ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

	メディア検出前	メディア検出後	機能選択時	設定の選択時
	メディア幅を検出します	キャリッジを左へ移動します		
	メディア幅とメディア長を検出します	キャリッジを右へ移動します		
		メディアを奥へ移動します	1つ前の機能に戻ります	1つ前の値を選択します
		メディアを手前に移動します	次の機能に移ります	次の値を選択します

モードとメニュー画面

モードについて

本装置には、次の4つのモードがあります。

ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。【REMOTE】キー、および【TEST DRAW】キー以外のキーが有効です。

ローカルモード

メディア検出後のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータからのデータを受信できます。ただし、作図は行いません。
ローカルモードでは以下の操作が可能です。

- ジョグキーを押してメディア検出や原点を設定します。
- 【FUNCTION】キーを押して、各種機能を設定します。
- 【REMOTE】キーを押して[ローカルモード]と[リモートモード]を切り替えます。
- 【ENTER】キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。
- 【TEST DRAW】キーを押して、作図不良がないかを確認するテストパターンを作図します。
- 【DATA CLEAR】キーを押して、受信した作図データを消去します。
- 【CLEANING】キーを押して、ヘッドクリーニングを行います。
- 【USER TYPE】キーを押して、ユーザータイプを変更します。
- 【ST.MAINT】キーを押して、[メンテナンス]機能の[ステーションメンテナンス]をダイレクトに起動します。
- 【INFORMATION】キーを押して、[マシンセッテイ]機能の[ジョウホウ]をダイレクトに起動します。
- 【FEED COMP.】キーを押して、[メディアホセイ]をダイレクトに起動します。
- 【HEATER】キーを押して、ヒーターの温度を設定します。
- 【HEAT SW】キーを押して、ヒーターの電源をオン / オフします。

リモートモード

受信したデータを作図します。
作図中に【REMOTE】キーを押すと、一時停止しローカルモードに戻ります。

ファンクションモード

ローカルモード時に【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードになります。各ファンクション機能を設定します。

機能メニューについて

メニュー画面の基本操作

本装置には、さまざまな機能が内蔵されており、操作パネルで設定することができます。[ファンクションモード]では、システムの設定やオプションの設定、ヘッドクリーニング、テストプリントなどの機能を操作することができます。また、各ダイレクトキーを押すことで、多彩な内蔵機能をすばやく呼び出せます。

プリンタ機能の優先順位

操作パネルから設定した項目は、プリンタの初期値として全ての印刷ジョブに適用されます。また、プリンタの操作パネルを優先にするか、コンピュータ(ホスト)を優先にするかを、プリンタの[セッテイ]機能の[ユウセンジュンイ]で選択できます。

機能メニューの構造

各メニューの項目は、次のように階層化されています。

【FUNCTION】キーまたは【▲】【▼】【◀】【▶】キーで項目を選択し、【ENTER】キーで階層を進んだり、【END】キーで階層を戻ることができます。また各項目の設定値は【ENTER】キーで実行されます。

機能メニューの設定操作

機能メニューを設定するときは、ローカルモード時に【FUNCTION】キーを押し、【▲】【▼】【◀】【▶】、【ENTER】キーで操作します。ローカルモードになっていないときは、【REMOTE】キーを1回押します。

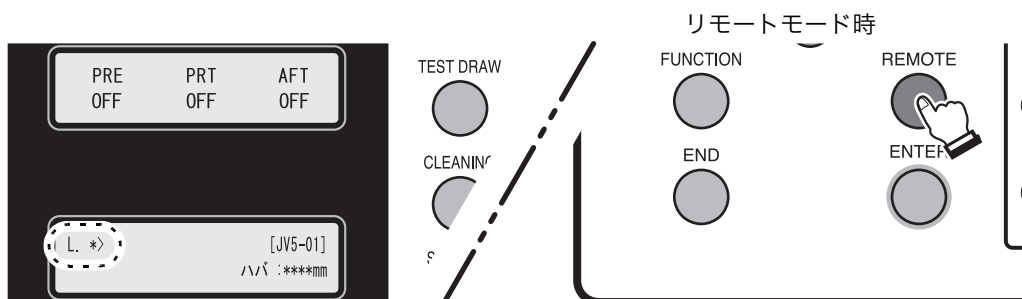
設定のしかた

ここでは、[セッテイ] → [オートクリーニング] の設定を例に、操作手順を説明します。

操作手順

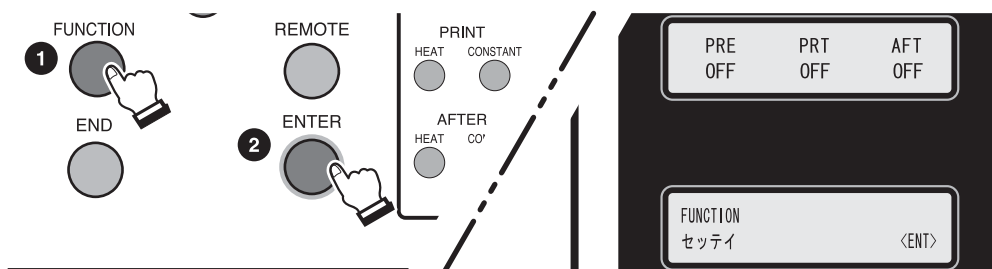
1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



2 【FUNCTION】キーを押します。

以下の画面が表示されますので、【ENTER】キーを2回押し、下の階層へ進みます。

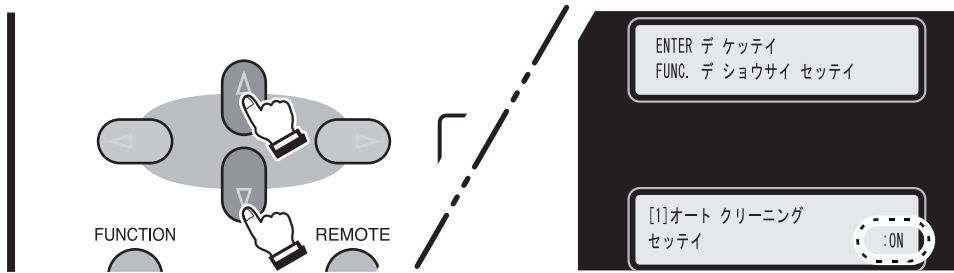


3 【▼】キーを13回押し、[オートクリーニング]を選択して、【ENTER】キーを押します。

メニュー画面が、オートクリーニングのON / OFFを設定する画面に変わります。

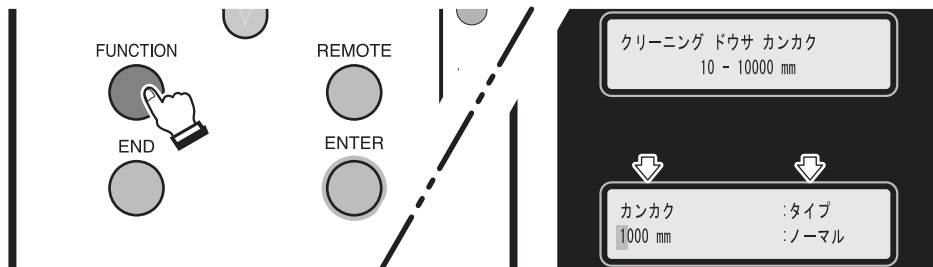


4 【▲】【▼】キーで、オートクリーニングのON / OFF を設定します。



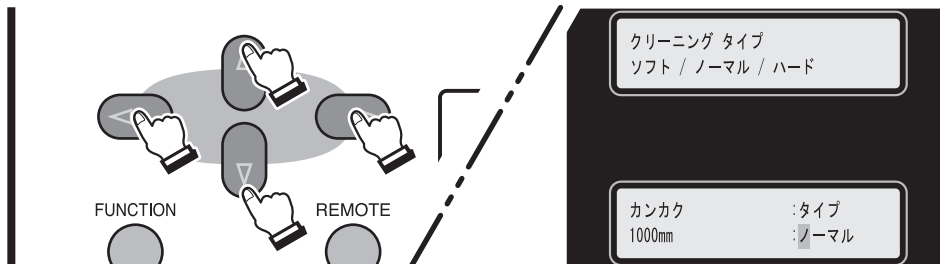
5 ここで【FUNCTION】キーを押すと、さらに【クリーニング ドウサ カンカク】と【クリーニング タイプ】を設定できます。

オート クリーニング [ON] 選択時のみ有効です。



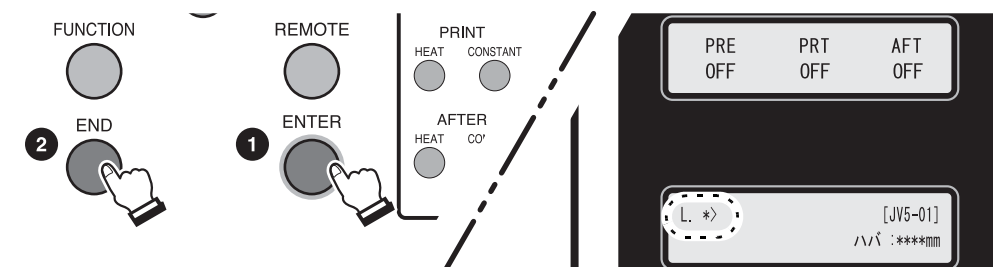
6 【FUNCTION】キーで下の階層へ進み、【▲】【▼】キーで、【クリーニング ドウサ カンカク】を入力します。

【◀】【▶】キーで【クリーニング タイプ】の設定画面へ切り替わりますので、【▲】【▼】キーで【クリーニング タイプ】を設定します。



7 【ENTER】キーを2回押し、設定を確定します。

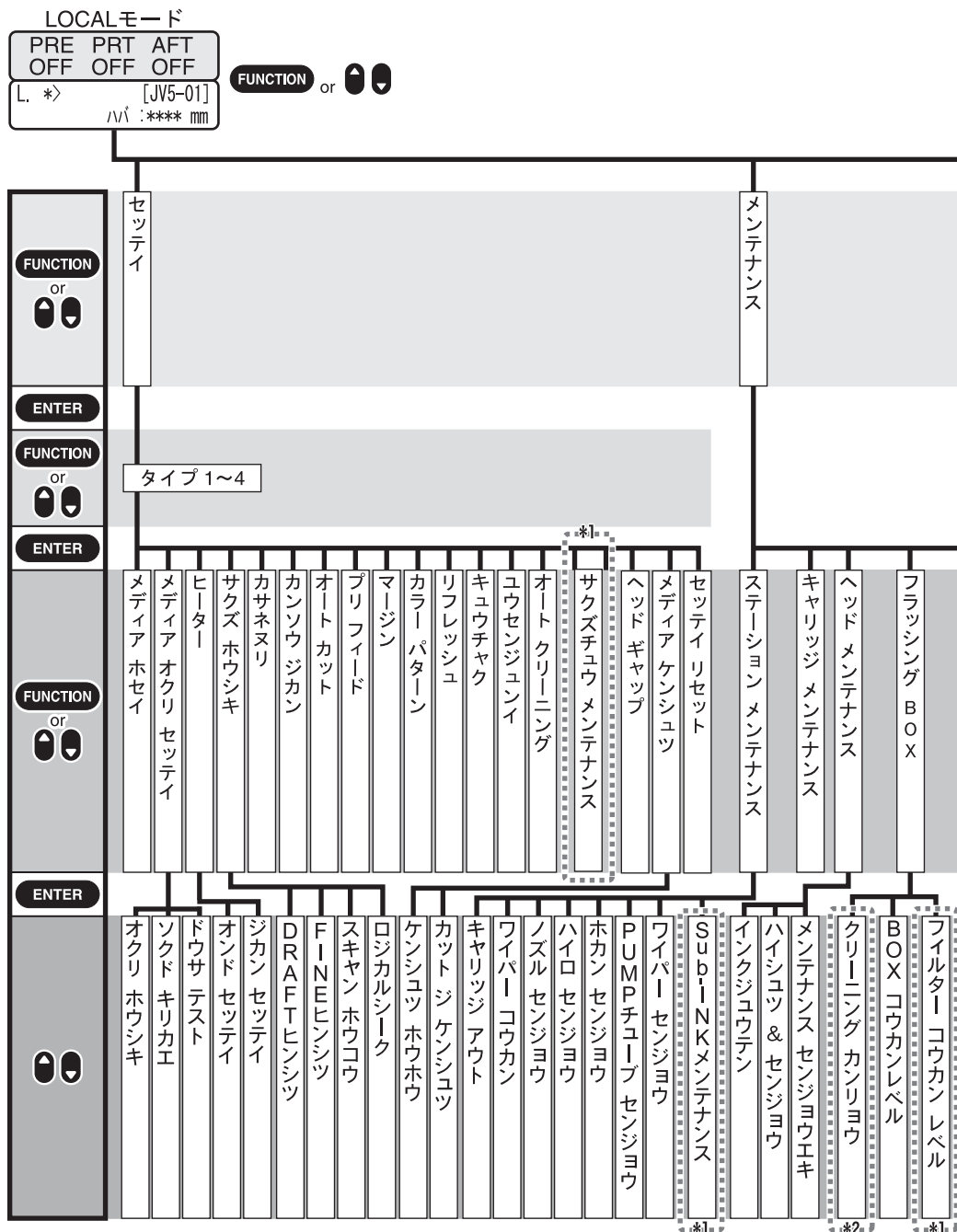
【END】キーを数回押し、ローカルモードに戻ります。



メニュー階層の概要

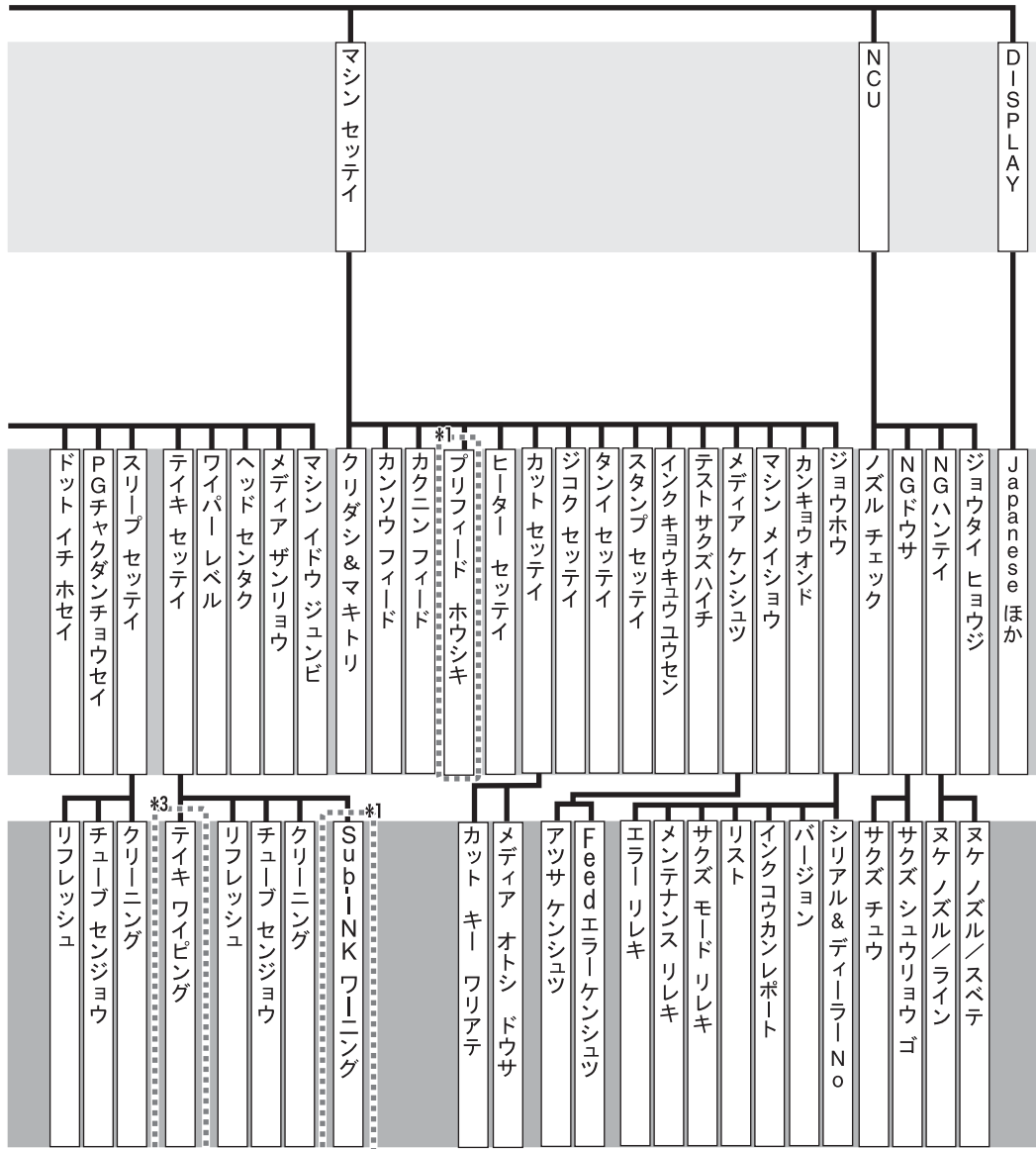
ファンクションメニュー

【FUNCTION】 キーを押してメニューを選択します。



*1:昇華転写インクをお使いの場合のみ表示

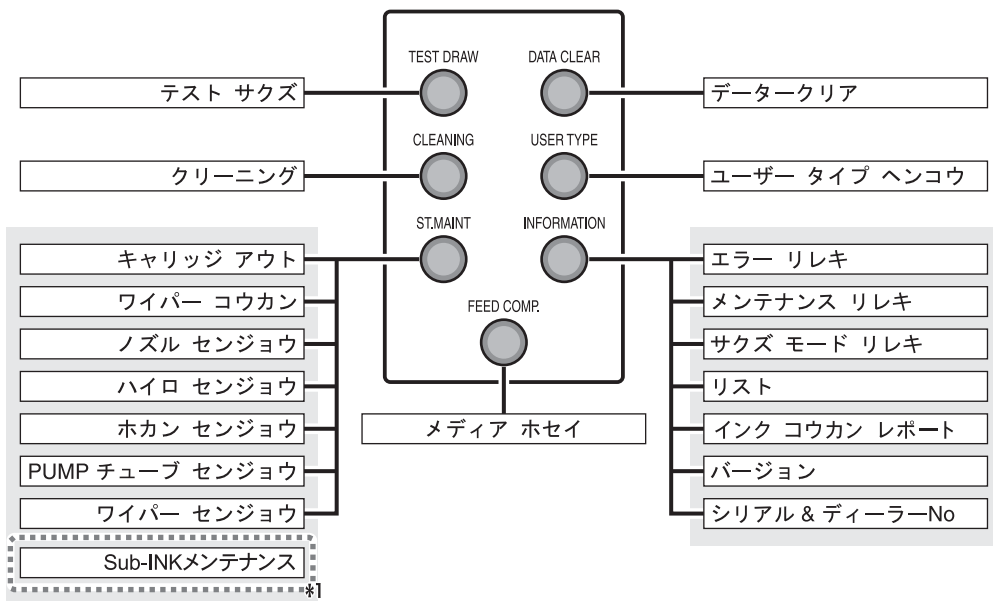
*2:「フラッシングBOXクリーニング」のワーニングまたはエラー発生中のみ表示



*3:ソルベントインクをお使いの場合のみ表示

ダイレクトキー

各ダイレクトキーを押すことで、よく使う機能を簡単に呼び出せます。



*1:昇華転写インクをお使いの場合のみ表示

機能メニューの設定値一覧

各メニューには次の機能があります。

セッテイ機能

機能名称	サブ機能	設定値	機能概要	
メディア ホセイ (P. 3-50)		-255 ~ 255	メディアの送り量を補正するためのパターンを作図し、補正します。	
メディアオクリセッテイ (P. 6-5)	オクリホウシキ	ダイレクト、ノーマル	メディアの送り量検出方式を切り替えます。	
	ソクドキリカエ	200% ~ 10%	メディアを送る速度を設定します。	
	ドウサテスト		メディアエンコードを使用したダイレクト検出方式に適したメディアかどうか、テストを行います。	
ヒーター (P. 3-38) (P. 6-32)	オンドセッテイ	プリヒート	OFF, 20 ~ 60 °C (OFF, 68 ~ 140 °F)	ヒーターの状態を設定します。
		プリントヒート	OFF, 20 ~ 60 °C (OFF, 68 ~ 140 °F)	
		アフターヒート	OFF, 20 ~ 70 °C (OFF, 68 ~ 158 °F)	
	ジカンセッテイ	スタンバイ	(ナシ, 0 ~ 90 min、10 min 単位)	
		OFF 時間	(ナシ, 0 ~ 90 min、10 min 単位)	
サクズ ホウシキ (P. 6-6)	FINE ヒンシツ	ヒョウジュン、キレイ、ハヤイ	作図品質、作図方向を設定します。	
	DRAFT ヒンシツ	ヒョウジュン、キレイ、ハヤイ		
	スキャン ホウコウ	タンホウコウ		
		ソウホウコウ		
ロジカルシーク	ON、OFF			
カサネヌリ (P. 6-8)		1 ~ 9 回	インクの重ね塗りをを行います。	
カンソウ ジカン (P. 6-8)	スキャン	0.0 ~ 19.9 sec.	インクの乾燥時間を設定します。	
	サクズエンド	0 ~ 999 sec.		
オート カット (P. 6-9)		ON、OFF	作図後、自動でメディアをカットします。	
プリ フィード (P. 6-9)		ON、OFF	作図前にメディアを前後搬送させます。	
マージン (P. 6-9)		-20 ~ 75 mm	メディア左右の余白を設定します。	
カラー パターン (P. 6-10)		ON (昇華転写インクの場合は ONx1 ~ ONx5)、OFF	メディア右端にカラーパターンを作図します。 昇華転写インクをお使いの場合は、メディア左端にもカラーパターンを作図できます。	

目次

1

2

3

4

5

6

索引

機能名称	サブ機能		設定値	機能概要
リフレッシュ (P. 6-10)			レベル 0 ~ 3	作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。
キュウチャク (P. 6-11)	ツヨイ、ヒョウジュン、ヨワイ、ヤヤヨワイ【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	ティシタイマー	0 ~ 60 min、レンゾク	メディアの吸着する力を設定します。 また、作図終了後に吸着ファンを停止するまでの時間を設定できます。
	OFF			メディアを吸着しない設定です。
ユウセンジュンイ (P. 6-11)	スベテ ホスト			優先する設定 (パネル / ホスト) を決定します。
	スベテ パネル			
	コベツ セットイ		メディアホセイ、ヒーター、サクズハウシキ、カサネヌリ、カンソウジカン、オートカット、プリフィード、マージン、カラーパターン、リフレッシュ、キュウチャク、オクリソクド、オクリハウシキ	
オート クリーニング (P. 3-62)	ON【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	カンカク	10 ~ 30000 mm	作図ごと、ヘッドを自動的にクリーニングします。
		クリーニングタイプ	ソフト、ノーマル、ハード	
	OFF			
サクズチュウメンテナンス (P. 3-64) 【専用昇華転写インクをご使用の場合のみ】	クリーニング【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	カンカク	0.1 ~ 100.0 m	作図中にヘッドを自動的にクリーニングします。
		クリーニングタイプ	ソフト、ノーマル、ハード	
	ワイピング【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	スキャンカイスウ	10 ~ 9990 回	作図中にヘッドを自動的にワイピングします。
	OFF			
ヘッド ギャップ (P. 3-5)			1.5 ~ 7.0 mm	ヘッド ギャップ (メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。

機能名称	サブ機能	設定値	機能概要
メディア ケン シュツ (P. 6-12)	ケンシュツホウホウ	セレクト	メディアの検出方法を設定しま す。
		ハバ	
	カットジケンシュツ	リョウエッジ、ヒダリエッ ジ、ミギエッジ、ナシ	
セッテイ リセット			設定した作図条件を、工場出荷 時の設定値に戻します。タイプ ごとにリセットします。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

メンテナンス機能

機能名称	サブ機能	設定値	機能概要
ステーションメン テナンス	キャリッジアウト (P. 4-7) 【ST.MAINT】キーにより、 ダイレクト選択が可能です		ステーション内部の清掃や、消耗品の交換などを行う際にキャリッジを移動します。キャリッジは、手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは [ステーションメンテナンス] - [キャリッジアウト] 機能を選択して動かしします。
	ワイパーコウカン (P. 4-50) 【ST.MAINT】キーにより、 ダイレクト選択が可能です		ワイパー交換の表示が出たら、この操作を行いワイパーを交換します。
	ノズルセンジョウ (P. 4-10) 【ST.MAINT】キーにより、 ダイレクト選択が可能です		ノズル抜け、飛行曲がりなど解消するため、洗浄キットでノズルを洗浄します。
	ハイロセンジョウ (P. 4-14) 【ST.MAINT】キーにより、 ダイレクト選択が可能です		インク排出路 (ポンプチューブ) の詰まりを防止するため、インク排出路を洗浄します。
	ホカンセンジョウ (P. 4-16) 【ST.MAINT】キーにより、 ダイレクト選択が可能です		1週間以上使用しない場合、ヘッドのノズルとインクの排路を洗浄し、保管状態にします。
	PUMP チューブセンジョウ (P. 4-23) 【ST.MAINT】キーにより、 ダイレクト選択が可能です		インク吸引ポンプの洗浄を行います。
	ワイパーセンジョウ (P. 4-25) 【ST.MAINT】キーにより、 ダイレクト選択が可能です		ワイパーの洗浄を行います。
	Sub-INK メンテナンス 【昇華転写インク をご使用の 場合のみ】	インクトレー クリーニング (P. 4-52) フィルター コウカン (P. 4-50)	
キャリッジメンテナンス (P. 4-28)			ヘッドを装置左端まで移動させ、ヘッド周辺のメンテナンスを行いません。
ヘッドメンテナ ンス	インクジュウテン (P. 3-48)		インクを充填します。ノズル詰まりが [クリーニング]、[ノズルセンジョウ] では復旧しない場合に使用します。
	ハイシュツ & センジョウ (P. 5-6)		ヘッド、ダンパー、チューブ内のインクを排出して、専用の洗浄液カートリッジ (別売) にて洗浄します。
	メンテナンス センジョウエ キ (P. 4-20)	ジュウテン ハイシュツ	ワイパー、ポンプチューブ洗浄用の洗浄液を充填します。 ワイパー、ポンプチューブ洗浄用の洗浄液を排出します。

機能名称	サブ機能		設定値	機能概要
フラッシング BOX	クリーニング カンリョウ (P. 4-46)			フラッシング BOX のクリーニングを実施したことを、装置に認識させるために行います。
	BOX コウカンレベル (P. 4-43)		5/5 ~ 1/5	フラッシング BOX のクリーニングや交換時期を変更します。
	フィルターコウカンレベル (P. 4-54) 【昇華転写インクをご使用の場合のみ】		5/5 ~ 1/5	フラッシング BOX 上のフィルターの交換時期を変更します。
ドットイチホセイ (P. 3-52)	パターン 1 ~ 4		-40.0 ~ 40.0 dot	作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正します。メディアの厚み、ヘッドの高さ、インク種別を変更した場合、ドットの位置に微妙にズレが生じます。ドット位置を補正して、適正な作図結果を得られるようにします。標準速 / 高速の 2 種類のテストパターンを作図し、「往路」と「復路」のインク落下点を比較して、ドット位置を補正します。
PG チャクダン チョウセイ (P. 3-43)	パターン 1 ~ 8		-40.0 ~ 40.0 dot	ヘッドギャップを変更した際、双方向作図のドットの着弾ズレを補正するための基準値を設定します。
スリープセッテイ (P. 4-31)	リフレッシュ (P. 4-31)	リフレッシュ カンカク	OFF、1 ~ 168 h	電源スイッチがオフ状態の時、一定間隔で各動作を行いインク詰まりなどのトラブルを防止します。ヘッドからインクを吐出するリフレッシュの動作間隔を時間で設定をします。
	チューブセン ジョウ (P. 4-32)	センジョウカ ンカク	OFF、1 ~ 168 h	ポンプチューブ洗浄の動作間隔を時間で設定をします。
	クリーニング (P. 4-33)	クリーニング カンカク	OFF、1 ~ 168 h	クリーニングの動作間隔を時間で設定をします。
クリーニング タイプ		ノーマル、ソフト、ハード	クリーニングのタイプを設定します。	

機能名称	サブ機能		設定値	機能概要
テイキセットイ (P. 4-34)	テイキワイピング (P. 4-34)	スキャンカイスウ	0 ~ 9990 回	装置起動中、一定間隔で各種動作を行い、ノズル詰まり、抜け、ポタ落ち、しぶきなどのトラブルを防止します。結露を取り除くためにノズル面のワイピングの動作間隔をスキャン回数で設定します。
		オンドサ	1 ~ 60°C (マシンセットイ機能の設定単位)	ワイピングの動作間隔をプリントヒーターと外気温度の差で設定します。
	リフレッシュ (P. 4-36)	リフレッシュ カンカク	OFF、1 ~ 168 h	リフレッシュ動作間隔を時間で設定します。
	チューブセン ジョウ (P. 4-37)	センジョウカ ンカク	OFF、1 ~ 168 h	ポンプチューブ洗浄の動作間隔を時間で設定をします。
	クリーニング (P. 4-39)	クリーニング カンカク	OFF、1 ~ 168 h	クリーニングの動作間隔を時間で設定をします。
		クリーニング タイプ	ノーマル、ソフト、ハード	クリーニングのタイプを設定します。
Sub-INK ワーニング (P. 4-57) 【昇華転写インクをご使用の場合のみ】			OFF、12 ~ 120 h	本機放置による色材沈降で生じる色味変化予防のためのお手入れを行う間隔を設定します。
ワイパーレベル (P. 4-41)			10/10 ~ 1/10	ワイパーは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパーではクリーニング効果が得られません。環境により、ワイパー交換時期の警告を標準より早期に促します。(10/10 = 初期値)
ヘッドセンタク (P. 5-10)			[1234] [123-], [-234] [12--], [-23-], [--34] [1---], [-2--], [--3-], [---4]	作図に使用するヘッドを選択します。選択は左表の組み合わせになります。
メディアザンリョウ (P. 6-15)			ON、OFF	メディア残量表示機能の ON/OFF の設定を行います。メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。
マシンイドウジュンピ (P. 6-16)				本装置を輸送する際に、ステーションを固定する機能です。

マシン セッテイ機能

機能名称	サブ機能		設定値	機能概要
クリダシ & マキトリ (P. 6-19)	クリダシ		ON, OFF	重量メディア繰出装置 & 巻取装置それぞれについて、使用するか使用しないかを設定します。
	マキトリ		ON, OFF	
カンソウフィード (P. 6-19)			ON, OFF	作図後のフィード動作を切り替えます。
カクニンフィード (P. 6-19)	ON	メディア モドシ フィード	ON, OFF	テストサクズ後、作図結果を確認するためのフィードを行うか設定します。
	OFF			
プリフィードハウシキ (P. 6-20) 【専用昇華転写インクをご使用の場合のみ】	FORE (**mm) 【FUNCTION】キーを押すことによって、さらに右の項目を設定できます	フィード長さ	10mm ~ 1000mm	プリフィードの動作を切り替えます。
	FORE&BACK			
ヒーターセッテイ (P. 6-20)			ヒョウジュン、セッテイ -5℃、セッテイ -10℃、セッテイ -15℃、セッテイ -20℃	アフターヒーターの温度到達判定範囲を変更します。
カットセッテイ (P. 6-20)	カットキーワリアテ		ON, OFF	[▶] キーをメディアカットのダイレクトカットキーに割り当てます。
	メディアオートシドウサ		ON, OFF	メディアカット後の、メディアを落とす動作を切り替えます。
ジコクセッテイ (P. 6-21)				装置の日付、時刻を設定します。
タンイセッテイ (P. 6-21)	オンド		温度の単位 : °C or °F	装置で使用する、温度、長さ、面積についての表示単位を変更します。
	ナガサ		長さの単位 : mm or inch	
スタンプセッテイ (P. 6-22)			ON, OFF	作図終了後に、出力日時・作図条件を出力する設定を行います。
インクキョウキュウユウセン (P. 3-74)			ザンリョウ、ユウコウキゲン	ダブルカートリッジ自動切替機能で、優先して使用するカートリッジの状態を設定します。
テストサクズハイチ (P. 6-23)			FEED ホウコウ、SCAN ホウコウ	テスト作図を繰り返し実行するときの、作図されるテストパターンの配置方向を設定します。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

機能名称	サブ機能	設定値	機能概要
メディアケンシュツ (P. 6-23)	アツサケンシュツ	AUTO, MANUAL	メディア幅の検出前に行う厚さ検出の方法を設定します。
	FEED エラーケンシュツ	ON, OFF	ロールメディアを使用している場合に、メディアの終了検出を設定します。
マシンメイショウ (P. 6-23)		01 ~ 99	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時に、装置を認識させる為の名称を設定します。
カンキョウオンド (P. 3-70)		トウタツマタナイ、トウタツマツ	本機の設置場所の温度が使用可能温度から外れている状態で作図を開始しようとしたときの動作を設定します。
ジョウホウ	エラーリレキ (P. 6-24) 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です	現在までに発生したエラー履歴情報を [スベテ]、[エラーノミ]、[ワーニングノミ] から選択して表示します。 複数発生時は上下キーにより順次表示します。	[ジョウホウ] では、各種情報の表示を行います。 【INFORMATION】キーを押すことで、[ジョウホウ] 内の項目を個別に設定することができます。
	メンテナンスリレキ (P. 6-24) 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です	現在までに行ったメンテナンス機能の履歴を表示します。 複数の履歴がある場合は、上下キーにより順次表示します。	
	サクズモードリレキ (P. 6-24) 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です	現在までに行った、オンライン作図情報 (作図条件) の履歴を表示します。 複数の履歴がある場合は、上下キーにより、順次表示します。	
	リスト (P. 6-25) 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です		
	インククカンレポート (P. 6-25) 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です		
	バージョン (P. 6-25) 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です		
	シリアル & ディーラー No (P. 6-25) 【INFORMATION】キーにより、ダイレクト選択が可能です		

NCU 機能

機能名称	サブ機能	設定値	機能概要	
ノズルチェック (P. 6-27)		ON、OFF	ノズル抜け検出を行うか設定します。	
NG ドウサ [サクズ チュウ] (P. 6-27)	ケイゾク		ノズル抜けを検出して NG 判定した場合の、作図中の動作を設定します。	
	クリーニング & ケイゾク	クリーニングタイプ		ノーマル、ソフト、ハード
	クリーニング & テイシ	クリーニングタイプ		ノーマル、ソフト、ハード
		リトライカイスウ		0 ~ 3
テイシ				
NG ドウサ [サクズ シュウ リョウゴ] (P. 6-28)	ケイゾク		ノズル抜けを検出して NG 判定した場合の、1 ファイル作図終了後の動作を設定します。	
	クリーニング & ケイゾク	クリーニングタイプ		ノーマル、ソフト、ハード
	クリーニング & テイシ	クリーニングタイプ		ノーマル、ソフト、ハード
		リトライカイスウ		0 ~ 3
テイシ				
NG ハンテイ (P. 6-28)	ヌケノズル / ライン	1 ~ 180	ノズルチェック NG とする、1 列あたりのノズル抜けの数の基準を設定します。	
	ヌケノズル / スベテ	1 ~ 180	ノズルチェック NG とする、全体のノズル抜けの数の基準を設定します。	
ジョウタイ ヒョウジ (P. 6-28)			NCU の状態を表示します。 【FUNCTION】 キーを押すことで、NCU で起きているエラーや、NCU ⇄ メイン間で発生しているエラーを全て表示します。	

目次

1

2

3

4

5

6

索引

第3章 作図のしかた



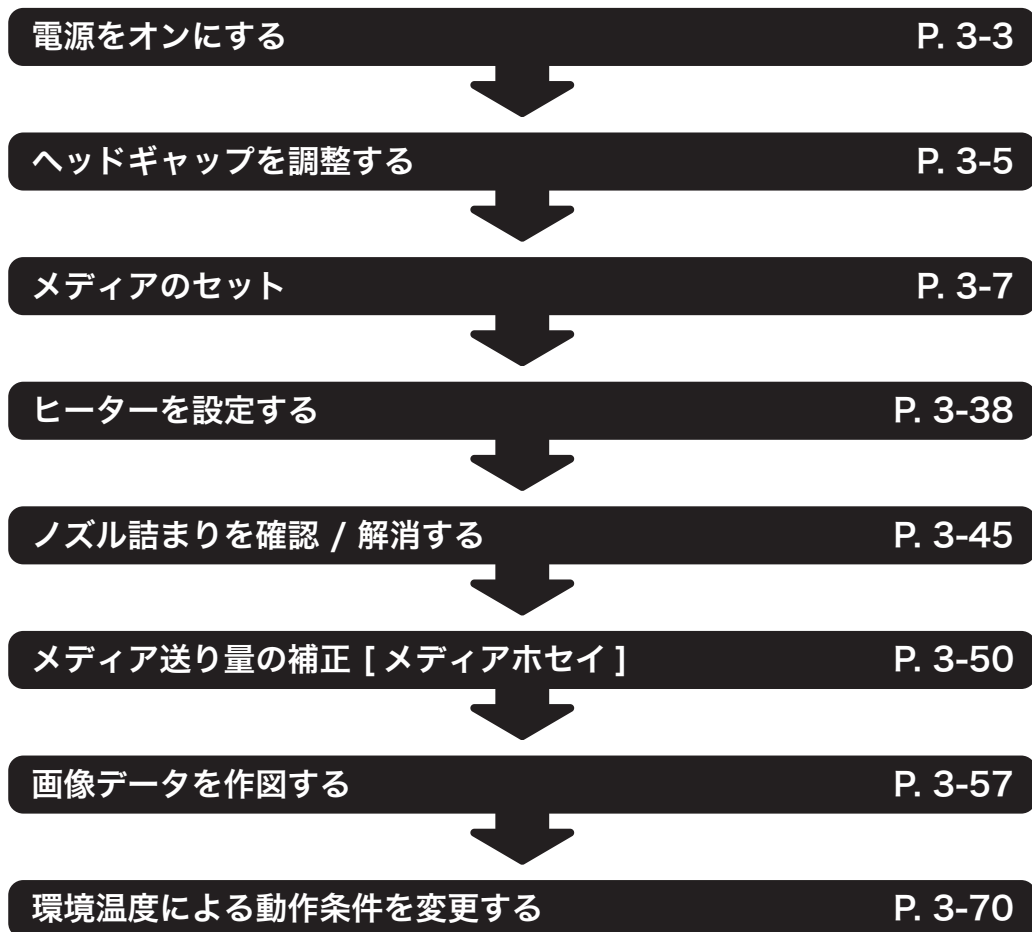
この章では ...

電源の ON から作図を終了するまでの一連の動作、設定について説明します。

作業の流れ	3-2
電源をオンにする	3-3
ヘッドギャップを調整する	3-5
メディアのセット	3-7
作図条件の選択と確認	3-37
ヒーターを設定する	3-38
ドットズレ補正用の基準値の設定 [PG チャクダンチョウセイ]	3-43
ノズル詰まりを確認 / 解消する	3-45
メディア送り量の補正 [メディアホセイ]	3-50
ドットの位置がずれたら [ドットイチホセイ]	3-52
作図範囲について	3-54
作図原点を設定する	3-55
画像データを作図する	3-57
[ニアエンド], [インクエンド] の表示	3-67
環境温度による動作条件を変更する	3-70
インクの有効期限を延長する	3-72
インク供給経路の切替設定	3-74
電源をオフにする	3-76

作業の流れ

電源のオンから作図が終了するまでの作業の流れです。
各項目の詳細説明は、参照ページをご覧ください。



電源をオンにする

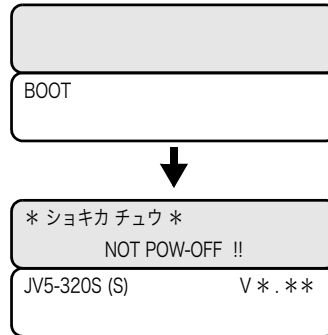
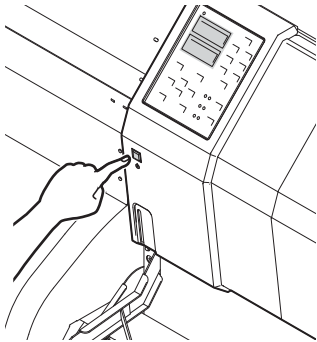
本装置の電源を入れます。

重要! ■フロントカバー、メンテナンスカバーが開いていることを確認してください。カバーが開いていると初期動作を行いません。

操作手順

1 本装置の電源を入れます。

本装置前面にある電源スイッチを1回押します。
電源をオンにすると [BOOT] を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。



2 [シバラク オマチクダサイ] の表示が点滅します。

初期動作を実行します。

シバラク オマチクダサイ

3 ローカルモードになります。

すでにメディアがセットされている場合は、メディア選択画面が表示されます。

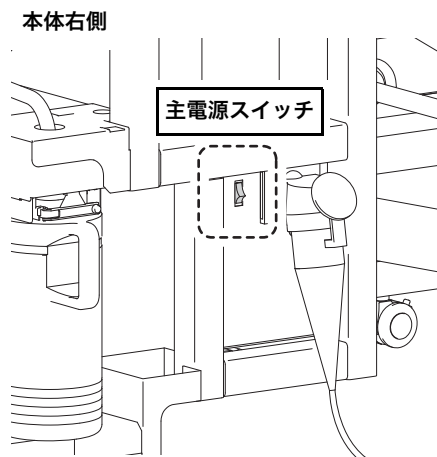
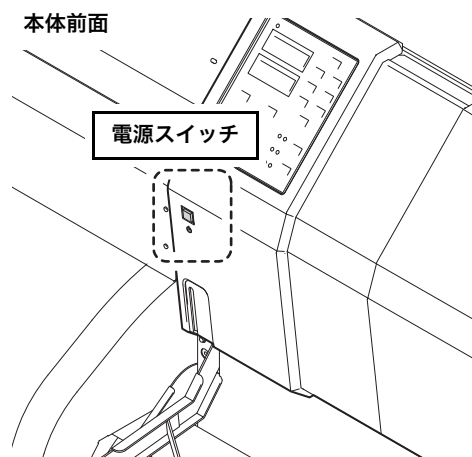
L * > [JV5-01]

4 以下の画面が表示されたことを確認し、接続してあるコンピュータの電源をオンにします。

メディア センタク
ロール < > リーフ

電源スイッチについて

本装置には、2つの電源スイッチがあります。



主電源スイッチ

本装置の側面にあります。通常はオンにしておきます。
主電源をオフにしたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難になる場合があります。

電源スイッチ

本装置の前面にあります。通常はこのスイッチを使用してください。
1回押すと本装置の電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。
電源スイッチがオフになっていても、定期的に電源がオンになりノズル詰まり防止機能が動作します。



- 電源スイッチがオフの状態、主電源スイッチをオンにした際、本装置の電源がオンになります。

ヘッドギャップを調整する

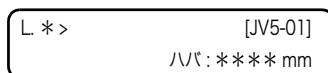
ヘッドギャップ(メディアからヘッドノズル面までの高さ)を設定します。
 作図、メンテナンス機能などでヘッドがプラテン上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッドギャップ位置に移動します。
 ヘッドギャップの上限は、メディア厚により変化します。
 設定値 : [1.5 mm ~ 7.0 mm] (0.1 mm単位 / Default : 1.5 mm)

重要! ■本機能ではヘッドギャップを設定するのみで、ヘッド上下移動は行いません。

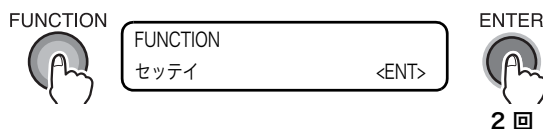
操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



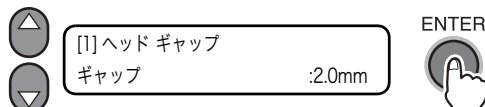
2 【FUNCTION】キーで【セッテイ】を選択し、【ENTER】キーを2回押します。



3 【▼】キーで【ヘッド ギャップ】を選択し、【ENTER】キーを押します。

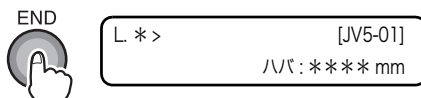


4 【▲】【▼】キーでヘッド ギャップを入力し、【ENTER】キーを押します。



5 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



ヘッドギャップを確認する

ヘッドギャップは、次の操作で確認できます。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は、【REMOTE】キーを押します。

L * >	[JV5-01]
ハバ: **** mm	

2 【ENTER】キーを2回押します。

現在のヘッドの状態を表示します。



メディア ハバ	1000mm
ヘッド ギャップ	2.0mm
メディア アツサ	0.3mm

3 【END】キーを押します。

ローカルモードに戻ります。

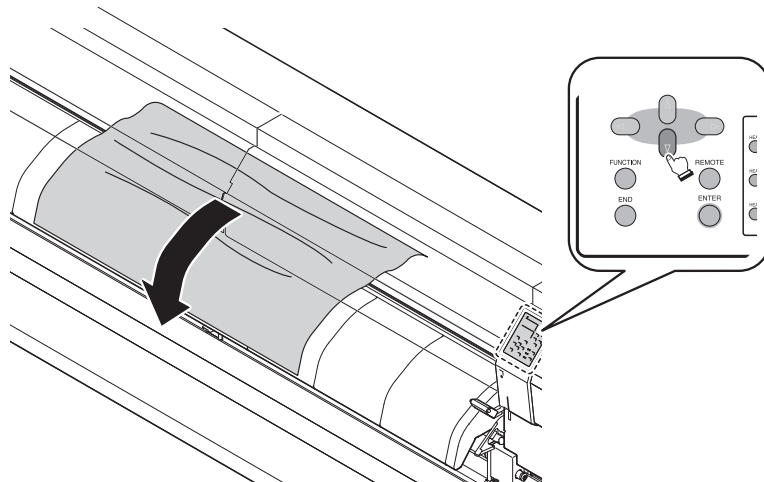
L * >	[JV5-01]
ハバ: **** mm	

メディアのセット

本装置では、ロールメディアとリーフメディアが使用できます。メディアは、弊社推奨のメディアをお使いください。(使用可能メディア (1-16 ページ) 参照)

重要!

- 次の場合、本装置前面と背面のテンションバーは、必ずロック位置に固定しておいてください。
 - ・ クランプレバーを上げるとき
 - ・ ジョグキーを使って手でメディアをカットするとき
 - ・ お使いの工具 (カッター、はさみ等) でメディアをカットするとき
 テンションバーをそのままにすると、メディアに支えられたテンションバーが落下し、危険です。十分ご注意ください。
- 透明なメディアをセットすると、ディスプレイに [ERROR 50 メディアケンシュツ] のメッセージを表示し、メディアを検出できない場合があります。
- メディアに直射日光が当たっていると、正しくメディア幅を検出できない場合があります。
- 作図済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディア検出できない場合があります。
- カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように、巻きくせをなおしてからご使用ください。
- メディアをセットしたまま放置すると、プリントヒーターの熱でメディアに凹凸が発生します。この状態で作図すると、ヘッドがメディアをこする原因になります。
メディアに凹凸が発生したら、凹凸部分に作図しないよう【▽】キーでメディアをフィードして、原点を設定し直してください。



- メディアは、本体中央を基準にセットしてください。
本装置は右端を基準にセットしても作図できますが、お使いのメディアによっては、スキュー (メディアが斜めに搬送される) やプラテンへのメディアの貼り付きなどが発生しやすいものもあるため、中央を基準にセットすることにより、安定した搬送ができます。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

重量ロールメディア（幅 2.0m 以上）のセット



■重量メディア繰出／巻取装置（テンションバー付き）をご使用ください。

重量ロールメディアは、次のような流れでセットします。

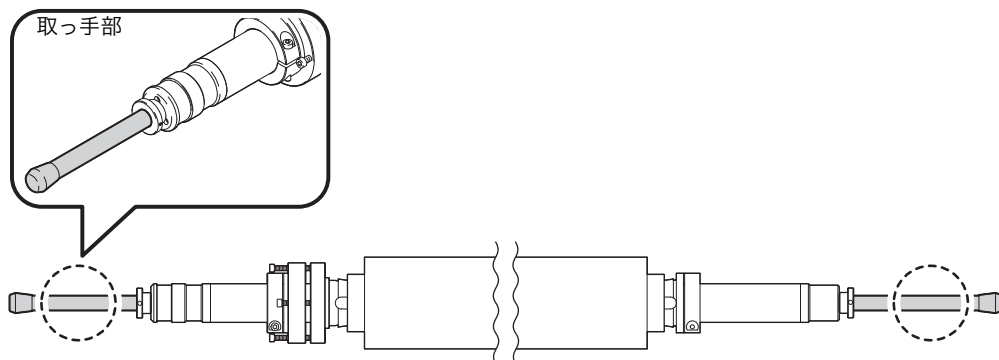
流れ	操作の概要
【1】	巻取側（本装置前面）へメディアの紙管をセットする（3-9 参照） 本装置前面の重量メディア巻取装置に、メディアの紙管をセットします。
【2】	繰出側（本装置背面）へメディアをセットする（3-12 参照） 本装置背面の重量メディア繰出装置にメディアをセットします。
【3】	メディアを調整する（3-16 参照） メディアを調整して、作図できる状態にします。

【1】巻取側（本装置前面）へメディアの紙管をセットする

本装置前面の重量メディア巻取装置に、重量ロールメディアの紙管をセットします。



■ロールシャフトはメディアの重量も含めると、とても重くなるため、取り扱いには十分ご注意ください。また、事故やケガ等を防ぐため、ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。

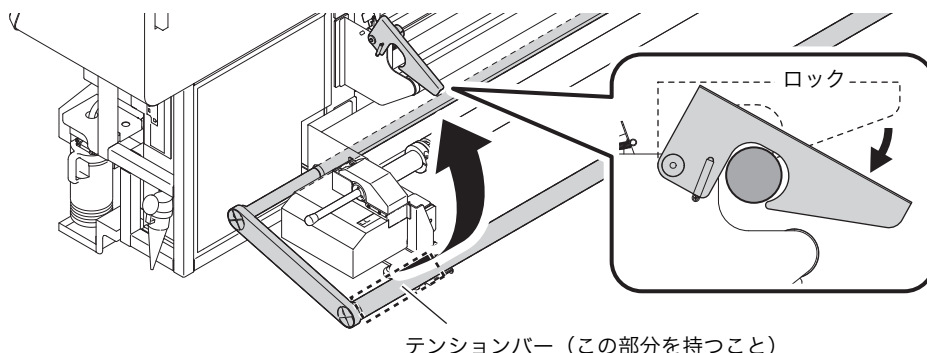


操作手順

- 1 本装置の前面と背面のテンションバーを持ち上げ、ロック位置で固定します。
ロックは、前面右側と背面左側にあります。図は、背面の場合です。



■テンションバーはロック位置よりも外側の部分を持って操作してください。ほかの箇所を持つと、手を挟む可能性があり、危険です。



テンションバー（この部分を持つこと）

目次

1

2

3

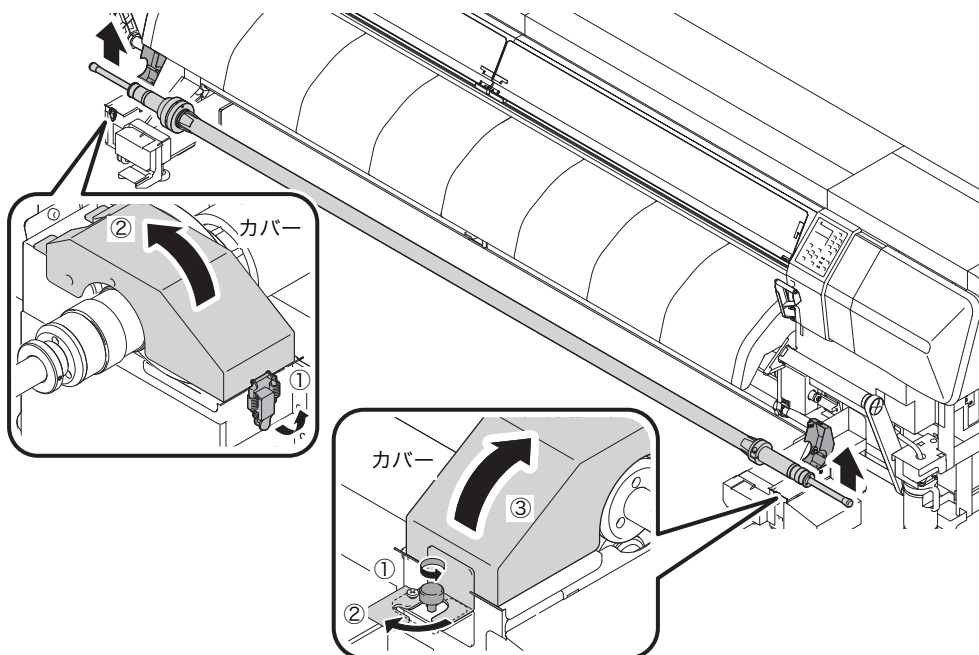
4

5

6

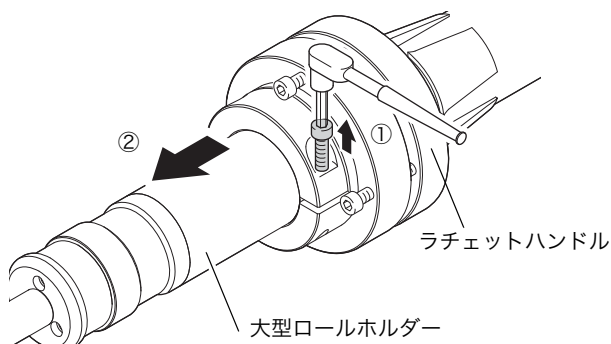
索引

- 2 前面の重量メディア巻取装置の左右のカバーを開け、ロールシャフトを取り外します。



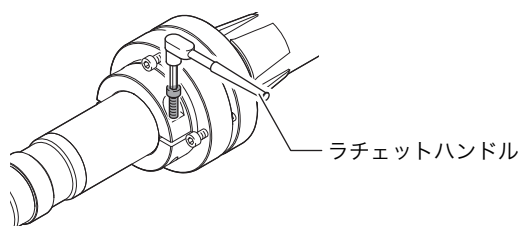
- 3 左右の大型ロールホルダーを外します。

- ① 付属のラチェットハンドルでネジ (左右1本ずつ) をゆるめます。
- ② 大型ロールホルダーを取り外します。

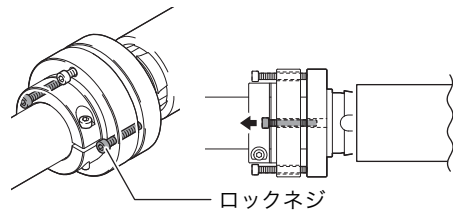


- 4 ロールシャフトを空の紙管に通し、紙管に大型ロールホルダーを取り付けます。

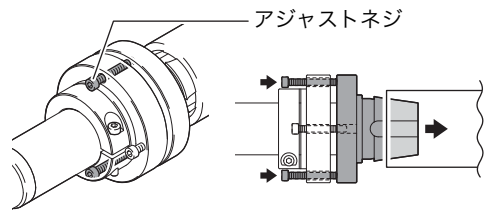
- ① 紙管がロールシャフトの中央に来るよう位置を調整します。
- ② 左右の大型ロールホルダーを紙管に押し込み、付属のラチェットハンドルでネジを締め、固定します。



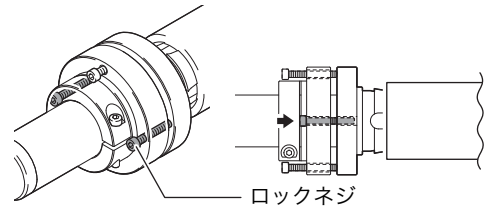
- ③アジャスターがある側の大型ロールホルダーのロックネジ(2ヶ所)をゆるめます。



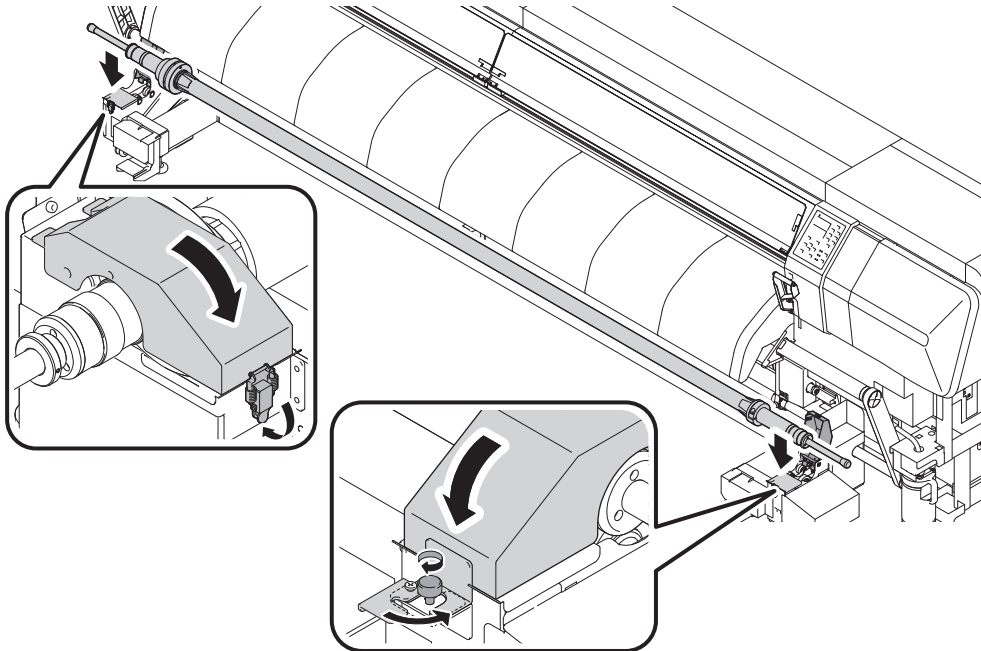
- ④アジャストネジ(2ヶ所)を、紙管と大型ロールホルダーが空回りしない程度まで締めます。



- ⑤ロックネジ(2ヶ所)を締めて固定します。



- 5 紙管をセットしたロールシャフトを重量メディア巻取装置にセットし、左右にあるカバーを閉めます。



次に、メディアの繰出側へメディアをセットします。次ページに進んでください。

【2】繰出側（本装置背面）へメディアをセットする

本装置背面の重量メディア繰出装置に、重量ロールメディアをセットします。



- ロールメディアは重いため、2人以上でセットしてください。その際、メディアを足などに落とさないよう注意してください。また、腰を痛める可能性がありますので、注意してください。
- クランプレバーの操作は、慎重に行ってください。テンションバーを上げたときにレバーを上げると大変危険です。必ずテンションバーをロック位置に固定してから、レバーを操作してください。

操作手順

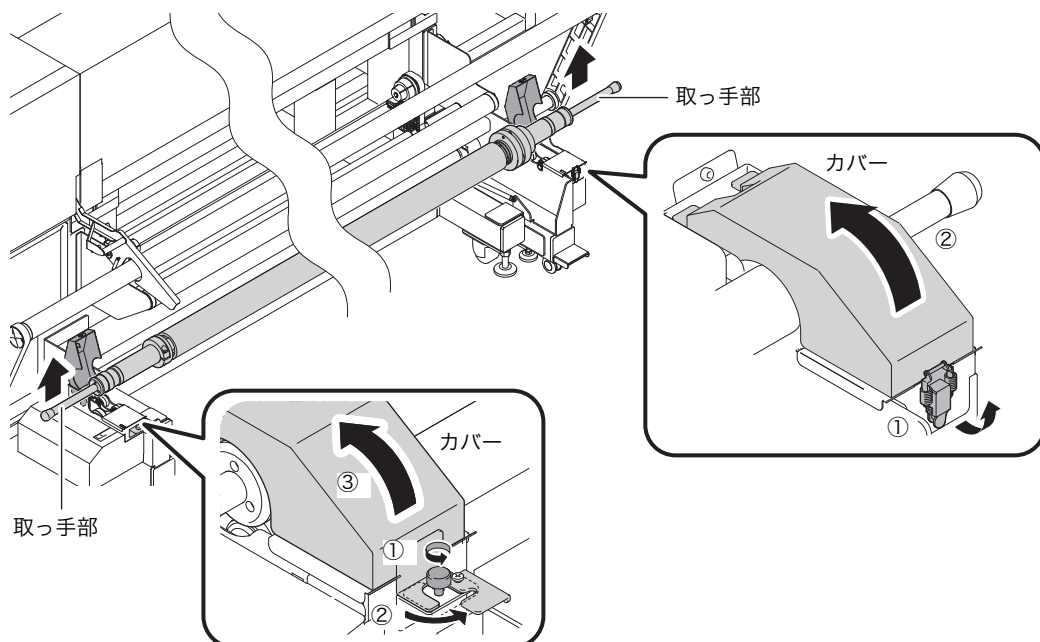
- 1 背面にある、重量メディア繰出装置の左右のカバーを開け、メディアをセットするためのロールシャフトを取り外します。



- ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。他の部分を持つと、指が挟まれる恐れがあります。また、腰を痛める可能性がありますので、注意してください。

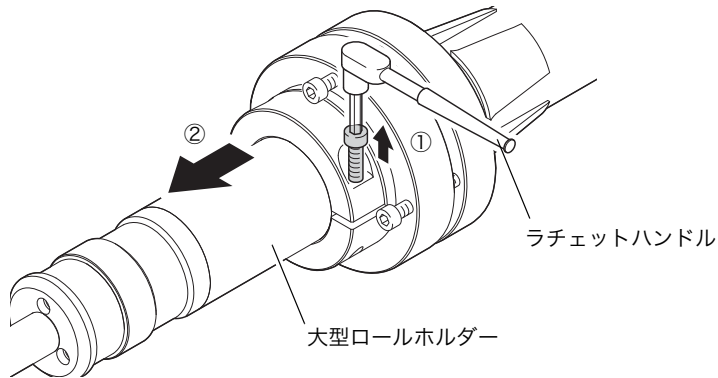


- ロールシャフトを本装置から取り外して紙管やメディアをセットするときは、ホコリ等の付着を防ぐため、台やシートの上などで作業してください。紙管やメディアにホコリ等が付くと、作図の不具合の原因になります。



2 左右の大型ロールホルダーを外します。

- ① 付属のラチェットハンドルでネジ（左右1本ずつ）をゆるめます。
- ② 大型ロールホルダーを取り外します。

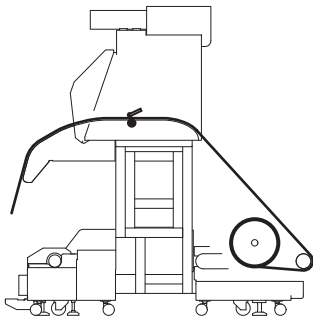


3 ロールシャフトをメディアの紙管に通します。

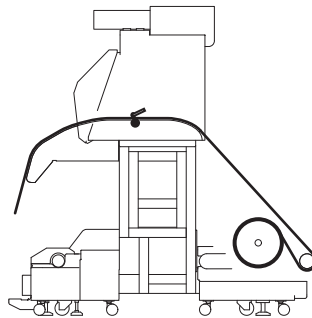


- 重量メディアは、表と裏のどちらに作図するかにより、ロールシャフトへのセットの方向が変わります。

表面印刷の場合（外巻きにセット）



裏面印刷の場合（内巻きにセット）



4 メディアに大型ロールホルダーを取り付けます。

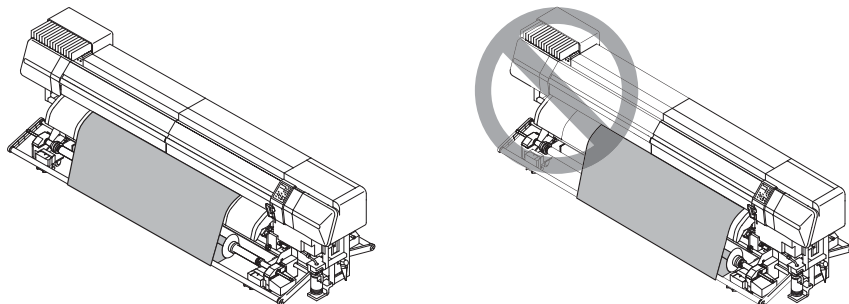
- ①紙管がロールシャフトの中央に来るよう位置を調整します。
メディアセットラベル (2-3 参照) の目盛りと紙管の中央位置を合わせてください。



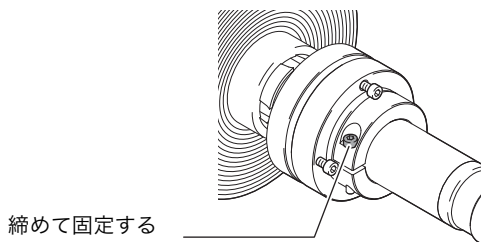
■メディアは、本プリンタの中央を基準にセットしてください。

○：メディアを中央にセット

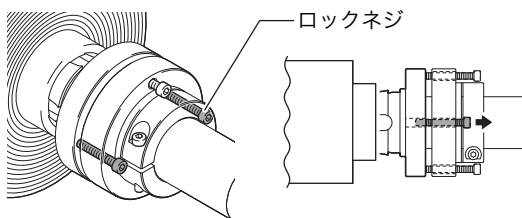
×：メディアを右寄せでセット



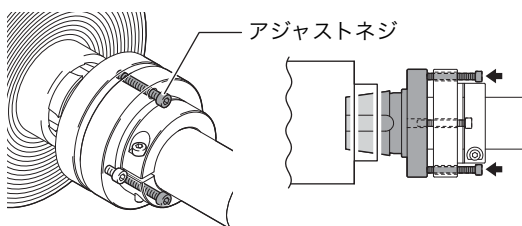
- ②左右の大型ロールホルダーをメディアに押し込み、付属のラチェットハンドルでネジを締め、固定します。



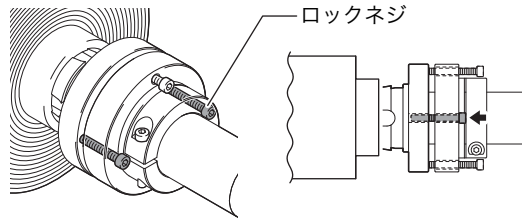
- ③アジャスターがある側の大型ロールホルダーのロックネジ (2ヶ所) をゆるめます。



- ④アジャストネジ (2ヶ所) を、メディアと大型ロールホルダーが空回りしない程度まで締めます。

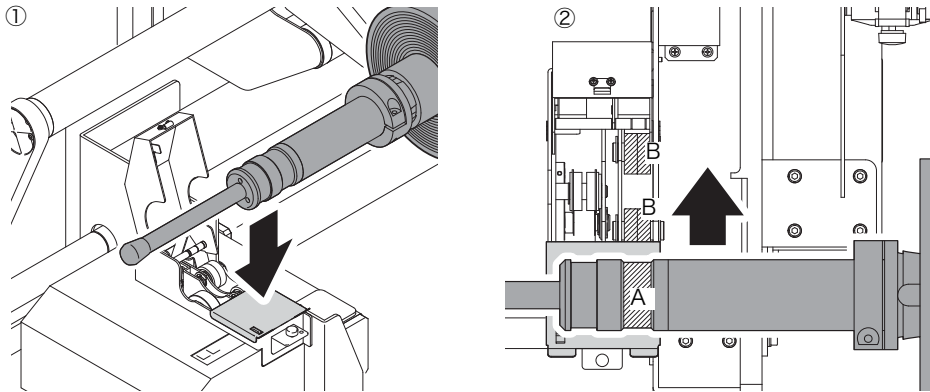


⑤ロックネジ (2ヶ所) を締めて固定します。



5 ロールシャフトを重量メディア繰出装置にセットします。

- ①ロールシャフトを仮置き台 (平らな部分) に置きます。
- ②そのまま本装置側へスライドさせて、重量メディア繰出装置にセットします。
シャフトの斜線部 A を本装置の斜線部 B のベアリングに合わせます。



次に、メディアを調整します。次ページに進んでください。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

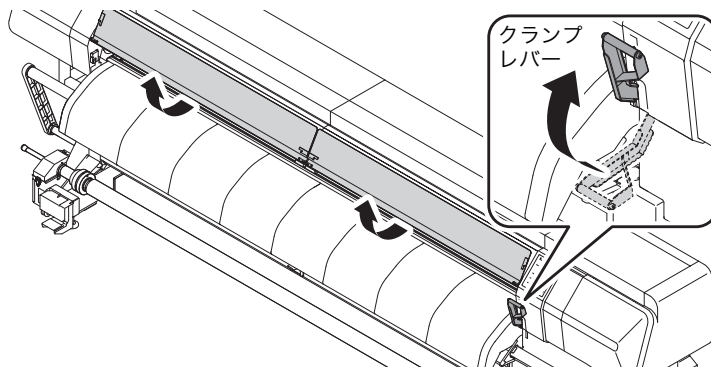
【3】メディアを調整する

メディアを調整して、作図できる状態にします。

操作手順

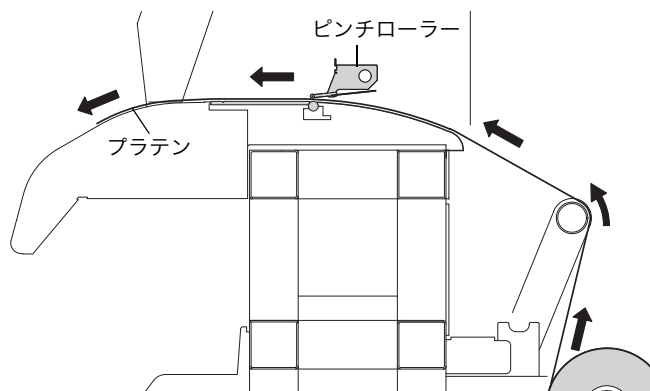
1 フロントカバーを開けます。

前面のクランプレバーが下がっている場合は、レバーを上げます。



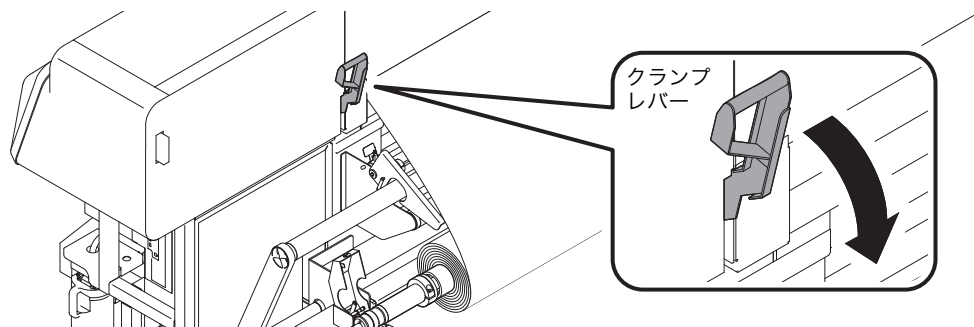
2 メディアを前面に出します。

ロールメディアをプラテンとピンチローラーの間に差し込み、前面まで出します。



3 背面のクランプレバーを下げます。

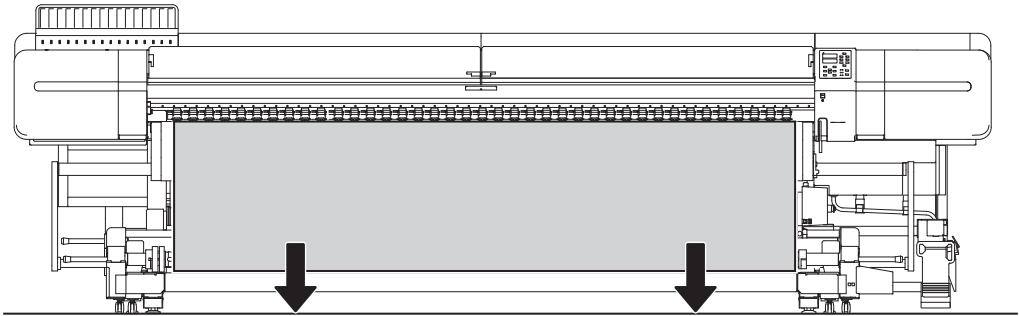
本装置前面のクランプレバーも下がり、メディアが仮セットされます。



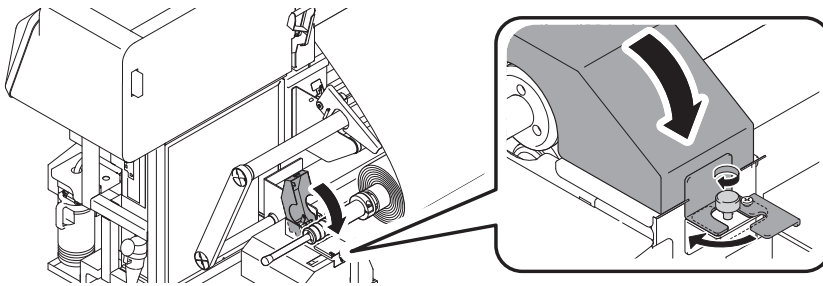
4 前面のクランプレバーを上げます。

5 前面からメディアを出します。

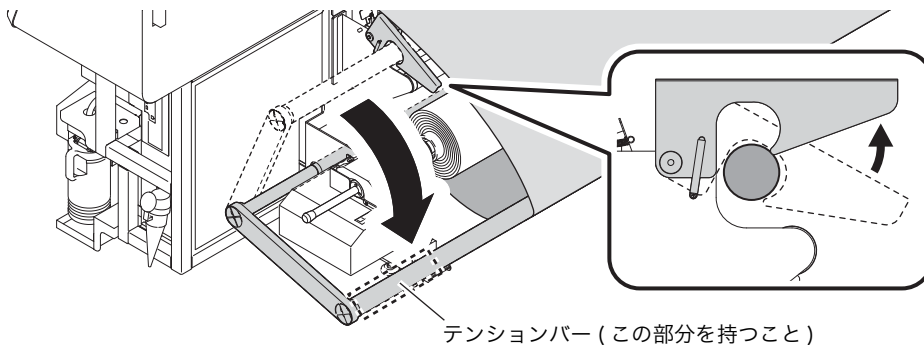
2人でメディアの両端を持ち、本装置前面から、メディアの先端が床よりも50cmくらい長く出るように引き出します。(メディアをまっすぐセットするため、ここではメディアを長めに引き出す必要があります)



6 背面にセットしたロールシャフトの左右にあるカバーを閉めます。



7 背面のテンションバーをストップまでゆっくり下ろし、メディアを張ります。



8 背面のクランプレバーを下げます。

目次

1

2

3

4

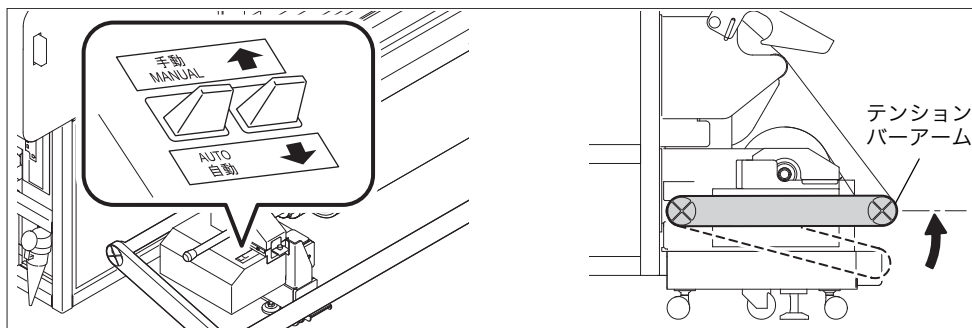
5

6

索引

9 背面の左にある重量メディア繰出装置のスイッチを操作しながら、テンションバーが床に対してほぼ平行になる位置まで調整します。

- ① ↑↓のスイッチをメディアの巻き取り方向にセットして、左のスイッチを「MANUAL」にします（メディアを巻き取りながら、テンションバーが上がります）。
このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑↓のスイッチを切り替えてください。
- ② テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、左のスイッチを「AUTO」にして、テンションバーを止めます。
- ③ ↑↓のスイッチは、メディアを繰り出す方向にセットします。

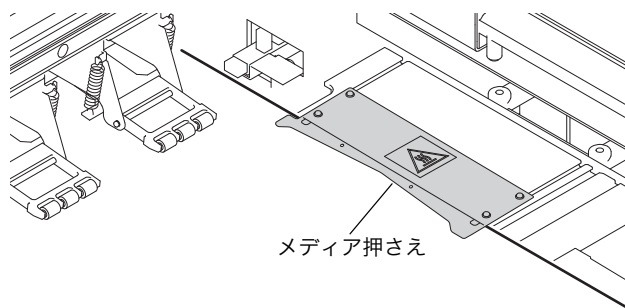


10 本装置前面にある、メディア浮き防止用のメディア押さえで、メディアの両端を軽くはさみます。

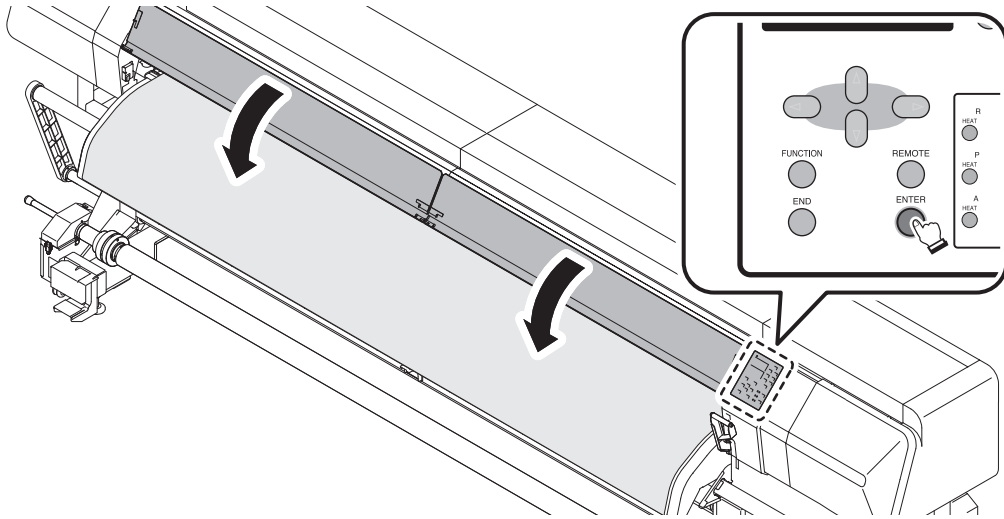
重要! ■メディア押さえは奥まで押し込まず、軽くはさむ程度にセットしてください。



■厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえを外して作図してください。



- 11 フロントカバーを閉じて、操作パネルの【ENTER】キーを押します。
初期動作を行い、パネルが待機状態の表示になります。



目次

1

2

3

4

5

6

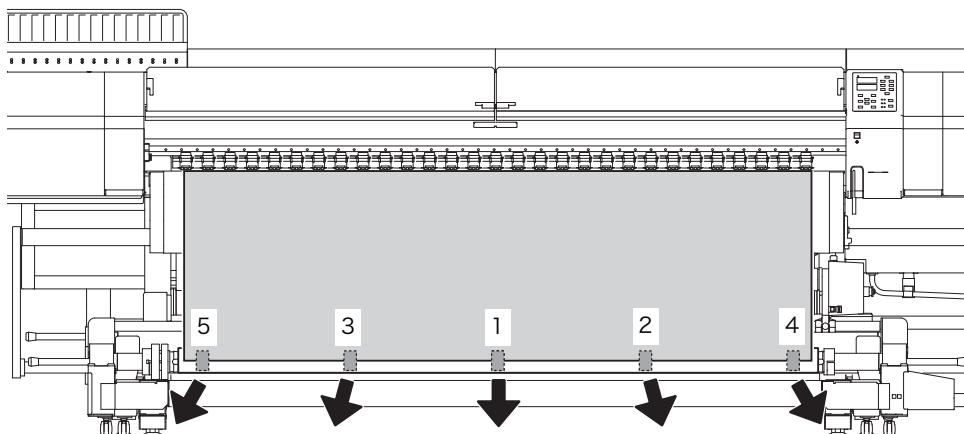
索引

12 メディアをフィードして、メディアの先端を紙管にテープで固定します。

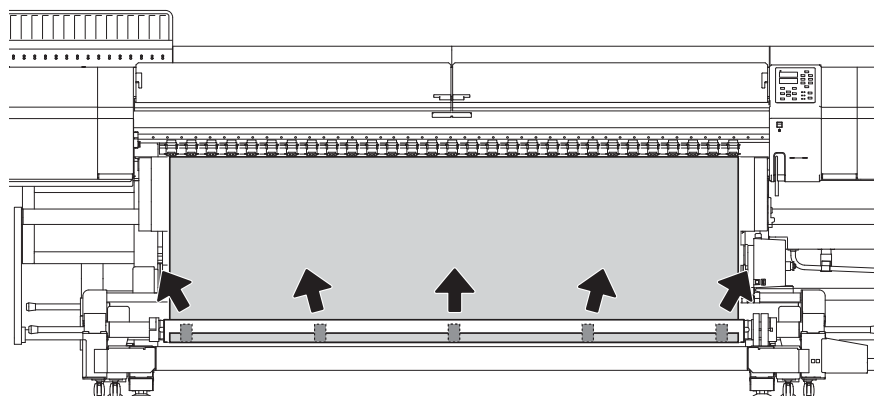
- ① ジョグキー【▲】【▼】を押して、重量メディア巻取装置の紙管の位置にメディアの先端が来るまでフィードします。
- ② メディアの先端を、紙管に粘着テープなどで固定します。メディアがしわにならないよう、メディアを引っ張りながら、図の番号の順に、複数箇所をテープで固定してください。



■メディアのたるみやシワは、作図中の画質に影響を与える場合があります。テープを貼るときに、図の矢印の方向へメディアを引っ張ってシワを伸ばし、張りを出すようにしてください。



■メディアは、内巻きまたは外巻きに巻き取ることができます。上の図は外巻きの場合ですが、内巻きの場合は下の図のようにテープを貼ってください。



13 ジョグキー【▲】【▼】を押してメディアをたるませます。

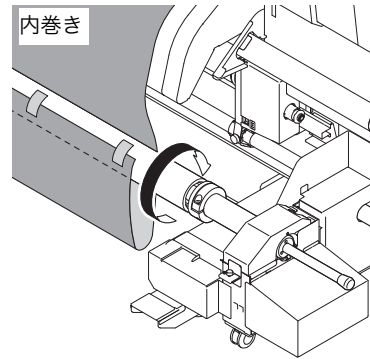
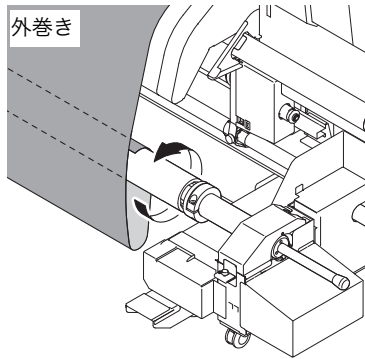
メディアが床に着くくらいまでたるませます。

14 重量メディア巻取装置のスイッチを使って、紙管にメディアを軽く1周ほど巻きつけます。

- ①左のスイッチを「MANUAL」、右の↑↓スイッチをメディアを巻き取る方向にして、メディアを巻きつけます。
- ②メディアが張る直前で、左のスイッチを「AUTO」にして巻きつけを止めます。



- メディアを巻きつけすぎると、巻取装置の左右のカバーが開き、操作パネルに「カバーオープン」のエラーが表示されます。
この場合は巻取装置の右のカバーを開けて、メディアの張りをゆるめるようにほぐします。



15 再度ジョグキー【▲】【▼】を押して、メディアをたるませます。

メディアが床に着くくらいまでたるませます。

16 前面のテンションバーをゆっくり下ろします。

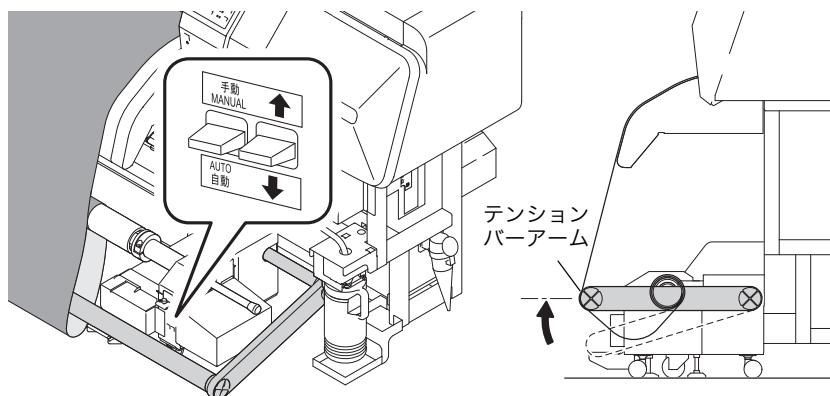
17 ジョグキー【▲】【▼】を押してテンションバーを上げ、たるんだメディアを張ります。

スイッチは「AUTO」にしておいてください。メディアを巻き取りながらテンションバーが上がリ、適切な位置で自動的に止まります。



■ ジョグキーを押してもテンションバーが上がらない場合は、スイッチを操作してたるんだメディアを張ります。

- ① ↑↓のスイッチをメディアの巻き取り方向にセットして、スイッチを「MANUAL」にします(テンションバーが上がります)。このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑↓のスイッチを切り替えてください。
- ② テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、スイッチを「AUTO」にして、テンションバーを止めます。
- ③ ↑↓のスイッチは、メディアを巻き取る方向にセットします。



■ 巻取装置とキャリッジの間のメディアには作図できません。

以上で、重量ロールメディアのセットは完了です。

ロールメディア（幅 2.0m 未満）のセット



■メディアを足などに落とさないように注意してください。

ロールメディアは、次のような流れでセットします。

流れ	操作の概要
【1】	背面のロールホルダーへメディアをセットする (3-24 参照) 本装置背面の繰出装置にメディアをセットし、前面からメディアを引き出して仮セットします。
【2】	前面のロールホルダーへメディアをセットする (3-27 参照) 本装置前面の巻取装置をセットし、メディアをセットします。

目次

1

2

3

4

5

6

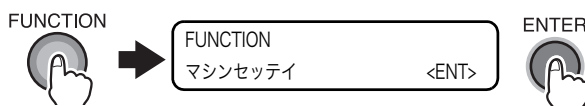
索引

【1】背面のロールホルダーへメディアをセットする

操作手順

1 操作パネルの設定をします。

- ① 【FUNCTION】 キーで【マシンセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。

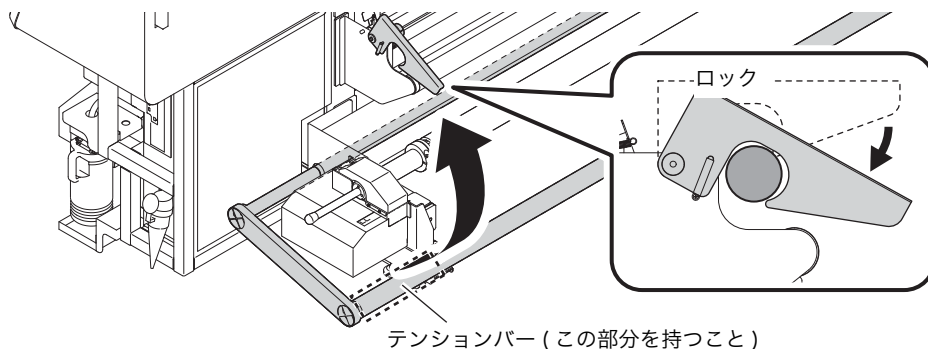


- ② 【▲】【▼】キーで【クリダシ & マクトリ】を選択し、それぞれを OFF に設定します。

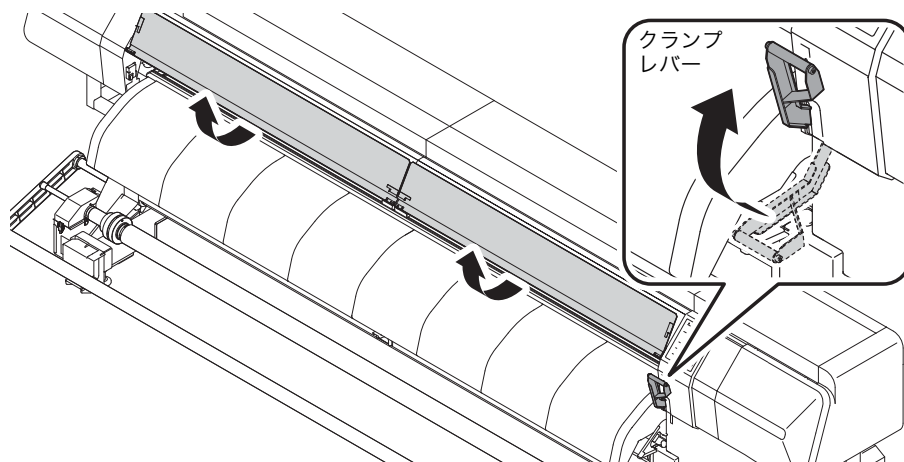


2 本装置の背面と前面のテンションバーを持ち上げ、ロック位置で固定します。

ロックは、前面右側と背面左側にあります。図は、背面の場合です。



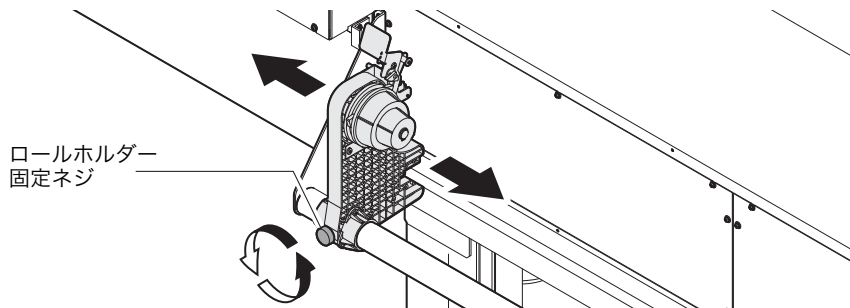
3 本装置前面のクランプレバーを上げ、フロントカバーを開けます。



4 本装置背面で、左側のロールホルダーの位置を決めます。

- ①左側のロールホルダー固定ネジをゆるめます。
- ②メディアの中央が本装置の中央に合うよう、本体背面のメディアセットラベルに合わせてロールホルダーの位置を決め、ネジを締めます。

ロールメディアの紙管の内径は、2インチと3インチの2種類の大きさがあります。

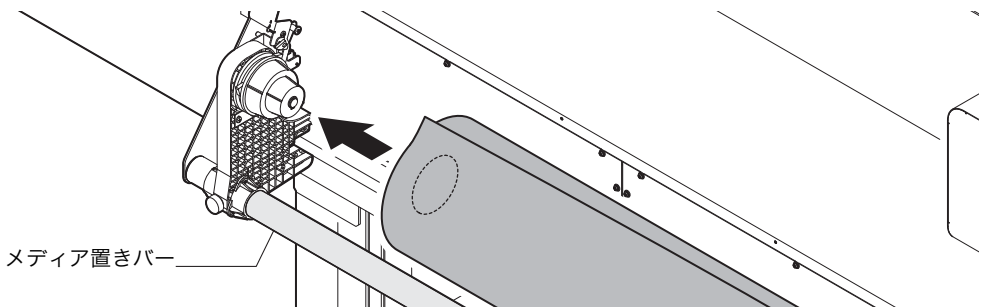


5 背面左側のロールホルダーにロールメディアを差し込みます。

ロールメディアの紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

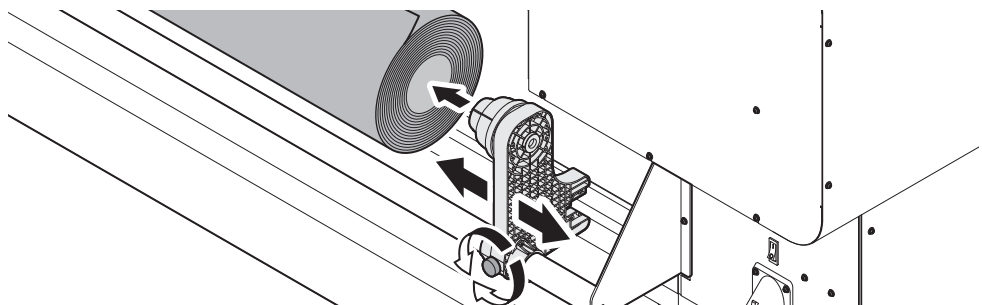


- ロールメディアをメディア置きバーの上に置きながらセットすると、メディアの扱いが容易になります。



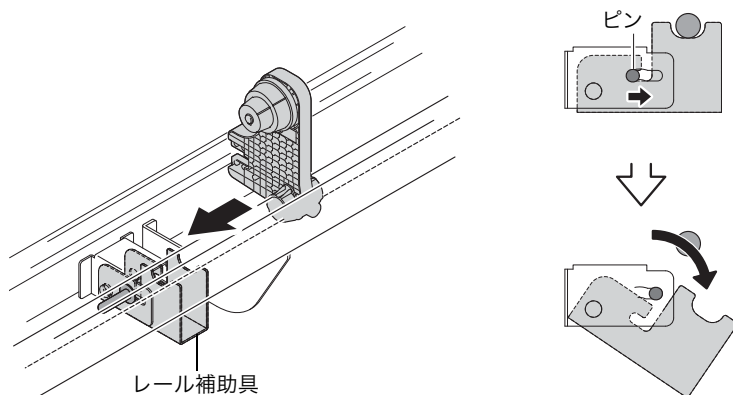
6 背面右側のロールホルダーの位置を調整します。

右側のロールホルダー固定ネジをゆるめ、紙管の奥までロールホルダーを差し込んだら、ロールホルダー固定ネジを締めます。

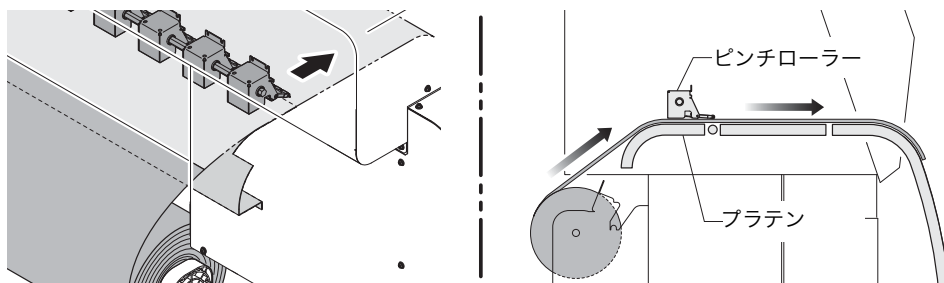




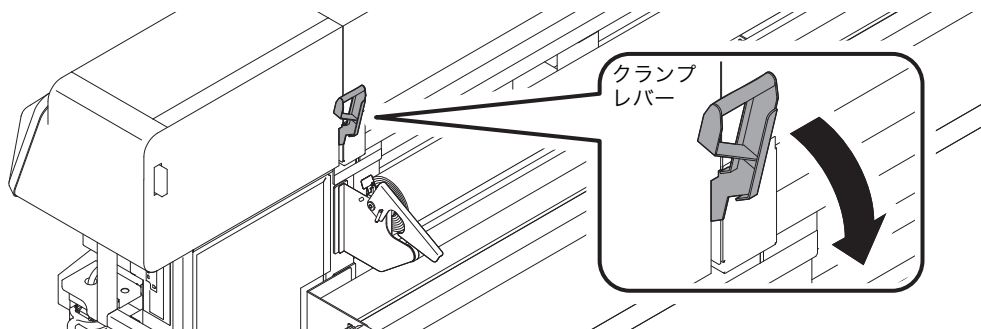
- 長いメディアをセットするとき、ロールホルダーのガイドレール中央にあるレール補助具が引っかかることがあります。
 その場合は、メディア置きバーを上げながら補助具の横のピンを外して下げ、レール補助具を外してから、ロールホルダーをスライドさせてください。その後、レール補助具は元の位置に戻してください。



- 7 ロールメディアを引き出し、プラテンとピンチローラーの間に差し込み、本装置前面まで引き出します。



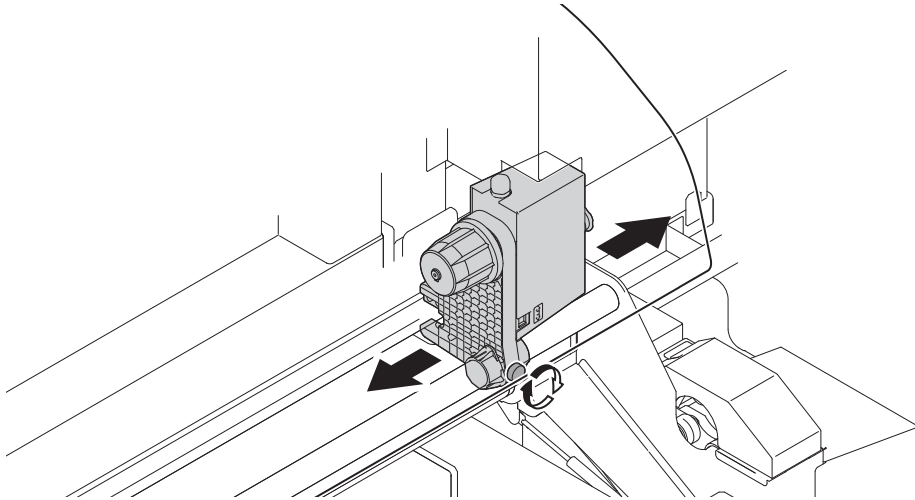
- 8 背面のクランプレバーを下げます。
 前面のクランプレバーも下がり、メディアが仮セットされます。



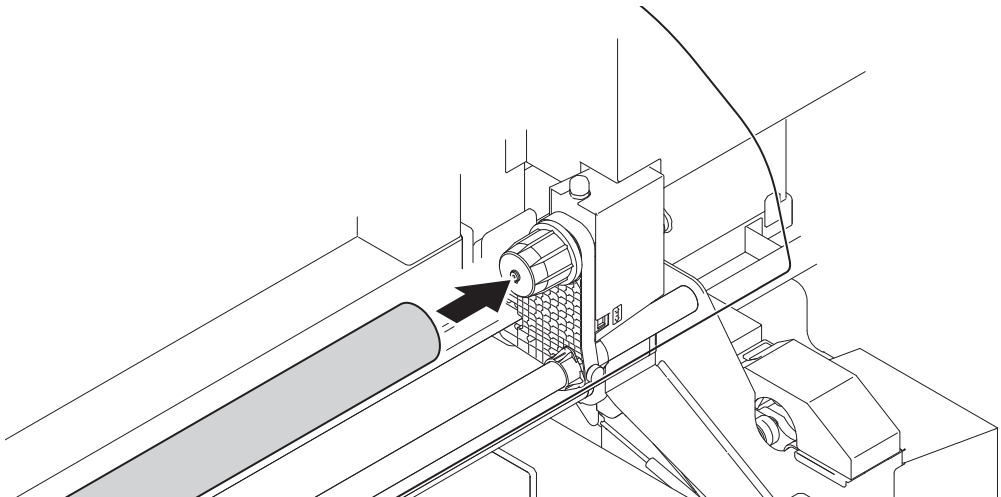
次に、メディアの巻取側を設定します。

【2】 前面のロールホルダーへメディアをセットする**操作手順****1 本装置前面で、右側のロールホルダーの位置を決めます。**

- ① 右側のロールホルダー固定ネジをゆるめます。
- ② 操出側からセットされたメディアの右端に合わせて、ロールホルダー固定ネジを締めます。

**2 前面右側のロールホルダーに紙管を差し込みます。**

紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。



目次

1

2

3

4

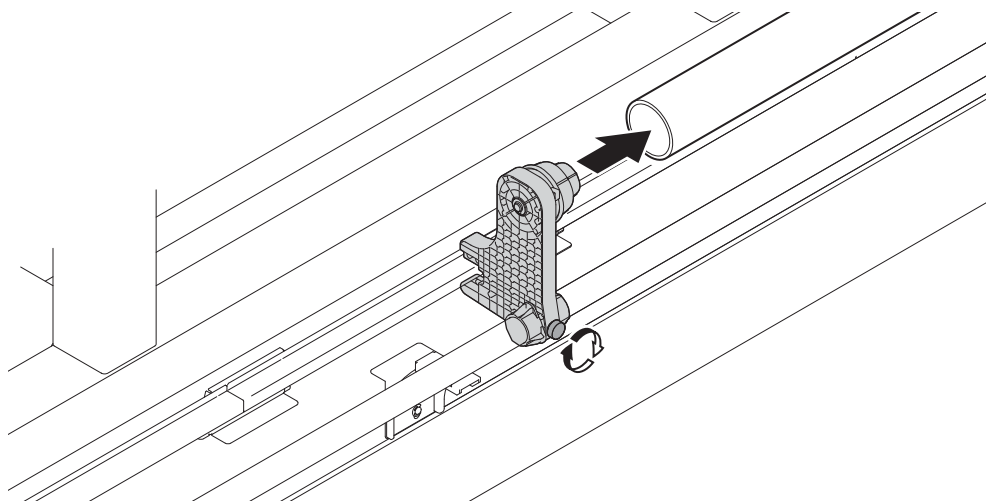
5

6

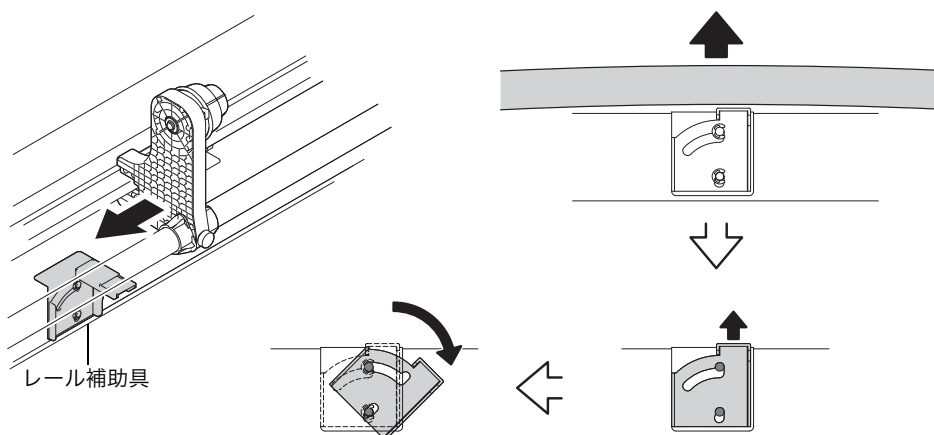
索引

3 前面左側のロールホルダーの位置を調整します。

左側のロールホルダー固定ネジをゆるめ、紙管の奥までロールホルダーを差し込んだら、ロールホルダー固定ネジを締めます。



- 長い紙管をセットするとき、ロールホルダーのガイドレール中央にあるレール補助具が引っかかることがあります。その場合は、補助具を少し持ち上げて右に回して外してから、ロールホルダーをスライドさせてください。その後、レール補助具は元の位置に戻してください。



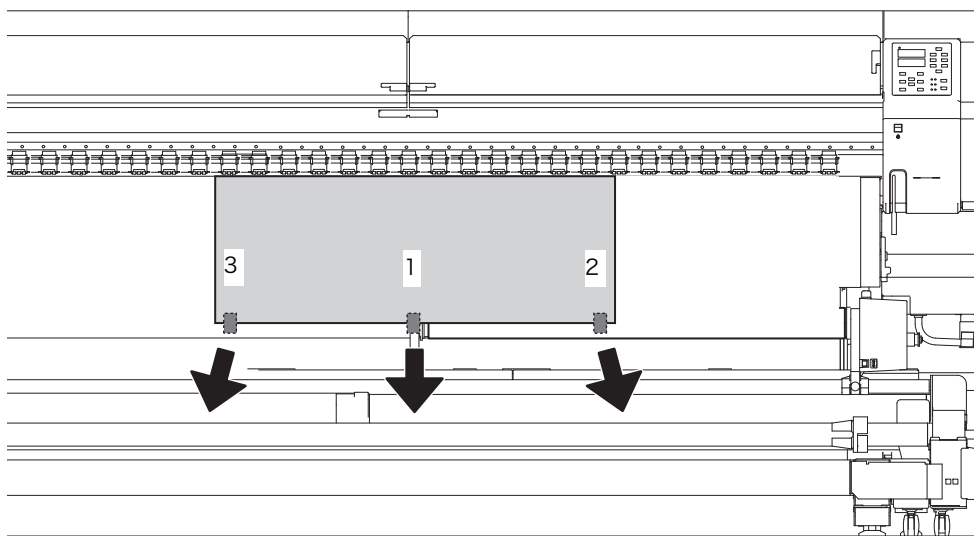
4 前面のクランプレバーを上げます。

5 前面からメディアを引き出し、メディアの先端をテープで固定します。

- ①メディアの中央を持ち、紙管の位置にメディアの先端が来るまで引き出します。
- ②メディアの先端を、紙管に粘着テープなどで固定します。メディアがしわにならないよう、メディアを引っ張りながら、図の番号の順に、複数箇所をテープで固定してください。



- メディアのたるみやシワは、作図中の画質に影響を与える場合があります。テープを貼るときは、図の矢印の方向へメディアを引っ張ってシワを伸ばし、張りを出すようにしてください。



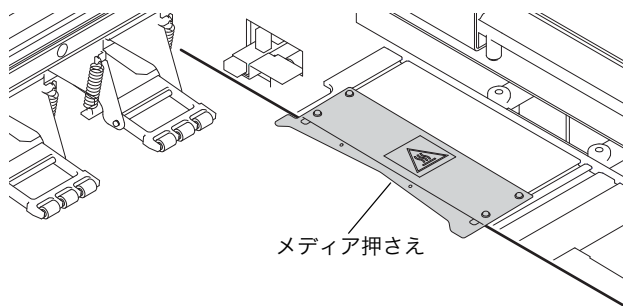
6 本装置前面のクラムプレバーを下げます。

- 7 メディア浮き防止用のメディア押さえで、メディアの両端を軽くはさみます。右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出ないようにセットしてください。

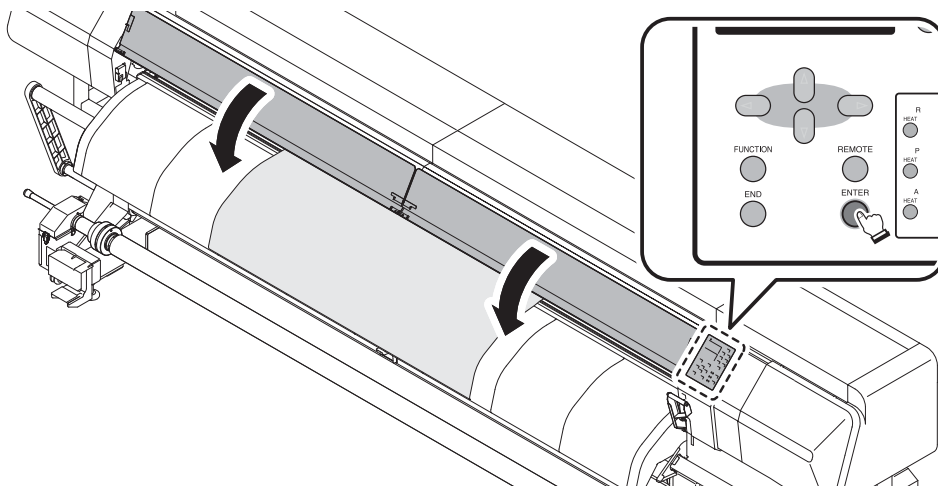
- 重要!** ■メディア押さえは奥まで押し込まず、軽くはさむ程度にセットしてください。



- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえを外して作図してください。



- 8 フロントカバーを閉じ、操作パネルの【ENTER】キーを押します。
操作パネルが待機状態の表示になります。



以上で、ロールメディアのセットは完了です。

メディア厚さ検出に失敗した場合

お使いのメディアによっては、厚さが正しく検出できない場合があります。その際は、マニュアルでメディアの厚さを入力する必要があります。

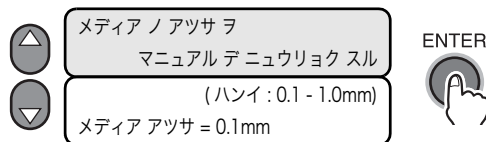
操作手順

- 1 エラーが表示され、キャリッジがステーションに戻ります。

***** ERROR 50 *****
メディアアツサケンシュツ

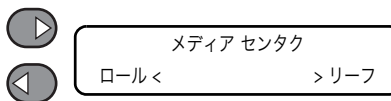
- 2 [▲] [▼] キーでメディアの厚さを入力し、[ENTER] キーを押します。

初期値 0.1 mm、入力範囲 0.1 mm ~ 1.0 mm まで



- 3 再度 [◀] キーを押し、ロールを選択します。(再度 [▶] キーを押し、リーフを選択します。)

キャリッジが動いて、メディア幅を検出します。
手順 2 で [END] キーを押した場合は、厚さ検出も行われます。



[マシンセッテイ] 機能の [メディアケンシュツセッテイ] を MANUAL にしていた場合

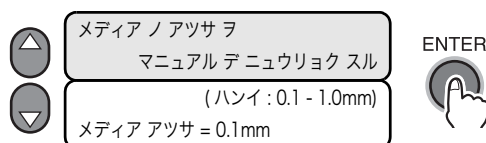
メディアの厚さ検出を常にマニュアルで入力します。
同じメディアを使用しても検出する厚みが異なる場合“MANUAL”に設定しておく
と便利です。

操作手順

- 1 [ロール] を選択します。

- 2 [▲] [▼] キーでメディアの厚さを入力し、[ENTER] キーを押します。

初期値 : 0.1mm 入力範囲 : 0.1 ~ 1.0mm まで

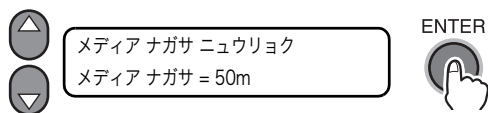


- 3 キャリッジが動いて、メディア幅を検出します。

[メンテナンス] 機能の [メディア ザンリョウ] を ON にしていた場合

操作手順

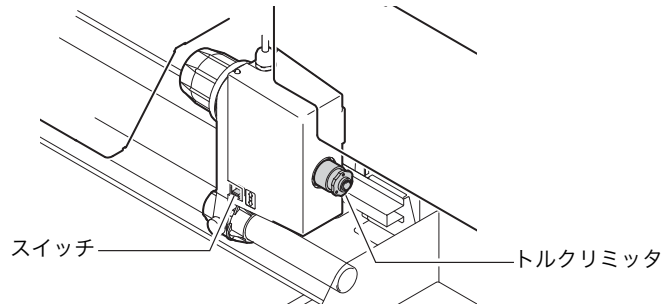
- 1 検出が完了し、キャリッジがステーションに戻ります。
- 2 [▲] [▼] キーでメディアの長さを入力し、[ENTER] キーを押します。



- 3 前回設定した値を変更しない場合は、[END] キーを押します。
初期値 50 m、入力範囲 1 m ~ 500 m まで (1 m 単位)
- 4 ローカルモードに戻ります。

巻取装置の使いかた

巻取装置には、メディアの巻き取り方向や巻き取りのオフを設定するスイッチがあります。



目次

1

2

3

4

5

6

索引

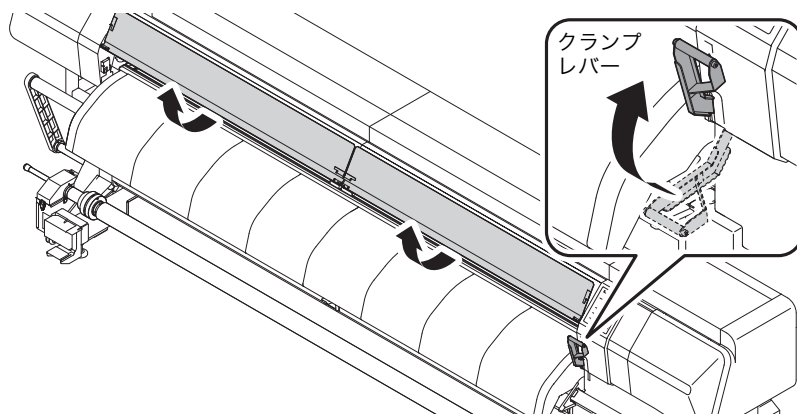
リーフメディアのセット

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

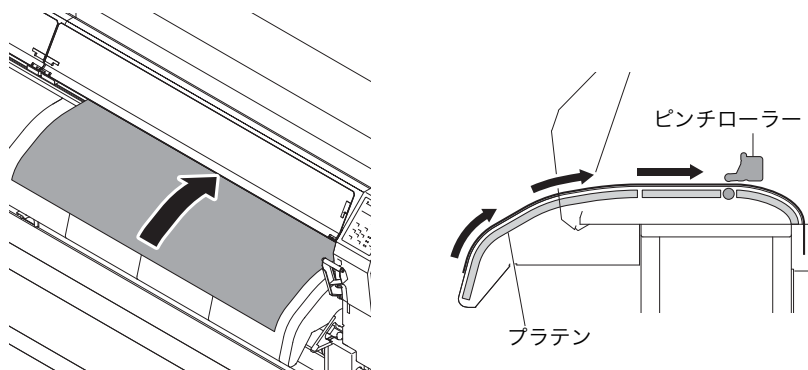
重要! ■リーフメディアが曲がらないように注意してセットしてください。

操作手順

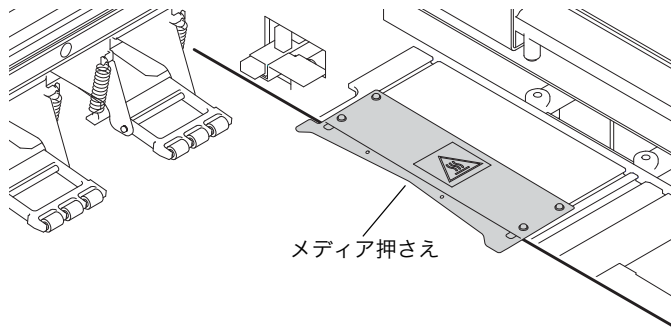
1 フロントカバーを開け、クランプレバーを上げます。



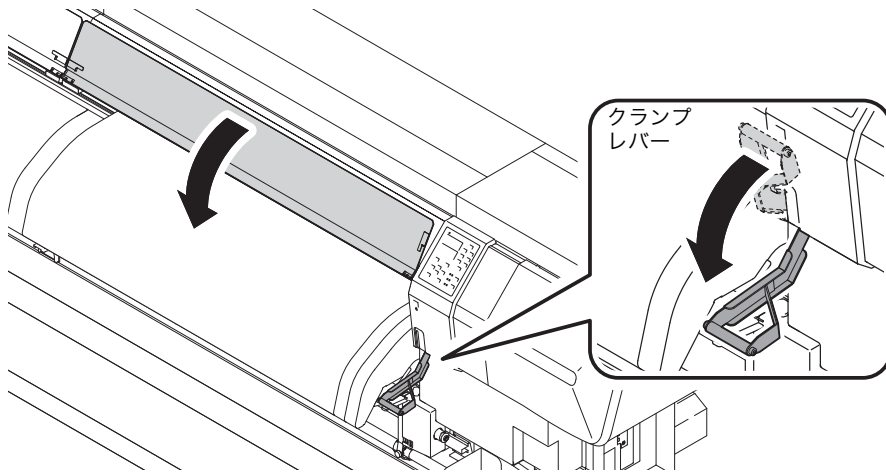
2 リーフメディアを、ピンチローラーとプラテンの間に差し込みます。



3 メディア押さえでメディアを軽く挟みます。

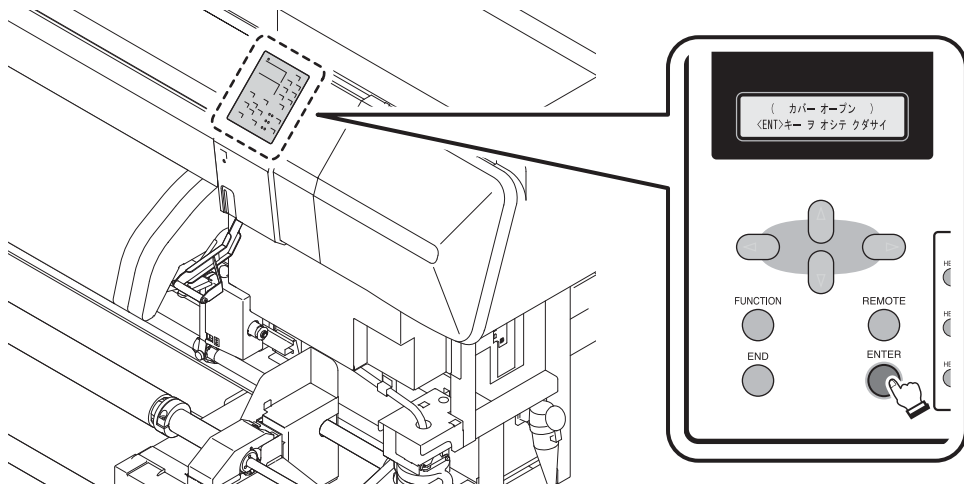


4 クランプレバーを下げ、フロントカバーを閉じます。



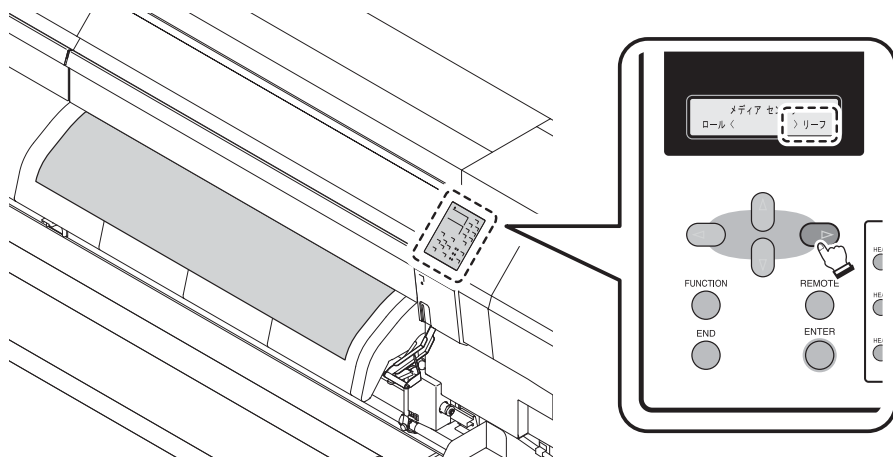
5 [ENTER] キーを押します。

初期動作を行い、メディア選択の画面を表示します。



6【▶】キーを押し、[リーフ]を選択します。

メディア検出後、ローカルモードに戻ります。(ローカルモード (2-22 ページ) 参照)



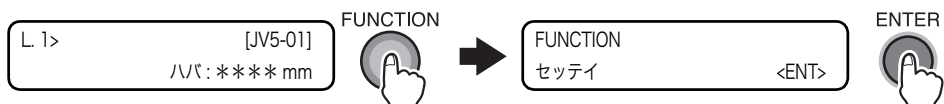
作図条件の選択と確認

すでにタイプ 1 から 4 の各作図条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、作図に合わせた設定を切り替えて使用できます。

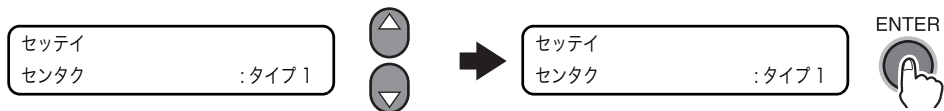
ユーザータイプを選択する

操作手順 (【FUNCTION】キーによる設定)

- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [セッテイ] を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 【▲】【▼】キーで、タイプ 1 から 4 を選び、【ENTER】キーを押します。



操作手順 (【USER TYPE】キーによる設定)

- ローカルモードになっていることを確認し、【USER TYPE】キーを押します。
【USER TYPE】キーを押す毎に、2 → 3 → 4 → 2... と変更できます。上下キーでも変更可能です。
【ENTER】キーで、ローカルモードに戻ります。



■タイプの後の () 内は、現タイプを表します。

ユーザータイプを確認する

現在、作図に使用しているユーザータイプは、ローカルモード時やリモートモード時に画面に表示される、[L.1], [R.1] としてご確認いただけます。

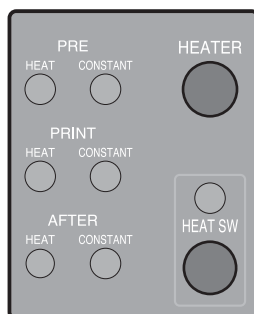


ヒーターを設定する

出荷時、ヒーターはすべて OFF に設定されています。
必要に応じて、ON にして温度設定をしてください。

ヒーターの電源を ON にする

操作パネルの【HEAT SW】キーを押し、ヒーターの電源を ON にします。
ヒーターの加熱中は、HEAT ランプが点灯します。(オレンジ色)
ヒーターの温度が設定した温度に達している場合は、CONSTANT ランプが緑色に点灯します。



設定温度の確認と作図中の温度設定

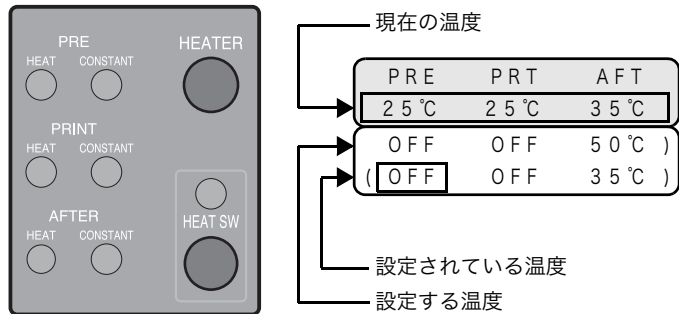
ここでは、あらかじめ FUNCTION モードで設定しておいた温度 (ヒーターの温度とスタンバイ時間を設定する (6-33 ページ) 参照) を調整する方法について説明します。

操作手順

1 ヒーターのスイッチがオンになっていることを確認します。

ヒーターの加熱中は、HEAT ランプが点灯します。

ヒーターの温度が設定した温度に達している場合は、CONSTANT ランプが点灯します。

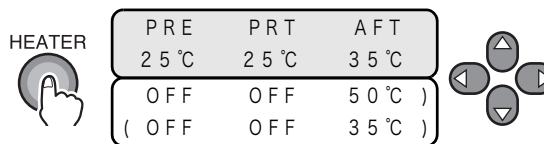


2 [HEATER] キーを押します。

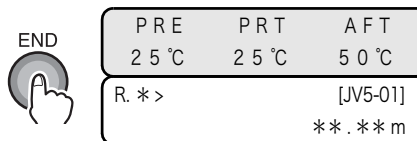
【◀】【▶】キーで、Pre / Print / After の各ヒーターを選択し、【▲】【▼】キーで、温度を設定します。

設定範囲は、OFF または、20 ~ 60 °Cの間です。(AFT は、20 ~ 70 °Cの間)

再度 [HEATER] キーを押すと、元の表示に戻り、30 秒間何もキーを押さない場合、ローカルモードまたはリモートモードになります。



3 [END] キーを押し、ローカルモードに戻ります。



ヒーターの温度が設定温度に到達していない場合は、以下の表示になります。

ヒーターが設定した温度に達すると、ブザーが鳴りプリヒーター / プリントヒーター / アフターヒーターの各 CONSTANT ランプが点灯し、リモートモードに変わります。



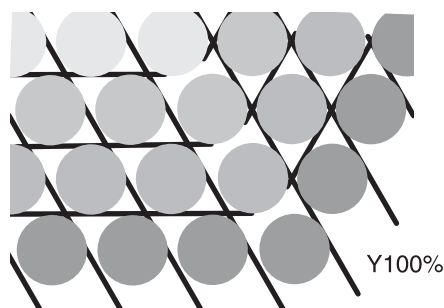
■設定した温度に到達する前に作図を開始する場合は、[ENTER] キーを押してください。リモートモードに変わります。

ビーディングとは

ビーディングとは、隣り合ったドットが引き合ってくっつくことです。ビーディングが発生するとブツブツ状のムラになったり、パスの間隔で帯状の横ムラ（バンディング）になったりします。

ビーディングの例

単色のマゼンタ 100 パーセント付近は、綺麗にプリントされています。単色の 70～100 パーセント付近はメディア送りムラの影響を非常に受けやすい部分です。この部分にムラが無いことから、メディアの送り補正は適正に調整されていることがわかります。

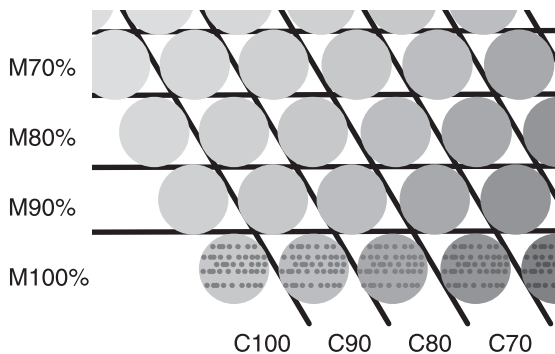


綺麗にプリントされた状態

ところが、M100% + C100% のブルー部分にはブツブツのムラと、バンディングが発生しています。これがビーディングによるバンディングです。ヒーターの温度が低かったり、メディアのインク受容量（インクリミット）が低いと、先に着弾したインク粒が定着する前に、次のインク粒が着弾し、ドットがくっついたり分布が均一でなくなり、ムラやバンディングが発生します。

ビーディングを防ぐには、ヒーターの温度を上げてメディアのインク受容量（インクリミット）を上げたり、インク量をメディアに合わせて調整したり、パス数を増やして少しずつインクを打ち込む、スキャンウェイトで時間をかせぐなどの対策をとる必要があります。

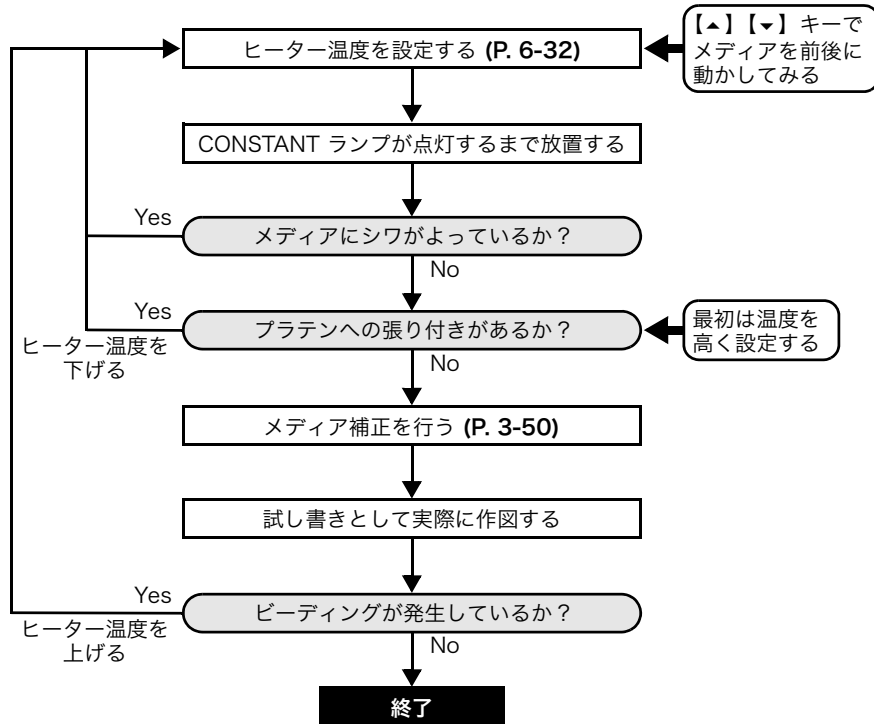
上記対策を行ってもビーディングが解消されない場合はメディアを変更してください。



バンディングが発生した状態

適温調整

ヒーター温度を調整する際の適温設定について説明します。
 ヒーターの温度はメディアの種類、環境温度などにより異なります。各メディアに適した温度に設定します。非コートメディアやインク乾燥の遅いメディアは、インクの定着性、乾燥性をアップさせます。
 以下の方法で、確認しながら適温に設定してください。



ヒーターに異常がある場合

ヒーターの電源スイッチがオフの場合、またはヒーターに異常が発生した場合は、下記の表示になります。

重要! ■エラーの対処方法は「第5章 困ったときは」の、「ワーニングエラー」をご覧ください。(ワーニングエラー (5-15 ページ) 参照)

ヒーターノデンゲンガ ハイッテイマセン	PRE PRT AFT ダッセン **℃ **℃	PRE PRT AFT サーミスタ **℃ **℃

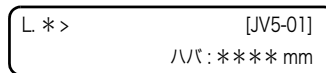
ドットズレ補正用の基準値の設定 [PG チャクダンチョウセイ]

作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正します。
 ヘッドギャップを変更した場合、ドット位置を自動的に調整するための基準値を設定します。
 8種類のテストパターンを作図し、「往路」と「復路」のインク落下点を比較して、ドット位置を調整します。

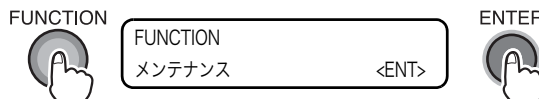
- 重要!**
- ロールメディアをご使用の場合、[PG チャクダンチョウセイ]を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。
 作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。たわみは画質不良の原因になります。
 - [PG チャクダンチョウセイ]を行っても、微妙なドットのズレが生じる場合があります。
 この場合、[メンテナンス]の[ドットイチホセイ]を行ってください。
 補正方法は、[PG チャクダンチョウセイ]と同じですが、テストパターンは[パターン 1]から[パターン 4]までの4パターンです。(3-52 参照)
 - [PG チャクダンチョウセイ]を行うと、選択しているユーザータイプの[ドットイチホセイ]の補正値はクリアされます。

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認します。
 リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 【FUNCTION】キーで、[メンテナンス]を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 3 【▼】キーで、[PG チャクダンチョウセイ]を選択し、【ENTER】キーを押します。



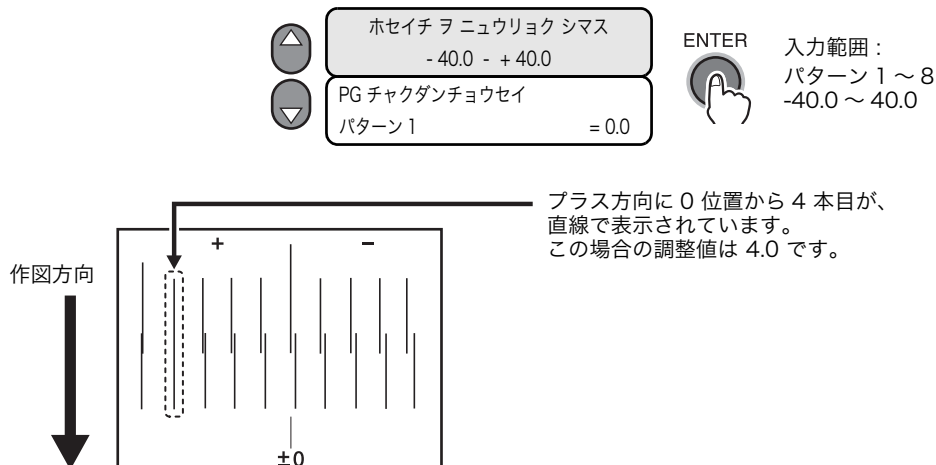
4 [サクズカイシ] を表示しますので、【ENTER】 キーを押します。

調整用のテストパターン作図を開始します。テストパターンは 8 種類作図します。
作図した 8 パターンは、作図した順にパターン 1 から パターン 8 と呼びます。



5 [▲] [▼] キーで、パターン 1 のドット位置を補正します。

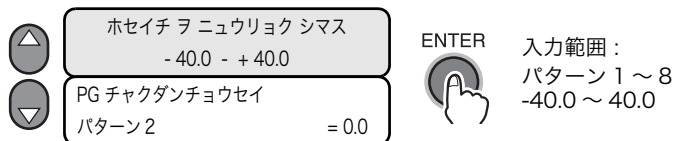
パターン 1 の適正なドット位置をジョグキーで選択します。
テストパターンの往路と復路が、1 本の直線になっている位置を選びます。



6 【ENTER】 キーを押します。

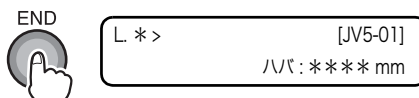
7 手順 5, 6 の操作を引き続き 7 回実行し、パターン 8 までの PG 着弾調整をします。

各パターンの適正ドット位置を選択します。
パターン 8 まで調整値を入力し、PG 着弾調整を終了します。



8 【END】 キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



ノズル詰まりを確認 / 解消する

テストパターンを作図して、ノズル詰まりなどの作図不良がないか確認します。異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。

- 重要!**
- テストパターンをリーフメディアに作図する場合、幅 350mm x 長さ（送り方向）600mm 以上のサイズのメディアを使用してください。
 - ロールメディアをご使用の場合、テスト作図終了後、【REMOTE】キーまたは【FUNCTION】キーを押すと、メディアが作図原点位置まで戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

テストパターンを作図する（テスト作図）

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

L * > [JV5-01]
ハバ: **** mm

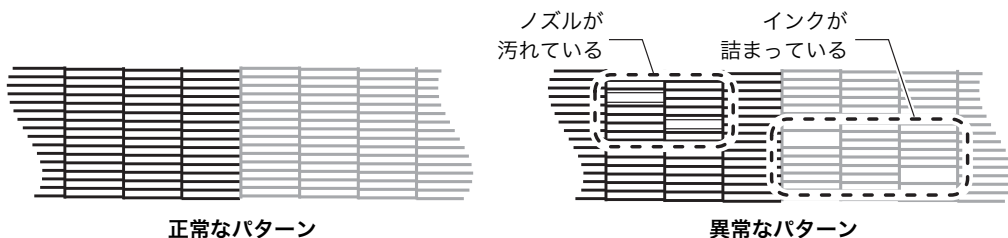
- 2 【TEST DRAW】キーを押し、【ENTER】キーを押します。

テスト作図を開始します。
作図終了後、ローカルモードに戻ります。



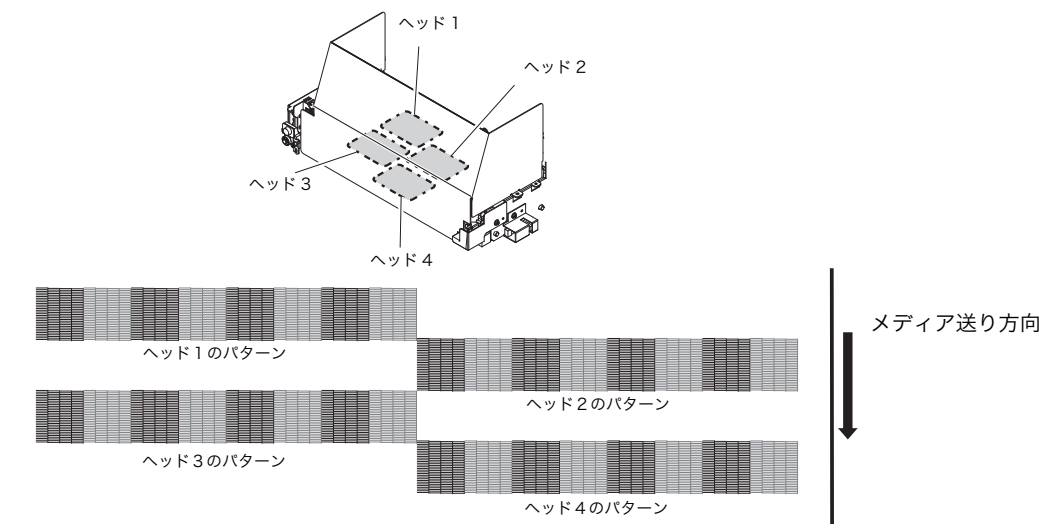
- 3 作図結果を確認します。

異常がある場合は、『異常なパターンの場合』を参照してください。(3-46 参照)
正常な場合は、操作を終了します。



ヘッドの配列とテストパターンの関係

ヘッドの配列と作図したテストパターンの作図位置は、下記の通りです。



異常なパターンの場合は (クリーニング)

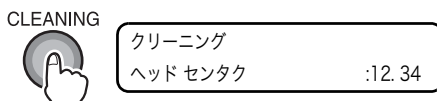
操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

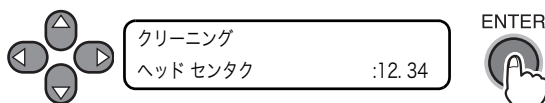
L * > [JV5-01]
八バ: **** mm

2 [CLEANING] キーを押します。



3 [▲] [▼] または [◀] [▶] キーで、クリーニングするヘッドを選択し、【ENTER】キーを押します。

[ヘッド 1, 2] と、[ヘッド 3, 4] のセットで選択します。



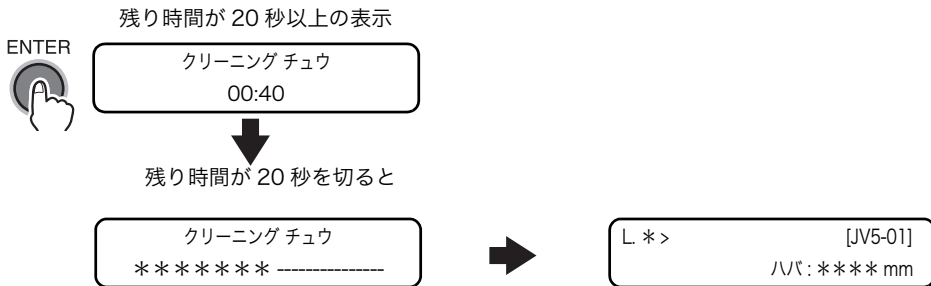
4 [▲] [▼] キーで、クリーニング方法を選択します。



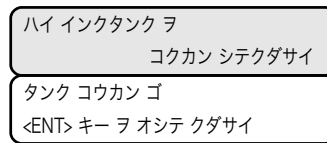
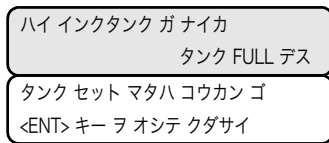
ノーマル	線の抜けがある場合に使用します
ソフト	線の曲がりがある場合に使用します
ハード	ノーマル、ソフトのクリーニングを実行しても作図不良が直らない場合に使用します

5 [ENTER] キーを押します。

クリーニング動作を開始します。
 動作の進行状況を下段 LCD の 2 行目に * 表示で知らせます。
 クリーニング終了後、ローカルモードに戻ります。



■ 廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。
 画面の指示に従って、異常復旧してください。



6 再度テストパターンを作図し、作図結果を確認します。(3-45 参照)

作図結果が正常になるまで、手順 1 ~ 5 を繰り返してください。



重要! ■ クリーニング動作を繰り返しても作図不良が直らない場合は、ワイパーとインクキャップを清掃してください。(ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト] (4-7 ページ) 参照)

ノズル詰まりが復旧しない場合 [インク ジュウテン]

ヘッドクリーニング (3-46 参照)、ノズルセンジョウ (ノズルの洗浄 [ノズルセンジョウ] (4-10 ページ) 参照) を行ってもノズル詰まりが改善しない場合、[インク ジュウテン] 機能を実行します。

操作手順

- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

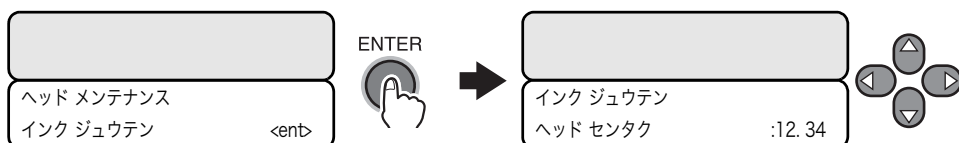


- 【▼】キーで、【ヘッド メンテナンス】を選択し、【ENTER】キーを押します。

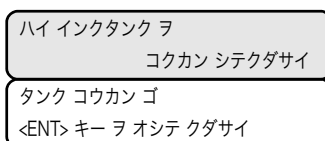
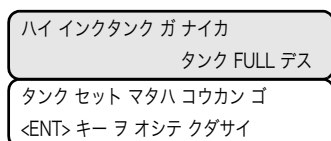


- 【ENTER】キーを押し、【▲】【▼】【◀】【▶】キーで、洗浄するヘッドを選択後、【ENTER】キーを押します。

[ヘッド 1, 2] と、[ヘッド 3, 4] のセットで選択します。

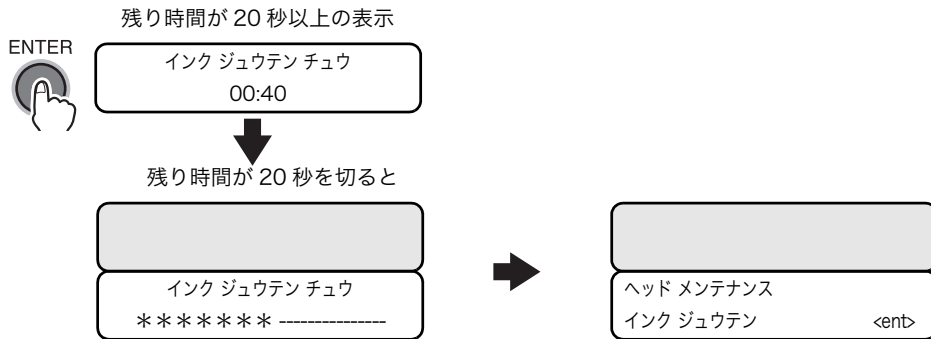


- 廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。
画面の指示に従って、異常復旧してください。



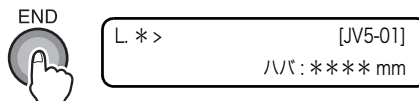
4 【ENTER】 キーを押します。

自動的にインク充填を開始します。インク充填を終了すると、以下の表示に戻ります。



5 【END】 キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



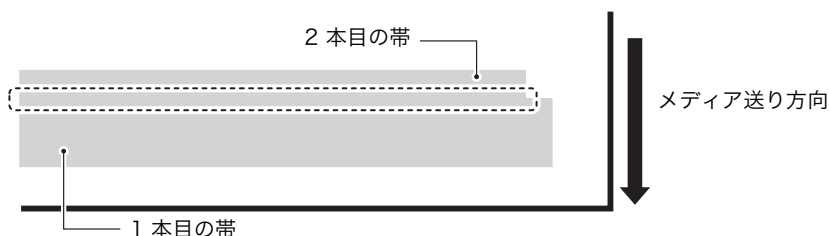
メディア送り量の補正 [メディアホセイ]

メディアの種類を交換したり、ヒーターの温度を変更した場合、巻取装置の使用の有無により、メディアの送り量が変化します。必ずメディアの送り量を補正してください。補正值が適切でないと、作図した画像に縞が入るなど、きれいに作図できない場合があります。

- 重要!**
- ヒーターの温度を変更した場合は、CONSTANT ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。
 - ロールメディアをご使用の場合、[メディアホセイ]を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。
作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。たわみは画質不良の原因になります。
 - 巻取装置を使用するの作図の場合、あらかじめメディアをセットした状態で [メディアホセイ]を行ってください。

補正パターン

- 2本の帯を作図します。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。(設定値: -255 ~ 255)



操作手順

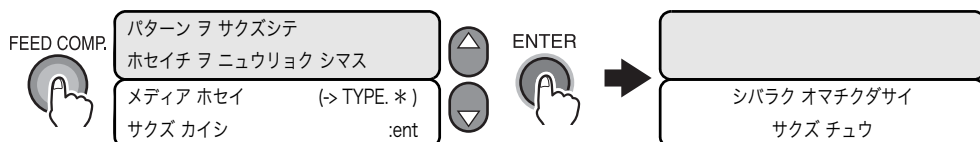
1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

L.*> [JV5-01]
ハバ:****mm

2 【FEED COMP.】キーを押し、【▲】【▼】キーでタイプを選び、【ENTER】キーを押します。

パターンの作図を実行します。

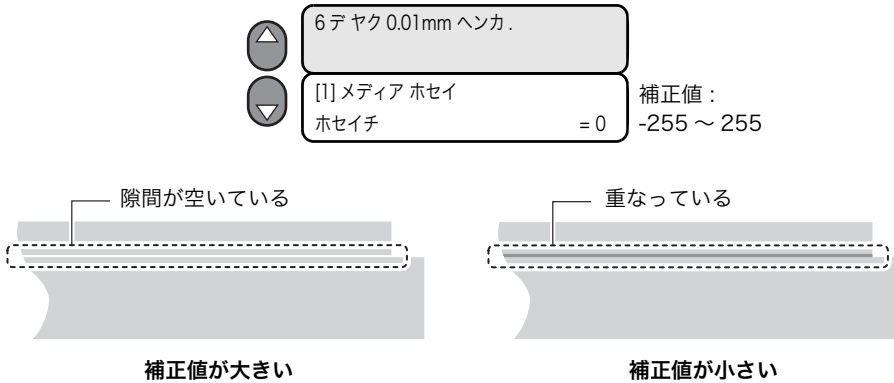


3 作図パターンの状態により、補正値を入力します。

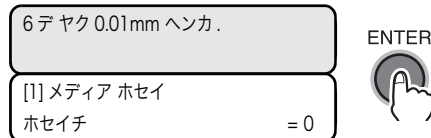
【▲】【▼】キーで、補正値を入力します。



- 補正値を 6 変更するごとに、帯が約 0.01mm 移動します。
この移動量を参考にして、補正量を決定してください。



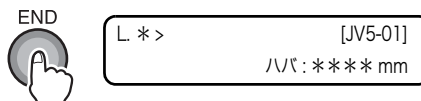
4 【ENTER】キーを押し、補正値を登録します。



正常なパターンを作図するまで手順 2 ~ 4 を繰り返します。

5 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



目次

1

2

3

4

5

6

索引

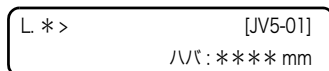
ドットの位置がずれたら [ドットイチホセイ]

[PG チャクダンチョウセイ] を行っても、微妙なドットのズレが生じる場合があります。その場合、[ドットイチホセイ] を実行して、ドットの位置を補正してください。[ドットイチホセイ] では、作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正します。ヘッドギャップを変更した場合、ドット位置は自動的に調整されますが、微妙にズレが生じる場合があります。適正な作図結果を得るため、ドット位置をマニュアルで調整することが可能です。4 種類のテストパターンを作図し、「往路」と「復路」のインク落下点を比較して、ドット位置を補正します。補正值は選択しているユーザータイプごとに保存します。

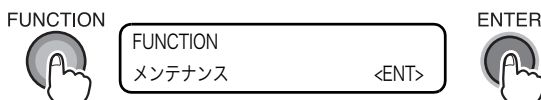
- 重要!**
- ロールメディアをご使用の場合、[ドットイチホセイ] を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じません。作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
 - ヘッドギャップを変更した場合は、再度 [ドットイチホセイ] を行ってください。
 - [PG チャクダンチョウセイ] を行い調整値を変更した場合、選択しているユーザータイプの補正值はクリアされます。

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 【FUNCTION】キーで、[メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 3 【▼】キーで、[ドットイチホセイ] を選択し、【ENTER】キーを押します。



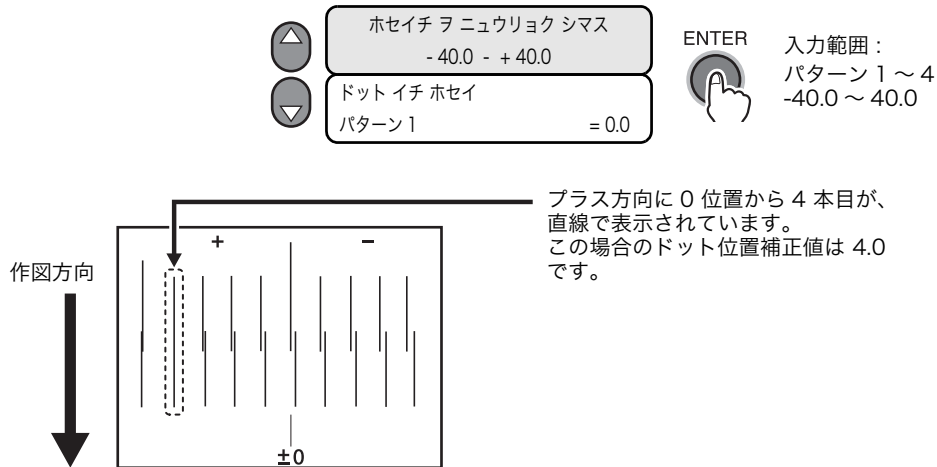
4 [サクズカイシ] を表示しますので、【ENTER】 キーを押します。

ドット位置補正のテストパターン作図を開始します。テストパターンは 4 種類作図します。作図した 4 パターンは、作図した順にパターン 1 から パターン 4 と呼びます。



5 [▲] [▼] キーで、パターン 1 のドット位置を補正します。

パターン 1 の適正なドット位置をジョグキーで選択します。テストパターンの往路と復路が、1 本の直線になっている位置を選びます。

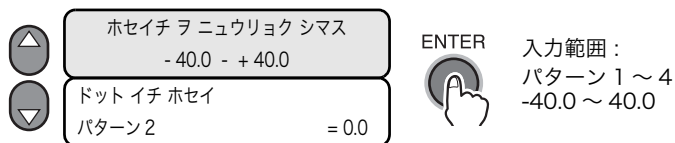


重要! ■直線のパターンの補正値が、-40 から +40 の中に入らない場合は、ヘッドの高さを調整してから、もう一度、ドット位置補正を実行してください。

6 【ENTER】 キーを押します。

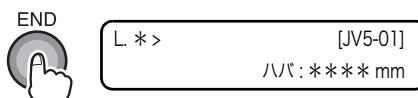
7 手順 5, 6 の操作を引き続き 3 回実行し、パターン 4 までのドット位置補正をします。

各パターンの適正ドット位置を選択します。パターン 4 までドット位置補正値を入力し、ドット位置補正を終了します。



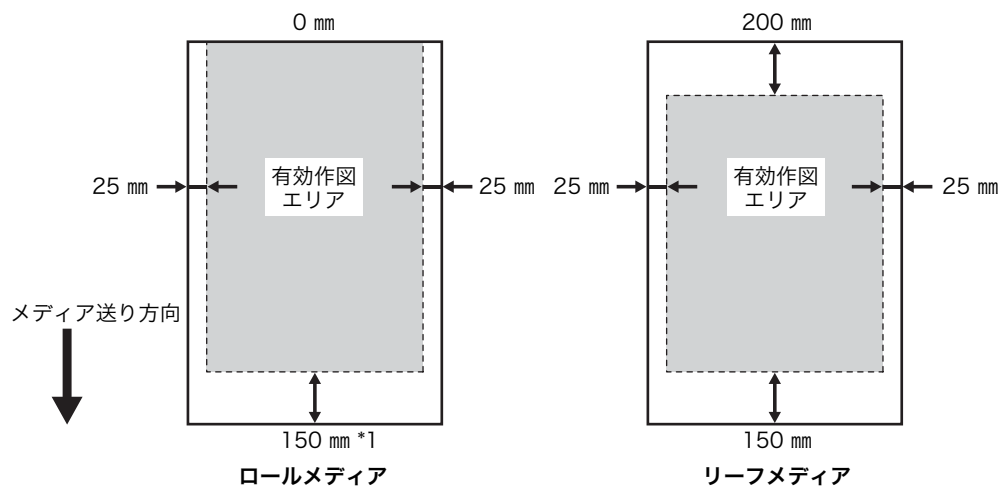
8 【END】 キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



作図範囲について

本装置は、使用するメディアに関係なく、機構上作図できないエリアがあります。この作図不可のエリアを「デッドスペース」と呼びます。



- メディア左右のデッドスペースの初期値は、左右それぞれ 25 mm です。このデッドスペースを変更し、有効作図エリアを変更することができます。デッドスペースは、ファンクションモードの「マージン」で設定します。

*1 フィード方式で [ダイレクト] を選択している場合は、最大で 127 mm 加算されます。

マージン

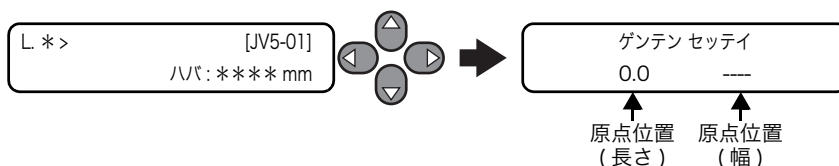
メディア左右の余白を調整します。
標準設定の 25 mm 以外の余白が必要な場合に設定します。
デッドスペースは、メディアの左右それぞれに設定可能です。(-20 ~ 75 mm)

作図原点を設定する

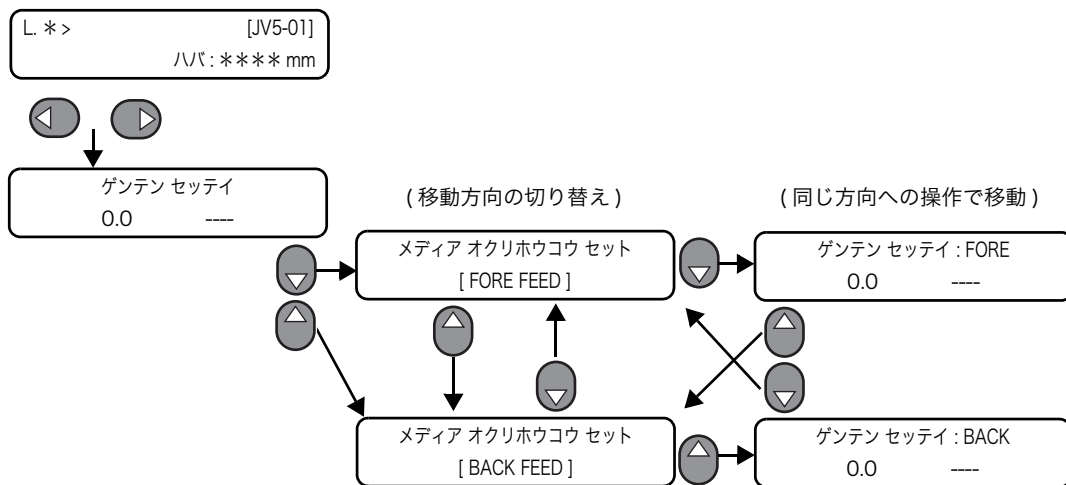
セットしたメディア上に、データの作図原点を設定します。
指定された原点以外の場所で作図する場合は、原点を再設定します。

操作手順

- 1 メディア検出終了後、ジョグキー【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、作図原点を設定する位置までキャリッジとメディアを動かします。



■メディアの奥行方向へ原点を動かす場合、移動方向の切り替えが必要となります。



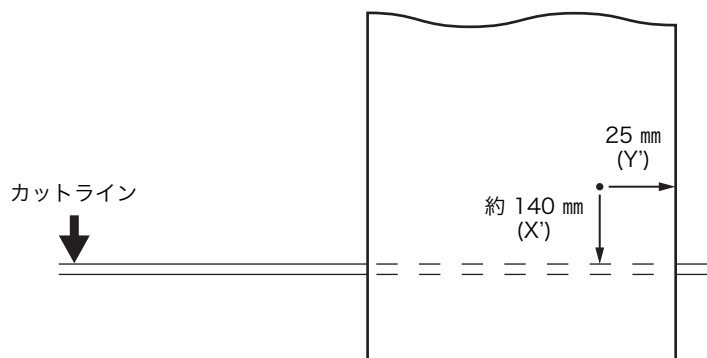
- 2 作図原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。

有効作図エリアを表示後、ローカルモードになります。(ロールメディアを使用の場合、Xは表示しません。)
次回の作図から、この設定位置を作図原点とします。



原点設定位置の目安

作図原点は、奥行方向 (X') はカットラインから奥側約 140 mm の位置になります。横方向 (Y') の値は、メディア右端より 25 mm です。ファンクションモードの「マージン」の設定により変更できます。



画像データを作図する

作図を開始する

コンピュータからデータを受信するためのモード切り換え、および作図中の表示について説明します。

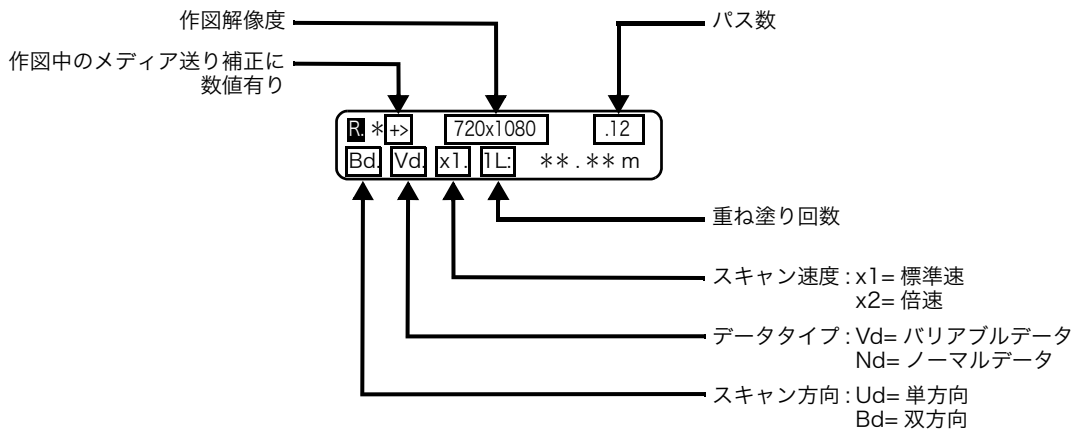
なお、各種機能の設定については、「第6章 各機能の操作方法」をご覧ください。

- 重要!** ■ロールメディアをご使用の際は、本装置背面のロールメディアにたわみがないか確認してから作図を行ってください。
作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。



- 作図に関して、弊社サービスコールをご利用の際は、以下の内容表示をご連絡ください。
■ロールメディアをご使用の場合、繰出装置側の紙管からメディアが外れた後は、作図しないでください。テンションが変わり画質に影響が出ます。

作図を開始すると、ディスプレイは下記の情報を表示します。



* 通常表示と交互表示することで、受信中を示します

操作手順

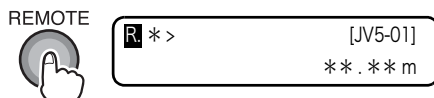
1 ヒーターの温度を確認します。

ヒーターパネルの CONSTANT ランプが点灯していることを確認します。(3-39 参照)

2 [REMOTE] キーを押します。

リモートモードに変わります。

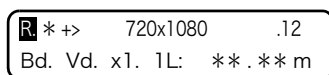
現在選択しているタイプ (作図条件) を確認できます。(作図条件をまとめて登録する (タイプ登録) (6-3 ページ) 参照)



3 コンピュータからデータを送信します。

データの作図条件を表示します。

データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



4 作図を開始します。

作図した部分の長さを表示します。

作図を中止する

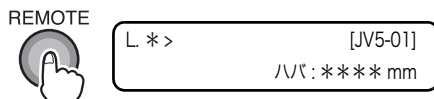
作図を中止する場合、作図動作を止めて受信したデータを本装置から消去します。データを消去しないと、リモートモードにした際、中止したデータからプリントを開始してしまいます。

操作手順

1 [REMOTE] キーを押して、作図を中止します。

ローカルモードに戻ります。

コンピュータからデータを送信している場合、データ送信を止めます。



2 [DATA CLEAR] キーを押します。

受信したデータを消去します。



作図終了後のメディアカット

作図終了後に、[オートカット]機能を使用せず、任意の位置でのメディアカットを実行します。

- 重要!**
- メディアをカットする前に、本装置の前面/背面にある2つのテンションバーをロック位置に固定してください。
テンションバーをそのままにしておくと、カッターが動作しません。
 - 本装置のカッターではなく、お持ちのカッターやはさみでカットする場合は、必ずテンションバーを上げてください。メディアにはバーの重みがかかっているため、テンションバーを上げずにカットすると非常に危険です。
 - 作図を終了しても本装置の主電源スイッチをオフにしないでください。ノズル詰まりの原因になります。
 - 現在のヘッド高さが4.1 mm 以上の場合、メディアカットを行うことができません。(昇華転写インク以外のインクをご使用の場合)
ヘッド高さは、[ヘッドギャップ] + [メディアの厚み] です。(3-5 参照)

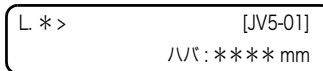


- [オートカット]機能をオンにすると、データ毎に自動的にカットします。(オートカット (6-9 ページ) 参照)

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

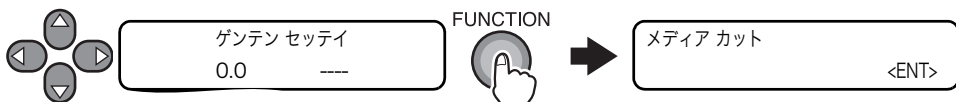
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



2 ジョグキーを押して以下の画面が表示されたら、【FUNCTION】キーを押します。

ジョグキーでカットする位置を決めます。

ジョグキーは、いずれのキーも使用可能です。



- メディアのカットができない場合、以下のメッセージを表示します。

ヘッド高さが4.1mm 以上の場合
(昇華転写インク以外の
インクをご使用の場合)

メディア カット デキマセン

巻取テンションバーがロック位置にない場合

テンションバー
タイヒ シテクダサイ、

**** ERROR 30 ****
オペレーション エラー

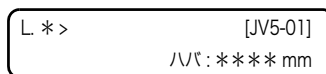
3 【ENTER】 キーを押します。

メディアをカットします。



4 ローカルモードに戻ります。

作図前の状態に戻ります。



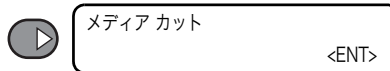
[マシンセッテイ]機能の[カットセッテイ]で[▶]キーをダイレクトカットキーに割り当てた場合

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

L.*> [JV5-01]
ハバ:****mm

- 2 [▶]キーを押します。



■メディアのカットができない場合、以下のメッセージを表示します。

ヘッド高さが4.1mm以上の場合
(昇華転写インク以外の
インクをご使用の場合)

メディア カット デキマセン

巻取テンションバーがロック位置にない場合

テンションバー
タイヒ シテクダサイ
**** ERROR 30 ****
オペレーション エラー

- 3 【ENTER】キーを押します。

作図した画像がカットラインを超えるまで自動でメディアを送り、カットします。



- 4 ローカルモードに戻ります。

作図前の状態に戻ります。

L.*> [JV5-01]
ハバ:****mm

オートクリーニング

作図中、自動的にヘッドをクリーニングするかどうかを設定できます。ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した作図結果が持続します。クリーニングは、装置起動後の最初の作図前に行い、以降は、作図メートル単位で行います。



操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

```
L * > [JV5-01]
      ハバ: **** mm
```

2 【FUNCTION】キーで【セッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。 【▲】【▼】キーでタイプ 1～4 を選び、【ENTER】キーを押します。

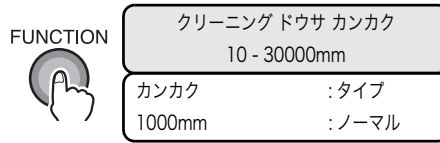


3 【▼】キーで、【オート クリーニング】を選択し、【ENTER】キーを押します。

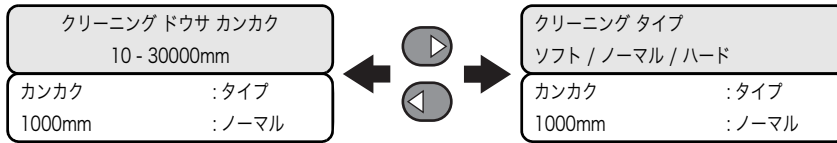
【オート クリーニング】OFF の場合は、【▲】【▼】キーで ON を選択し【ENTER】キーで確定します。



4 **[FUNCTION]** キーを押します。

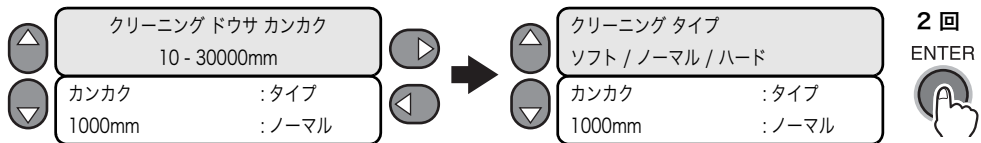


5 ここで **[◀]** **[▶]** キーを押すと、**[クリーニングドゥサ カンカク]** と **[クリーニングタイプ]** を選択できます。



6 **[▲]** **[▼]** キーで、**[クリーニングドゥサ カンカク]** を設定します。**[◀]** **[▶]** キーで画面を切り替え、**[▲]** **[▼]** キーで、**[クリーニングタイプ]** を設定後、**[ENTER]** キーを押します。

[クリーニングドゥサ カンカク] の初期値は、1000 mm です。
 [クリーニングタイプ]: ソフト、ノーマル、ハード



7 **[END]** キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

サクズチュウ メンテナンス（専用昇華転写インクをご使用の場合）

作図中のオートクリーニングまたはオートワイピングを設定します。

作図中にヘッドのクリーニングまたはワイピングを自動的に実行し、作図不良を未然に防ぎます。

クリーニング：作図中、自動的にヘッドのクリーニングを行います。

ワイピング：作図中、自動的にヘッドのワイピングを行います。

OFF：作図中にヘッドのクリーニングまたはワイピングは行いません。

“クリーニング”に設定すると、クリーニング方法と、自動的にクリーニングを行うまでの間隔を設定できます。

クリーニング方法：ソフト・ノーマル・キョウリョク

実行間隔：0.1m～100.0m（0.1m単位で設定）

“ワイピング”に設定すると、自動的にワイピングを行うまでの間隔を設定できます。

実行間隔：10～9990（10スキャン単位で設定）



■インクニアエンドが発生している場合は、クリーニング機能は動作しません。

■ヘッド等の状態によっては、本機能を実行しても作図不良が復旧しない場合があります。

”クリーニング”に設定する場合

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

L * > [JV5-01]

ハバ: **** mm

2 【FUNCTION】キーで、【セットイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。

以下の画面が表示されますので、【ENTER】キーで確定します。



3 【▼】キーで、【サクズチュウメンテナンス】を選択し、【ENTER】キーを押します。

【▲】【▼】キーでクリーニングを選択します。

クリーニング方法と間隔を変更しない場合は、【ENTER】キーを押します。

14 回



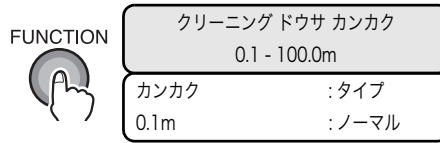
{1}
サクズチュウ メンテナンス <ent>

ENTER

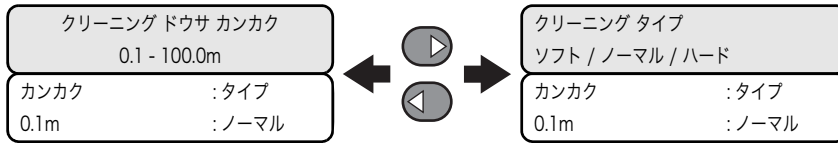


ENTER デケッテイ
FUNC. デショウサイ セッテイ
[1] サクズチュウ メンテナンス
センタク : クリーニング

4 【FUNCTION】 キーを押します。



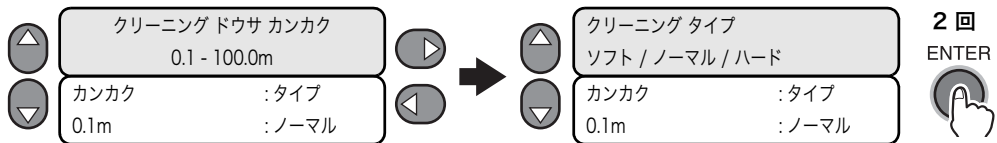
5 ここで【←】【→】キーを押すと、【クリーニング ドウサ カンカク】と【クリーニング タイプ】を選択できます。



6 【▲】【▼】キーで、【クリーニング ドウサ カンカク】を設定します。【←】【→】キーで画面を切り替え、【▲】【▼】キーで、【クリーニング タイプ】を設定後、【ENTER】キーを押します。

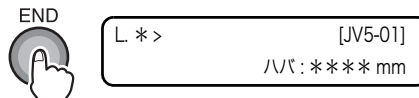
【クリーニング ドウサ カンカク】の初期値は、1.0m です。

【クリーニング タイプ】: ソフト、ノーマル、ハード



7 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

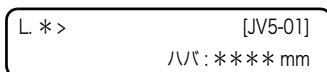


”ワイピング”に設定する場合

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



2 【FUNCTION】キーで、【セッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。

以下の画面が表示されますので、【ENTER】キーで確定します。



3 【▼】キーで、【サクズチュウメンテナンス】を選択し、【ENTER】キーを押します。

【▲】【▼】キーでワイピングを選択します。

間隔を変更しない場合は、【ENTER】キーを押します。

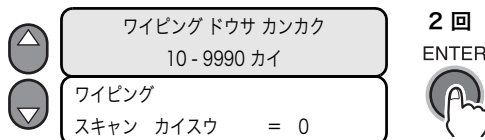


4 【FUNCTION】キーを押します。



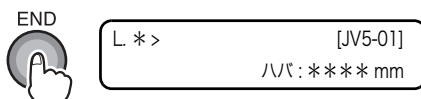
5 【▲】【▼】キーで、【ワイピングドウサカンカク】を設定後、【ENTER】キーを押します。

【ワイピングドウサカンカク】の初期値は50回です。



6 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



[ニアエンド], [インクエンド] の表示

2本セットのインクカートリッジの一方がエンド、もう一方がエンド間近の場合、メッセージを表示します。

なお、作図は続行できますが、作図中にインクが無くなる場合があります。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

- 重要!** ■カートリッジ LED の赤 LED が点滅、または [ニアエンド] を表示したら、早めにインクを交換してください。
- 交換するカートリッジが無い時は、絶対にカートリッジを抜かないでください。抜いたままにすると、インク供給路が乾燥し、装置が故障します。抜かれた状態が 10 分継続すると、装置はワーニングブザーでお知らせします。また、連続作図をする場合は、インク残量を確認後、作図を開始してください。
- 作図中にインクが無くなると、作図を停止します。作図を再開すると、色が変わってしまう場合があります。原因は、作図を停止することにより、作図再開前後の部分の乾燥時間が異なるためです。

カートリッジ毎の残量表示

リモートモードおよびローカルモード時に【ENTER】キーを押すと、インク残量を表示します。インク関連のエラーが発生している場合、【INFORMATION】キーを押すことで、現在カートリッジに発生している詳細なワーニングを表示します。(機能フローチャート [ローカルモード] (6-42 ページ) 参照)

フラッシングBOX	12.3%
INFO キーデ エラー ショウサイ	
ES3 インク	MCYKKYCM
ザンリョウ	23456789

ニアエンド : インク残量が少なくなった場合

インク残量が少ない色を表示します。
以下の表示は、ブラックインクの残量が少ないことを示しています。

インク シュウリョウ マチカ デス コウカン シテクダサイ
インク ニア エンド ---- --KK ----

インクエンド : インク残量が全く無くなった場合

インクが無くなった色を表示します。
以下の表示は、マゼンタインクが無くなったことを示しています。

インク ガ シュウリョウ シマシタ コウカン シテクダサイ
インク エンド MM-- ---- ----

交換手順

- 重要!** ■カートリッジ LED (赤) が点灯 / 点滅しているカートリッジは、速やかに交換してください。
 交換するカートリッジが無い時は、絶対にカートリッジを抜かないでください。抜いたままにすると、インク供給路が乾燥し、装置が故障します。抜かれた状態が 10 分継続すると、装置はワーニングブザーでお知らせします。以下の交換手順は、両カートリッジにエラーが発生した場合に表示されません。

1 作図中に、下記のメッセージを表示します。

[ニアエンド] では、1 データを作図することにローカルモードになり、動作を停止します。作図が終了したら、手順 2 に進んでください。

[インクエンド] では、作図は続行できません。

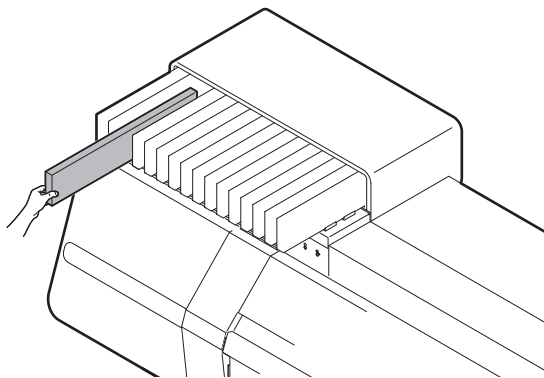
また、作図中に交換する場合には、カートリッジ LED (赤) が点灯 / 点滅しているカートリッジを交換してください。カートリッジ LED (緑) が点灯しているカートリッジを抜くと、作図が停止してしまいます。

R 1 > [JV5-01]
 インクニアエンド MCYKKYCM
 ニアエンド

R 1 > [JV5-01]
 インクエンド MCYKKYCM
 インクエンド

2 新しいインクと交換します。

表示した色のインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。



3 リモートモードにします。

連続して作図できます。



インク情報を表示する

インク残量を表示し、確認できます。

操作手順

1 リモートモード時に【ENTER】キーを押します。

インク残量を 1 から 9 までの数字で表示します。“1” はインク残量が少なく、数字が大きくなるほどインク残量が多いことを示しています。また、現在充填しているインクタイプも確認できます。



2 【ENTER】キーを押します。

リモートモードに戻ります。



■インク残量表示に“1”が表示されても、作図は続行できます。[ニアエンド]を表示したら、インクを交換してください。(3-67 参照)

環境温度による動作条件を変更する

本装置を設置している場所の温度（環境温度）が、使用可能温度範囲から外れている状態で作図を開始すると、インクの吐出不良や色味が変わるなど、作図品質に悪影響を及ぼす可能性があります。

このような悪影響を回避するため、本装置では環境温度が使用可能温度外の場合、エラーメッセージを表示してお知らせします。

初期状態ではエラーメッセージを表示するのみで作図を続行しますが、作図品質に悪影響を及ぼさないように、環境温度が使用可能温度範囲内になるまで待ってから作図を開始するように設定できます。



- 使用可能温度範囲については、「使用可能温度」(1-20 ページ) を参照してください。
- 使用可能温度範囲外の場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

**** ERROR 120 ****
カンキョウオンド ヒクイ

**** ERROR 121 ****
カンキョウオンド タカイ

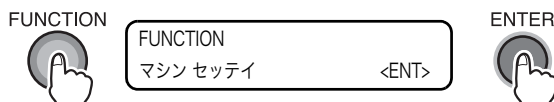
- エラーメッセージは、次のいずれかのタイミングで表示されます。
 1. ローカルモードから【REMOTE】キーを押してリモートモードに移行するとき
 2. オンラインデータを受信し、作図を開始するとき

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

L * > [JV5-01]
ハバ: **** mm

- 2 【FUNCTION】キーで、【マシンセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



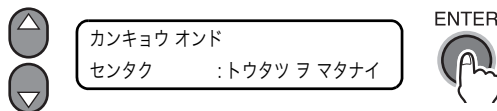
- 3 【▼】キーで、【カンキョウオンド】を選択し、【ENTER】キーを押します。



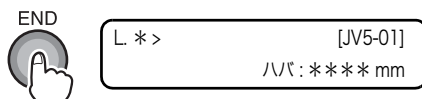
4 **[▲] [▼]** キーで動作を選択し、**[ENTER]** キーを押します。

[トウタツ ヲ マツ] : エラーを表示するのみで、作図を続行します。

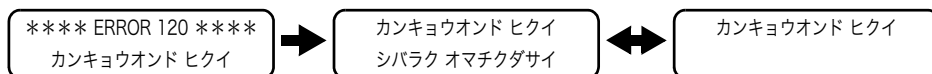
[トウタツ ヲ マタナイ] : 環境温度が使用可能温度範囲内に到達するのを待ちます。

5 **[END]** キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

■ **[トウタツ ヲ マツ]** をセンタクしている場合の動作

- ・ エラーを表示した後、使用可能温度範囲に到達待ちであることをお知らせするメッセージを表示します。



- ・ 到達を待っている途中で作図を開始したい場合は、**[ENTER]** キーを押してください。到達待ちを中断し、リモートモードに移行するか、作図を開始します。
- ・ 到達を待っている途中でローカルモードに切り替えたい場合は、**[REMOTE]** キーを押してください。

インクの有効期限を延長する

通常は期限切れ後 2ヶ月で使用不可となるインクの有効期限を、期限切れの月から 6ヶ月延長できます。

以下の設定・確認画面は、本装置の電源を ON にしたときや、期限切れのインクカートリッジをセットしたときに表示されます。

- 重要!**
- 一度延長 [YES] を設定したカートリッジは、設定の変更ができません。
 - 複数の期限切れインクをセットしてから、期限延長を設定すると、複数のインクの有効期限をまとめて延長できます。
 - インクの有効期限を延長して使用すると、印刷画質が低下したり、色味の変化やバンディングなど印字品質が低下する可能性があります。このことをご了解の上、インクの有効期限を延長してください。
 - 初期充填では、期限切れ後 2ヶ月以上が過ぎたインクを使用することはできません。

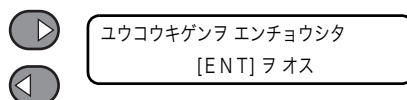
操作手順

- 1 設定が必要なとき、下の画面を表示します。



- 2 [◀] [▶] で、[YES] を選びます。

インク期限の延長をしないときは、[NO] を選んでください。この場合、インク期限が切れてから 2ヶ月すると、インクが使用できなくなります。



- 3 [ENTER] キーを押します。

インク期限が延長されます。

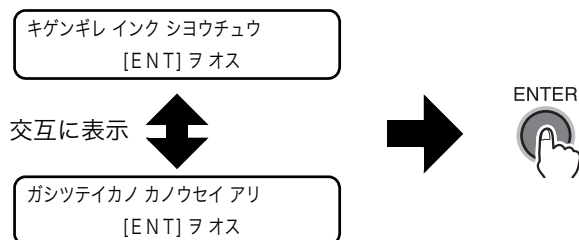
ENTER



- インクの有効期限を延長した場合、インク期限切れから 6ヶ月が経過するとディスプレイに [カンゼン キゲンギレ] が表示され、セットしているインクカートリッジは使用できなくなります。速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。
- 有効期限を延長したインクカートリッジからインクを供給しているときは、インクカートリッジの上にあるカートリッジランプが緑色に点滅してお知らせします。

インクの有効期限を延長したカートリッジをセットすると

本装置にインクの有効期限を延長したカートリッジをセットしている状態で電源をオンにしたときや、有効期限の延長を設定したカートリッジを本機にセットすると、次の画面を表示します。



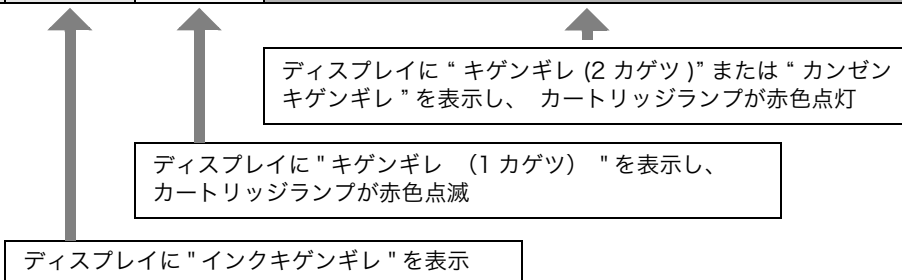
■上の画面を交互表示しているときに【FUNCTION】キーを押すと、期限切れになっているインクの確認ができます。

インクの有効期限を延長したときは

(例) 2010年2月が有効期限のインクカートリッジをお使いの場合

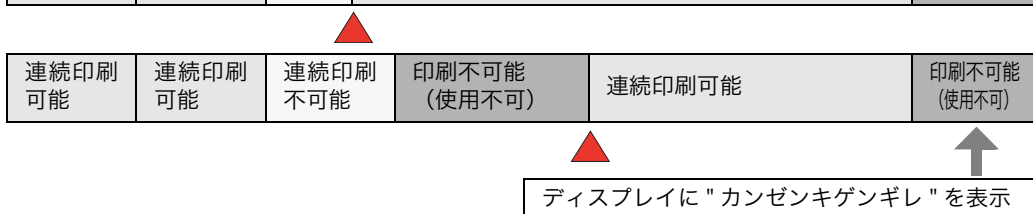
・期限延長をしなかった場合

2月	3月	4月	5月～
連続印刷可能	連続印刷可能	連続印刷不可能	印刷不可能 (使用不可)



・期限延長を実行した場合 (▲で期限延長実行)

2月	3月	4月	5月～	9月
連続印刷可能	連続印刷可能	連続印刷不可	連続印刷可能	印刷不可能 (使用不可)



4月～8月のいずれのタイミングで期限延長しても、延長される期間は有効期限から6か月です。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

インク供給経路の切替設定

インク供給について、ダブルカートリッジ自動切替機能で優先して使用するカートリッジの状態を選択できます。

- 重要!**
- ここでの設定に関わらず、有効期限が切れたインクカートリッジがセットされている場合は、期限切れのカートリッジを優先して使用します。
 - オプションのバルクインクシステム (MBIS1) をお使いの場合、両方のスロットでバルクインクシステム (MBIS1) をセットしていれば、ここで行う設定が有効になります。
 - 同色の供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS1) が混在している場合は、次ページの設定をご参照ください。

操作手順

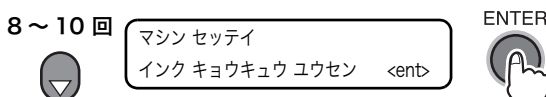
- 1 ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

L * > [JV5-01]
ハバ: **** mm

- 2 【FUNCTION】キーで、[マシンセッテイ]を選択し、【ENTER】キーを押します。

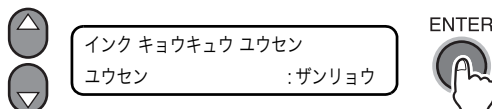


- 3 【▼】キーで、[インク キョウキュウ ユウセン]を選択し、【ENTER】キーを押します。



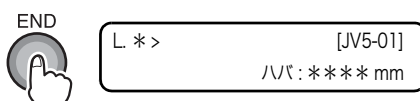
- 4 【▲】【▼】キーで、優先するカートリッジの状態を選択し、【ENTER】キーを押します。

ザンリョウ : 残量が少ないインクカートリッジから供給する
ユウコウキゲン : 有効期限が短いインクカートリッジから供給する



- 5 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



インクカートリッジと MBIS1 を混在している場合

同色の供給経路にインクカートリッジとオプションのバルクインクシステム (MBIS1) を混在して使用している場合、優先して使用するインクを選択できます。



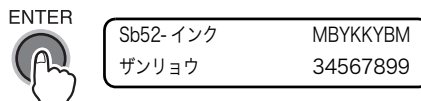
- 通常、同色のインク供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS1) を混在して使用する場合、バルクインクシステム (MBIS1) 側のインクを優先して使用します。

重要!

- インクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS1) が混在している供給経路がない場合は、本機能は設定できません。
- 本機能で選択しているカートリッジを引き抜くか電源を入れ直すと設定は無効となります。

操作手順

- 1 ローカルまたはリモートモードで、【ENTER】キーを押します。



- 2 【REMOTE】キーを押します。

現在、供給している側を表示します。

- B : バルクインクシステム (MBIS1)
- C : インクカートリッジ
- : 混在していない



- 3 【▲】【▼】【<】【>】キーで、供給経路と、どちらを優先するか設定します。

経路の選択 : 【<】【>】キーで選びます。

優先する側を設定 : 【▲】【▼】キーで入力します。



- 4 【ENTER】キーを押します。

ローカルまたはリモートモードに戻ります。



電源をオフにする

プリンターの使用が終了したら、前面にある電源スイッチを押してオフにします。電源をオフにする際は、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないかを確認してください。

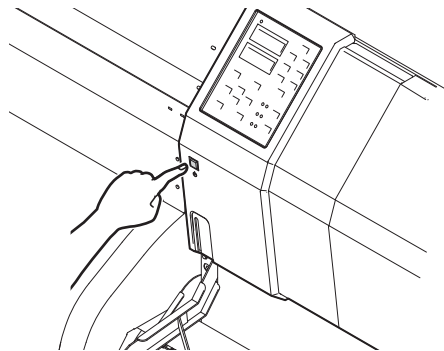
また、ヘッドがキャッピングステーションにあることを確認してください。

重要!

- 側面にある主電源スイッチはオフにしないでください。定期的に電源がオンになりノズル詰まり防止機能が動作します。(フラッシング機能)
- 主電源スイッチがオフ状態で長時間放置すると、ノズルが詰まり、サービスエンジニアによる修理が必要になります。
- フロントカバー / メンテナンスカバーは閉めたままにしてください。カバーが開いているとノズル詰まり防止機能が動作しません。
- 換気のため、作図直後は電源をオフにしないでください。
- キャッピングしていないまま電源をオフした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、ヘッドの乾燥を防ぎます。
作図中に電源をオフすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置するとノズル詰まりの原因になります。
- 装置の移動等により主電源スイッチをオフにする場合でも、必ず装置前面にある電源スイッチを押して電源のオフを確認してから主電源スイッチをオフにしてください。

操作手順

- 1 前面にある電源スイッチを押します。
電源スイッチのランプが消灯します。



第4章

日常のメンテナンスについて



この章では ...

インクが詰まった際の復旧方法や各部の清掃方法について説明します。

日常のお手入れ	4-2
ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト]	4-7
ノズルの洗浄 [ノズルセンジョウ]	4-10
インク排出路の洗浄 [ハイロセンジョウ]	4-14
長期間使用しない場合 [ホカンセンジョウ]	4-16
[PUMP チューブセンジョウ] を行う前に	4-20
PUMP チューブセンジョウ	4-23
ワイパーセンジョウ	4-25
ヘッド周辺の清掃 [キャリッジメンテナンス]	4-28
電源オフ時のインク詰まり防止 [スリーブセッテイ]	4-31
装置待機中の定期動作設定 [テイキセッテイ]	4-34
その他のメンテナンス機能	4-41
廃インクが溜まったら	4-44
フラッシング BOX のクリーニング	4-46
昇華転写インク使用時のメンテナンス	4-50
昇華転写インクをより安定した品質で お使いいただくために	4-56
ワイパーの交換 [ワイパーコウカン]	4-58
カッター刃の交換	4-60

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

アイコン	内容
	メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。
	インクは有機溶剤を使用しています。皮膚に直接付かないように、清掃の際は手袋を着用してください。
	本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損の原因になります。また、お手入れは主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。
	本装置はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用（作図）されないときには、定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）させる必要があります。長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、側面の主電源スイッチは ON（ \uparrow の状態）およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
	有機溶剤インクは、水やアルコールと混ざると凝集物が発生いたします。ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。
	ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
	本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタ機構が故障する恐れがあります。
	メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

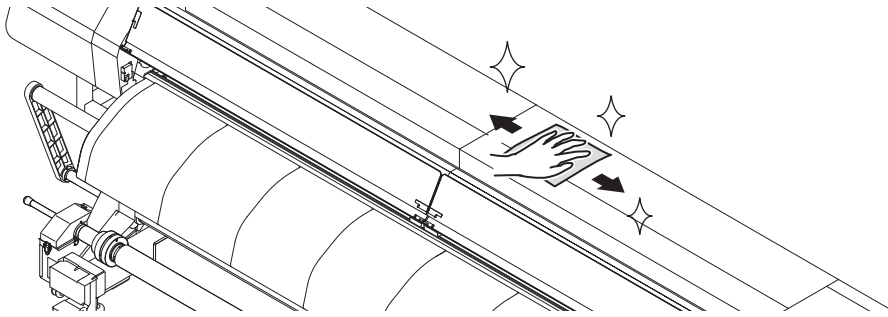
メンテナンス洗剤について

メンテナンス洗剤は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

ソルベントインク	ソルベントインク用メンテナンス洗剤 200 (SPC-0369) MILD SOLVENT 洗剤カートリッジ (SPC-0294)
昇華転写インク	洗剤ボトルキット A29 (SPC-0137) [別売] 水性洗剤カートリッジ (SPC-0259) [別売]

外装のお手入れ

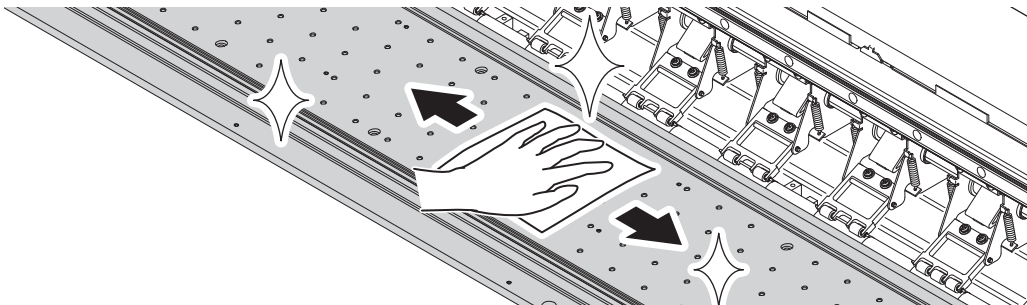
本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



プラテンの清掃

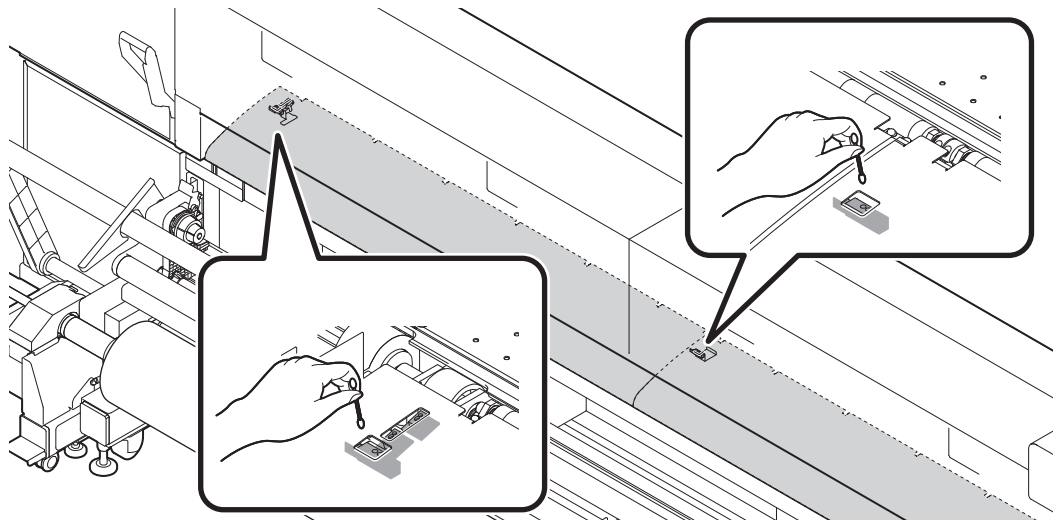
プラテン上は、メディアをカットするため、糸や紙粉等で汚れます。やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。インクが付着している場合は、メンテナンス用洗剤をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。また、プラテンを清掃するときには、メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝（カッターライン）などは特に汚れがたまりやすい場所ですから、入念な清掃をお願いします。

重要! ■プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。



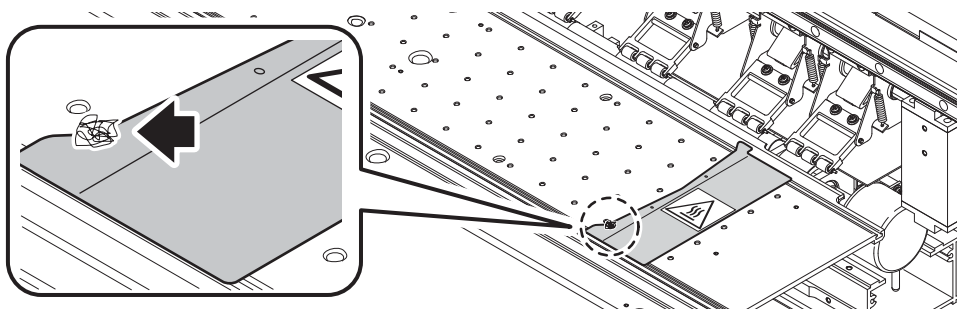
メディアセンサー（2個）の清掃

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。



メディア押さえの清掃

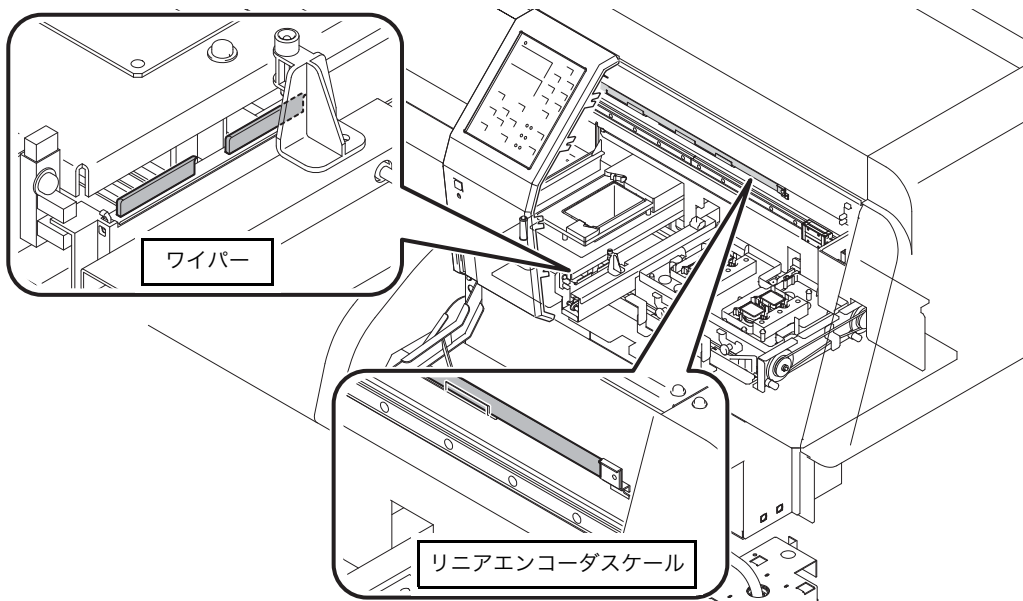
メディアのカットくずやホコリがメディア押さえとプラテンの間にたまって、メディアの搬送が正常に行えなかったり、ノズルに付着して正常な作図ができなくなる恐れがあります。こまめな清掃をお願いします。



メンテナンスカバーオープン

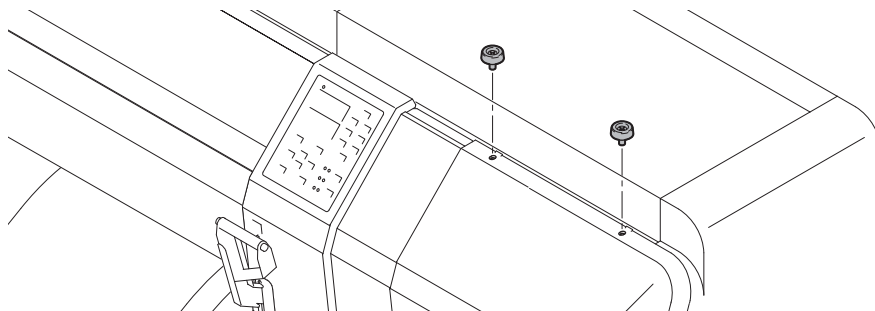
各清掃の際は、メンテナンスカバーを外します。清掃の内容によって、左右どちらかのメンテナンスカバーを外す必要がありますので、次の手順でメンテナンスカバーを外してください。

- 重要!** ■メンテナンスカバーを開けた際、リニアエンコーダスケールの読み取り面には触れないで下さい。また、読み取り面に汚れや傷が付かないように注意してください。
- 皮脂などの付着により、作図品質低下の恐れがありますので、ワイパー部には素手で触れないでください。

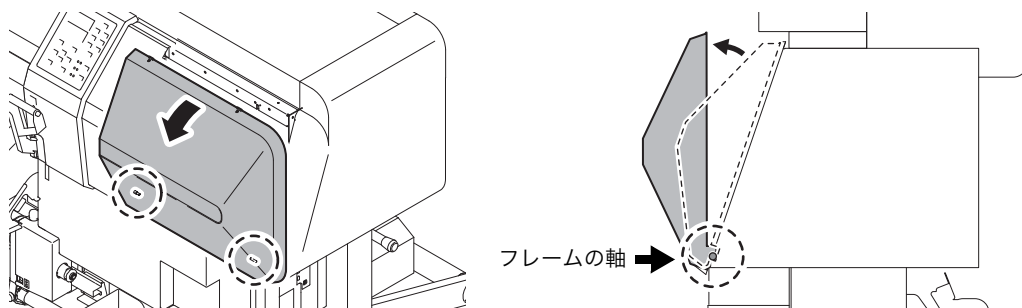


作業手順

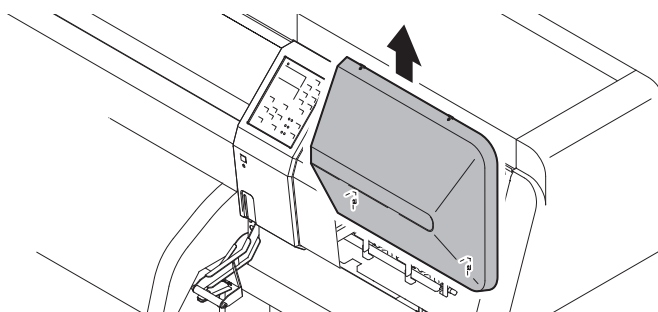
1 メンテナンスカバー上部の 2 個のネジを外します。



2 メンテナンスカバーの上部が垂直になるよう、フレームの軸を支点にして手前に倒します。



3 メンテナンスカバーを、上方へ引き抜きます。



ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト]

キャップは、ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止します。
ワイパーは、ヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取ります。
本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
クリーニング機能 (ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-46 ページ) 参照) を実行してもノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットと綿棒を使用して清掃を行います。

清掃に必要な道具

ソルベントインクをご使用の場合	昇華転写インクをご使用の場合
メンテナンス用洗浄液 (SPC-0369)	洗浄液ボトルキット A29 (SPC-0137)
綿棒	綿棒
スポイト	スポイト
手袋	手袋
ゴーグル	ゴーグル

画質や本装置の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。



■必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。



■キャリッジを、手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは以下の操作手順で動かしてください。



■清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

L * > [JV5-01]
ハバ: **** mm

2 【ST.MAINT】キーを押し、【ENTER】キーを押します。

[キャリッジアウト] を表示後、【ENTER】キーを押すことで、キャリッジがプラテン上に移動します。

ST.MAINT

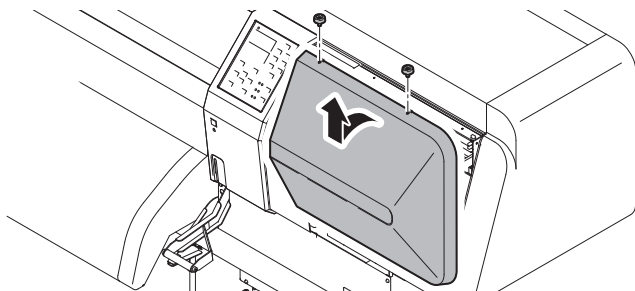


ステーション メンテナンス
キャリッジアウト <ent>

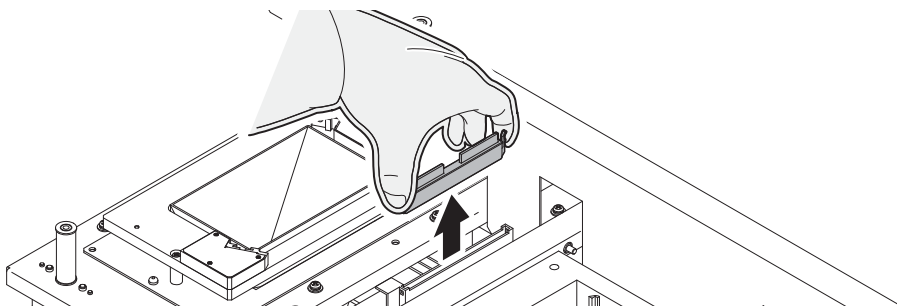
ENTER



3 メンテナンスカバーを開けます。



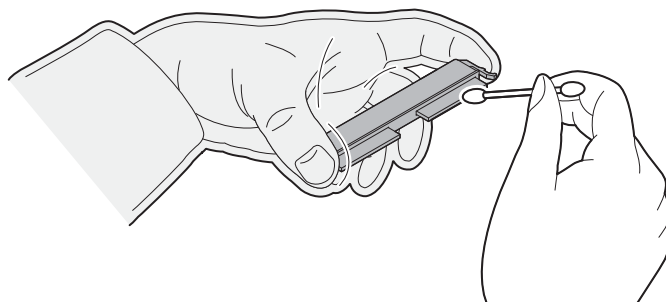
4 ワイパー両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。



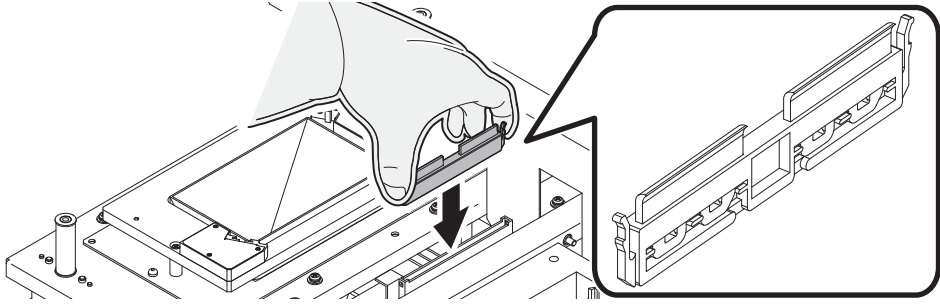
5 ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗淨液を含ませた綿棒で取り除きます。



- 汚れ、曲がりが多い場合は、新しいワイパーと交換します。本操作を終了後、ワイパー交換手順に従って、ワイパーを交換してください。(4-58 参照)

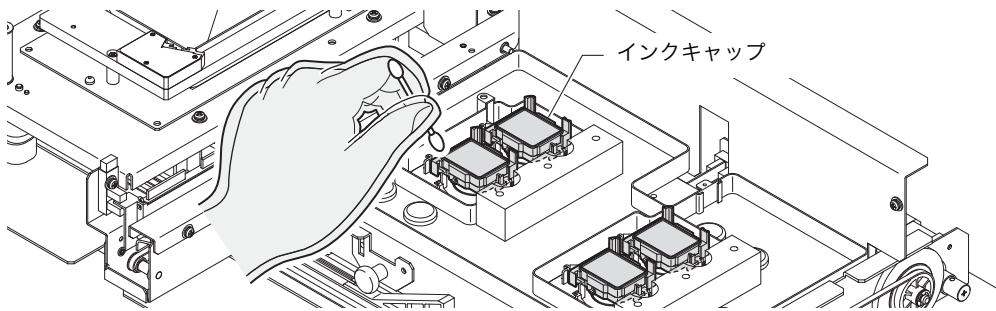


- 6 ワイパーの清掃が終わったら、両端の突起を持って、元の位置に差し込みます。
ワイパーの向きを間違えないように注意してください。



- 7 キャップのゴムや、ワイパーカバーに付着したインク等を、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で拭き取ります。

綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。



- 8 メンテナンスカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

初期動作後、ローカルモードに戻ります。



ノズルの洗浄 [ノズルセンジョウ]

インクの凝固によるインク詰まりが発生するのを防止するために、ヘッドノズルの洗浄を実行します。



- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。
インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

重要!

- この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、[インク ジュウテン] (ノズル詰まりが復旧しない場合 [インク ジュウテン] (3-48 ページ) 参照)、[ハイシュツ & センジョウ] ([ハイシュツ & センジョウ] (5-6 ページ) 参照) 機能を実行してください。それでも解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。
- 2本セット共に [ニアエンド]、[インクエンド] を検出している場合、ノズル洗浄などのクリーニング (インク吸引) 動作を行いません。[ニアエンド] 未検出のカートリッジに交換してください。



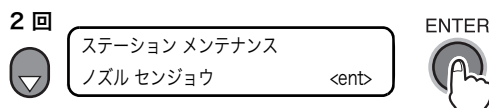
- 清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

操作手順

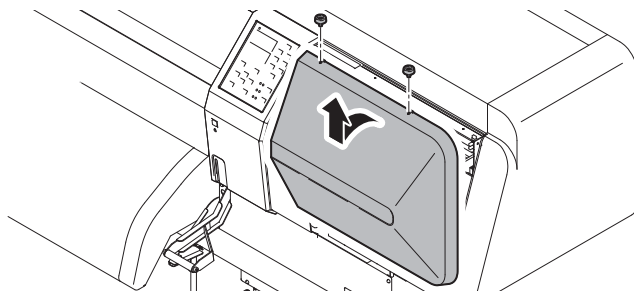
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



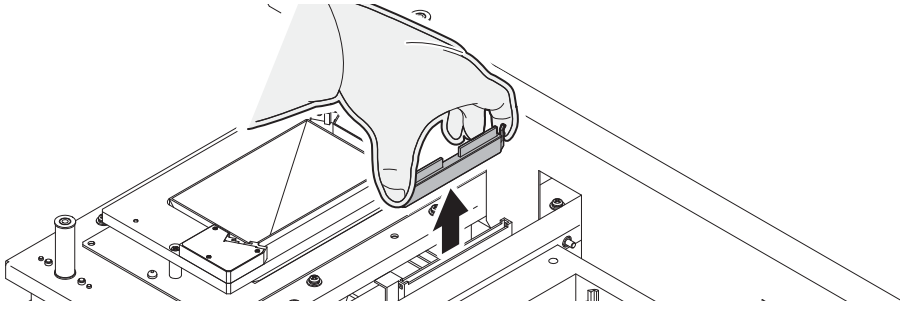
- 2 [▼] キーで、[ノズル センジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。
キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。



- 3 メンテナンスカバーを開けます。



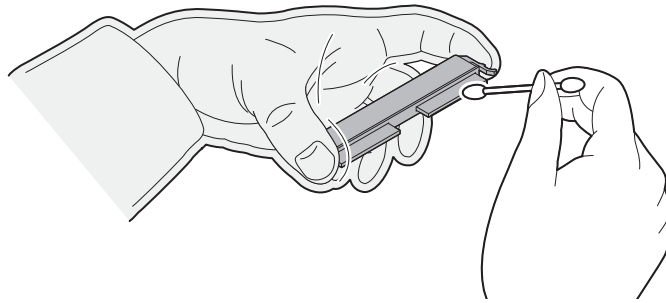
4 ワイパー両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。



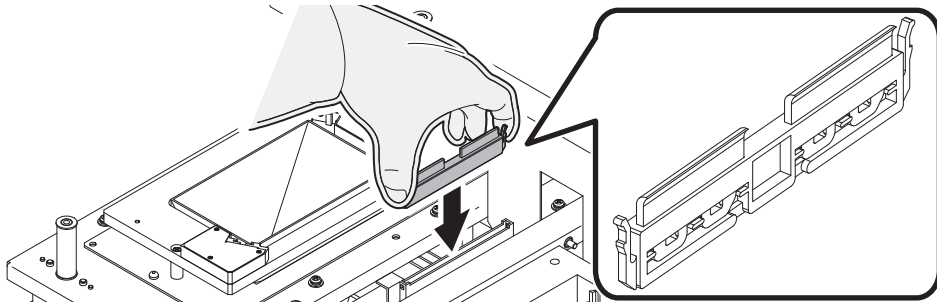
5 ワイパーとブラケット、およびワイパー差し込み口周辺に付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で取り除きます。



■汚れ、曲がりが多い場合は、新しいワイパーと交換します。本操作を終了後、ワイパー交換手順に従って、ワイパーを交換してください。(4-58 参照)



6 ワイパーの清掃が終わったら、両端の突起を持って、元の位置に差し込みます。ワイパーの向きを間違えないように注意してください。



7 【ENTER】 キーを押します。

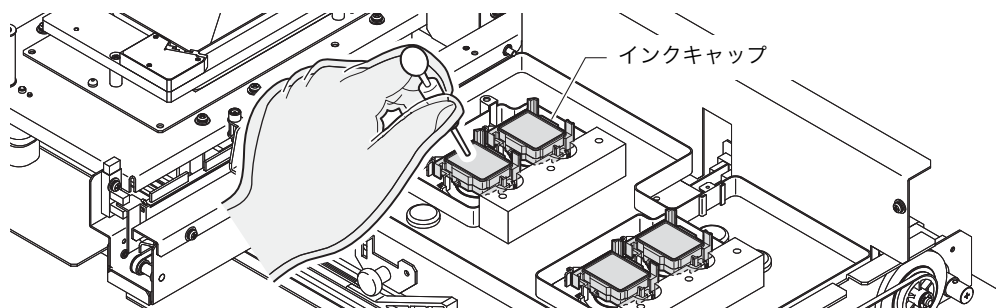
ワイパート ブラケットヲ
クリーニング スル

ワイパー クリーニング
シュウリョウ (ツギヘ) :ent

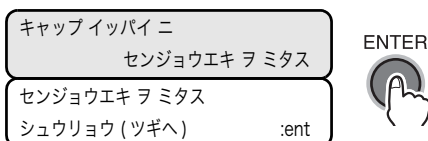
ENTER



8 スポイトでメンテナンス洗剤液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。

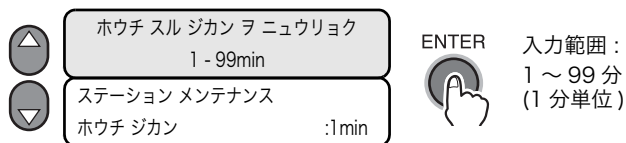


9 メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。



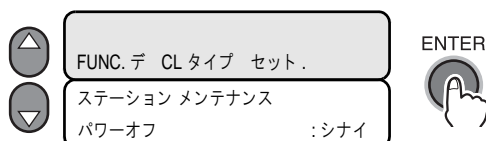
10【▲】【▼】キーで、放置する時間を設定します。

通常は「1分」で設定します。



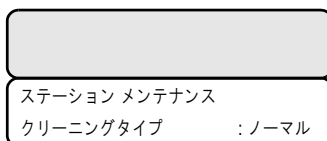
11【▲】【▼】キーで、ノズル洗浄後の自動パワーオフ選択を設定します。

[パワーオフ]: シナイ (デフォルト) : パワーオフしません。
 スル : ノズル洗浄終了後に自動でパワーオフします。



■ 自動パワーオフ選択画面で【FUNCTION】キーを押すと、ノズル洗浄後のクリーニングタイプが選択可能です。

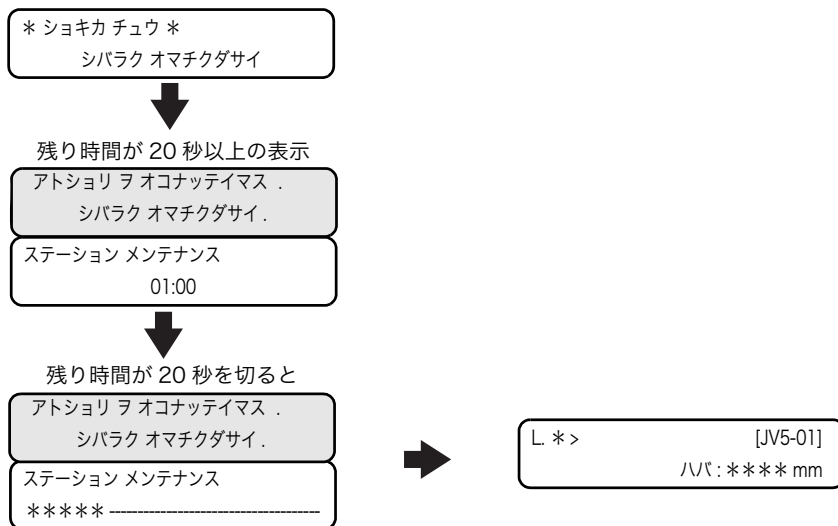
[クリーニングタイプ]: ノーマル、ソフト、ハード



12【ENTER】キーを押します。

キャリッジがステーションに戻り、洗浄液吸引 / クリーニング動作のため、設定した時間ノズルをキャップし、以下の表示が放置時間のあいだ続きます。

設定した放置時間が経過すると、初期動作を行い、ローカルモードに戻ります。



目次

1

2

3

4

5

6

索引

インク排出路の洗浄 [ハイロセンジョウ]

[PUMP チューブセンジョウ] 機能が実行できない場合、本機能を使います。インクの排出路内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。このインク詰まりを防止するため定期的に (1 週間に 1 回程度) 排出路内を洗浄してください。



- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

重要!

- キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは、[ステーションメンテナンス] 機能を選択して動かします。
- ポンプが詰まっていないか確認しましょう。ポンプが詰まっていると、クリーニング機能が正常に動きません。[ハイロセンジョウ] を実行したとき、洗浄液がキャップから流れず溜まったままになってしまう場合は、ポンプが詰まっている可能性があります。ポンプが詰まってしまったときは、弊社テクニカルコールセンターにお問合せください。

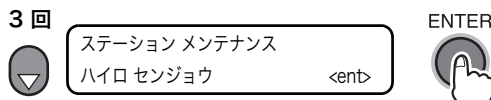
操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

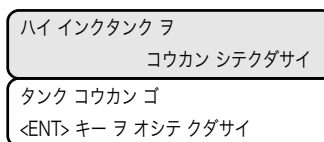
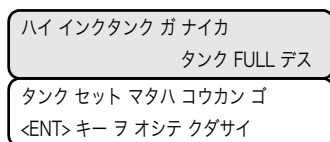


- 2 [▼] キーで、[ハイロセンジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。

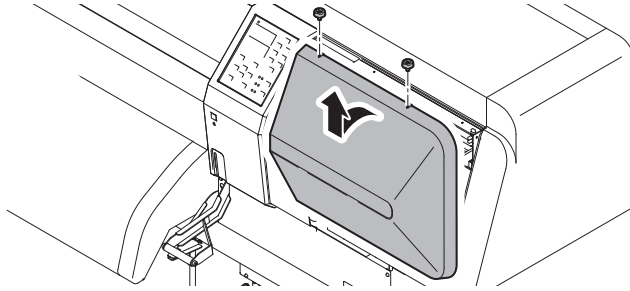
キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。空吸引動作が始まります。吸引動作 -5 秒、停止時間 -10 秒をそれぞれ交互に動作し続けます。



- 廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。画面の指示に従って、異常復旧してください。

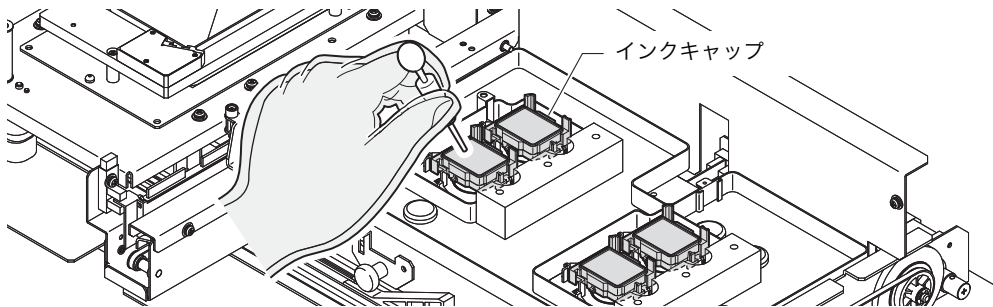


3 メンテナンスカバーを開けます。



4 スポイトでメンテナンス洗浄液をとります。

空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前までメンテナンス洗浄液 を垂らします。
同様に、すべてのキャップに対してメンテナンス洗浄液を垂らします。



5 メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

キュウイン テイシチュウ ニ キャップ
ヲ センジョウ エ キ デ ミ タ ス

ステーション メンテナンス
シュウリョウ :ent

ENTER



6 30 秒間、空吸引を実行し、初期動作後、ローカルモードになります。

* ショキカ チュウ *
シバラク オマチクダサイ



L.*> [JV5-01]
ハバ:***mm

長期間使用しない場合 [ホカンセンジョウ]

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。



- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。
インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

重要!

- [ニアエンド]、[インクエンド]を検出したカートリッジがあると、ノズル洗浄などのクリーニング（インク吸引）動作を行いません。[ニアエンド]未検出のカートリッジに交換してください。



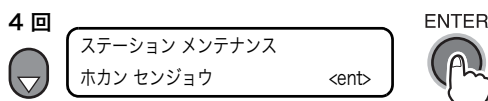
- 清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

操作手順

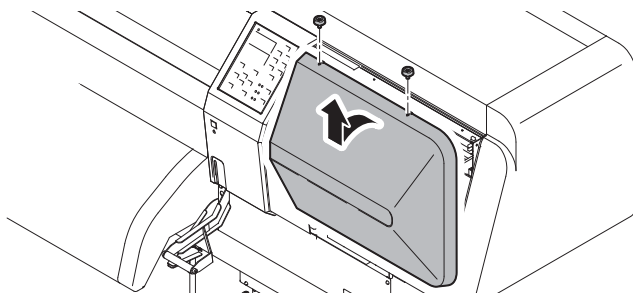
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



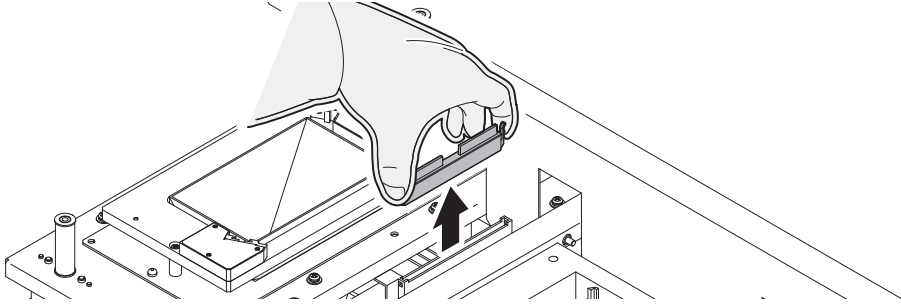
- 2 [▼] キーで、[ホカンセンジョウ]を選択し、【ENTER】キーを押します。
キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。



- 3 メンテナンスカバーを開けます。



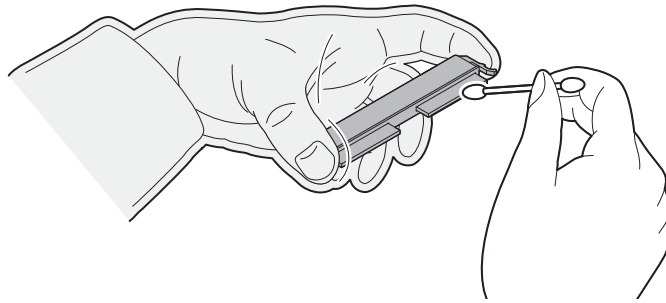
4 ワイパー両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。



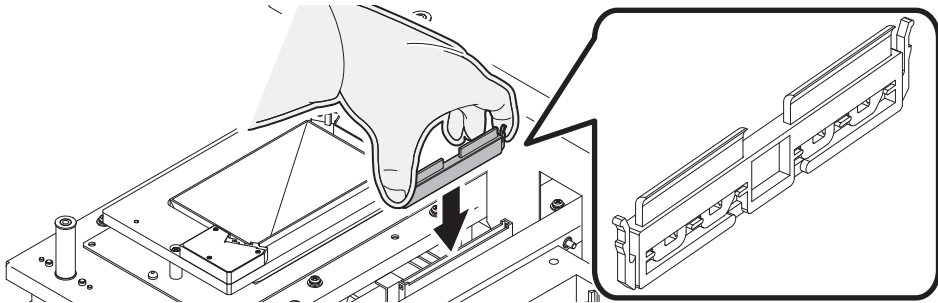
5 ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗淨液を含ませた綿棒で取り除きます。



■汚れ、曲がりが多い場合は、新しいワイパーと交換します。本操作を終了後、ワイパー交換手順に従って、ワイパーを交換してください。(4-58 参照)



6 ワイパーの清掃が終わったら、両端の突起を持って、元の位置に差し込みます。ワイパーの向きを間違えないように注意してください。



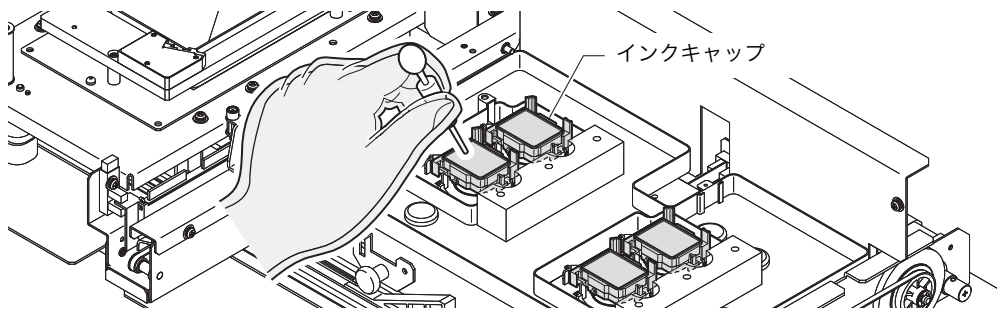
7 [ENTER] キーを押します。

ワイパート ブラケットヲ クリーニング スル	
ワイパー クリーニング シュウリョウ (ツギヘ)	:ent

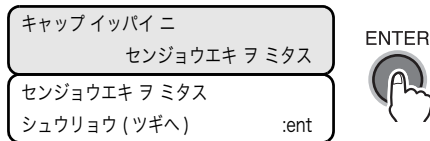
ENTER



8 スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。

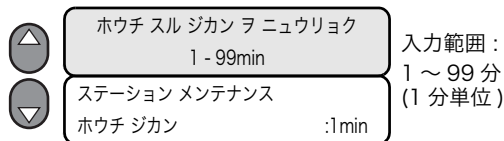


9 メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。



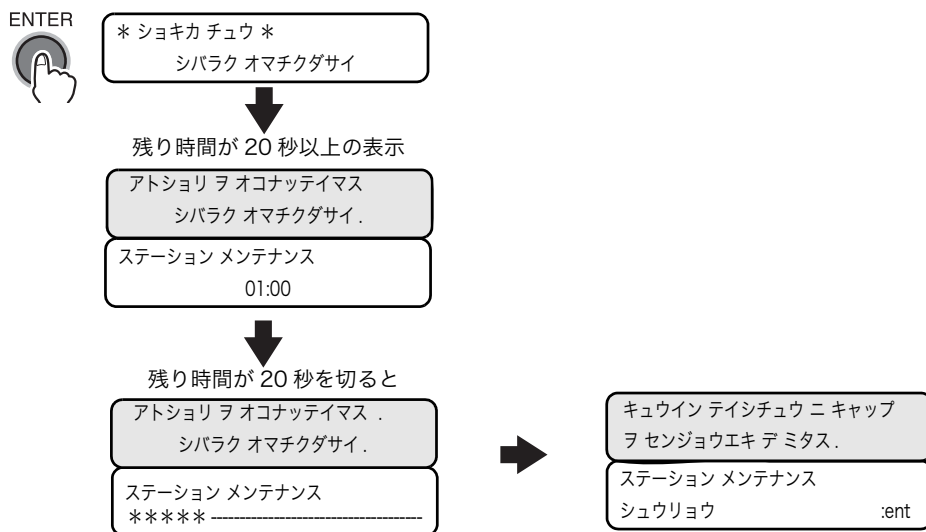
10【▲】【▼】キーで、放置する時間を設定します。

通常は「1分」で設定します。



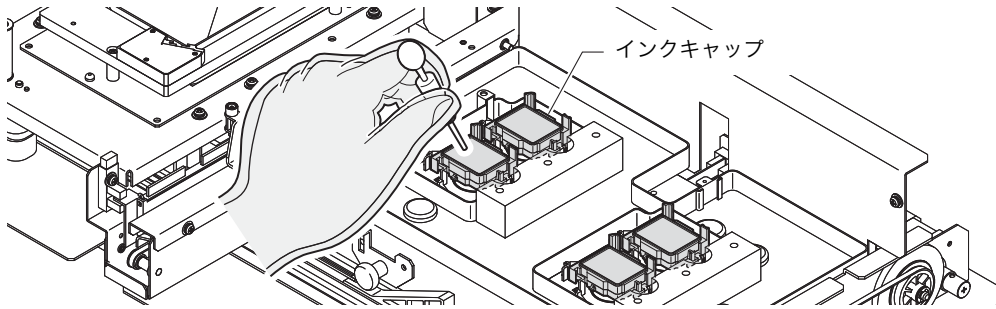
11【ENTER】キーを押します。

ノズルの洗浄を実行します。
ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。



12 メンテナンスカバーを開け、スポイトでメンテナンス洗淨液 をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。

空吸引動作は断続的に行っているため、数回この作業を繰り返し、インクの排路をクリーニングします。作業は、すべてのキャップに対して行います。



13 メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

30 秒間空吸引を実行します。ヘッドがステーションに戻り、初期動作後、ローカルモードになります。

* ショキカ チュウ *
シバラク オマチクダサイ



L * > [JV5-01]
ハバ: **** mm

[PUMP チューブセンジョウ] を行う前に

[PUMP チューブセンジョウ] または [ワイパーセンジョウ] を実行する際は、必ずメンテナンス洗浄液がチューブ内に充填されている必要があります。

メンテナンス洗浄液の充填 [メンテナンス センジョウエキ]

ワイパー洗浄、ポンプチューブ洗浄で使用する、専用洗浄液を充填・排出します。



■廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。
画面の指示に従って、異常復旧してください。

ハイインクタンク ガナイカ
タンク FULL デス
タンク セット マタハ コウカンゴ
<ENT> キー ヲ シ テ ク ダ サ イ

ハイインクタンク ヲ
コウカン シ テ ク ダ サ イ
タンク コウカンゴ
<ENT> キー ヲ シ テ ク ダ サ イ

操作手順

- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



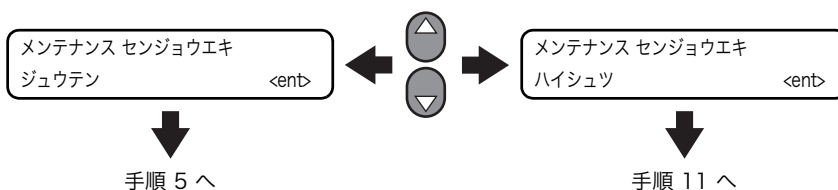
- 【▼】キーで、【ヘッド メンテナンス】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 【▼】キーで、【メンテナンス センジョウエキ】を選択し、【ENTER】キーを押します。

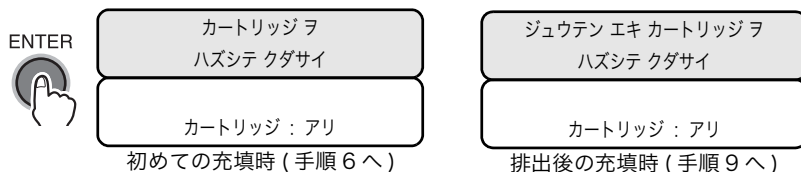


- ここで【▲】【▼】キーを押すと、【ジュウテン】と【ハイシュツ】を選択できます。



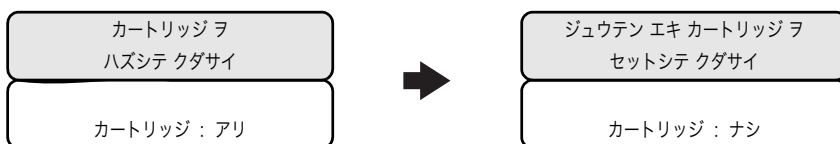
5 【ENTER】 キーで下の階層へ進み、メンテナンス用洗淨液を充填します。

カートリッジをセットすると、充填が始まります。
洗淨液を吸引し、チューブ内を洗淨液で満たします。
初めての充填時は手順 6 へ、排出後の充填時は手順 9 へ進みます。



初めての充填時

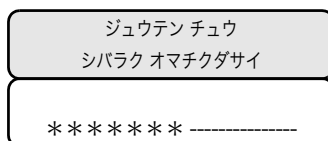
6 画面の指示に従って、充填液カートリッジをセットします。



■ 充填液カートリッジに異常を検出した場合は、以下のいずれかの画面を表示します。

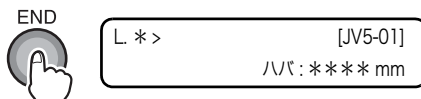


7 メンテナンス用洗淨液を充填します。



8 【END】 キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



目次

1

2

3

4

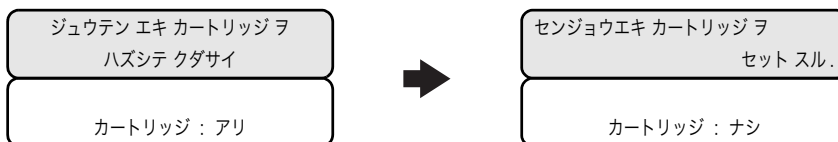
5

6

索引

排出後の充填時

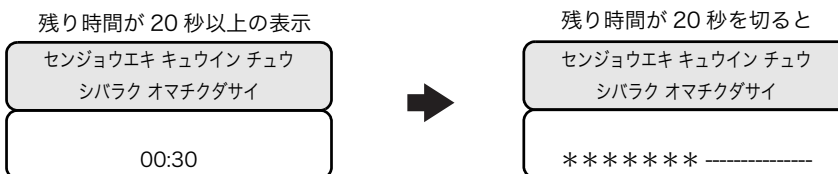
9 画面の指示に従って、洗浄液カートリッジをセットします。



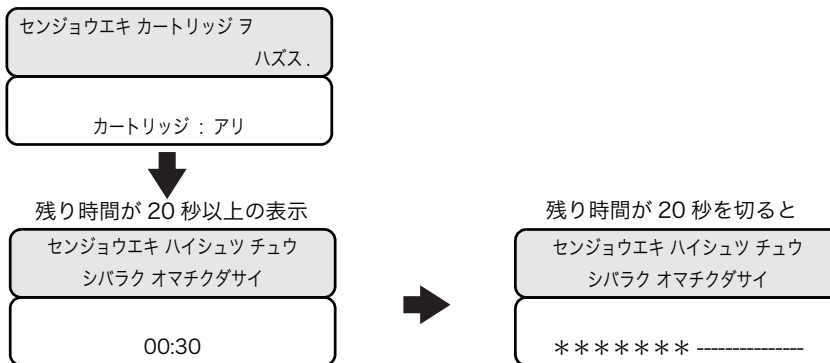
■洗浄液カートリッジに異常を検出した場合は、以下の画面を表示します。



10 メンテナンス洗浄液を充填します。



11 メンテナンス洗浄液を排出します。



12 [END] キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



L.*> [JV5-01]
ハバ:**** mm

PUMP チューブセンジョウ

本装置に搭載されている 4 つのポンプのうち、インク吸引用の 2 つのポンプの洗浄を行います。

洗浄液吸引ポンプを駆動して、インクキャップ、インク排出路、インク吸引ポンプのチューブ内を洗浄します。

洗浄液未充填状態、洗浄液カートリッジ、廃インクタンクにワーニングが発生している場合は、洗浄はできません。



■ 洗浄液カートリッジスロットには、専用洗浄液カートリッジ以外は、挿入しないでください。

重要!

■ [PUMP チューブセンジョウ] を実行する前に、メンテナンス洗浄液がチューブ内に充填されている必要があります。メンテナンス洗浄液の充填方法については、第 4 章 [[PUMP チューブセンジョウ] を行う前に] を参照してください。(4-20 参照)



■ 廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。画面の指示に従って、異常復旧してください。

ハイ インクタンク ガナイカ
タンク FULL デス

タンク セット マタハ コウカンゴ
<ENT> キーヲオシテクダサイ

ハイ インクタンクヲ
コウカン シテクダサイ

タンク コウカンゴ
<ENT> キーヲオシテクダサイ

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



目次

1

2

3

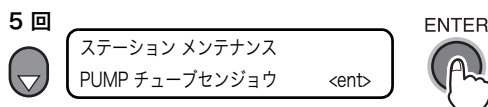
4

5

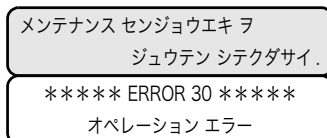
6

索引

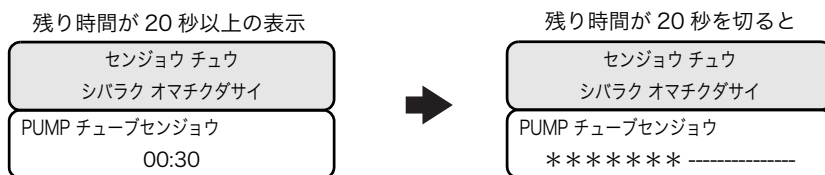
2 【▼】キーで、[PUMP チューブセンジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。



■ 洗浄液充填の必要がある場合は、以下の画面を表示します。



3 ポンプチューブ内を洗浄します。



ワイパーセンジョウ

ワイパーをワイパー Box へ収納し、ワイパーの洗浄を行います。
洗浄液未充填、洗浄液カートリッジナシのワーニングが発生している場合は、洗浄できません。

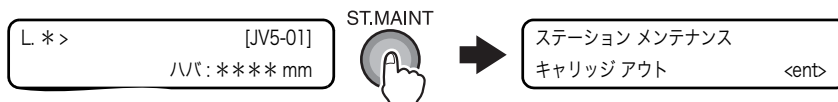
- 重要!** ■【ワイパーセンジョウ】を実行する前に、メンテナンス洗浄液がチューブ内に充填されている必要があります。メンテナンス洗浄液の充填方法については、次のページを参照してください。
(【PUMP チューブセンジョウ】を行う前に (4-20 ページ) 参照)



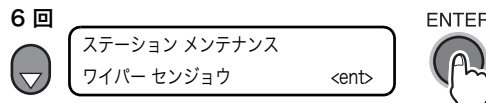
- 清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

操作手順

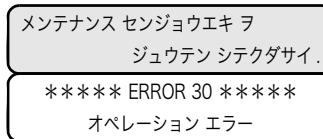
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



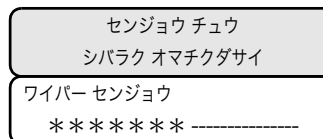
- 2 [▼] キーで、【ワイパーセンジョウ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



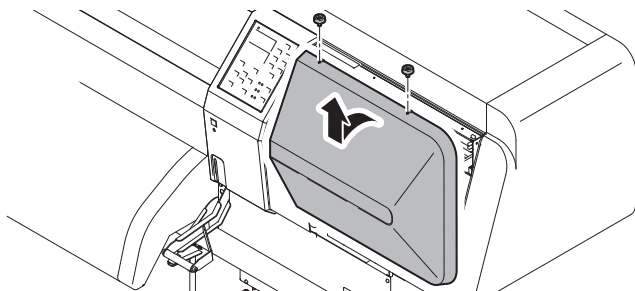
- 洗浄液充填の必要がある場合は、以下の画面を表示します。



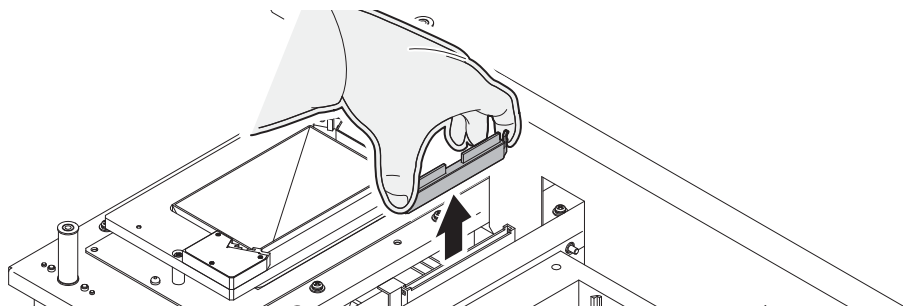
- 3 ワイパーに、メンテナンス洗浄液の点滴が行われます。
終了後、キャリッジがプラテン上に移動します。



4 メンテナンスカバーを開けます。



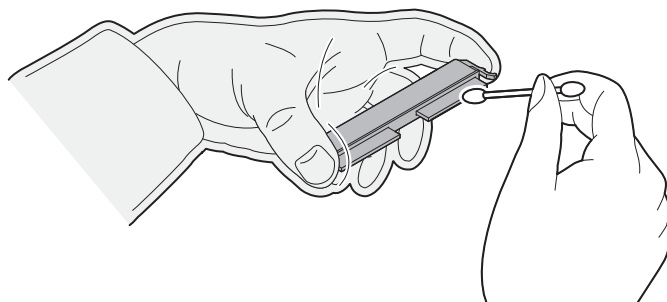
5 ワイパー両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。



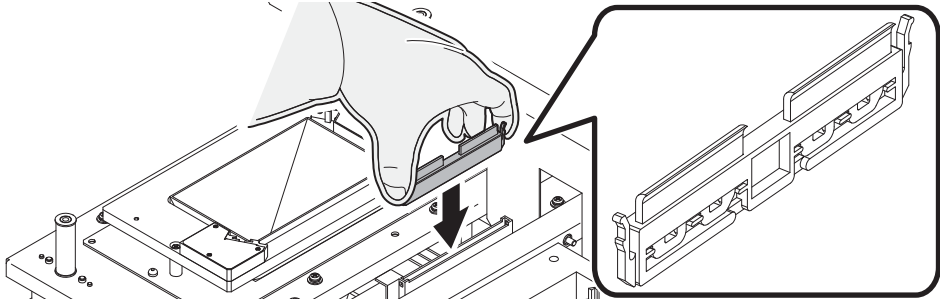
6 ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗淨液を含ませた綿棒で取り除きます。



- 汚れ、曲がりが多い場合は、新しいワイパーと交換します。本操作を終了後、ワイパー交換手順に従って、ワイパーを交換してください。(4-58 参照)



- 7 ワイパーの清掃が終わったら、両端の突起を持って、元の位置に差し込みます。
ワイパーの向きを間違えないように注意してください。

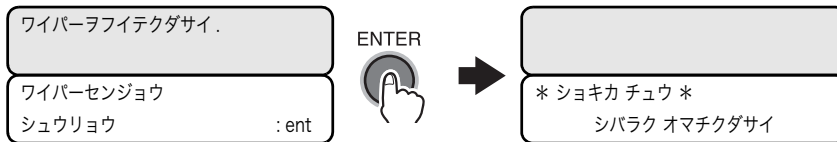


- 8 ワイパーカバーに付着したインク等を、メンテナンス洗浄液を含ませた綿棒で拭き取ります。

綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

- 9 メンテナンスカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

初期動作後、ローカルモードに戻ります。



ヘッド周辺の清掃 [キャリッジメンテナンス]

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。

スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、綿棒などでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。



■必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。
インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

操作手順

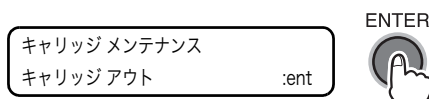
- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



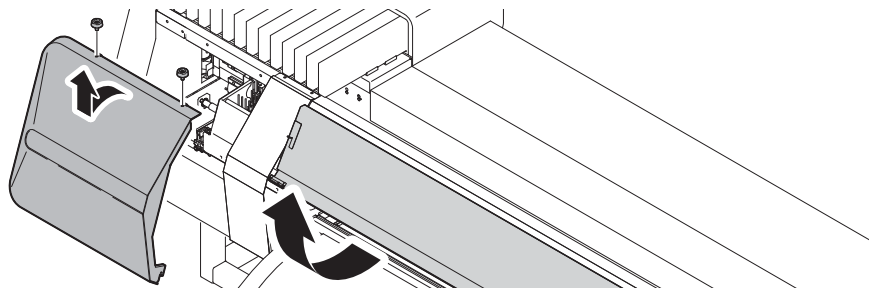
- 【▼】キーで、【キャリッジメンテナンス】を選択し、【ENTER】キーを押します。



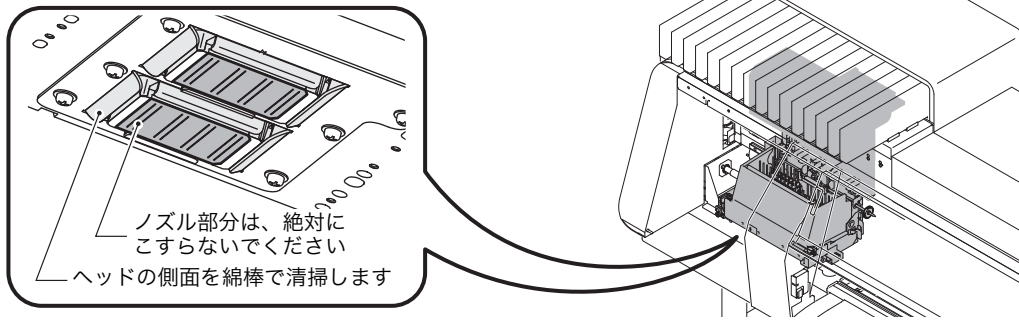
- 【キャリッジアウト】を表示後、【ENTER】キーを押します。
キャリッジが、本体左端まで移動します。



- メンテナンスカバーとフロントカバーを開けます。

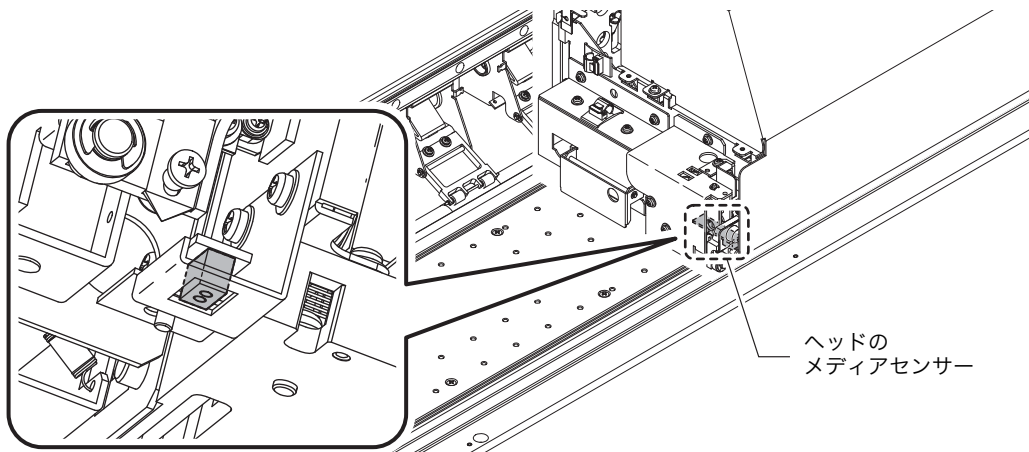


5 ヘッドの側面などに付着したインクを綿棒で拭き取ります。



6 ヘッドメディアセンサーを清掃します。

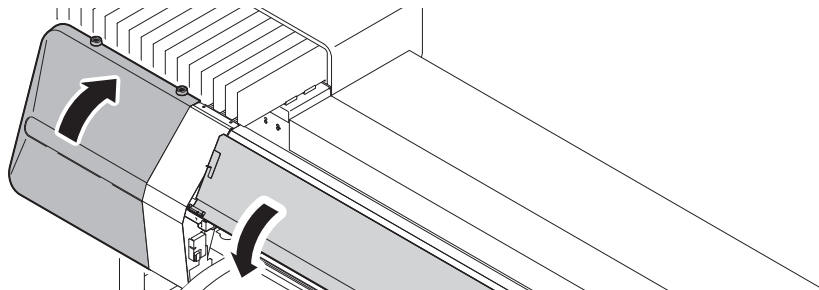
ヘッドメディアセンサーにホコリやインクが付着すると、メディアの誤検出の原因になります。柔らかい布でふき取ってください。



7 全ての清掃が終了した後、【ENTER】キーを押します。



8 メンテナンスカバーとフロントカバーを閉じます。



9 【ENTER】 キーを押します。

初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。



* ショキカ チュウ *
シバラク オマチクダサイ



L.*> [JV5-01]
ハバ: **** mm

電源オフ時のインク詰まり防止 [スリープセッテイ]

電源スイッチをオフにしても、定期的に装置が起動して、インク詰まりを防止するための各種動作を実行します。[スリープセッテイ]には、以下の項目があります。

[リフレッシュ]	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します
[チューブセンジョウ]	ポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します
[クリーニング]	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します

スリープ中のリフレッシュ間隔 [リフレッシュ]

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

操作手順

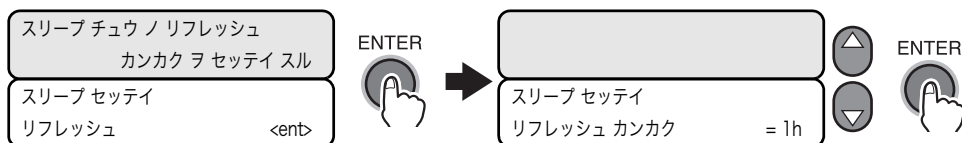
- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 【▼】キーで、【スリープセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 【ENTER】キーを押し、【▲】【▼】キーで間隔時間を設定して【ENTER】キーを押します。
入力範囲：OFF、1～168



- 【END】キーを数回押します。
ローカルモードに戻ります。

スリープ中のチューブ洗浄間隔 [チューブ センジョウ]

スリープ中に、メンテナンス洗浄液を使用してキャップとポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します。

操作手順

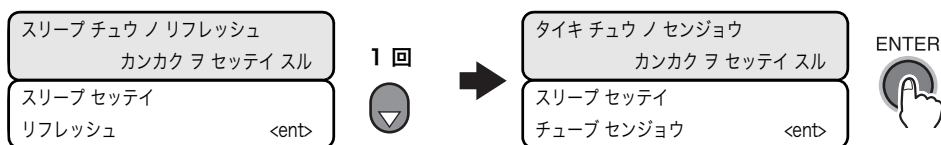
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 【▼】キーで、【スリープセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。

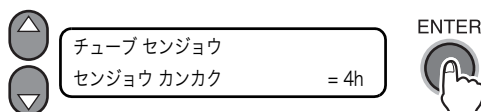


- 3 【▼】キーで、【チューブセンジョウ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 4 【▲】【▼】キーで、間隔時間を設定します。

入力範囲：OFF、1～168
【ENTER】キーで確定します。



■ 洗浄液充填の必要がある場合は、以下の画面を表示します。

センジョウエキミジウテン

- 5 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

スリープ中のクリーニング間隔 [クリーニング]

メンテナンス洗浄液がなくなってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。

スリープ中のクリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

操作手順

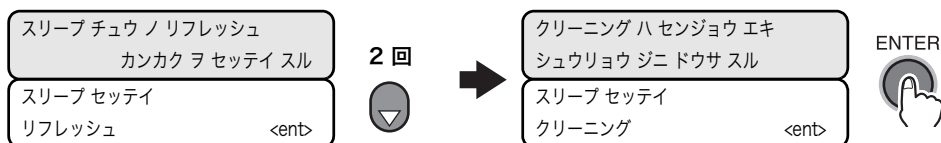
- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 【▼】キーで、【スリープセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



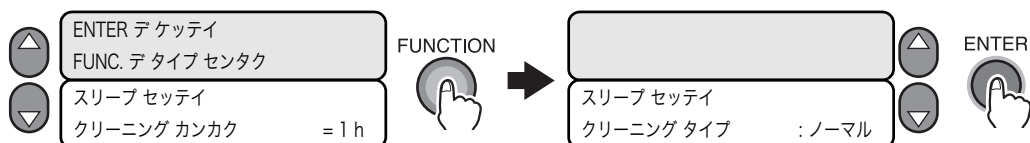
- 【▼】キーで、【クリーニング】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 【▲】【▼】キーで、クリーニング間隔を設定します。
【FUNCTION】キーで【クリーニングタイプ】を選択し、【▲】【▼】キーで、クリーニングタイプを設定します。【ENTER】キーで確定します。

[クリーニング カンカク] 入力範囲 : OFF、1 ~ 168

[クリーニング タイプ] : ソフト、ノーマル、ハード



- 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

装置待機中の定期動作設定 [テイキセッテイ]

作図はせずに装置を待機させている状態で、定期的な各種動作を実施することで、インク詰まりなどのトラブルを防止します。

また、昇華転写インクをご使用の場合、色味変化予防のお手入れ時期をお知らせする表示の間隔が設定できます。

[テイキセッテイ] には、以下の項目があります。

[テイキワイピング]	作図中、一定間隔でノズル面をワイピングし結露を取り除きます [スキャンカイスウ]、[オンドサ] が設定可能です (ソルベントインクをご使用の場合)
[リフレッシュ]	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します
[チューブセンジョウ]	ポンプチューブ洗浄を実行するまでの間隔を設定します
[クリーニング]	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します
[Sub-INK ワーニング]	色味変化予防ワーニングを表示する間隔を設定します。 (4-57 参照)

ノズル面でインクが結露するのを防ぐ [テイキワイピング]

(ソルベントインクをご使用の場合)

プリントヒーターを高温に設定したとき、または打ち込みインク量を多めに設定したとき (高濃度、2 度塗り等) に、作図途中でしぶき、ポタ落ち、またはノズル抜けが発生する場合があります。

これは、作図直後のインクがプリントヒーターで加熱され、揮発した溶剤成分がノズル面に結露してしまうことが原因です。

またプリントヒーターの設定温度と外気温度との差が大きいほど結露しやすくなります。

この機能は作図中、一定間隔でノズル面をワイピングし結露を取り除きます。

操作手順

- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

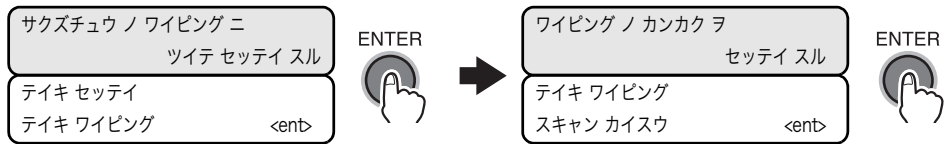


- 【▼】キーで、【テイキセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



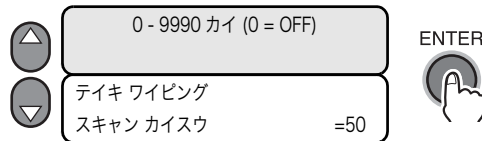
3 [ENTER] キーを押します。

[スキャン カイスウ] を表示しますので、[ENTER] キーを押します。



4 [▲] [▼] キーで、スキャン回数を入力します。

[ENTER] キーで確定します。

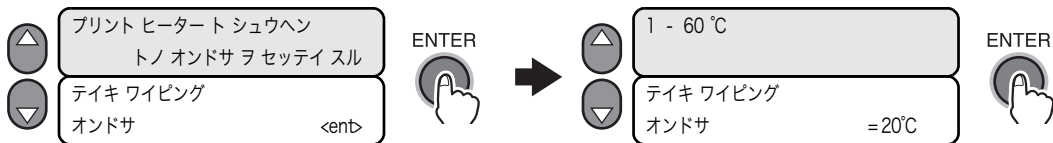


■ スキャン回数の初期値は 0 (実行しない) です。使用状況に応じて設定値を変更してください。

ヒーターを高温 (50℃ 以上) に設定した場合や、2 度塗り等打ち込みインク量が多い場合は、30 ~ 50 回が目安です。

5 [▼] キーで下の階層へ進み、[オンドサ] を設定します。

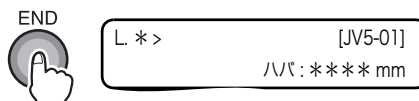
[▲] [▼] キーで温度差を入力し、[ENTER] キーで確定します。



■ プリントヒーターの温度設定が外気温度よりも高く、その差が設定した温度差以上になった場合に、定期ワイピング機能が有効になります。

6 [END] キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



待機中のリフレッシュ間隔 [リフレッシュ]

リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。

操作手順

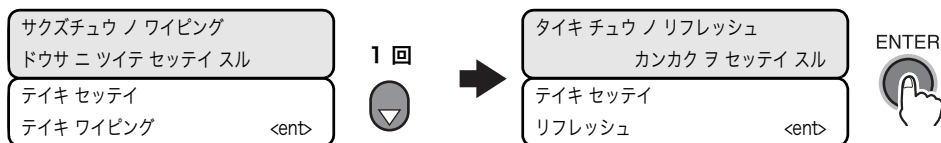
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 【▼】キーで、【テイキセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。
水性インクをお使いの場合は、再度【ENTER】キーを押し、手順4へ進みます。

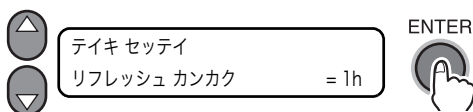


- 3 【▼】キーで、【リフレッシュ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



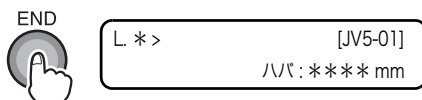
- 4 【▲】【▼】キーで、リフレッシュ間隔を入力します。

入力範囲：OFF、1～168
【ENTER】キーで確定します。



- 5 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



待機中のチューブ洗浄の間隔 [チューブセンジョウ]

チューブ内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。
このインク詰まりを防止するために、定期的にチューブ内洗浄を実行します。

重要! ■本装置では、フラッシング BOX の詰まりを防止するために PUMP チューブ洗浄機能を使用して洗浄液をフラッシング BOX に流します。
フラッシング BOX に流したインクの量により、自動的に PUMP チューブ洗浄機能を実行します。

操作手順

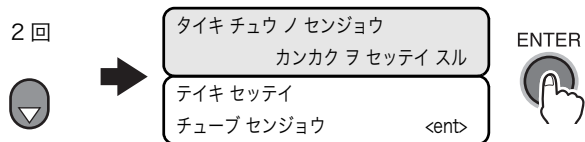
- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 【▼】キーで、【テイキセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。

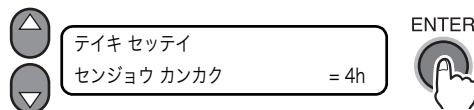


- 【▼】キーで【チューブセンジョウ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 【▲】【▼】キーで、洗浄間隔を入力します。

入力範囲：OFF、1～168
【ENTER】キーで確定します。



■洗浄液充填の必要がある場合は、以下の画面を表示します。

センジョウエキ ミジュウテン

5 【END】 キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



L * > [JV5-01]
ハバ: **** mm

待機中のクリーニング間隔 [クリーニング]

メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

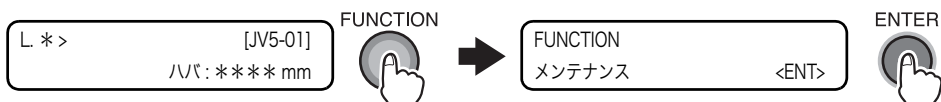
- 重要!** ■「ニアエンド」「インクエンド」等、インクに関するエラーが発生している場合は、動作しません。
- 動作中は「クリーニング」動作と同じ進行状況を示す表示となり、キー操作はできません。(異常なパターンの場合は (クリーニング) (3-46 ページ) 参照)
- 本機能は、以下の表示のまま放置されているときのみ動作します。

L.*> [JV5-01]
ハバ:****mm

R.*> [JV5-01]
.mm

操作手順

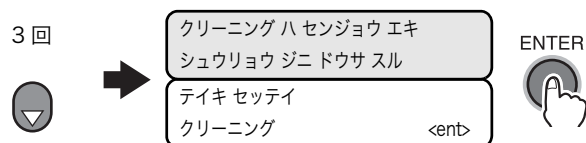
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 【▼】キーで、【テイキセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 3 【▼】キーで、【クリーニング】を選択し、【ENTER】キーを押します。

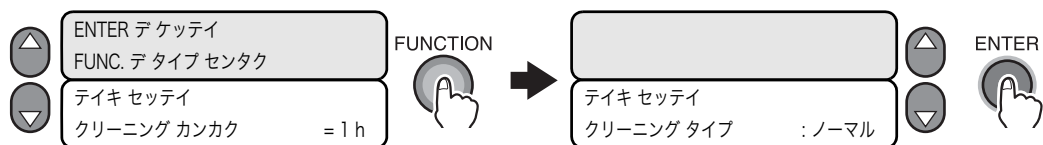


- 4 **【▲】【▼】** キーで、クリーニング間隔を設定します。
【FUNCTION】 キーで **【クリーニング タイプ】** を選択し、**【▲】【▼】** キーで、**クリーニングタイプ**を設定します。

[クリーニング カンカク] 入力範囲 : OFF、1 ~ 168

[クリーニング タイプ]: ソフト、ノーマル、ハード

【ENTER】 キーで確定します。



- 5 **【END】** キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。

その他のメンテナンス機能

ワイパー交換の警告時期を変更する [ワイパーレベル]

ワイパーは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパーではクリーニング効果が得られません。環境により、ワイパー交換時期の警告を標準より早期に促します。



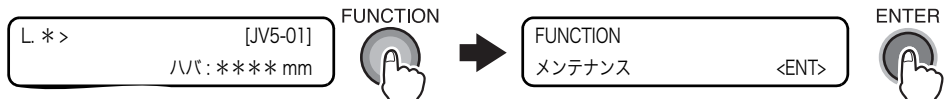
ワイパー不良の例

10 / 10	標準のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。(初期値)
9 / 10	標準の 9/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
8 / 10	標準の 8/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
1 / 10	標準の 1/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。

表 4-1：ワイパー交換警告の設定値

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

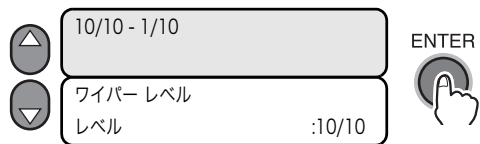


- 2 【↓】キーで、【ワイパーレベル】を選択し、【ENTER】キーを押します。



3 【▲】【▼】キーで、ワイパーレベルを入力します。

【ENTER】キーで確定します。



4 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



フラッシング BOX クリーニングおよび交換の警告時期を変更する [BOX コウカン レベル]

フラッシング BOX は、使用環境や動作条件、ご使用になるインクの種類などによっては、クリーニングや交換の標準の時期よりも早く汚れることがあります。本機能でフラッシング BOX のクリーニングや交換の時期を標準より早めることができます。

レベルは 5 段階 (5/5 ~ 1/5) で設定できます。

レベル 5/5 では標準の時期で警告します。レベル 1/5 では標準の 2 倍近く早く警告します。ステーション周辺の汚れ具合を見て変更してください。

操作手順

- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

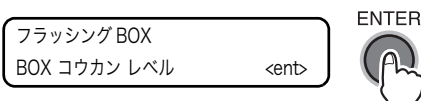


- 【▼】キーで、【フラッシング BOX】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 【▼】キーで、【BOX コウカン レベル】を選択し、【ENTER】キーを押します。

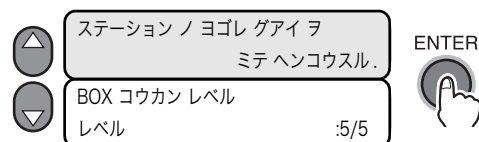
フラッシング BOX のクリーニングワーニングまたはエラーが発生していない場合



フラッシング BOX のクリーニングワーニングまたはエラーが発生している場合



- 【▲】【▼】キーで、BOX コウカンレベルを入力します。
【ENTER】キーで確定します。



- 【END】キーを数回押します。
ローカルモードに戻ります。

廃インクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。

下記のエラーメッセージが表示されたら、速やかに廃インクタンクを交換してください。

L.1 > [JV5-01]
!ハイインクタンク FULL/NONE

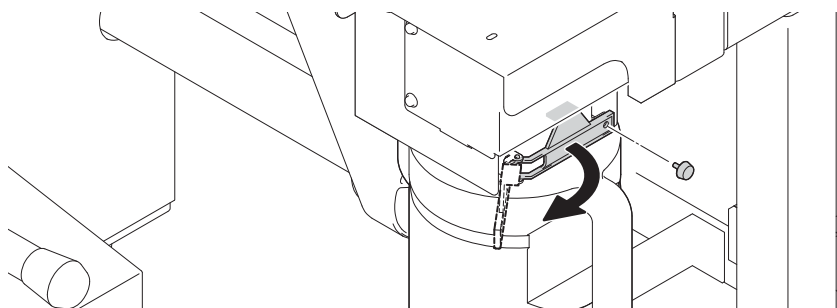
L.1 > [JV5-01]
!ハイインクタンク FULL マチカ



■廃インクタンクは、JV5 専用 (SPC-0128) のものを使用してください。これ以外のタンクを使用した場合、廃インクの残量検出が正確に行われず、廃インクがタンクから漏れる場合があります。

操作手順

- 1 廃インクタンクガードのネジをはずし、廃インクタンクガードを開けます。

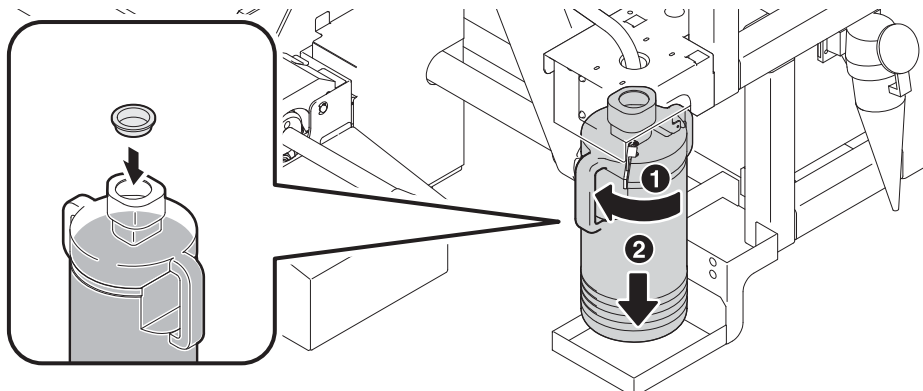


- 2 廃インクタンクの大きい取手を持ち、上に持ち上げたまま 90 度回し、下方手前に引き出します。

インクが溜まっている廃インクタンクには、キャップをはめます。

重要! ■廃インクタンクを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、廃インクタンク口をペーパータオルなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。

■インクで床を汚さないように、予め下に紙を敷いてから交換してください。



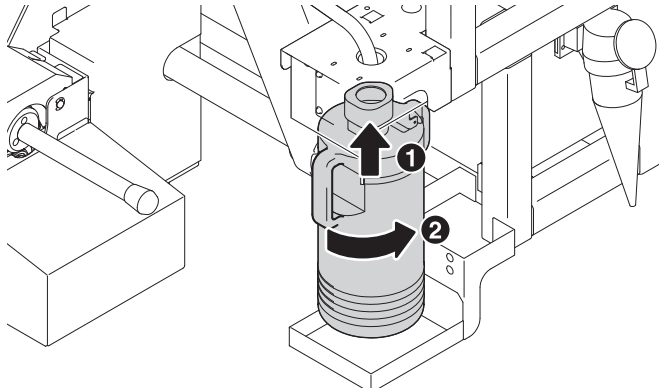
3 廃インクタンクを交換します。

インクタンクの取手を持って差し込みます。

4 廃インクタンクの大きい取手を持って、右側からブラケットに入れます。

5 差し込んだ廃インクタンクを上を持ち上げて、奥側に 90 度回します。

小さい取手は、前側に来ます。



6 廃インクタンクガードを閉じ、ネジを締めて、廃インクタンクを固定します。

フラッシング BOX のクリーニング

下記のワーニングメッセージが表示されたら、速やかに吸出しファン BOX フタを清掃してください。

```
L.1> [JV5-01]
!フラッシングBOX クリーニング
```

上記のワーニングメッセージの6回目を表示する時期がきたら、フラッシング BOX の交換が必要になります。フラッシング BOX 交換のお知らせは3段階で行われます。

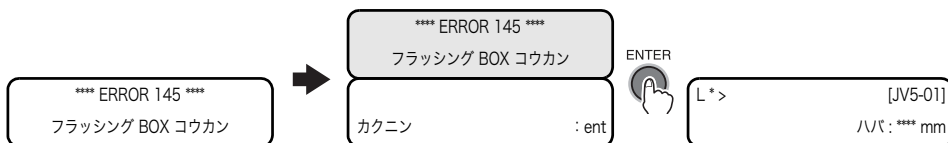
- 交換時期が近づくと、以下のメッセージが表示されます。

```
L.*> [JV5-01]
!フラッシングBOX コウカン マチカ
```

- 交換時期になると、以下のメッセージが表示され、1 データ作図することにローカルモードになり動作を停止します。
フラッシング BOX の交換が必要です。弊社サービスおよび販売店へサービスコールしてください。

```
L.*> [JV5-01]
!フラッシングBOX コウカン
```

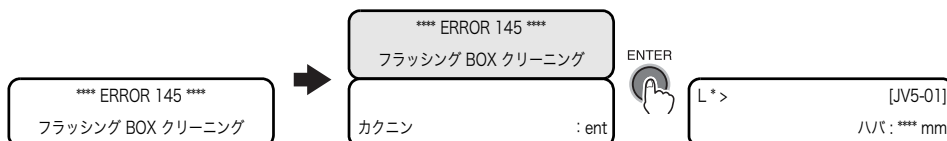
- 交換時期を過ぎても交換せずに使い続けると、以下のメッセージが表示され、作図ができなくなります。
フラッシング BOX の交換が必要です。弊社サービスおよび販売店へサービスコールしてください。



- 重要!** ■ インクが皮膚に付着したり目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

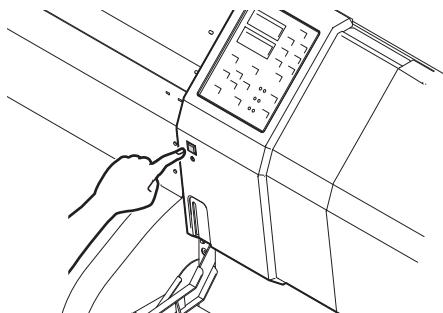
- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。

- フラッシング BOX のクリーニングをせずに使い続けた場合、下記のエラーメッセージが表示され、1 データを作図することにローカルモードになり動作を停止します。ご使用を中止して、速やかに吸出しファン BOX フタの清掃をしてください。



作業手順

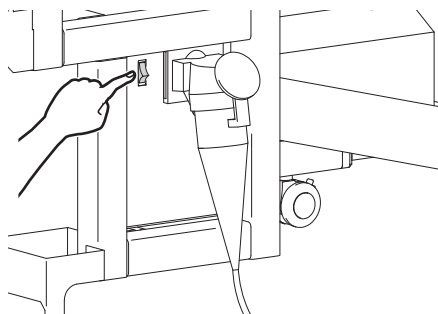
- 1 前面にある電源スイッチを押して、電源のオフを確認します。



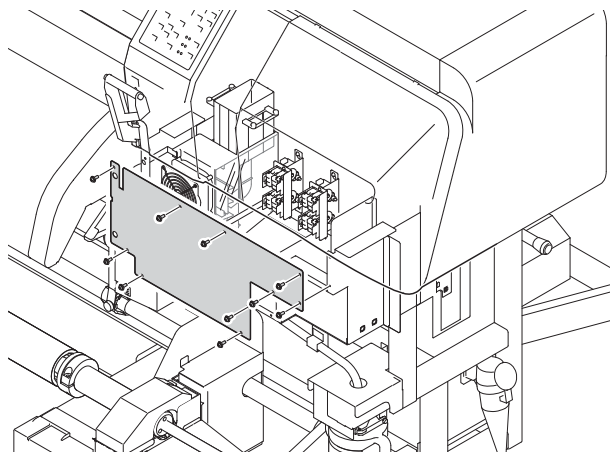
- 2 本体側面の主電源スイッチを切ります。



■ ポンプカバー T 内には制御基板やヒーター供給ハーネス等がありますので、必ず主電源スイッチを切ってください。



- 3 ポンプカバー T を開けます。



目次

1

2

3

4

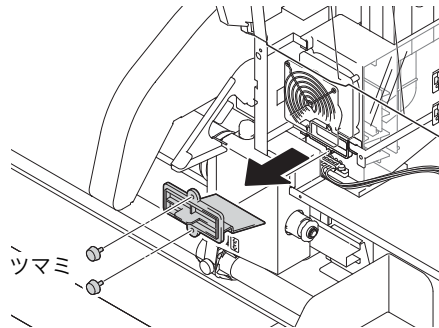
5

6

索引

4 吸出しファン BOX フタを引き出します。

吸出しファン BOX をとめているツマミを外してから、ファン BOX フタを引き出します。

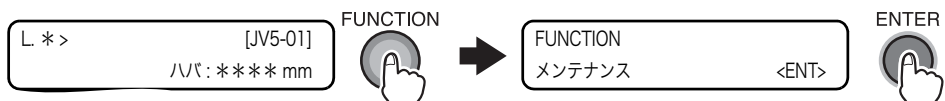


5 吸出しファン BOX フタに付着した汚れを取り除き、元のように取り付けます。

6 ポンプカバー T を閉め、電源を入れます。

7 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。

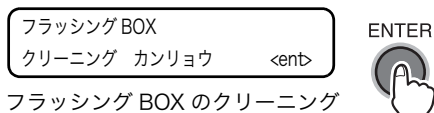
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



8 [▼] キーで、【フラッシング BOX】を選択し、【ENTER】キーを押します。

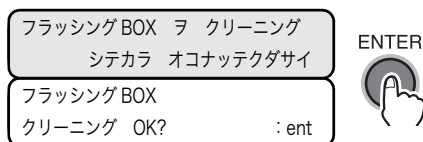


9 【クリーニング カンリョウ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



フラッシング BOX のクリーニングが不要なときは表示されません。

10【ENTER】キーを押します。



11 【END】 キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



■ローカルモード時に【ENTER】キーを押すと、フラッシング BOX のクリーニングまたは交換が間近になっているか確認できます。

L*>	[JV5-01]
ハバ:**** mm	

ENTER

フラッシング BOX	12.3%
HS-インク	MCYKKYCM
ザンリョウ	23456789

← 100.0%になると、ワーニングまたはエラーメッセージが表示されます。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

昇華転写インク使用時のメンテナンス

昇華転写インクをお使いの場合、通常のメンテナンスに加えて次のメンテナンスが必要になります。

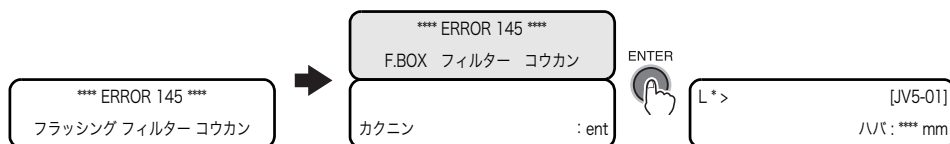
- F-BOX フィルターの交換 (4-50 参照)
- フラッシングトレイのクリーニング (4-52 参照)
- フラッシング BOX フィルター交換の警告時期の変更 (4-54 参照)
- 色材沈降による色味変化予防ワーニング表示と間隔変更 (4-57 参照)

F-BOX フィルターを交換する

昇華転写インクをお使いの場合、下記のワーニングメッセージが表示されたら、速やかに吸出しファン BOX 上のフィルターを交換してください。

```
L * > [JV5-01]
!Fbox フィルター コウカン マチカ
```

上記のメッセージを表示してからしばらく使い続けフィルター交換の時期がくると、下記のメッセージが表示され 1 データを作図することにローカルモードになり動作を停止します。ご使用を中止して、速やかに吸出しファン BOX 上のフィルターを交換してください。



重要! ■インクが皮膚に付着したり目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

作業手順

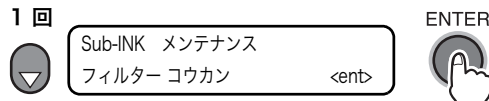
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



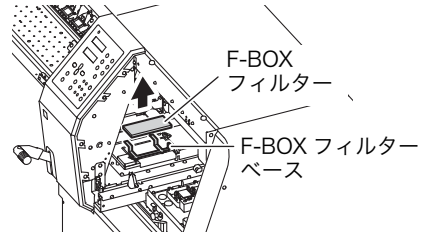
- 2 【▼】キーで、【Sub-INK メンテナンス】を選択し、【ENTER】キーを押します。



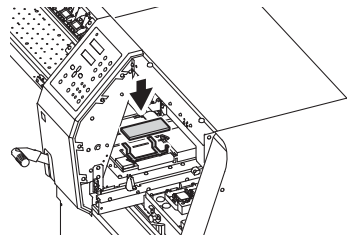
- 3 **[▼]** キーで、**[フィルター コウカン]** を選択し、**[ENTER]** キーを押します。
キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。



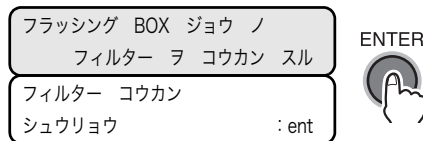
- 4 メンテナンスカバーを開けて、F-BOX
フィルターベースから F-BOX フィルター
を取り外します。



- 5 新しい F-BOX フィルターを、F-BOX
フィルターベースに取付けます。



- 6 メンテナンスカバーを閉じ、**[ENTER]** キーを押します。



- 7 ローカルモードに戻ります。



フラッシングトレイのクリーニング

昇華転写インクをお使いの場合、電源をオンするごとに以下のメッセージが表示されますので、インクトレイのクリーニングをしてください。

フラッシングBOX インク トレー
クリーニング シテクダサイ。

インク トレー クリーニング
キャンセル < > ジョコウ

重要! ■インクが皮膚に付着したり目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

作業手順

1 [▶] キーを押します。

キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

インク トレー クリーニング
キャンセル < > ジョコウ



2 [▼] キーで、[Sub-INK メンテナンス] を選択し、[ENTER] キーを押します。

7 回



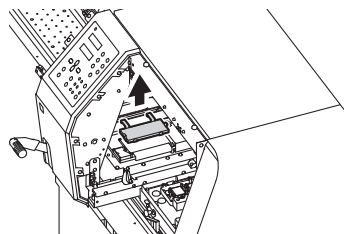
ステーション メンテナンス
Sub-INK メンテナンス <ent>

ENTER

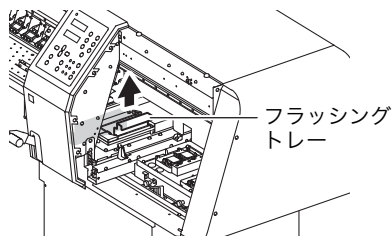


Sub-INK メンテナンス
インク トレー クリーニング <ent>

3 メンテナンスカバーを開けて、F-BOX フィルターと F-BOX フィルターベースを取り外します。

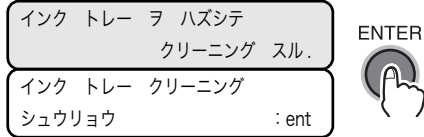


4 フラッシングトレイを取り外し、トレイ内に溜まったインクを清掃します。



5 フラッシングトレイを取り付けます。また、F-BOX フィルターと F-BOX フィルターベースも同様に取り付けます。

6 メンテナンスカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。



7 ローカルモードに戻ります。



- フラッシングトレイに溜まるインクは、毎日清掃してください。
- 清掃を行わず使用し続けた場合、汚れによる機能低下から、機械に重大な不具合が発生する恐れがあります。

フラッシング BOX フィルター交換の警告時期を変更する [フィルター コウカン レベル]

昇華転写インクをお使いの場合に、使用環境や動作条件などによっては、フラッシング BOX 上のフィルターが交換の時期よりも早く汚れることがあります。本機能でフィルター交換の時期を標準より早めることができます。

- レベルは 5 段階 (5/5 ~ 1/5) で設定できます。
- レベル 5 / 5 では標準の時期で警告します。
- レベル 1 / 5 では、標準の 2 倍近く早く警告します。
- フィルターの汚れ具合を見て変更してください。

重要! ■昇華転写インクをお使いのとき、フラッシング BOX フィルターの交換をメッセージでお知らせします。

フィルターの交換が近くなると

L * > [JV5-01]
!Fbox フィルター コウカン マチカ

- 早めにフィルターを交換することをお勧めします。

フィルターの交換時期になると

**** ERROR 145 ****
F.BOX フィルター コウカン

- 速やかにフィルターを交換してください。

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 【▼】キーで、【フラッシング BOX】を選択し、【ENTER】キーを押します。



3 【▼】キーで、[フィルター コウカン レベル] を選択し、【ENTER】キーを押します。

(フラッシング BOX のクリーニングワーニングまたはエラーが発生していない場合)

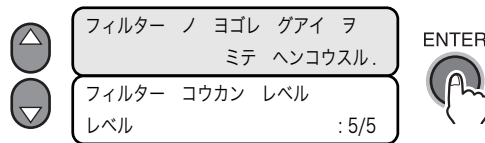


(フラッシング BOX のクリーニングワーニングまたはエラーが発生している場合)



4 【▲】【▼】キーで、BOX コウカンレベルを入力します。

【ENTER】キーで確定します。



5 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



昇華転写インクをより安定した品質でお使いいただくために

昇華転写インクをお使いのとき、装置を放置した後に印刷を行うと色材の沈降が原因で色味の変化が生じることがあります。

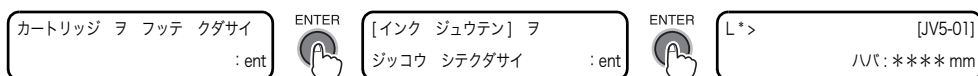
定期的にインクカートリッジを振るまたはインク充填を行うことにより、状況が緩和されます。(インク充填を行う前にも、インクカートリッジを振る必要があります。)

ファームウェアバージョン 6.40 以降では、インクカートリッジを振るまたはインク充填を行う時期になると、ディスプレイにメッセージ(色材沈降予防ワーニング)を表示してお知らせします。

■インクカートリッジを振る時期がきた場合



■インク充填を行う時期がきた場合

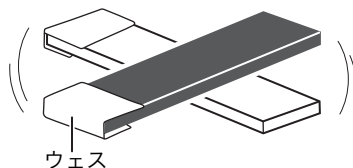


- この表示は、ローカルモードになっているときまたは、リモートモードからローカルモードに切り替えたときに表示されます。印刷を中断したり、連続印刷を妨げることはありませんが、リモートモード中には表示されないため、印刷の合間に【REMOTE】キーを押してローカルモードに切り替えることをお勧めします。



重要! ■インクカートリッジの振り方

インクカートリッジの長手方向を両手で持ち、インクを流すように左右交互に傾け、20回ほど繰り返します。



- インクカートリッジを強く振りすぎると、内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となる恐れがありますのでお気をつけください。
- 新品カートリッジの場合は、袋から出す前に振ってください。
- 使用中のカートリッジの場合は、必ず手袋を着用の上、差し込み口側にウェスなどを押し当てて振ってください。
- インク残量が少ない場合は、十分に攪拌できない可能性があるため、カートリッジが縦になるくらいまで傾けてください。

ワーニングメッセージの表示時期を設定する

本装置を設定している環境に合わせて、色材沈降予防ワーニングを表示させる時期を設定してください。

設定時間：OFF(無効)、12～120h



- 昇華転写インク Sb52 をお使いの場合、初期状態でメッセージの表示時期が 72 時間に設定されています。
- 昇華転写インク Sb51、Sb53 または Sb60 をお使いの場合、初期状態で本機能が無効 (OFF) になっています。

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



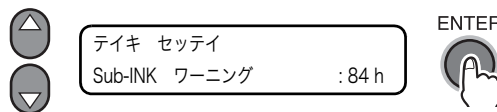
- 2 【▼】キーで、【テキセッテイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 3 【▼】キーで、【Sub-INK ワーニング】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 4 【▲】【▼】キーで、動作時間を設定し、【ENTER】キーを押します。



- 5 【END】キーを数回押します。
ローカルモードに戻ります。



ワイパーの交換 [ワイパーコウカン]

ワイパーは消耗品です。交換を促すメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。

- 重要!** ■ワイパー交換時以外は、[ワイパーコウカン] を選択しないでください。
本装置内部で管理しているワイパー使用回数がリセットしてしまいます。



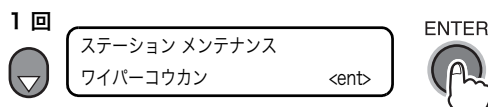
- クリーニングワイパーは別売品です。
お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- 清掃には、クリーンスティックの使用をお勧めします。綿棒を使用すると、繊維が残り、作図不良の原因になることがあります。

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
[キャリッジアウト] を表示します。

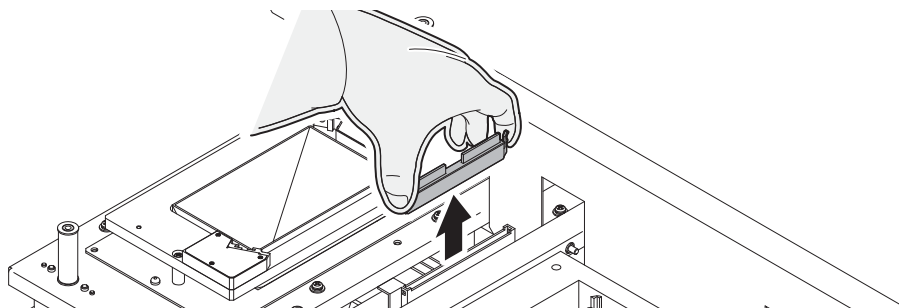


- 2 [▼] キーで、[ワイパーコウカン] を選択し、【ENTER】キーを押します。
キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。



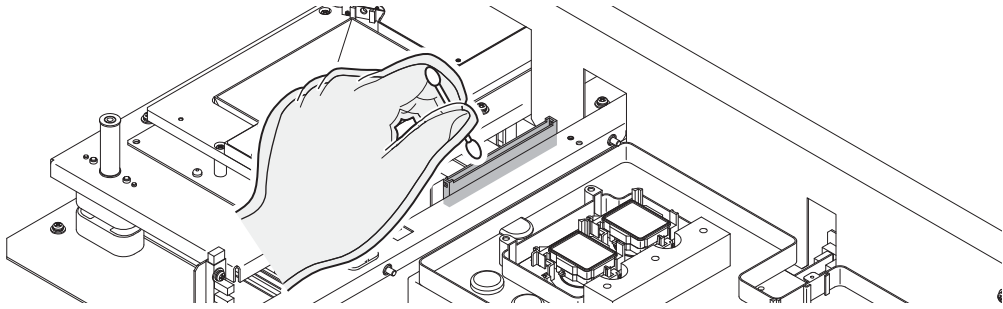
- 3 メンテナンスカバーを開けて、ワイパーを交換します。

両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。クリーニングセットの手袋を使用すると、手が汚れません。

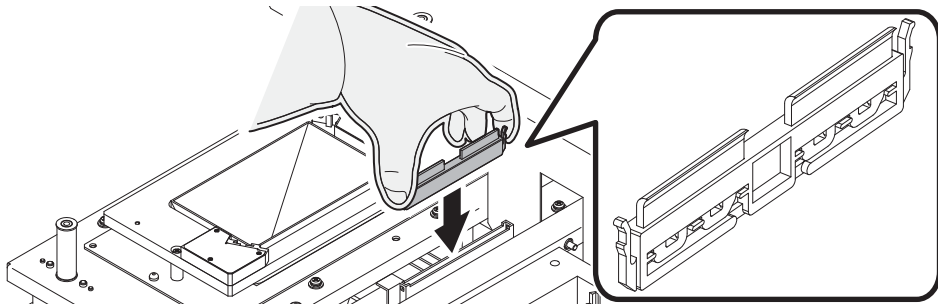


4 ワイパーのガイド軸を綿棒、または布等で清掃します。

汚れが落ちにくい場合は、綿棒にメンテナンス洗剤液を湿らせて清掃します。

**5** 両端の突起を持って新しいワイパーを差し込みます。

ワイパーの向きを間違えないように注意してください。

**6** メンテナンスカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

ステーションメンテナンス
シュウリョウ

:ent

ENTER

**7** ローカルモードに戻ります。

* ショキカ チュウ *
シバラク オマチクダサイ



L * > [JV5-01]
ハバ: **** mm

目次

1

2

3

4

5

6

索引

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。
切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0126) に交換してください。



- 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。
また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。



- カッター刃の交換の際、下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

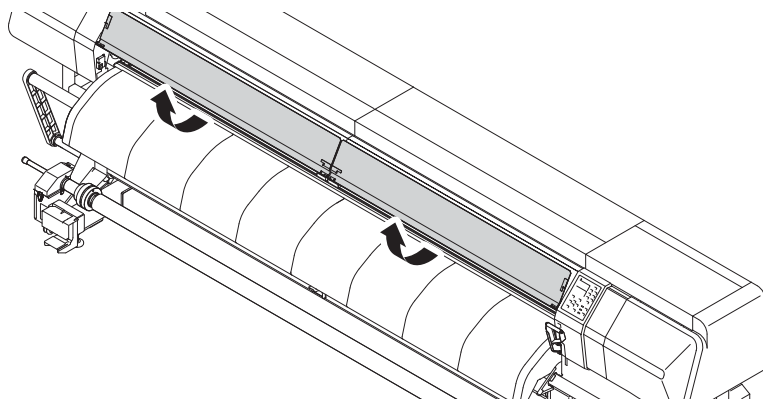
操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【ST.MAINT】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。

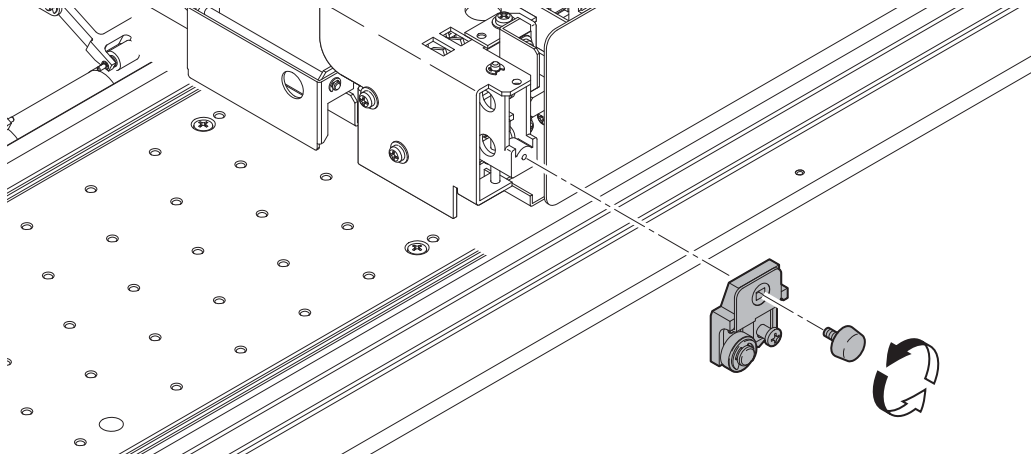


- 2 【ENTER】キーを押します。
キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

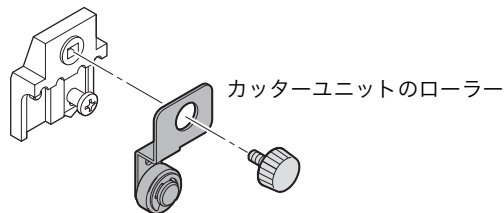
- 3 フロントカバーを開けます。



4 カッターユニットのネジを緩め、カッターユニットを取り外します。



5 ローラーを取り外し、新しいカッター刃ホルダ Assyに取り付けます。



6 新しいカッターユニットを取り付けます。

カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定します。

7 フロントカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

ローカルモードに戻ります。

* ショキカチュウ *
シバラク オマチクダサイ



L * > [JV5-01]
ハバ: **** mm

目次

1

2

3

4

5

6

索引

第5章

困ったときは



この章では ...

本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブル解消方法について説明します。

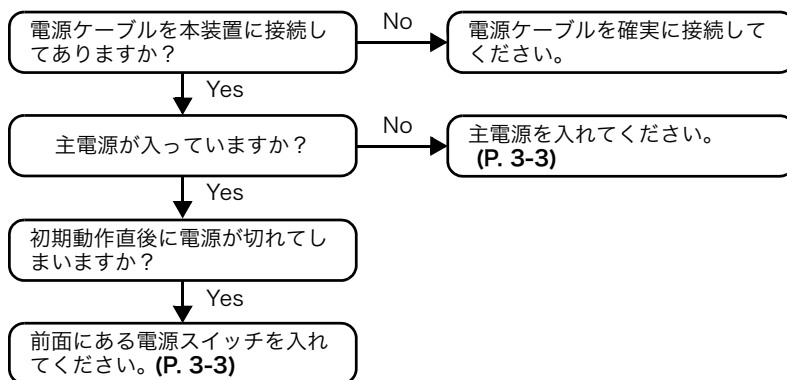
故障？と思う前に	5-2
画質不良が発生した場合は	5-4
カートリッジ異常が発生したら	5-12
メッセージを表示するトラブル	5-14

故障？と思う前に

ディスプレイにエラーメッセージが表示されないときのトラブルの対処方法について説明します。故障？と思う前にもう一度確認してください。
対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

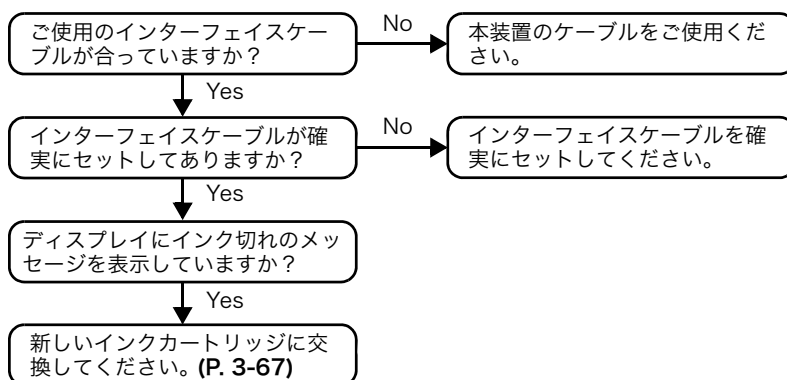
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正か、もう一度確認してください。



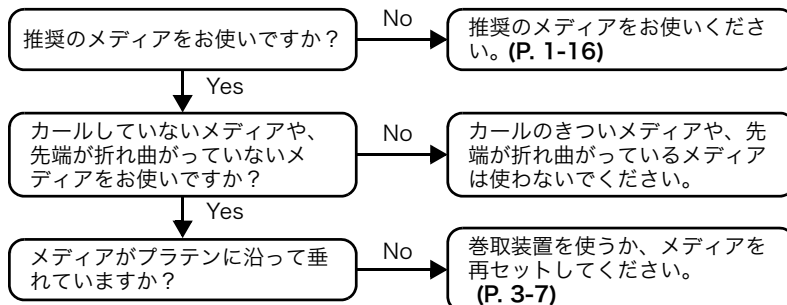
作図できない

作図ができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。また、作図機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



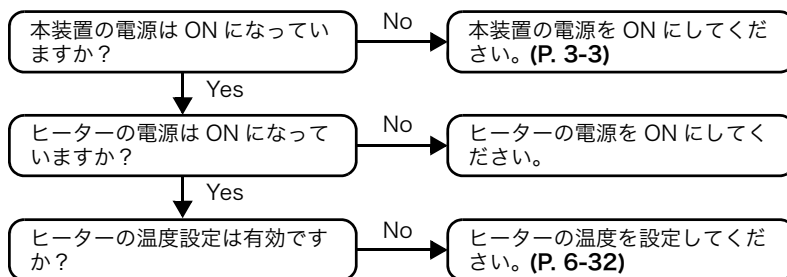
メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



[HEAT] ランプ, [CONSTANT] ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。



画質不良が発生した場合は

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

白スジ / カスレ（しぶき） / 色の濃いスジ（ヘッド移動方向）



対処方法

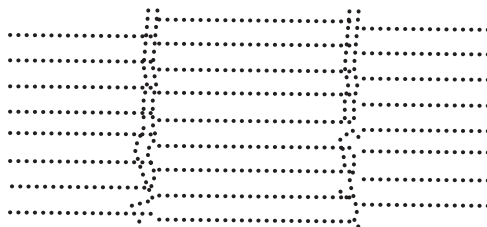
1. ヘッドクリーニングをしてください。
(ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-46 ページ) 参照)
2. ステーション内部のメンテナンスをしてください。
(ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト] (4-7 ページ) 参照)
3. 「メディア補正」機能を実行してください。
(メディア送り量の補正 [メディアホセイ] (3-50 ページ) 参照)
4. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
5. ヘッドギャップを下げて、作図を確認してください。
(ヘッドギャップを調整する (3-5 ページ) 参照)

文字が用紙送り方向に 2 重、3 重にブレる

対処方法

- 「メディア補正」機能を実行してください。
(メディア送り量の補正 [メディアホセイ] (3-50 ページ) 参照)

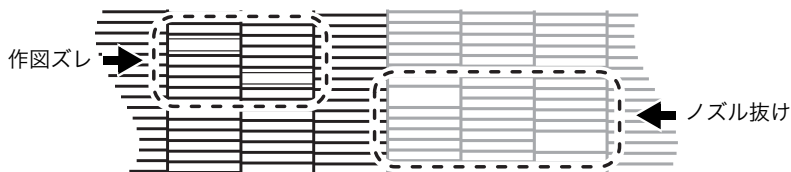
往復作図でズレが発生する（飛行曲がり）



対処方法

「ドット位置補正」機能を実行してください。
 (ドットの位置がずれたら [ドットイチホセイ] (3-52 ページ) 参照)

作図ズレやノズル抜けがある



対処方法

ヘッドクリーニングを実行してください。
 (ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-46 ページ) 参照)

作図中にインク滴が落ちる（ポタ落ち）



対処方法

1. ワイパーをクリーニングしてください。
 (ワイパーセンジョウ (4-25 ページ) 参照)
2. インクキャップのクリーニングをしてください。
 (ワイパーとキャップの清掃 [キャリッジアウト] (4-7 ページ) 参照)
3. ヘッドクリーニングの [ノーマル] を実行してください。
 (ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-46 ページ) 参照)

ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング機能 (ヘッドの配列とテストパターンの関係 (3-46 ページ) 参照)、ノズルセンジョウ機能 (ノズルの洗浄 [ノズルセンジョウ] (4-10 ページ) 参照) を行ってもノズル詰まりが改善しない場合、以下の 2 機能を実行します。

[インクジュウテン]	インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します (ノズル詰まりが復旧しない場合 [インク ジュウテン] (3-48 ページ) 参照)
[ハイシュツ & センジョウ]	専用の洗浄液 (別売) でヘッド、チューブ、ダンパーを洗浄します

[ハイシュツ & センジョウ]

ヘッド、ダンパー、チューブのインクを排出して、洗浄を実行します。



■ 廃インクタンクに異常があった場合は、以下のメッセージを表示します。画面の指示に従って、異常復旧してください。

ハイ インクタンク ガナイカ
タンク FULL デス

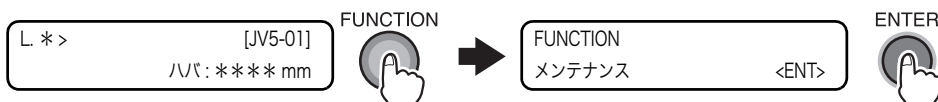
タンク セット マタハ コウカンゴ
<ENT> キーヲ オシテ クダサイ

ハイ インクタンク ヲ
コウカン シテ クダサイ

タンク コウカンゴ
<ENT> キーヲ オシテ クダサイ

操作手順

- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [メンテナンス] を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 【▼】キーで、[ヘッド メンテナンス] を選択し、【ENTER】キーを押します。

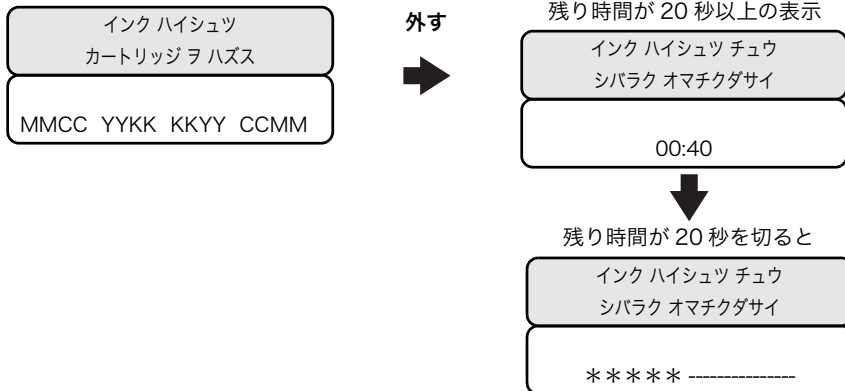


- 【▼】キーで、[ハイシュツ & センジョウ] を選択し、【ENTER】キーを押します。



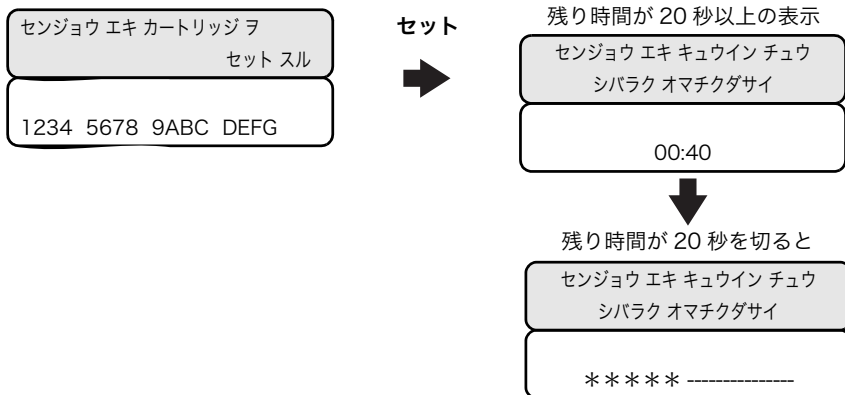
4 インクカートリッジを外します。

インクが廃インクタンクに排出されます。



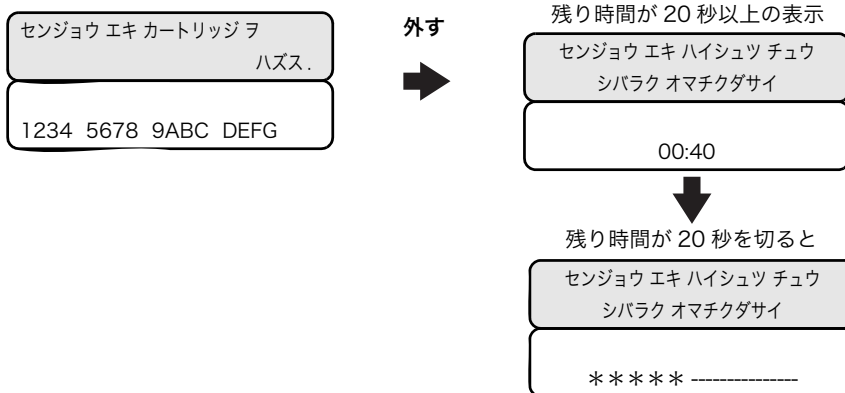
5 以下の表示になったら、インクステーションに洗浄液カートリッジをセットします。

洗浄液を吸引します。

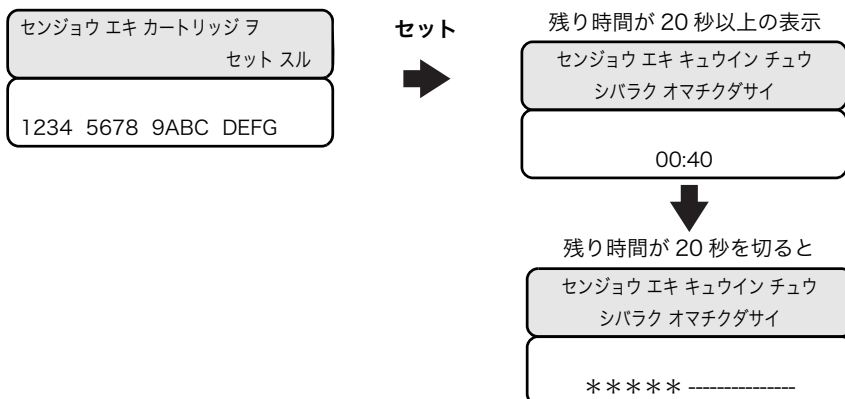


6 以下の表示になったら、インクステーションから洗浄液カートリッジを外します。

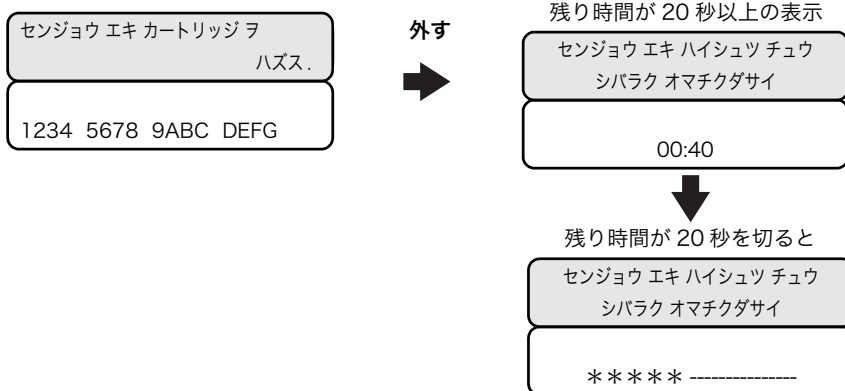
吸引した洗浄液を、廃インクタンクへ排出します。



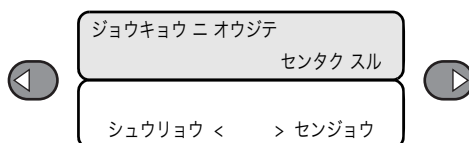
- 7 以下の表示になったら、インクステーションに洗浄液カートリッジをセットします。
 洗浄液を吸引します。



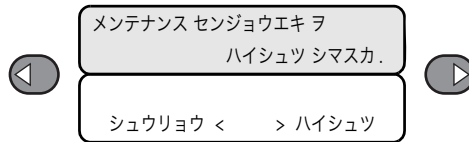
- 8 以下の表示になったら、インクステーションから洗浄液カートリッジを外します。
 吸引した洗浄液を、廃インクタンクへ排出します。



- 9 1 回の洗浄行程が終了すると、以下の表示になります。
 再度洗浄する場合は、【▶】キーを押し、手順 5 に戻ります。
 終了する場合は、【◀】キーを押します。
 全行程が終了すると、以下の表示になります。

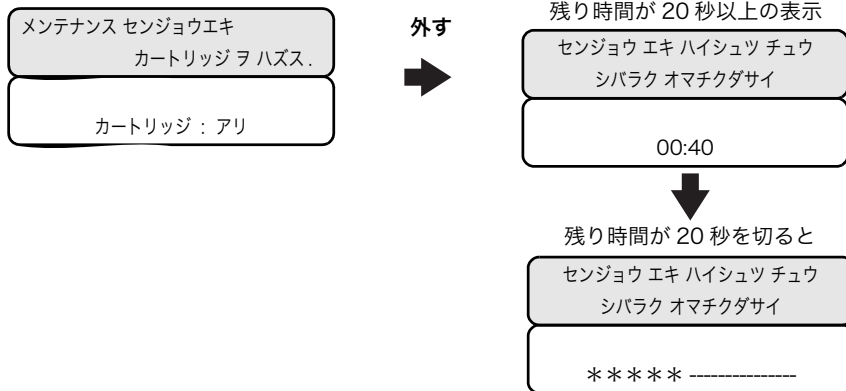


- 10 メンテナンス洗淨液を排出せずに終了する場合は【◀】キーを押します。
 メンテナンス洗淨液を排出して終了する場合は【▶】キーを押します。
 終了する場合は、【◀】キーを押し、手順 12 に進みます。



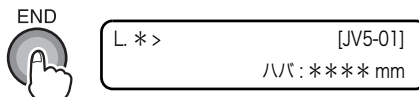
- 11 以下の表示になったら、インクステーションから洗淨液カートリッジを外します。

吸引した洗淨液を、廃インクタンクへ排出します。



- 12 【END】キーを数回押します。

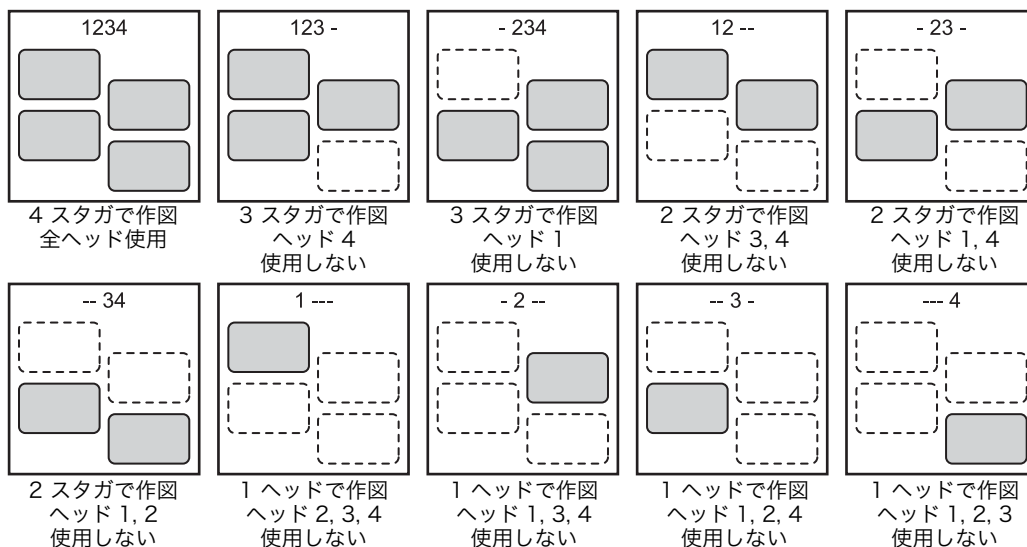
ローカルモードに戻ります。



- 重要!** ■インク充填の際にインクタイプを変更すると、サービスエンジニアの調整が必要になります。

ノズル詰まりが解決しない場合 [ヘッドセンタク]

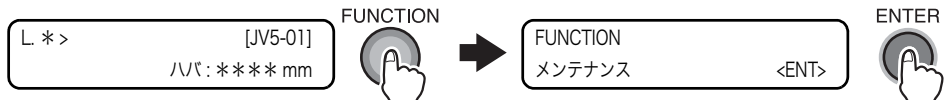
ノズル詰まりが復旧しない場合、詰まっているノズルのヘッドを使用しないように設定します。適用範囲は作図関係（含テスト作図）、フラッシングまでで、充填等の機能は全ヘッドを対象とします。



初期値は、4 スタガで作図

操作手順

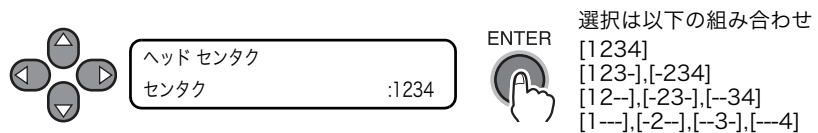
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで[メンテナンス]を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



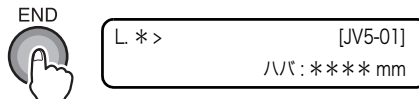
- 2 [▼]キーで、[ヘッドセンタク]を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 3 [▲] [▼] [◀] [▶] キーで、作図に使用するヘッドを選択します。
【ENTER】キーで確定します。



- 4 【END】キーを数回押します。
ローカルモードに戻ります。



カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、メッセージを表示します。作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

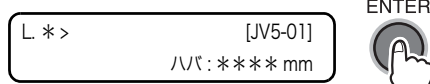
- 重要!** ■カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
ノズルが詰まった場合、サービスエンジニアによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示する

カートリッジ異常の内容を確認できます。(5-15 参照)

操作手順

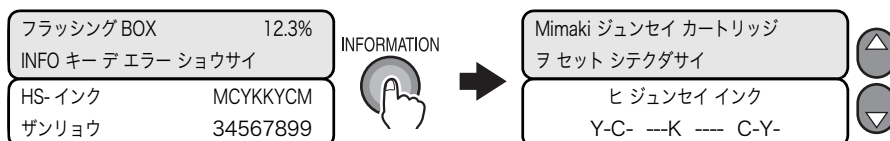
- ローカルモード時に **【ENTER】** キーを押します。



- 【INFORMATION】** キーを押します。

複数のカートリッジ異常が発生している場合、**【▲】****【▼】** キーを押すと、順番に表示します。

【INFORMATION】 キーまたは **【END】** キーを押すと、インク残量表示に戻ります。



ERROR 202 ソウチコウセイを表示したら

本装置は、起動のたびに、装置の構成判定を行います。
構成判定では、本装置を使用するために必要な資源構成をチェックします。
装置に異常があった場合、異常箇所を切り離して起動することができます。

1	HDC チェック	HDC に異常が発生しているかチェックします
2	Head 接続チェック	Head 1～4 の接続に異常が発生しているかチェックします
3	Head メモリチェック	Head メモリに正常にアクセスできるかチェックします
4	SDRAM チェック	SDRAM に異常が発生しているかチェックします

1～4 のチェックの結果、異常が発生している場合は、装置構成エラー (ERROR202) の表示となり、起動を中断します。

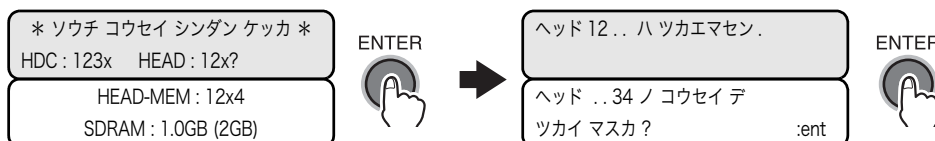
装置構成エラー表示中の【ENTER】キー操作で、チェック内容の確認、資源構成を限定しての装置起動が可能です。

```

**** ERROR 202 ****
      ソウチ コウセイ
ソウチ コウセイ ニイジョウガ
ミツカリ マシタ。          :ent
  
```

チェック内容の確認

1～3 のチェックでエラーが発生している場合は、異常箇所が“X”、不明箇所が“?” で表示され、4 については使用可能な SDRAM のサイズが表示されます。



限定構成での起動確認

使用可能な装置構成が表示され、【ENTER】キーで装置の起動を再開します。

1～3 で異常が発生している場合は、使用可能ヘッドが限定されます。

4 で異常が発生している場合は、ローカルモード→リモートモード移行時、作図開始時にエラー (ERROR203) を表示します。

尚、限定構成の設定内容は保存せず、起動時は常に構成判定を行います。

限定構成で装置を起動した場合は、チェック内容をガイダンス機能にて確認できます。

重要! ■ディスプレイに、[ERROR203 SDRAM サイズ] のメッセージが表示された場合は、一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。

再度、表示するときはサービスコールしてください。

(使用可能な SDRAM が存在する場合は、そのまま起動できますが、解像度によっては作図スピードが低下します。)

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。メッセージの内容によって対処してください。

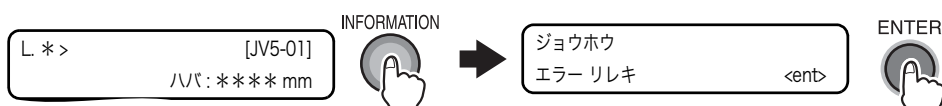
エラー履歴情報を確認するには【エラー リレキ】

現在装置に発生しているエラー、ワーニング情報、または現在までに発生したエラー、ワーニングの履歴は、【エラーリレキ】で確認することができます。

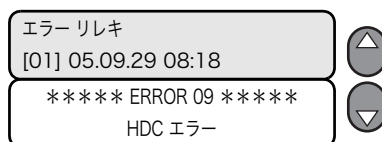
操作手順

- ローカルモードになっていることを確認し、【INFORMATION】キーを押します。

【エラー リレキ】を表示したら、【ENTER】キーを押します。

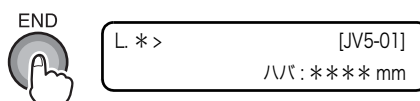


- 【▲】【▼】キーで、エラーの履歴を確認できます。



- 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



ワーニングエラー

主にヒーター、インク関連に対して発生します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
カバーヲ シメテクダサイ.	カバーオープンを検出しました。	フロントカバー、メンテカバーを確認してください。 カバーを閉めても、再度表示する場合はサービスコールしてください。
メディア ガアリマセン	メディア無しを検出しました。	メディアをセットしてください。(3-7 参照)
!バッテリー コウカン シテクダサイ	RTC の電池切れを検出しました。	サービスコールしてください。
L.1> [JV5-01] !ワイパーヲ コウカン シテクダサイ	キャッピングステーションのワイパ交換時期です。 (ワイピング回数が規定値に達しました。)	ワイパーを交換してください。 ([ステーションメンテナンス]-[ワイパーコウカン])を実行してください。(4-50 参照)
L.1> [JV5-01] !テストサクズヲ シテクダサイ	放置時間が長い場合、ノズルの復旧が見込めません。	テストサクズを行い、ノズル抜けを確認してください。(3-45 参照) ノズル抜けがひどい場合は、[ステーションメンテナンス]-[ノズルセンジョウ]を実行してください。(4-10 参照)
ヒーター ノデンゲン ガ ハイッテイマセン	メディアヒーターの電源が入っていません。	メディアヒーターの電源を入れてください。(3-38 参照) メディアヒーターの電源をいれても、再度表示する場合はサービスコールしてください。
PRE PRT AFT ダンセン **°C **°C	メディアヒーターが断線しています。 (この例ではプリヒーターが断線しています。)	サービスコールしてください。
PRE PRT AFT サーミスタ **°C **°C	メディアヒーターのサーミスタ異常が発生しています。 (この例ではプリヒーターのサーミスタ異常が発生しています。)	サービスコールしてください。
メディア カット デキマセン	ヘッド位置が高すぎるためメディアカットができません。	手動カットしてください。 (6-12 参照)
L.*> [JV5-01] インクニアエンド MCYK---	1 供給経路あたりのインクが少なくなりました。	表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。(3-67 参照) そのままでも(インクエンドが発生するまで)作図可能ですが、1 ファイル作図終了毎にローカルモードへ移行します。
R.*> [JV5-01] インクニアエンド MCYK---		
L.*> [JV5-01] インクエンド ---KYCM	1 供給経路あたりのインクが終わりました。	表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。(3-67 参照)

エラーメッセージ	原因	対処方法
L.*> カートリッジ [JV5-01] ----KYCM	1 供給経路のインクカートリッジに問題があります。	ガイダンス機能でワーニング詳細を表示して内容を確認後、表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。(3-67 参照)
L.*>!CAR [JV5-01]	装填したインクカートリッジに問題があります。 (他のワーニングと重複した場合は、[L.*>!CAR/TNK/WSH/NC] となり、[JV5- **] は消去されます。)	ガイダンス機能でワーニング詳細を表示して内容を確認してください。(5-12 参照)
R.*>!CAR [JV5-01]		
L.*>!TNK [JV5-01]	廃インクタンクに問題があります。 (他のワーニングと重複した場合は、[L.*>!CAR/TNK/WSH/NC] となり、[JV5- **] は消去されます。)	廃インクタンクが装着されているか、またはフル状態でないか確認してください。
R.*>!TNK [JV5-01]		
L.*>!WSH [JV5-01]	装填したメンテナンス洗浄液カートリッジに問題があります。 (他のワーニングと重複した場合は、[L.*>!CAR/TNK/WSH/NC] となり、[JV5- **] は消去されます。)	メンテナンス洗浄液カートリッジが正しくセットされているか確認してください。
R.*>!WSH [JV5-01]		
L.*>!NC [JV5-01]	NCU に問題があります。 ([NCU]-[ノズルチェック] を OFF にしていても、電源 ON で異常を検出した場合には、表示されます。)	[NCU]-[ジョウタイヒョウジ] で、発生しているエラーを確認してください。 ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。
R.*>!NC [JV5-01]		
R.*>!DEW [JV5-01]	環境温度が低いため、ヘッドが結露する恐れがあります。	設置環境の温度を高くしてください。
インクニアエンド MMCC ----	インクカートリッジのインクが少なくなりました。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
インクエンド ----YYKK ----	インクカートリッジのインクがなくなりました。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
ヒジュンセイ インク ----KKYY ----	インクカートリッジがミマキ純正品ではありません。	ワーニングが発生しているカートリッジをミマキ純正品に交換してください。
インク IC イジョウ ----CCMM	インクカートリッジの IC チップが正常に読み込めません。	ワーニングが発生しているカートリッジを再挿入してください。 ワーニング解消しない場合はサービスコールしてください。
インク シュルイ -----	インクカートリッジのインク種類が充填してあるインクと異なります。	ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。
インク カラー -----	インクカートリッジのインクカラーが充填してあるインクと異なります。	ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
カートリッジ イジヨウ -----	装填したインクカートリッジが異常です。	ワーニングが発生しているカートリッジを確認してください。
カートリッジ ナシ -----	インクカートリッジがスロットに挿入されていません。	ワーニングが発生しているスロットにカートリッジを挿入してください。
インク キゲン ギレ -----	インクカートリッジの使用有効期限が切れています。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。そのままでも（使用期限翌月までは）使用可能です。
キゲン ギレ (1 カゲツ) -----	インクカートリッジの使用有効期限が切れています（期限切れから 1 ヶ月経過）。	赤 LED が点滅します。ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。そのままでも（使用期限翌々月までは）使用可能です。
キゲン ギレ (2 カゲツ) -----	インクカートリッジの使用有効期限が切れています（期限切れから 2 ヶ月経過）。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
ザンリョウ 0 -----	インクカートリッジの残量が 0 です。	ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
!ハイ インクタンク FULL/NONE	廃インクタンクが装着されていないか、廃インクタンクがフル状態です。	廃インクタンク装着、または交換してください。(4-44 参照)
!ハイ インクタンク FULL マチカ	廃インクタンクがフル間近です。	廃インクタンクを交換してください。(4-44 参照)
!センジョウ エキ エンド	洗浄カートリッジエンドを検出しました。	メンテナンス洗浄カートリッジを交換してください。
!センジョウ カートリッジ ナシ	洗浄カートリッジが挿入されていません。	メンテナンス洗浄カートリッジを挿入してください。
!センジョウ カートリッジイジヨウ	洗浄カートリッジに異常があります。	メンテナンス洗浄カートリッジを確認してください。
!フラッシング BOX クリーニング	フラッシング BOX のクリーニング時期です。	フラッシング BOX クリーニングの操作をしてください。(4-46 参照)
!フラッシング BOX コウカン マチカ	フラッシング BOX の交換時期が近づいています。	継続使用は可能ですが、使い続けると交換時期になります。交換時期になると、1 データ作図するごとにローカルモードになり、動作が停止します。
!フラッシング BOX コウカン	フラッシング BOX の交換時期です。	フラッシング BOX の交換が必要です。サービスコールをしてください。
!Fbox フィルター コウカン マチカ	昇華転写インク使用時、フラッシング BOX 上のフィルター交換時期が近づいています。	フィルターの交換をお勧めします。

エラーメッセージ	原因	対処方法
!NCU キリハナシ チュウ	NCU に問題があります。 ([NCU]-[ノズルチェック]を OFF にしていても、電源 ON で 異常を検出した場合には、表示 されます。)	[NCU]-[ジョウタイヒョウジ] で、発生しているエラーを確認 してください。 ノズル抜け検出機能を切り離し て、継続使用は可能です。
!マキトリ カバー OPEN	重量メディア巻取装置のカバー オープンを検出しました。	重量メディア巻取装置のカバー を確認してください。 カバーを閉めても、再度表示す る場合はサービスコールをして ください。
!マキトリ LIMIT ケンシュツ	重量メディア巻取装置の制御リ ミットセンサーを検出しまし た。	巻取側のテンションバーの位置 を下げてください。下げても再 度表示する場合は、サービ スコールをしてください。
!マキトリ イジョウ	重量メディア巻取装置の巻き取 り状態に異常が発生しました。	メディアが重量メディア巻取装 置に正しくセットされているか 確認してください。 あるいは巻き取っているメデ ィアロールが空回りしていないか を確認してください。
!クリダシ カバー OPEN	重量メディア繰出装置のカバー オープンを検出しました。	重量メディア繰出装置のカバー を確認してください。 カバーを閉めても、再度表示す る場合はサービスコールをして ください。
!クリダシ LIMIT ケンシュツ	重量メディア繰出装置の制御リ ミットセンサーを検出しまし た。	繰出側のテンションバーの位置 を下げてください。下げても再 度表示する場合はサービスコー ルをしてください。
!クリダシ イジョウ	重量メディア繰出装置の繰り出 し状態に異常が発生しました。	メディアが重量メディア繰出装 置に正しくセットされているか 確認してください。 あるいは繰り出しているメデ ィアロールが空回りしていないか を確認してください。
センジョウエキ ミジュウテン	メンテナンス洗浄液が充填され ていません。	メンテナンス洗浄液を充填して ください。 [メンテナンス]-[ヘッドメンテ ナンス]-[メンテナンス セン ジョウエキ] を実行してくださ い。(4-20 参照)

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。
 エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。
 それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
***** ERROR 01 ***** MAIN ROM	基板系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
***** ERROR 02 ***** MAIN RAM	基板系に異常が発生しました。	
***** ERROR 03 ***** POWER +3.3V	基板系に異常が発生しました。	
***** ERROR 03 ***** POWER +5V	基板系に異常が発生しました。	
***** ERROR 03 ***** POWER +24V	基板系に異常が発生しました。	
***** ERROR 03 ***** POWER +42V	基板系に異常が発生しました。	
***** ERROR 04 ***** フラッシュ ROM	基板系に異常が発生しました。	
***** ERROR 06 ***** SD-RAM	基板系に異常が発生しました。	
***** ERROR 07 ***** ヘッド (---)	ヘッドに異常を検出しました。	
***** ERROR 07 ***** デンアツ (---)	ヘッドに異常を検出しました。	
***** ERROR 07 ***** デンゲン 01 (---)	装置準備中にヘッド電源の異常を検出しました。	
***** ERROR 07 ***** デンゲン 02 (---)	印刷中にヘッド電源の異常を検出しました。	
***** ERROR 08 ***** リニアエンコーダー：センサー	リニアエンコーダーに異常が発生しました。	
***** ERROR 08 ***** リニアエンコーダー：ホウコウ	リニアエンコーダーに異常が発生しました。	
***** ERROR 08 ***** リニアエンコーダー：カウント	リニアエンコーダーに異常が発生しました。	
***** ERROR 09 ***** FPGA エラー	制御基板に異常が発生しました。(FPGA PDC)	
***** ERROR 09 ***** HDC エラー (---)	制御基板に異常が発生しました。(FPGA HDC)	
***** ERROR 09 ***** ヒートシンク (---)	制御基板で異常温度を検出しました。	
***** ERROR 09 ***** ビシンドウ (---)	制御基板に異常が発生しました。(FPGA HDC)	

目次

1

2

3

4

5

6

索引

エラーメッセージ	原因	対処方法
***** ERROR 10 ***** コマンドエラー	コマンドデータ以外のデータを受信しました。	インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。
***** ERROR 11 ***** パラメーターエラー	数値範囲外のパラメータを受信しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
***** ERROR 16 ***** MRL コマンド	本装置で対応していないコマンド体系のデータが送信されました。	本装置に対応したコマンド体系のデータを送信してください。
***** ERROR 20 ***** I/F ボード 01	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
***** ERROR 20 ***** I/F ボード 02	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 20 ***** I/F ボード 03	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 20 ***** I/F ボード 04	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 21 ***** I/F ナシ	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
***** ERROR 23 ***** ホスト I/F	IEEE-1394 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
***** ERROR 24 ***** I/F イニシャル	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
***** ERROR 25 ***** FULL-SPEED	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。 (Full-Speed モード接続)	ホスト PC が USB2.0 インターフェイスに対応しているか確認してください。 (そのまま使用できますが、Hi-Speed モード接続を推奨します。)

エラーメッセージ	原因	対処方法
***** ERROR 25 ***** パケットサイズ オーバー	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
***** ERROR 25 ***** USB プロトコル	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。	
***** ERROR 25 ***** USB キャンキョウ	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。	
***** ERROR 25 ***** USB データー	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生しました。	
***** ERROR 30 ***** オペレーション エラー	操作パネルで不当なオペレーションをしました。ディスプレイ 1 に、エラーの原因が表示されます。	原因を解消して、正しいオペレーションをしてください。
***** ERROR 34 ***** ミサクス データー アリ	受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしています。	受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。
***** ERROR 40 ***** モーターアラーム X	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
***** ERROR 41 ***** モーターアラーム Y	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 42 ***** X オーバー カレント	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 43 ***** Y オーバー カレント	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 45 ***** キャッピング: センサー	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 45 ***** キャッピング: パラメーター	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 46 ***** ワイパー	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 47 ***** ステーション	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 49 ***** カッター ソレノイド	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 50 ***** メディア ケンシュツ	用紙検出ができませんでした。メディアのセット位置、使用メディアが不適当です。	
***** ERROR 50 ***** メディア アツサ ケンシュツ	用紙厚さ検出ができませんでした。	メディア厚を入力するか、END キーを選択して再度メディア検出を実行してください。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

エラーメッセージ	原因	対処方法
***** ERROR 51 ***** Y ゲンテン	Y 原点検出ができませんでした。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。
***** ERROR 53 ***** ヘッドタカサ ゲンテン	ヘッド高さ原点検出ができませんでした。	再度、表示するときはサービスコールしてください。
***** ERROR 54 ***** メディア ジャム	紙詰まりを検出しました。	フロントカバーを開け、クランプレバーを引き上げて、紙詰まりを解消してください。 紙詰まりを解消しても、エラー表示する場合はサービスコールしてください。
***** ERROR 58 ***** ポジションエンコーダー:ホウコウ	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
***** ERROR 58 ***** ポジションエンコーダー:カウント	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 59 ***** カッターエンコーダー	制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 64 ***** マキトリ デンアツ	重量メディア巻取装置の制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 64 ***** クリダシ デンアツ	重量メディア繰出装置の制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 64 ***** マキトリ デンアツ (small)	小型巻取装置の制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 65 ***** マキトリ テンションバー	重量メディア巻取装置の制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度表示するときはサービスコールをしてください。
***** ERROR 66 ***** クリダシ テンションバー	重量メディア繰出装置の制御系に異常が発生しました。	
***** ERROR 67 ***** マキトリ ユニット 00	重量メディア巻取装置が接続されていません。	
***** ERROR 67 ***** マキトリ ユニット 01	重量メディア巻取装置の接続先が間違っています。	重量メディア巻取装置の接続を確認してください。
***** ERROR 67 ***** マキトリ ユニット 04	重量メディア巻取装置に異常が発生しました。	
***** ERROR 67 ***** クリダシ ユニット 00	重量メディア繰出装置が接続されていません。	重量メディア繰出装置の接続を確認してください。
***** ERROR 67 ***** クリダシ ユニット 01	重量メディア繰出装置の接続先が間違っています。	
***** ERROR 67 ***** クリダシ ユニット 04	重量メディア繰出装置に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度表示するときはサービスコールをしてください。
***** ERROR 67 ***** マキトリ ユニット (small)	小型巻取装置の接続先が間違っています。	小型巻取装置の接続を確認してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
**** ERROR 116 **** NCU I/F 00	制御系に異常が発生しました。	ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。
**** ERROR 116 **** NCU I/F 01	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。
**** ERROR 120 **** カンキョウオンド ヒクイ	環境温度が使用可能温度範囲外(低い)です。	設置環境の温度を使用環境温度範囲内にしてください。
**** ERROR 121 **** カンキョウオンド タカイ	環境温度が使用可能温度範囲外(高い)です。	
**** ERROR 122 **** カンキョウオンド ヒクイ(ケツロ)	環境温度が低いため、ヘッドが結露する恐れがあります。	設置環境の温度を高くしてください。 (そのまま使用する場合は ENTER キーを選択します。)
**** ERROR 134 **** メディアエンコーダー：センサー	メディアエンコーダーの検出で異常が発生しました。 (カウントできない)	[メディアオクリセッテイ]-[オクリホウシキ]でノーマルを選択するか、一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
**** ERROR 134 **** メディアエンコーダー：ホウコウ	メディアエンコーダーの検出で異常が発生しました。 (取り付け方向の異常)	
**** ERROR 134 **** メディアエンコーダー：ゲンテン	メディアエンコーダーの検出で異常が発生しました。 (原点検出ができない)	
**** ERROR 135 **** メディア オクリ イジョウ	メディア送りで異常が発生しました。	メディアが正しくセットされているか、またはメディアの終わりではないかを確認してください。 [セッテイ]-[メディアオクリセッテイ]-[ドウサテスト]でダイレクト送り方式に適したメディアかテストしてください。 それでも解消しない場合は、[セッテイ]-[メディアオクリセッテイ]-[オクリホウシキ]で"ノーマル"を選択するか、一度、電源を OFF にしてしばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
**** ERROR 142 **** インク モレ	インク漏れを検出しました。	一度、主電源を OFF にして、しばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてから弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
**** ERROR 143 **** カートリッジソレノイド	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。
**** ERROR 143 **** センジョウソレノイド	制御系に異常が発生しました。	再度、表示するときはサービスコールしてください。
**** ERROR 144 **** カートリッジセット!	制御系に異常が発生しました。	カートリッジをセットしてください。
**** ERROR 145 **** フラッシングBOXコウカン	フラッシングBOXの交換時期を過ぎています。	サービスコールしてください。
**** ERROR 145 **** フラッシングBOXクリーニング	フラッシングBOXのクリーニング時期です。	フラッシングBOXを速やかにクリーニングしてください。 (4-46 参照)
**** ERROR 145 **** F.BOX フィルター コウカン	昇華転写インク使用時、フラッシングBOX上のフィルター交換時期になりました。	フィルターを速やかに交換してください。 (4-50 参照)
**** ERROR 146 **** クリーニング デキマセン	1 供給経路あたりのインクが少ないか終わったため、自動クリーニングが行えません。	ローカルモードで供給経路を確認して、カートリッジを交換してください。 (3-67 参照)
**** ERROR 160 **** NCU ケンシュツ 00	制御系に異常が発生しました。	ノズル抜け検出機能を切り離して作図継続します。次の作図ファイルからは、再度ノズル抜け検出機能を有効にします。
**** ERROR 160 **** NCU ケンシュツ 01	制御系に異常が発生しました。	エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。
**** ERROR 160 **** NCU ケンシュツ 02	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
**** ERROR 160 **** NCU ケンシュツ 03	制御系に異常が発生しました。	ノズル抜け検出機能を切り離して作図継続します。次の作図ファイルからは、再度ノズル抜け検出機能を有効にします。
**** ERROR 160 **** NCU ケンシュツ 04	制御系に異常が発生しました。	エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。
**** ERROR 161 **** NCU コウカン	制御系に異常が発生しました。	継続使用は可能です。 エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。
**** ERROR 161 **** NCU ショウヒ デンリュウ	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。
**** ERROR 162 **** NCU デンゲン デンアツ	制御系に異常が発生しました。	再度、表示するときはサービスコールしてください。 ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。
**** ERROR 163 **** NCU センサー	制御系に異常が発生しました。	継続使用は可能です。 エラーが頻発する場合はサービスコールしてください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
**** ERROR 163 **** NCU センサー ケンシュツ エラー	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。
**** ERROR 164 **** NCU FPGA エラー	制御系に異常が発生しました。	再度、表示するときはサービスコールしてください。 ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。
**** ERROR 200 **** ヘッド メモリー (---)	ヘッドユニットメモリーに異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。
**** ERROR 201 **** バックアップ メモリー	基板系に異常が発生しました。	再度、表示するときはサービスコールしてください。
**** ERROR 201 **** バックアップ データー	バックアップデーターに異常が発生しました。	継続使用は可能です。 エラーが頻発する場合は、サービスコールしてください。
**** ERROR 202 **** ソウチ コウセイ	制御系に異常が発生しました。	サービスコールしてください。 【ENTER】 キーを押してエラーの詳細を確認できます。 更に【ENTER】 キーを押すと、動作可能な構成に変更して起動することができます。 (5-13 参照)
**** ERROR203 **** SDRAM サイズ	制御系に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。 (使用可能な SDRAM が存在する場合は、そのまま継続使用できますが、解像度によっては作図スピードが低下します。)

エラーメッセージ	原因	対処方法
**** ERROR 207 **** スルーレート (---)	印刷中の波形制御に異常が発生しました。	一度、電源を OFF にして、しばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときはサービスコールしてください。
**** ERROR 207 **** オーバーフロー (---)		
**** ERROR 207 **** アンダーフロー (---)		
**** ERROR 207 **** ハケイイジヨウ (---)		
**** ERROR 210 **** インターロック センサー	制御系に異常が発生しました。	
**** ERROR 211 **** ヒーター オンド (-/-/-)	メディアヒーターの温度異常を検出しました。	
**** ERROR 211 **** カオンヒーター オンド (---)	ヘッド加温ヒーターの温度異常を検出しました。	
**** ERROR 211 **** カオンヒーター ダンセン (---)	ヘッド加温ヒーターが断線しました。	
**** ERROR 211 **** カオンヒーター サーミスタ (---)	ヘッド加温ヒーターのサーミスタに異常が発生しました。	
**** ERROR 212 **** ハイ インクタンク センサー	制御系に異常が発生しました。	
**** ERROR 250 **** Y ザヒヨウ	スキャン動作時に異常を検出しました。	
**** ERROR 251 **** システム エラー	システムエラーが発生しました。	

第 6 章

各機能の操作方法



この章では ...

プリンタの機能メニューでよく使われる機能について、目的別にその操作方法とディスプレイのメッセージ例を紹介しています。

FUNCTION 機能の導入	6-2
セッテイ機能の導入	6-3
メンテナンス機能の導入	6-13
マシンセッテイ機能の導入	6-17
NCU 機能の導入	6-26
DISPLAY 設定	6-29
機能の応用設定	6-30
機能メニューの操作方法について	6-34
カッターに関する機能	6-35
作図品質に関する機能	6-37
インクに関する機能	6-38
機能フローチャート [BOOT]	6-40
機能フローチャート [ローカルモード]	6-42
機能フローチャート [リモートモード]	6-46
機能フローチャート [FUNCTION キー]	6-48

FUNCTION 機能の導入

FUNCTION 機能には、以下の 5 つの機能があります。

機能名称	概要	参照先
セッテイ機能	作図品質に関する、各種設定を行います	P. 6-3
メンテナンス機能	本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作です	P. 6-13
マシンセッテイ機能	本装置の各種情報を表示したり、時刻や単位を設定します	P. 6-17
NCU 機能	ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します	P. 6-26
DISPLAY 機能	装置で使用する言語を設定します	P. 6-29

セッテイ機能の導入

作図条件をまとめて登録する（タイプ登録）

ファンクションモードのセッテイ機能には 17 項目（昇華転写インクをお使いの場合は 18 項目）の機能があります。

セッテイリセット機能を除く 16 項目（昇華転写インクをお使いの場合は 17 項目）の機能は、それぞれ 4 タイプに登録できます。

メディアの種類別にタイプを登録しておくこと、違う種類のメディアに交換した場合に容易に作図条件等を変更できます。

タイプ 1	ターボリン 1 用
タイプ 2	ターボリン 2 用
タイプ 3	FF (Flexible Face) 用
タイプ 4	塩ビマット

タイプ登録の例

設定機能一覧

各セッテイ機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概要	参照先
メディアホセイ	メディアの送り量を補正します	P. 6-5
メディアオクリセッテイ	メディア送りに関係する項目を設定します	P. 6-5
ヒーター	ヒーターの状態を設定します	P. 6-5
サクズハウシキ	作図品質、作図方向を設定します	P. 6-6
カサネヌリ	インクの重ね塗りを行います	P. 6-8
カンソウジカン	インクの乾燥時間を設定します	P. 6-8
オートカット	作図後、自動でメディアをカットします	P. 6-9
プリフィード	作図前にメディアを前後搬送させます	P. 6-9
マージン	メディア左右の余白を設定します	P. 6-9
カラーパターン	メディア右端に（昇華転写インクをお使いの場合は左端にも）カラーパターンを作図します	P. 6-10
リフレッシュ	作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行います	P. 6-10
キュウチャク	メディアの吸着する力を設定します	P. 6-11
ユウセンジュンイ	優先する設定（パネル / ホスト）を決定します	P. 6-11
オートクリーニング	作図ごと、ヘッドを自動的にクリーニングします	P. 6-11
サクズチュウメンテナンス*1	作図中、ヘッドを自動的に定期クリーニングまたはワイピングします	P. 6-12
ヘッドギャップ	ヘッドギャップ（メディアから、ヘッドノズル面までの高さ）を設定します	P. 6-12

機能名称	概要	参照先
メディアケンシュツ	メディアの検出方法を設定します	P. 6-12
セッテイリセット*2	設定条件を初期化します	P. 6-12

- *1. 専用昇華転写インクをお使いの場合だけ、[サクズチュウメンテナンス]の設定ができます。
 *2. タイプに登録できるのは、[セッテイリセット]を除く各項目です。

セッテイ機能の設定

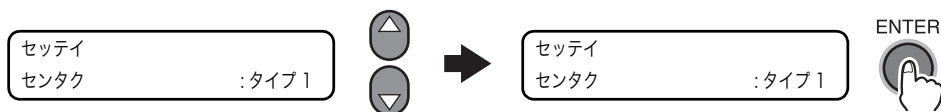
セッテイ機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【セッテイ】を選択後、【ENTER】キーを押します。
 リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 【▲】【▼】キーで、タイプ 1 から 4 を選び、【ENTER】キーを押します。
 各作図条件を設定します。



- 3 各セッテイ機能を、選択・設定します。

セッテイ機能の概要

メディア補正 (3-50 参照)

メディアの種類を交換した場合、またはヒーターの温度を変更した場合は、必ずメディアの厚みによる送り量を補正します。(補正值：-255 ～ 255)

メディア送り設定

メディア送りに関係する項目を設定します。
設定項目は、下表の通りです。

オクリハウシキ	メディアの送り量検出方式を切り替えます
ソクドキリカエ	メディアを送る速度を設定します
ドウサテスト	メディアエンコーダを使用したダイレクト検出方式に適したメディアかどうか、テストを行います

オクリハウシキ

メディアの送り量検出方式を選択します。
設定値：[ダイレクト, ノーマル]

ダイレクト	モーターエンコーダによる送り量制御 + メディアエンコーダによる位置検出
ノーマル	モーターエンコーダによる送り量制御 (初期値)

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

ソクドキリカエ

メディア送り速度を設定します。(標準速度：100%)
重いメディア・貼り付き易いメディア・ロール形状がたわんでいるメディアなど、送り精度に影響がある場合、送り速度を遅くすることができます。
設定値：[200% ～ 10%]
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

ドウサテスト

メディアエンコーダを使用した、ダイレクト検出方式に適したメディアかどうかのテストを実行します。
フィード誤差が 0.4 % 以上の場合は、フィードハウシキの推奨モードが表示されます。

ヒーター (6-32 参照)

プラテン内に内蔵されているプリヒーター・プリントヒーター・アフターヒーターについて設定します。

作図方式

作図に関する各種設定を行います。

DRAFT 品質

DRAFT モード (Y 方向解像度 540dpi) の作図品質を設定します。

設定値 : [ヒョウジュン, キレイ, ハヤイ]

品質の項目選択中に、【FUNCTION】キーを押すことにより、解像度毎のパス数、高速作図 ON / OFF の設定が可能になります。

設定可能な要素の組み合わせは下表の通りです。

DRAFT モード 解像度	4 色		6 色		DRAFT 品質
	Pass	高速作図	Pass	高速作図	
540x720 dpi	4	ON / OFF	8	ON / OFF	ハヤイ
	8	ON / OFF	16	ON / OFF	ヒョウジュン
	16	ON / OFF	32	ON / OFF	キレイ
540x900 dpi	10	ON / OFF	10	ON / OFF	ハヤイ
	20	ON / OFF	20	ON / OFF	ヒョウジュン
	40	ON / OFF	40	ON / OFF	キレイ
540x1080 dpi	6	ON / OFF	12	ON / OFF	ハヤイ
	12	ON / OFF	24	ON / OFF	ヒョウジュン
	24	ON / OFF	48	ON / OFF	キレイ

表 6-1 : DRAFT 品質で設定可能な要素

FINE 品質

Fine モード (Y 方向解像度 720dpi) の作図品質を設定します。

設定値 : [ヒョウジュン, キレイ, ハヤイ]

品質の項目選択中に、【FUNCTION】 キーを押すことにより、解像度毎のパス数、高速作図 ON / OFF の設定が可能になります。

設定可能な要素の組み合わせは下表の通りです。

FINE モード 解像度	4 色		6 色		FINE 品質
	Pass	高速作図	Pass	高速作図	
720x540 dpi	6	ON / OFF	6	ON / OFF	ハヤイ
	12	ON / OFF	12	ON / OFF	ヒョウジュン
	24	ON / OFF	24	ON / OFF	キレイ
720x720 dpi	4	ON / OFF	8	ON / OFF	ハヤイ
	8	ON / OFF	16	ON / OFF	ヒョウジュン
	16	ON / OFF	32	ON / OFF	キレイ
720x1080 dpi	6	ON / OFF	12	ON / OFF	ハヤイ
	12	ON / OFF	24	ON / OFF	ヒョウジュン
	24	ON / OFF	48	ON / OFF	キレイ
720x1440 dpi	8	ON / OFF	16	ON / OFF	ハヤイ
	16	ON / OFF	32	ON / OFF	ヒョウジュン
	32	ON / OFF	64	ON / OFF	キレイ

表 6-2 : FINE 品質で設定可能な要素

尚、Super fine モード (1440x1440) の作図品質は固定です。

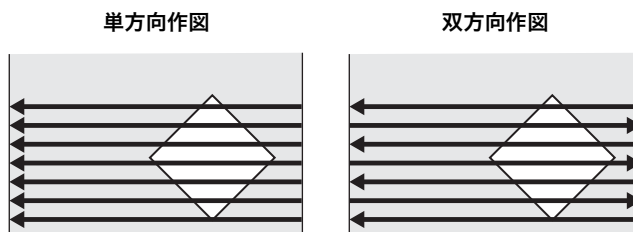
スキャン方向

作図方向を設定します。

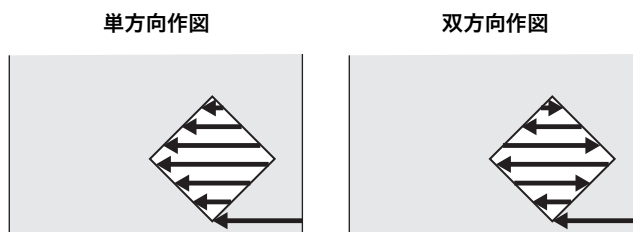
設定値 : [タンホウコウ, ソウホウコウ]

ロジカルシーク

ロジカルシーク ON / OFF を設定します。
設定値：[ON, OFF]



ロジカルシーク OFF 時のヘッドの動き



ロジカルシーク ON 時のヘッドの動き

重ね塗り

重ね塗り回数を設定します。
設定値：[1 ~ 9 回]
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

乾燥時間

インクの乾燥時間の設定を行います。

スキャン

スキャン毎のインク乾燥時間を設定します。双方向作図の場合は、往路 / 復路のスキャン毎に一時停止します。
設定値：[0.0 ~ 19.9sec] (0.1sec 単位)

作図エンド

作図終了後のインク乾燥時間を設定します。
設定値：[0 ~ 999sec] (1sec 単位)
設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

オートカット



■本装置は、安全性を考慮し、テンションバーを使用する場合にオートカット機能は動作しません。

作図終了後、メディアを自動でカットするか設定します。

設定値：[ON, OFF]

作図エンド時間が設定されている場合は、その時間が経過した後、メディアカットします。

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

プリフィード

メディアの張り付きを防止するため、作図前にメディアを一定量前後にフィードするか設定します。

設定値：[ON, OFF]

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

マージン

メディアの左右の余白を設定します。

左マージン

メディアの左余白を設定します。

設定値：[-20 ~ 75mm] (1 mm単位)

右マージン

メディアの右余白を設定します。

設定値：[-20 ~ 75mm] (1 mm単位)

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

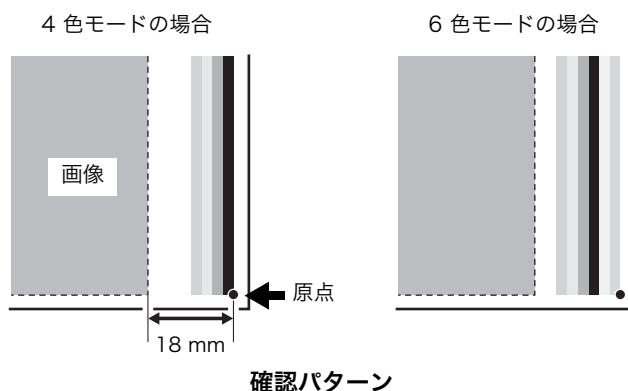
カラーパターン

メディアの右端に、ノズル抜けを確認するパターンを作図するか設定します。

設定値：[ON, OFF]

パターンを作図する場合は、画像データの作図位置が原点からスキャン方向に 18 mm 移動します。

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

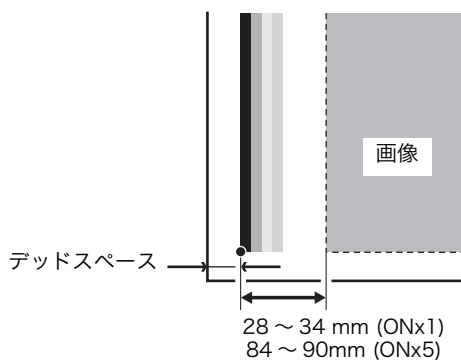


昇華転写インクをお使いの場合は、メディアの左端にも、ノズル抜けを確認するパターンを作図することができます。

設定値：[OFF, ONx1 ~ ONx5]

ONx1 ~ ONx5 でパターンが作図でき、またパターンの幅も変えることができます。

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。



リフレッシュ

ヘッドのリフレッシュレベル（ランニングフラッシュ間隔）を設定します。

設定値：[0 ~ 3]（レベルを高くすると間隔が短くなります）

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

吸着

吸着ファンの強さを設定します。

メディア検出中、メディアカット、JOG 動作中は設定に関わらず [ヒョウジュン] となります。

設定値：[ツヨイ, ヒョウジュン, ヤヤヨワイ, ヨワイ, OFF]

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

OFF 以外の項目選択中に【FUNCTION】キーを押すことにより、オンライン作図終了後から吸着ファンを停止するまでの時間設定が可能になります。(ただし、リモートモード中のみ有効です)

設定値：[0 ~ 60min、レンゾク] (10min 単位)

0min に設定すると、作図が終了するときに吸着ファンも停止します。

レンゾクに設定すると、リモートモード中は作図に関わらず吸着ファンが回り続けます。

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

優先順位

セッテイ機能の以下の項目について、装置の設定内容を優先するかホストからの指定を優先するか選択します。

[メディアホセイ]、[ヒーター]、[サクズハウシキ]、[カサネヌリ]、[カンソウジカン]、[オートカット]、[プリフィード]、[マージン]、[カラーパターン]、[リフレッシュ]、[キュウチャク]、[オクリソクド]、[オクリハウシキ]

設定値：[コベツセッテイ, スベテホスト, スベテパネル]

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

コベツセッテイ	個々にパネル優先 / ホスト優先を設定します
スベテホスト	全項目をホスト優先に設定します
スベテパネル	全項目をパネル優先に設定します

ホスト優先の設定で、ホストからの指定がない項目は、パネルの設定内容を有効にします。

オートクリーニング (3-62 参照)

作図前に、自動的にヘッドをクリーニングするか設定します。

設定値：[ON, OFF]

クリーニングは、装置起動後の最初の作図前に行い、以降は、作図メートル単位で各作図前に行います。

オートクリーニング ON / OFF 選択中の【FUNCTION】キーで詳細設定メニューとなります。

クリーニング動作間隔

クリーニングを行う作図間隔を設定します。

設定値：[10 ~ 30000 mm] (初期値：1000 mm)

クリーニングタイプ

オートクリーニングタイプを設定します。

設定値：[ソフト, ノーマル, ハード]

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

作図中メンテナンス (3-64 参照)

作図中、自動的にヘッドをクリーニングまたはワイピングするか設定します。

設定値：[クリーニング, ワイピング, OFF]

クリーニングは、各作図を開始してから動作間隔単位で行います。

クリーニング 選択中の【FUNCTION】キーで詳細設定メニューとなります。

ワイピングは各作図を開始してからのスキャン回数間隔単位で行います。

ワイピング選択中の【FUNCTION】キーで詳細設定メニューとなります。

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

ヘッドギャップ (3-5 参照)

ヘッドギャップ (メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。

設定値：[1.5 mm～7.0 mm] (0.1 mm単位 / 初期値：1.5 mm)

尚、ヘッドギャップの上限はメディア厚により変化します。

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

メディア検出

検出方法

メディアの検出方法を設定します。

設定値：[セレクト, ハバ] (初期値：セレクト)

セレクト	メディア検出時、ロールメディア (幅のみ検出) か、リーフメディア (幅、長さ検出) かを選択します
ハバ	メディア検出時、キー入力なしで幅のみ検出します

カット時検出

メディアカット時の検出タイプを設定します。

設定値：[リョウエッジ, ヒダリエッジ, ミギエッジ, ナシ] (初期値：リョウエッジ)

設定値は、ユーザータイプ毎に保存します。

セッテイリセット

選択されているユーザータイプ (1～4) のセッテイ機能の内容を初期値にします。

メンテナンス機能の導入

メンテナンスは、本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作です。ファンクションメニューの [メンテナンス] を選択し、各詳細を設定してから実行します。

また、【ST.MAINT】キーを押すことにより、ステーション部のメンテナンスを個別に実行することができます。

設定機能一覧

各メンテナンス機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概要	参照先
ステーションメンテナンス	ステーション内部やインク排出路の清掃、ワイパー交換などを行います。 (キャリッジアウト、ワイパーコウカン、ノズルセンジョウ、ハイロセンジョウ、ホカンセンジョウ、PUMP チューブセンジョウ、ワイパーセンジョウ)	P. 4-7
キャリッジメンテナンス	ヘッドを装置左端まで移動させ、ヘッド周辺のメンテナンスを行います。	P. 4-28
ヘッドメンテナンス	ヘッドの各種メンテナンスを行います。 (インクジュウテン、ハイシュツ & センジョウ、メンテナンス センジョウエキ)	P. 3-48 P. 4-20 P. 5-6
フラッシングBOX	フラッシングBOXのクリーニングを行った後、クリーニングの実施を装置に認識させるために行います。	P. 4-46
ドットイチホセイ	ヘッド高さやインク種別を変更した場合など、ドット位置を補正します。	P. 3-52
PG チャクダンチョウセイ	ヘッドの高さを変更した際、双方向作図のドットの着弾ズレを補正するための基準値を設定します。 インクの種類を変更した時、インクの初期充填を行った際に、実行する必要があります。	P. 3-43
スリープセッテイ	ノズル詰まりを防止するために、フラッシング動作とヘッドクリーニングを行います。 (リフレッシュ、チューブセンジョウ、クリーニング)	P. 4-31
テイキセッテイ	装置待機中、定期的に動作する機能の設定を行います。 (テイキワイピング、リフレッシュ、チューブセンジョウ、クリーニング、Sub-INK ワーニング)	P. 4-34
ワイパーレベル	使用環境により、ワイパー交換時期の警告を早めに促します。	P. 4-41
ヘッドセンタク	作図に使用するヘッドを選択します。	P. 5-10
メディアザンリョウ	メディア残量表示機能の設定を行います。	P. 6-15
マシンイドウジュンビ	本装置を輸送する際に、ステーションを固定する機能です。	P. 6-16

メンテナンス機能の設定

メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。

操作手順

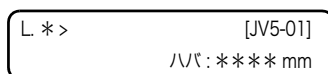
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで[メンテナンス]を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 各メンテナンス機能を、選択・設定します。

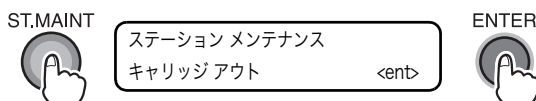
【ST.MAINT】キーを使用した操作手順（ステーションメンテナンス）

- 1 ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 【ST.MAINT】キーを押します。

[ステーションメンテナンス]を表示しますので、各メンテナンスを実行します。



メディア残量表示機能の設定を行う [メディアザンリョウ]

メディア残量表示機能の ON/OFF を設定します。(通常は、OFF です。)
 メディア残量表示機能を ON にすると、リモートモードでメディア残量が表示されます。(OFF でリーフメディアの場合は、作図長を表示します。)
 作図、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。
 メディア長が入力されていない場合は、作図長表示となります。

操作手順

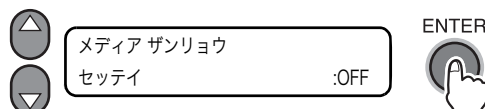
- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
 リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



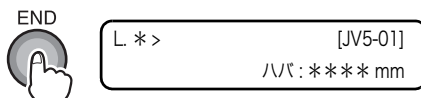
- 2 【▼】キーで、【メディア ザンリョウ】を選択し、【ENTER】キーを押します。



- 3 【▲】【▼】キーで、残量設定の ON , OFF を選択します。
 【ENTER】キーで確定します。



- 4 【END】キーを数回押します。
 ローカルモードに戻ります。



装置を安全に移動する [マシンイドウジュンビ]

本装置を移動する際に、ステーションを固定する機能です。
同一部屋内で、振動を伴う移動の時に設定します。
ただし、移動する場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

操作手順

- ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで【メンテナンス】を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 【▼】キーで、【マシンイドウジュンビ】を選択し、【ENTER】キーを押します。

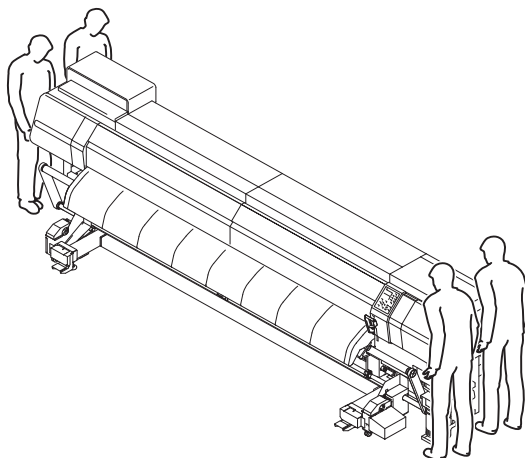


- 装置を移動させるための準備をします。
準備が整ったら、【ENTER】キーを押します。



- 前面にある電源を押します。
電源スイッチのランプが消灯します。

- 主電源を OFF し、電源ケーブルを抜いて、本装置を移動させます。
本装置を移動するときは、複数人で図のように運んでください。
カバーを押すと割れる可能性があります。



マシンセッテイ機能の導入

設定機能一覧

各マシンセッテイ機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概要	参照先
クリダシ & マキトリ	重量メディア繰出装置 / 巻取装置それぞれについて使用 / 不使用を切り替えます	P. 6-19
カンソウフィード	作図後のフィード動作を切り替えます	P. 6-19
カクニンフィード	テストサクズ後、作図結果を確認するためのフィードを行うか設定します	P. 6-19
プリフィードハウシキ ^{*1}	プリフィードの動作方式を切り替えます	P. 6-20
ヒーターセッテイ	アフターヒータの温度到達判定範囲を変更します	P. 6-20
カットセッテイ	【▶】キーをダイレクトカットキーに割り当てます	P. 6-20
ジコクセッテイ	装置の日付、時刻を設定します	P. 6-21
タンイセッテイ	装置で使用する、温度、長さ、面積についての表示単位を変更します	P. 6-21
スタンプセッテイ	作図終了後に、出力日時・作図条件を出力する設定を行います	P. 6-22
インクキョウキュウユウセン	ダブルカートリッジ自動切替機能で、優先して使用するカートリッジの状態の設定を行います。	P. 3-74
テストサクズハイチ	テスト作図を繰り返し実行するときの、パターン配置方向の設定を行います。	P. 6-23
メディアケンシュツ	メディア厚さ検出の自動 / 手動を切り替えます	P. 6-23
マシンメイショウ	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時に、装置を認識させる為の名称を設定します	P. 6-23
カンキョウオンド	本機設置場所の温度が使用可能温度から外れている状態で作図を開始しようとしたときの動作の設定を行います。	P. 3-70
ジョウホウ	各種情報の表示を行います ローカルモード中に【INFORMATION】キーを押すことでも行えます	P. 6-24

*1. 専用昇華転写インクをお使いの場合だけ、[プリフィードハウシキ]の設定ができます。

[INFORMATION] キー機能一覧

各 [INFORMATION] 機能の概要と設定値について説明します。

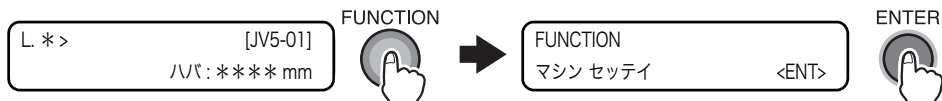
機能名称	概要	参照先
エラーリレキ	エラーの履歴を表示します	P. 6-24
メンテナンスリレキ	メンテナンス機能を、いつ使ったかの履歴を表示します	P. 6-24
サクズモードリレキ	現在までに行ったオンライン作図情報（作図条件）の履歴を表示します	P. 6-24
リスト	装置の設定内容を確認するデータを作図します	P. 6-25
インクコウカンレポート	インクカートリッジ交換情報を作図します。	P. 6-25
バージョン	装置の各種バージョン情報を表示します	P. 6-25
シリアル & ディーラー No	装置のシリアル No. とディーラー No. を表示します	P. 6-25

マシンセッテイ機能の設定

マシンセッテイ機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで[マシンセッテイ]を選択後、【ENTER】キーを押します。
リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 各マシンセッテイ機能を、選択・設定します。

マシンセッテイ機能の概要

繰出 & 巻取

重量メディア繰出装置 / 巻取装置のそれぞれについて、使用 / 不使用を切り替えます。
設定値：[ON, OFF]
どちらも ON から OFF に切り替えた場合は、各装置のテンションバーをロック位置へ移動してください。
特に重量メディア巻取装置の場合はロック位置への移動が確認できないと切り替えができません。

乾燥フィード

メディア乾燥のためのフィードを行うか設定します。
設定値：[ON, OFF]
乾燥フィードが ON ならば、作図終了後、メディアをアフターヒーター位置までフィードしてメディア後端の乾燥を行います。
セッテイ機能（乾燥時間 - 作図エンド）で指定された時間を待機後、次の作図（またはメディアカット）を行います。尚、バックフィードはしません。（フィードした位置から作図します）

確認フィード

テストサクズ後、作図結果を確認するためのフィードを行うか設定します。
設定値：[ON, OFF]
確認フィードが ON ならば、作図終了後、作図結果をプラテン上から確認できる位置までフィードさせます。
また、確認フィード設定中 (ON 設定時) の【FUNCTION】キーで、[メディア戻しフィード]を設定することができます。
[メディア戻しフィード]は、[確認フィード]でフィードしたメディアを元の位置まで戻します。
設定値：[ON, OFF]

プリフィード方式

プリフィードの動作方式を切り替えます。
設定値：[FORE (**mm), FORE&BACK]

プリフィード方式がFORE (**mm) ならば、プリフィードはヒータ熱で波打ったメディアを排除するため、メディアを指定量送り出す動作をします。

メディアを送り出す量は、FORE 選択中の【FUNCTION】キーで変更します。
設定値：[10 ~ 1000mm]

プリフィード方式がFORE&BACK ならば、プリフィードはメディアの張り付きを防止するため、メディアを一定量前後にフィードするように動作します。

ヒーター設定

アフターヒータの温度が設定温度に到達したかの判定について設定します。
設定値：[ヒョウジュン, セッテイ -5℃, セッテイ -10℃, セッテイ -15℃, セッテイ -20℃]

ヒーター設定がヒョウジュンならば、アフターヒータの温度が設定温度に達するまで、温度到達と見なしません。

セッテイ -5℃, セッテイ -10℃, セッテイ -15℃, セッテイ -20℃の場合、アフターヒータの設定温度より低い温度であっても、設定温度から選択温度を引いた温度以上であれば、温度到達と見なします。

アフターヒータは作図することで温度が下がりやすいヒータです。

複数の作図データを連続で作図したい場合、ヒョウジュンでは1つの作図が終わり次の作図を開始する際に、温度が到達範囲から外れていると、「温度制御中」が表示され到達温度範囲内にならないと作図を開始しません。

温度が多少低くても連続して作図を行いたい場合は、ヒョウジュン以外を設定します。

カット設定

メディアカットのキー割り当てと、カット後の動作について設定します。

カットキーワリアテ

【▶】キーをメディアカットのダイレクトキーに割り当てるかを設定します。

設定値：[ON, OFF]

ダイレクトキーに割り当てた場合、ローカルモードの【▶】キーでメディアカット選択となり、実行すると作図した画像がカットラインを超えるまで自動的にフィードしてからカットします。

メディアオートシドウス

メディアカット後にプラテン上に残っているメディアを押し出す動作について設定します。

設定値：[ON, OFF]

OFF にすると、カット後にメディアを前後する動作は行われません。

時刻設定

装置の日付、時刻を設定します。

過去の日時入力は、8H まで可能です。

時刻を未来に設定してしまった場合は、【FUNCTION】キーを押すことで、前回の変更内容に戻すことができます。ただし、変更内容に戻せるのは一つ前の変更までです。また、一つ前に戻した時間は、経過した時間分進んでいます。

単位設定

装置で使用する単位を設定します。

温度

温度の表示単位を設定します。

設定値：[°C (摂氏), °F (華氏)]

長さ

長さ、面積の表示単位を設定します。

設定値：[mm, inch]

単位	表示		
ミリ	mm	m	m ²
インチ	inch, mil	ft	ft ²

目次

1

2

3

4

5

6

索引

スタンプ設定

作図条件、作図日時の実行を行うか設定します。
スタンプセッテイ ON の場合、1 ファイル作図終了後に印刷します。
設定値： [ON , OFF]
設定 ON の場合、ページ作図毎に下記内容を実出力します。

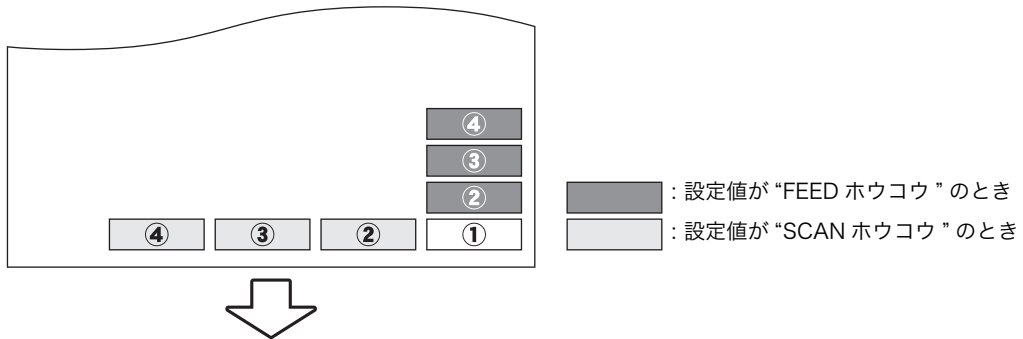
- マシン名称
- F / W Version
- 解像度
- 分割数
- 作図方向
- スキャンスピード
- 重ね塗り回数
- メディア送り補正值
- ヘッドギャップ
- インク種類 & 色数
- ヒーター設定温度 PRE / PRINT / AFTER
- 作図日時

```
JV5-320S(S) Ver2.20
PRINT MODE   : 720x720 8PASS Uni-D Hi      1LAYER
MEDIA COMP.  : 0(0,0)
HEAD GAP     : 1.5mm
INK          : HS -4color
HEATER TEMP. : PRE :40°C PRT :40°C  AFT:50°C
DATE        : 07.12.13 18:18:30
```


テスト作図配置

テスト作図を繰り返し実行するときの、作図されるテストパターンの配置方向を選択できます。

設定値：[FEED ホウコウ , SCAN ホウコウ]



メディア検出

厚さ検出

メディア幅の検出前に行う厚さ検出を、自動で行うかマニュアル入力するかを設定します。

同じメディアをご使用の場合でも、検出誤差から厚さが変わってしまう場合があります。このような場合 MANUAL にしておくと、常に同じ厚さを設定することができます。

設定値：[AUTO , MANUAL]

FEED エラー検出

メディアの送り方をノーマルに設定し、メディアが残っているときにエラー 135 が表示される場合は、OFF を設定してください。

設定値：[ON , OFF]

マシン名称

USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称を設定します。

マシン名称は [JV5 - ** (装置番号)] の構成で、装置番号のみ入力します。

設定値：[01 ~ 99] (初期値：01)

ジョウホウ機能

ジョウホウはマシンセッテイ機能の一部で、装置情報を確認するメニューから構成されます。

[INFORMATION] キーで、ダイレクトに起動できます。

項目	内容
エラー履歴	エラー、ワーニングの履歴表示
メンテナンス履歴	メンテナンス機能の使用履歴
作図モード履歴	作図履歴の表示
リスト	装置設定情報の作図
インク交換レポート	インク交換履歴の作図
バージョン	装置バージョンの確認
シリアル & ディーラー No	シリアル No. / ディーラー No. の確認

エラー履歴

現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。

【▲】【▼】キーにより、発生順にエラー、ワーニング情報を切り替えることができます。

表示内容：発生日時（年月日時分）、エラー、ワーニング内容

[スベテ]、[エラーノミ]、[ワーニングノミ]から選択して表示できます。

メンテナンス履歴

メンテナンス機能を、いつ使ったかの履歴を表示します。

主に、マニュアルによる洗浄機能や、自動（定期、スリープ）での洗浄機能について表示します。

履歴は、1つのLCDに1件表示されます。

作図モード履歴

電源ONから現在までに行ったオンライン作図情報（作図条件）を表示します。
(Max50)

【▲】【▼】キーにより作図した順番で表示が切り替ります。

表示内容：日付、履歴番号、解像度、パス数、作図方向、データ形式 (Variable / Normal)、スキャンスピード、重ね塗り回数、(作図終了時点での)作図長

リスト

装置の設定内容を作図します。
出力フォーマットを以下に示します。(但し、[DISPLAY]、[単位]の設定により変化します)

インク交換レポート

インクカートリッジの交換履歴を作図します。
ノズル詰まりのないインク色を選択できます。

バージョン

装置のバージョン情報を表示します。

項目	表示	備考
機種名	JV5-320S(X)	
Main F / W Version	* . * *	
NCU F / W Version	* . * *	
I / F 種類	USB I / F	USB 2.0
I / F F / W Version	* . * *	
MRL-III コマンド Version	* . * *	

シリアル & ディーラー No

シリアル No.、ディーラー No. を表示します。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

NCU 機能の導入

設定機能一覧

各 NCU 機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概要	参照先
ノズルチェック	ノズル抜け検出を行うか設定します	P. 6-27
NG ドウサ	一定以上のノズル抜けを検出し、NG 判定された場合の、装置の動作を設定します	P. 6-27
NG ハンテイ	NG 判定とするノズル抜け数の設定をします	P. 6-28
ジョウタイ ヒョウジ	NCU の状態を表示します	P. 6-28

NCU 機能の設定

NCU 機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。

操作手順

- 1 ローカルモードになっていることを確認し、【FUNCTION】キーで [NCU] を選択後、【ENTER】キーを押します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



- 2 各 NCU 機能を、選択・設定します。

NCU 機能の概要

NCU 機能はノズル抜け検出機能に関するオペレーションで構成されます。

設定

ノズルチェックユニットを使用してノズル抜けを監視する機能の詳細設定を行います。

ノズルチェック

ノズル抜け検出を行うか設定します。

設定値：[ON, OFF]

NG 動作

作図中 NG 動作

一定量以上のノズル抜けを検出して NG 判定した場合の [作図中] の動作を設定します。

ケイゾク	作図を継続します (初期値)
クリーニング & ケイゾク	クリーニングによるノズル復旧を行います クリーニング成功 / 失敗に関わらず作図再開します
クリーニング & テイシ	クリーニングによるノズル復旧を行います クリーニング失敗した場合は作図再開しません
テイシ	作図を停止します

[クリーニング & ケイゾク]、[クリーニング & テイシ] の項目選択中に【FUNCTION】キーを選択することで、クリーニング動作の詳細設定となります。

■ クリーニングタイプ [クリーニング & ケイゾク]、[クリーニング & テイシ]

クリーニングの種類を設定します。

設定値：[ノーマル, ソフト, ハード] (初期値：ノーマル)

■ リトライ回数 [クリーニング & テイシ]

クリーニングのリトライ回数を設定します。

設定値：[0 ~ 3] (初期値：3)

リトライカイスウを 3 に設定した場合は、(ノズル復旧しなければ) 最初のクリーニングも含めて最大 4 回のクリーニングを行うこととなります。

作図終了後 NG 動作

一定量以上のノズル抜けを検出して NG 判定した場合の [1 ファイル作図終了後] の動作を設定します。

ケイゾク	作図を継続します (初期値)
クリーニング & ケイゾク	クリーニングによるノズル復旧を行います クリーニング成功 / 失敗に関わらず作図再開します
クリーニング & テイシ	クリーニングによるノズル復旧を行います クリーニング失敗した場合は作図再開しません
テイシ	作図を停止します

[クリーニング & ケイゾク]、[クリーニング & テイシ] の項目選択中に【FUNCTION】キーを選択することで、クリーニング動作の詳細設定となります。

■クリーニングタイプ [クリーニング & ケイゾク]、[クリーニング & テイシ]

クリーニングの種類を設定します。

設定値: [ノーマル, ソフト, ハード] (初期値: ノーマル)

■リトライ回数 [クリーニング & テイシ]

クリーニングリトライ回数を設定します。

設定値: [0 ~ 3] (初期値: 3)

リトライカイスウを 3 に設定した場合は、(ノズル復旧しなければ) 最初のクリーニングも含めて最大 4 回のクリーニングを行うこととなります。

*1 [作図中 NG 動作]、[作図終了後 NG 動作] でクリーニングを行う場合は、外部ヒーター OFF します。

NG 判定

ノズルチェック NG とするノズル抜け数を設定します。

■抜けノズル / ライン

ノズルチェック NG とする 1 列あたりのノズル抜け数の基準を設定します。

設定値: [1 ~ 180] (初期値: 10)

■抜けノズル / 全て

ノズルチェック NG とする全体のノズル抜け数の基準を設定します。

設定値: [1 ~ 180] (初期値: 10)

状態表示

NCU の状態を表示します。

ゲンザイ NCU ハ キノウ シテイマス。	NCU は使用可能です。
エラー / ワーニング ハツセイ ニヨリ NCU ヲ キリハナシテイマス	NCU に問題があります。 ノズル抜け検出機能を切り離して、継続使用は可能です。

【FUNCTION】キーにより、NCU で起きているエラーや、NCU ↔ メイン間で発生しているエラーを全て表示します。

【▲】【▼】キーにより、発生順にエラー情報を切り替えることができます。

DISPLAY 設定

装置で使用する言語を設定します。

表示言語

- Japanese
- English
- German
- French
- Spanish
- Italian
- Portuguese

設定は、LCD 表示に反映します。

目次

1

2

3

4

5

6

索引

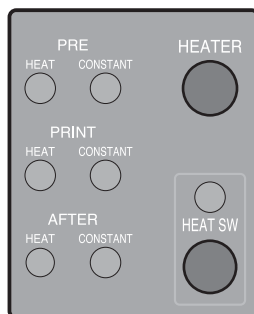
機能の応用設定

必要に応じて、イニシャル設定されている設定項目を変更することができます。

ヒーターの設定

ヒーターの設定項目

3カ所の各ヒーターに設定できる項目を、以下に示します。



オンド セッテイ

3カ所の各ヒーターに対して、温度設定を行います。

プリヒート	プリヒーターの温度を設定します。 (OFF, 20 ~ 60 °C / 68 ~ 140 °F)
プリントヒート	プリントヒーターの温度を設定します。 (OFF, 20 ~ 60 °C / 68 ~ 140 °F)
アフターヒート	アフターヒーターの温度を設定します。 (OFF, 20 ~ 70 °C / 68 ~ 158 °F)

ジカン セッテイ

スタンバイ時間、OFF 時間の設定を行います。

スタンバイ	<p>作図終了後からヒーターが予熱温度に下がり始める時間を設定します。 あらかじめ予熱温度は設定されているので、変更はできません。 温度が下がった状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってから作図します。 「ナシ」を設定すると予熱温度になりません。 (ナシ, 0 ~ 90 min / 10 min 単位)</p>
OFF ジカン	<p>以下の場合にヒーターをオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スタンバイ時に、設定時間以上作図しない場合 ■ スタンバイ - [ナシ] の設定時、作図終了後に設定時間以上作図しない場合 <p>ヒーターがオフ状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってからプリントを開始します。 「ナシ」を設定すると、ヒーターはオフになりません。 (ナシ, 0 ~ 90 min / 10 min 単位)</p>

目次

1

2

3

4

5

6

索引

ヒーターの詳細設定

プラテン内に内蔵されているプリヒーター・プリントヒーター・アフターヒーターについて設定します。

作図中にも温度を変更できるため、適切な温度に調整することができます。ただし、周囲の温度により、設定した温度に到達するまでには数分から十数分かかります。

重要! ■本装置は、20～35℃の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

ここで調整した温度は、電源をオフにするまで継続するか、下記の条件で新たに温度を変更するまで継続します。

- FUNCTION モードのタイプを変更する
- FUNCTION モードのヒーターの温度を変更する
- コンピュータからヒーターの温度を指定する



■お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールすることができます。設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。

温度の設定値

°C の場合	OFF, 20～60 (70)°C (1° C 単位)
°F の場合	OFF, 68～140 (158)°F (1° F 単位) * 丸め誤差等により 1° F 単位に設定できない場合があります。

温度設定の目安 (ソルベントインクをご使用の場合)

ヒーター	ES3 インク (メディア)			HS インク	エコHS1 インク	SS21 インク
	光沢塩ビ	ターポリン	FF	全メディア	全メディア	全メディア
Pre ヒーター	40	40	40	40	35	35
Print ヒーター	40	40	40	40	35	35
After ヒーター	50	50	50	50	50	50

重要! ■メディアの状態により、適温に調整してください。

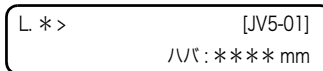
ヒーターの温度とスタンバイ時間を設定する

ヒーターの温度とスタンバイ時間を設定するためには、以下の手順で設定します。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

リモートモード時は【REMOTE】キーを押します。



2 【FUNCTION】キーで【セットイ】を選択し、【ENTER】キーを押します。 【▲】【▼】キーでタイプ1～4を選び、【ENTER】キーを押します。

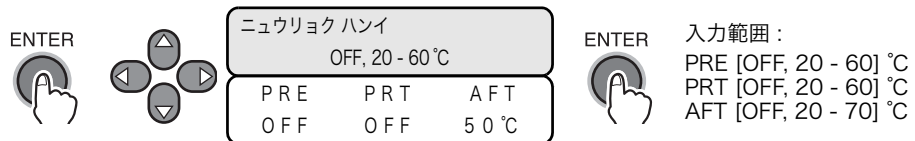


3 【▼】キーで【ヒーター】を選択し、【ENTER】キーを押します。

【オンドセットイ】に進みます。

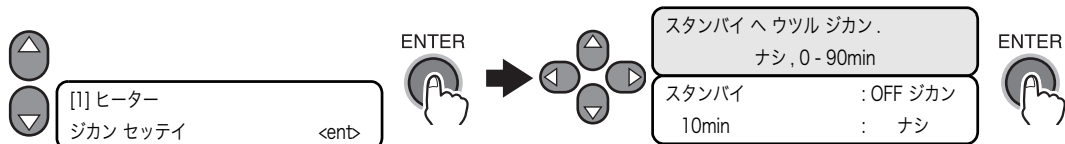


4 【ENTER】キーで下の階層へ進み、【▲】【▼】【◀】【▶】キーで、温度設定を入力します。 【▲】【▼】キーで温度を変更、【◀】【▶】キーでカーソルを移動、【ENTER】キーで確定します。



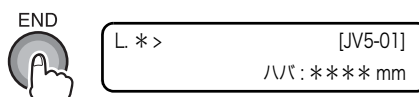
5 【▼】キーで【ジカンセットイ】を選んで【ENTER】キーを押し、【ジカンセットイ】を設定します。

【▲】【▼】キーで時間を変更、【◀】【▶】キーでカーソルを移動、【ENTER】キーで確定します。(0～90min (10min 刻み))










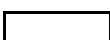





6 【END】キーを数回押します。

ローカルモードに戻ります。



機能メニューの操作方法について

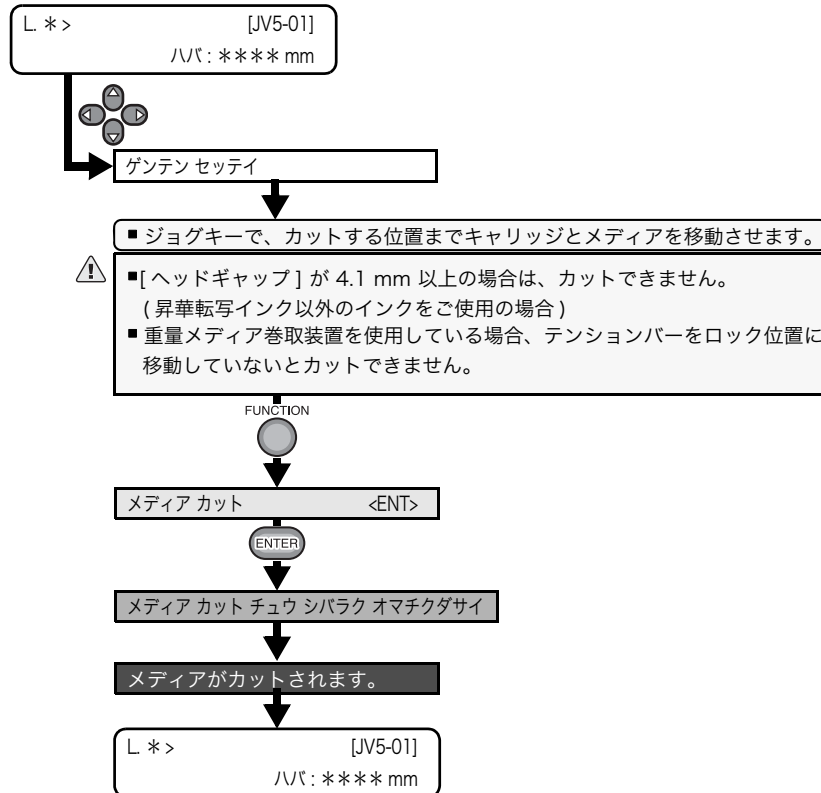
必要な操作やディスプレイに表示されるメッセージを、以下の要領で説明しています。操作手順の更に詳しい情報は、各参照先をご覧ください。

アイコン	アイコンの説明
	【FUNCTION】 キーを 1 回押す操作を表しています。 [ファンクションモード] に入る際や、下階層への移動に使用します。
	【▲】【▼】【◀】【▶】 キーの操作を表しています。
	【▲】【▼】 キーを押すことで、交互表示されるサブ設定画面の切り換えや、設定値 / 項目を変更する操作を表しています。
	【◀】【▶】 キーを押すことで、設定値 / 項目を切り替える操作を表しています。
	【ENTER】 キーを 1 回押して、表示中の設定値 / 項目を実行する操作を表しています。
	各キーを 1 回押す操作を表しています。 (この場合は【ST.MAINT】 キーを押す操作を表しています。)
	【END】 キーを 1 回押して、実行をキャンセルする操作を表しています。
	ディスプレイの内容を表しています。
	キーを操作した結果、本装置が実行する動作を表しています。
	メニュー項目の設定値を表しています。
	操作した結果、ディスプレイに表示されるメッセージを表しています。
	操作パネルのメニュー操作以外で、お客様が本装置に対して行うべき作業を表しています。この、  アイコンで示しています。

カッターに関する機能

用紙をカットしたいときは

[オートカット] 機能を使用せず、任意の位置でのメディアカットを実行します。
(作図終了後のメディアカット (3-59 ページ) 参照)



【▶】 キーをダイレクトカットキーに割り当てている場合

目次

1

2

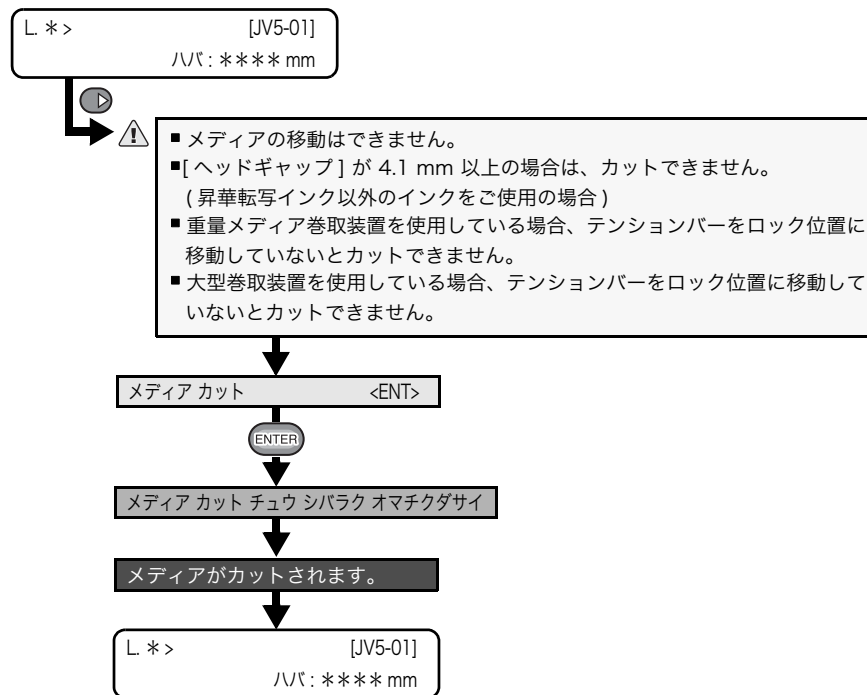
3

4

5

6

索引

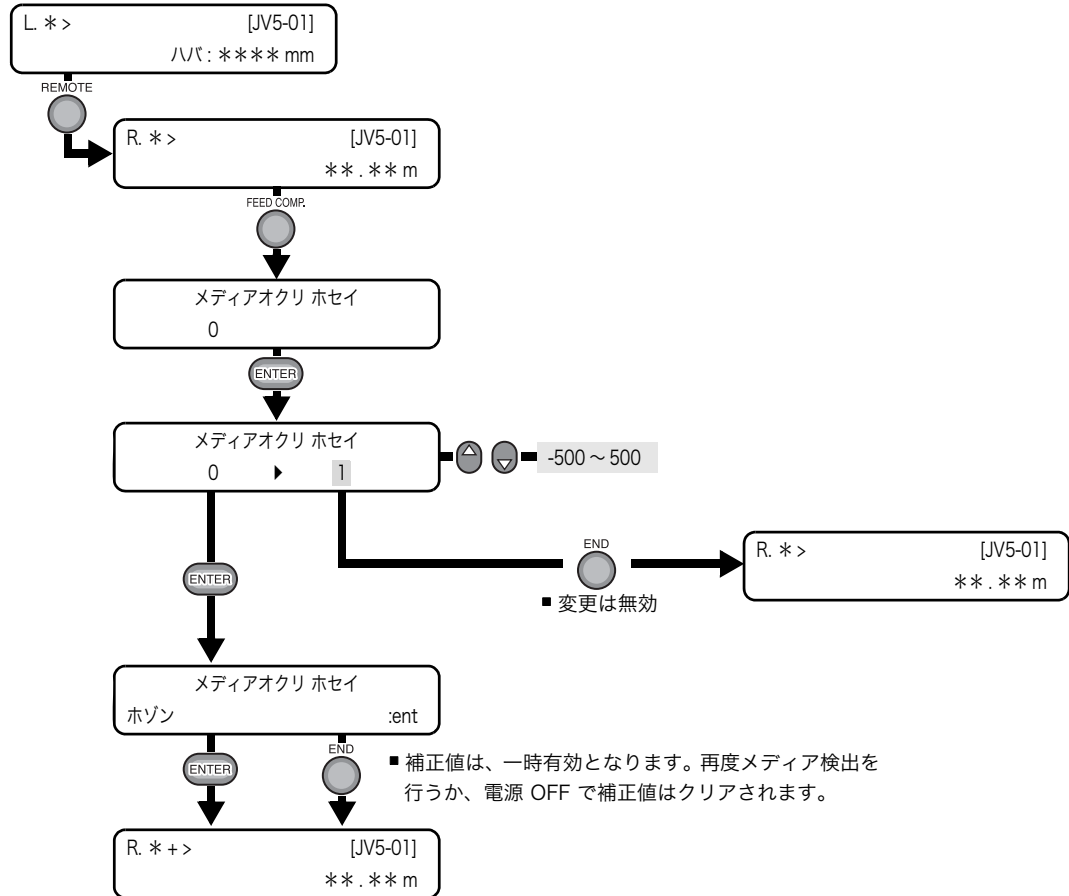


作図品質に関する機能

プリンタの機能メニューでは、作図品質を確認したり、改善するための設定を変更したりすることができます。

作図中にメディア送りを補正したいときは [メディアオクリ ホセイ]

[メディアホセイ] では、ローカルモード中に作業を実行しましたが、ここではリモートモード、または画像データ作図中にメディア送り量を補正する方法を説明します。



目次

1

2

3

4

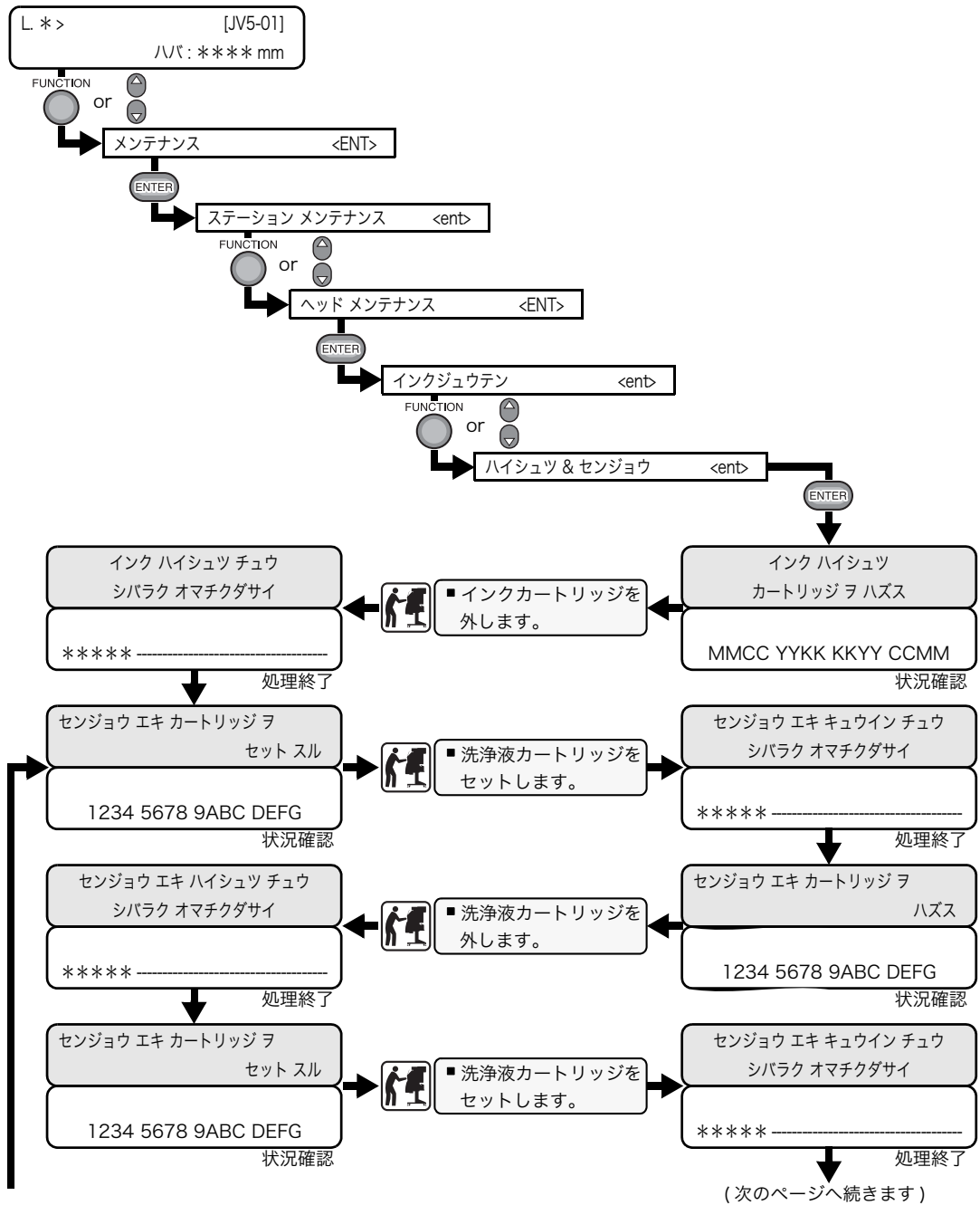
5

6

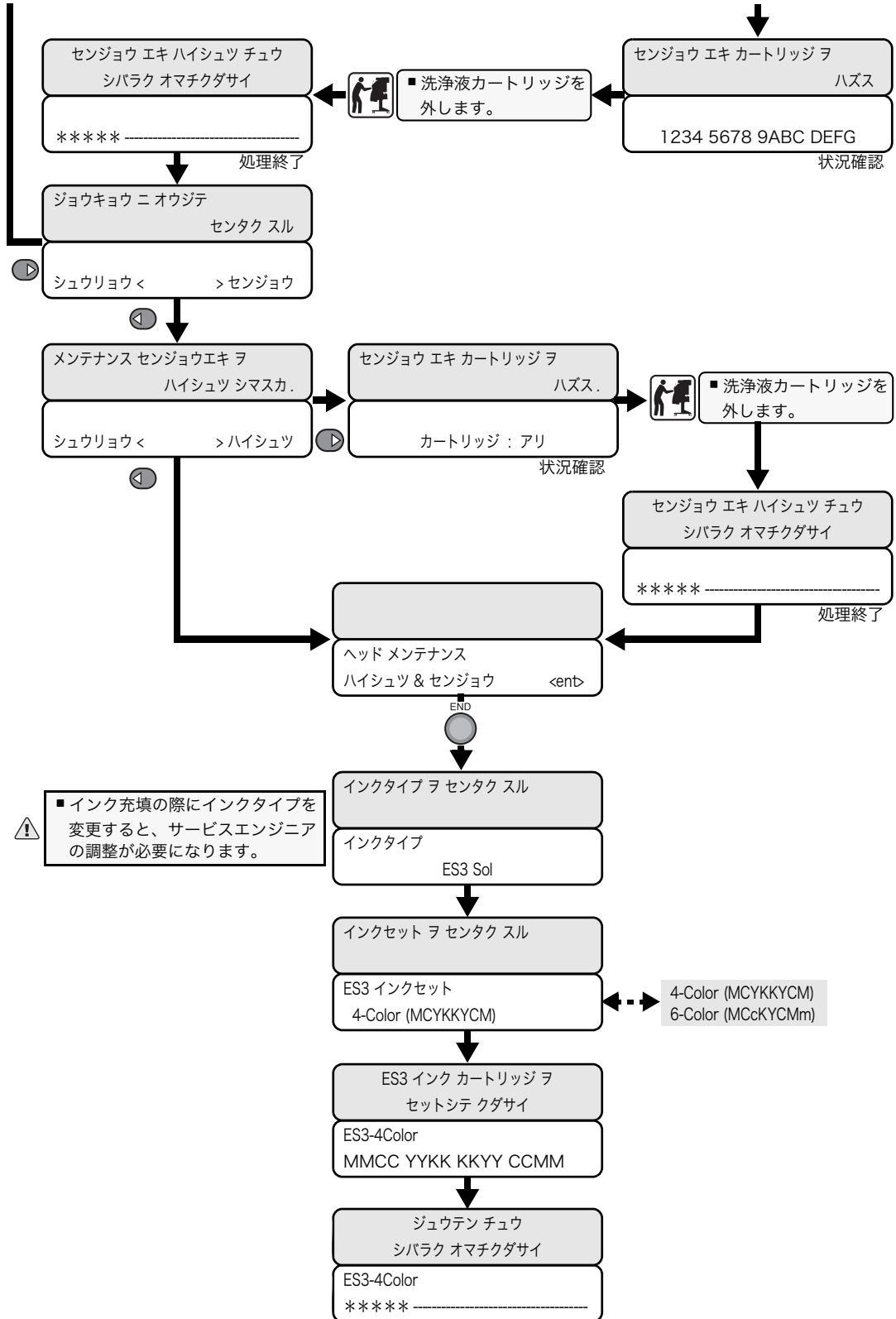
索引

インクに関する機能

インクセット (4色 / 6色 / 7色) を変更したいときは



インクセット (4色 / 6色) を変更したいときは (続き)



目次

1

2

3

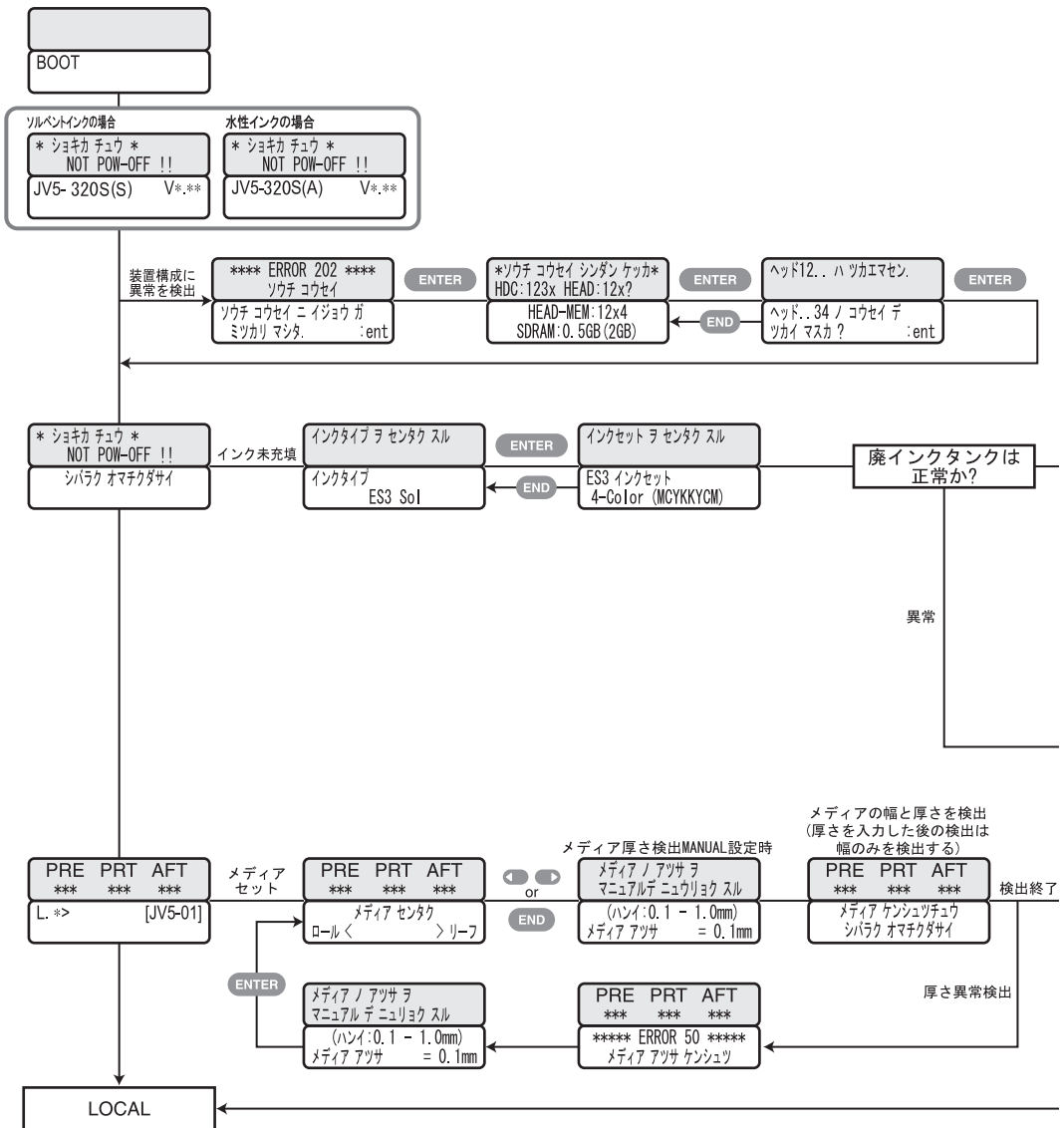
4

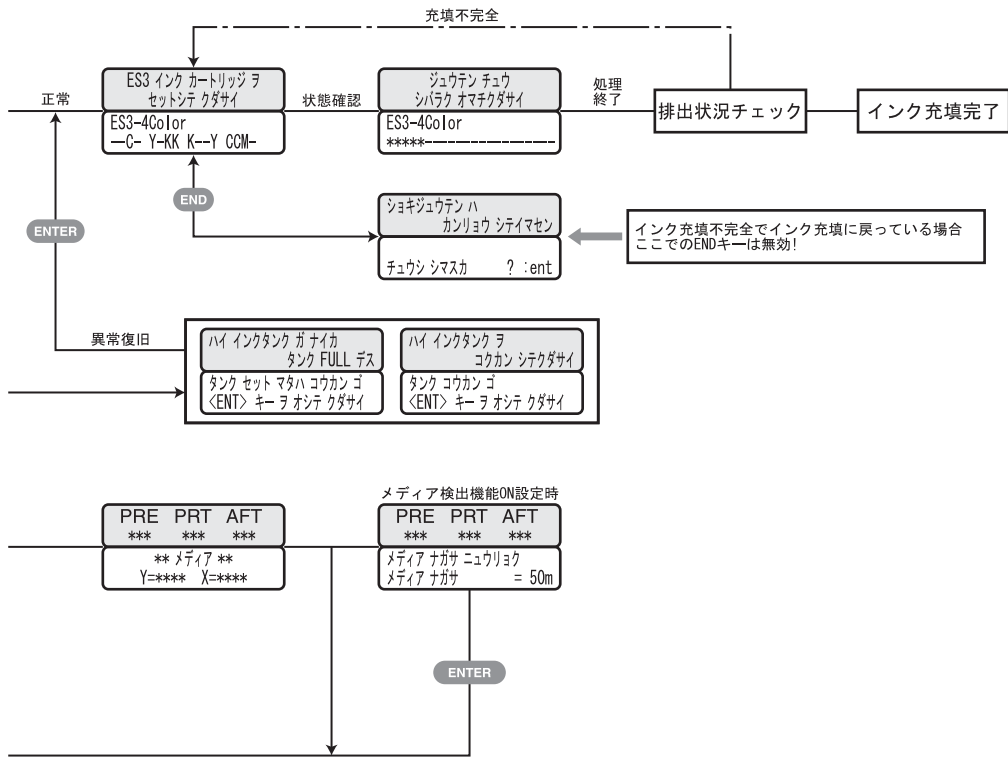
5

6

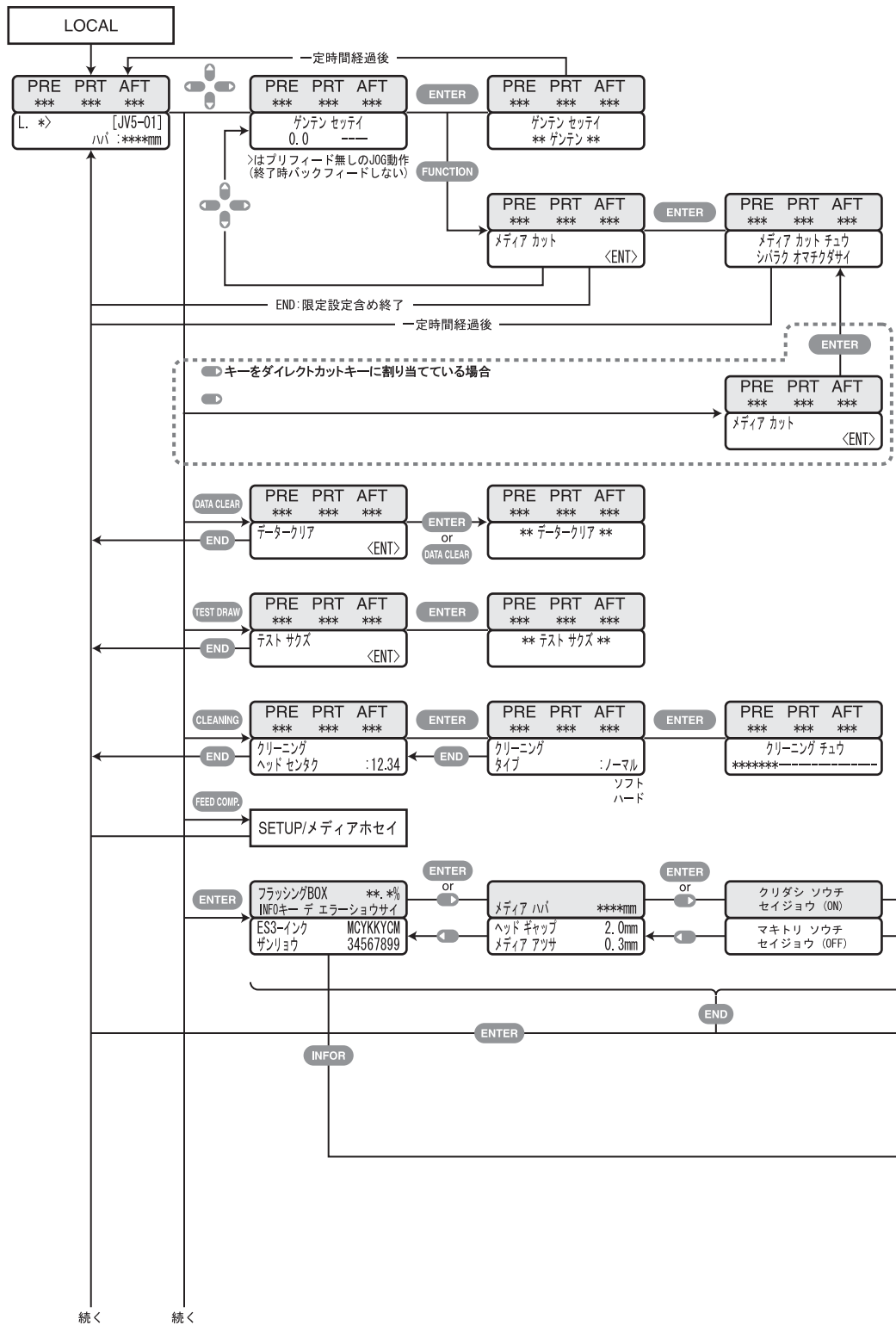
索引

機能フローチャート [BOOT]





機能フローチャート [ローカルモード]



目次

1

2

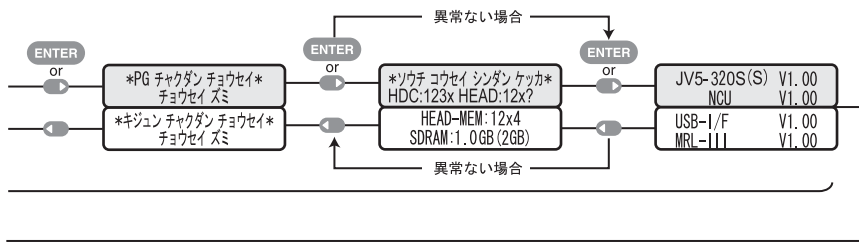
3

4

5

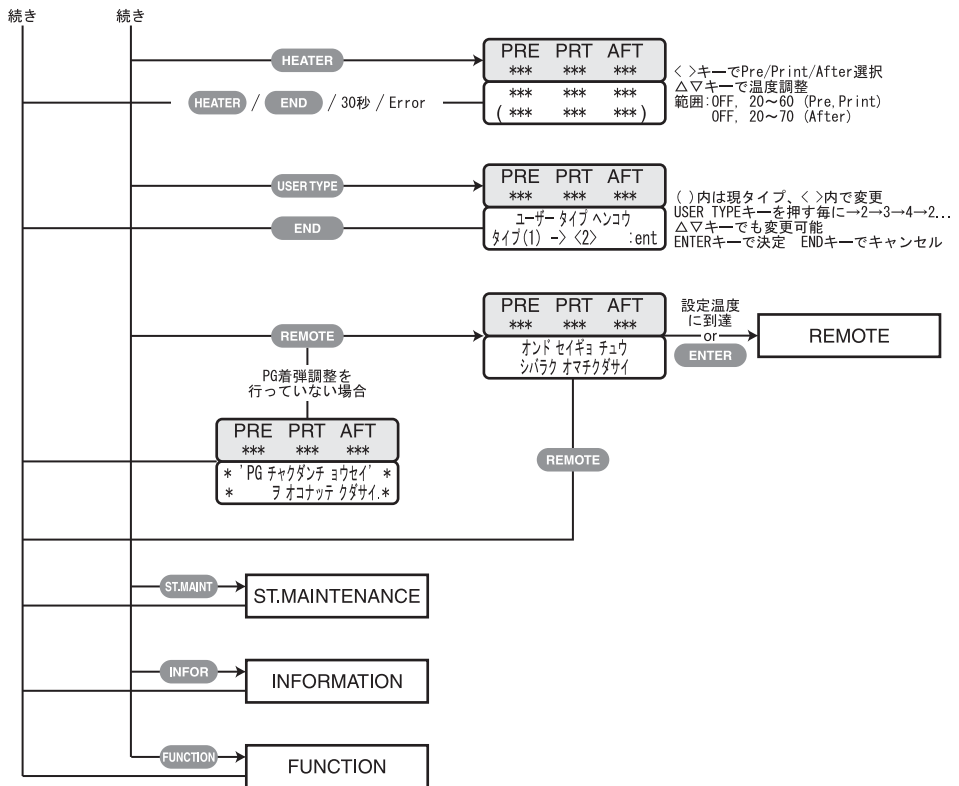
6

索引



Mimaki ジュンセイ カートリッジ ラセット シテダサイ ヒ ジュンセイ インク M-C- ---K --- C-M-	カートリッジ ラスキ フタタビ セット シテミナクダサイ インク ICイジョウ M-C- ---K --- C-M-	ES3 インク ノ カートリッジ ラセット シテダサイ インク シュメイ M-C- ---K --- C-M-	インク / カラー マチガッテ イマス インク カラー M-C- ---K --- C-M-	カートリッジ ガイジョウ テス コウカン シテダサイ カートリッジ イジョウ M-C- ---K --- C-M-	カートリッジ ラセット シテダサイ カートリッジ ナン M-C- ---K --- C-M-
ショウヒ キガンガ キレタイムス コウカン シテダサイ キガン キレ (2カゲク) M-C- ---K --- C-M-	インク ガ カラー テス コウカン シテダサイ ザンリョウ 0 M-C- ---K --- C-M-	インク ガ シュウリョウ シマンダ コウカン シテダサイ インク エンド M-C- ---K --- C-M-	インク シュウリョウ マチガ テス コウカン シテダサイ インク ニア エンド M-C- ---K --- C-M-	ショウヒ キガンガ キレタイムス コウカン シテダサイ キガン キレ (1カゲク) M-C- ---K --- C-M-	ショウヒ キガンガ キレタイムス コウカン シテダサイ インク キガン キレ M-C- ---K --- C-M-
ハイ インクタンク コウカン シテダサイ ハイ インクタンク ニアフル	ハイ インクタンク ラ コウカン マタハ セット シテダサイ ハイ インクタンク FULL/NONE	メンテナンス センジョウエキ ラ ジュウテン シテダサイ メンテナンス センジョウエキ ミジュテン	センジョウエキ カートリッジ ラ コウカン シテダサイ メンテナンス センジョウエキ エンド	センジョウエキ カートリッジ ラ コウカン シテダサイ メンテナンス センジョウエキ ニア エンド	

ワーニング : カートリッジの詳細を表示する。複数ある場合△▽キーで表示する。
状態変化をリアルタイムで表示する。
[TNFOR] または [END] キーで残量表示に戻る。



目次

1

2

3

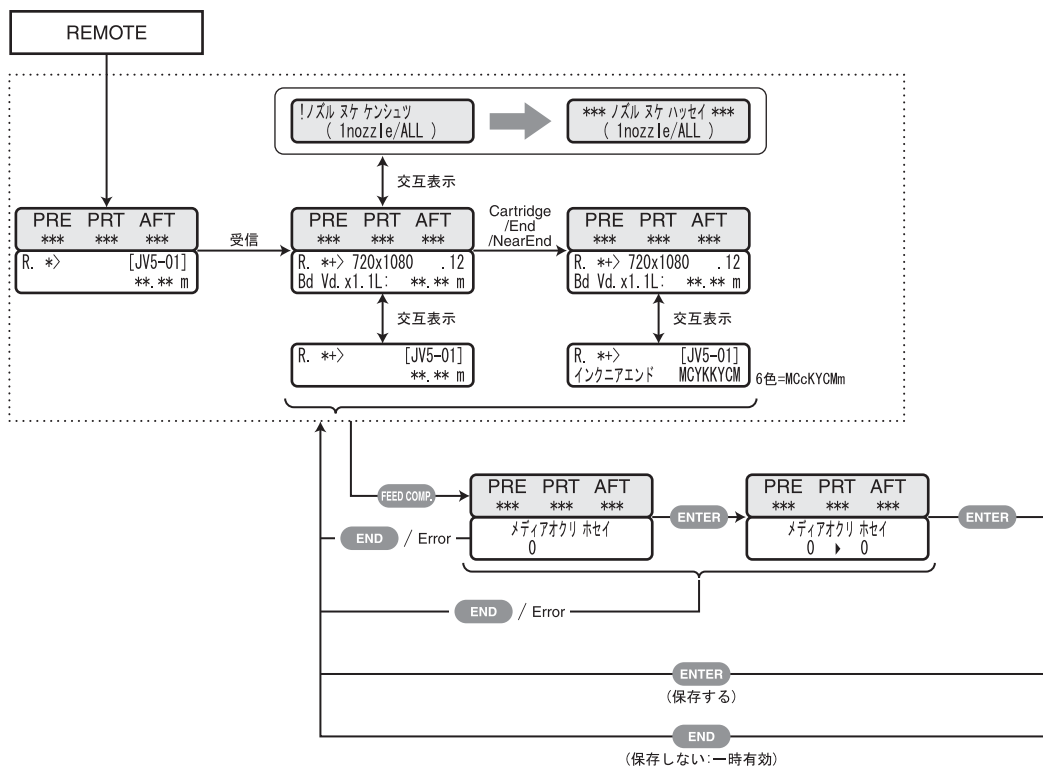
4

5

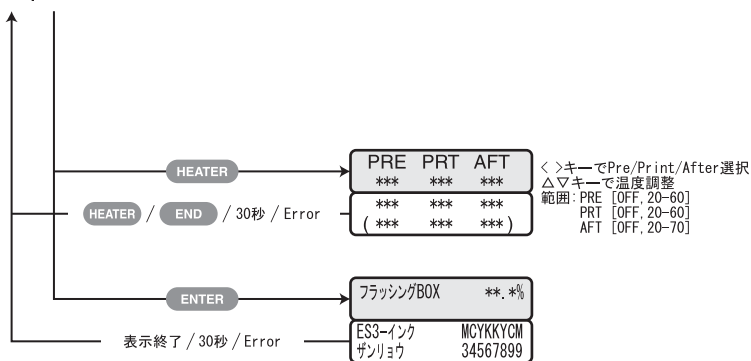
6

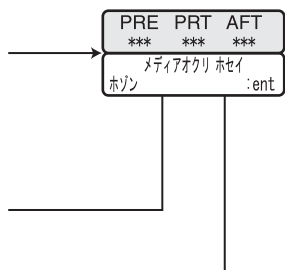
索引

機能フローチャート [リモートモード]



上記画面状態でのHEATERキー、ENTERキー処理となります





目次

1

2

3

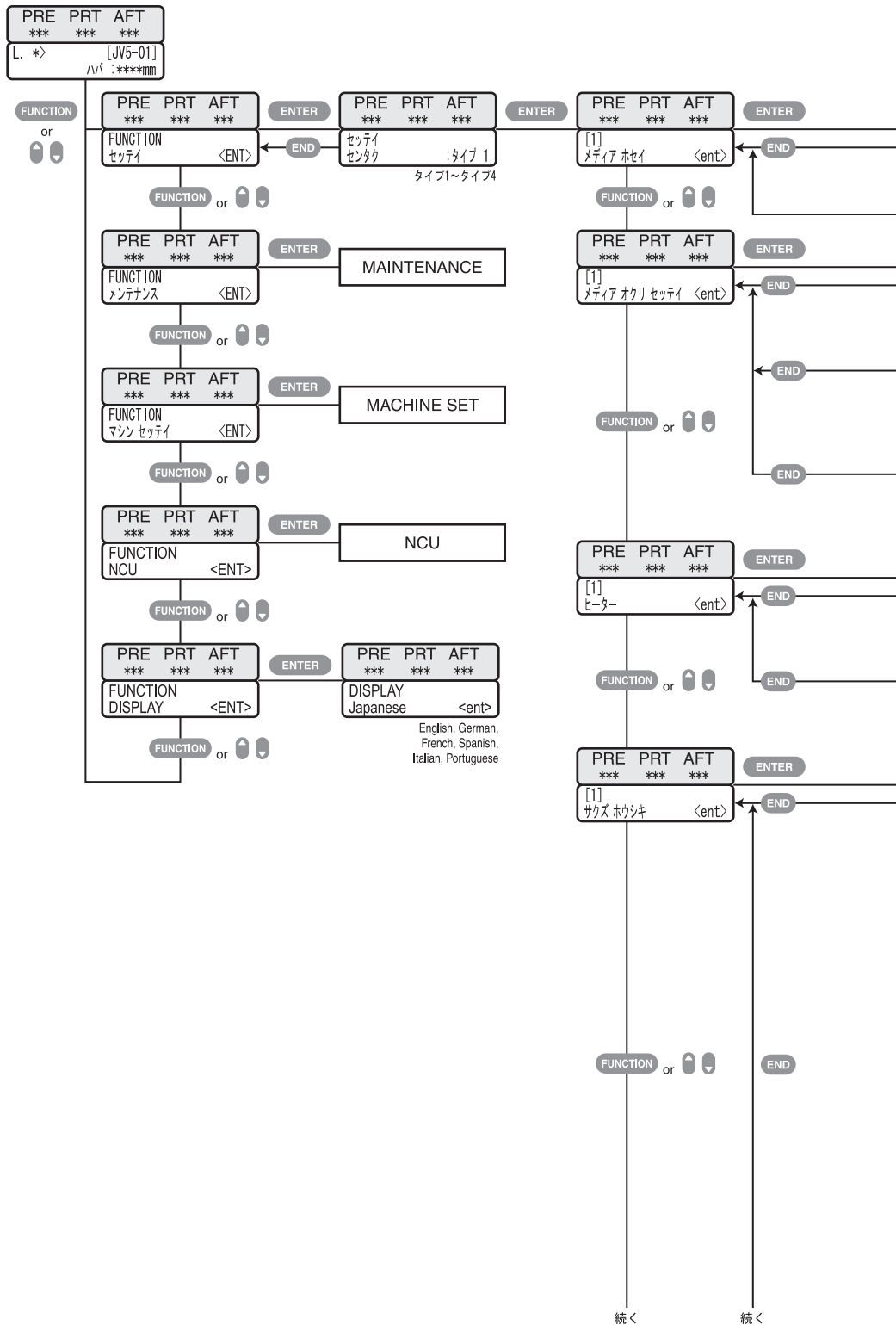
4

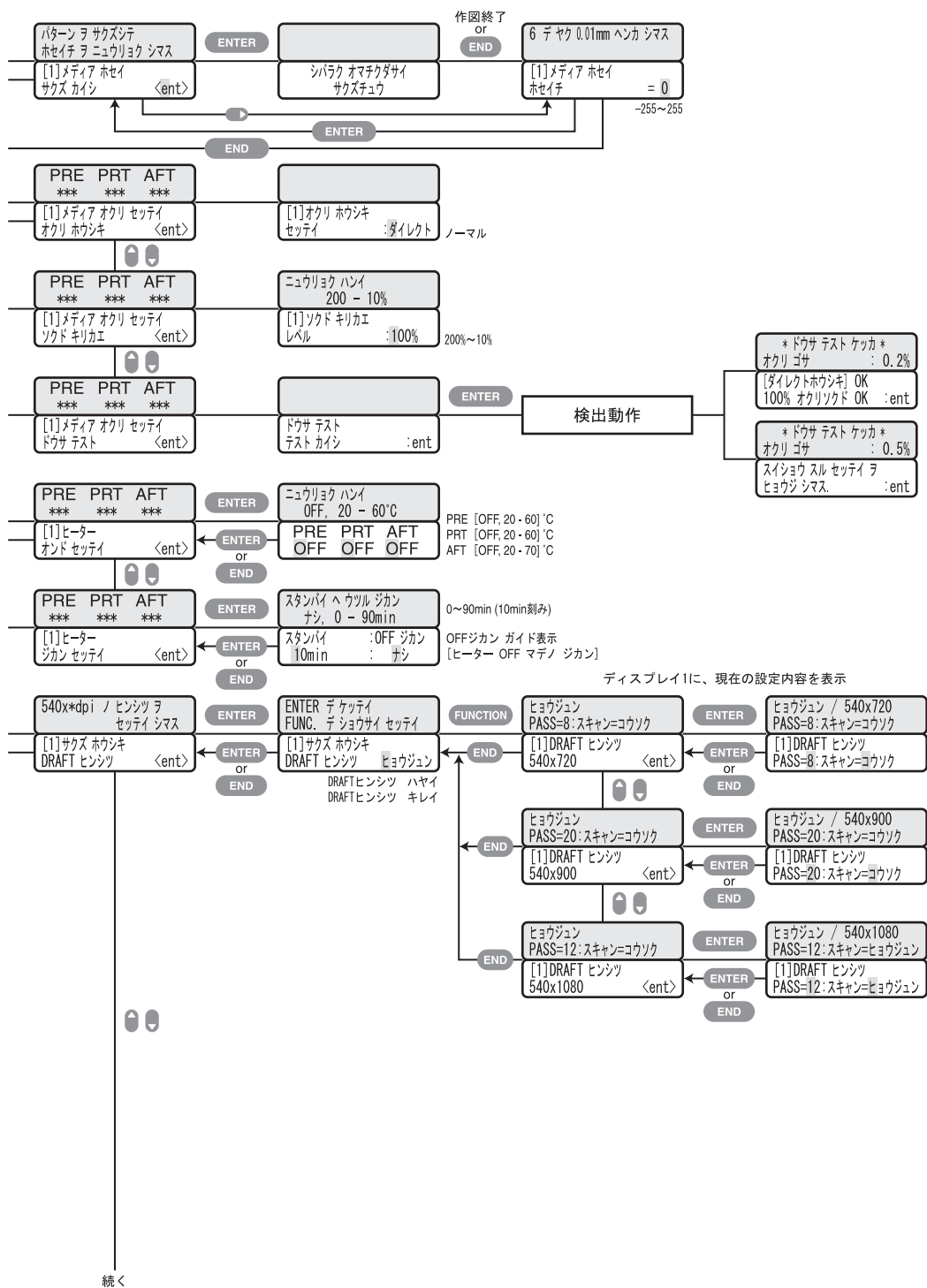
5

6

索引

機能フローチャート [FUNCTION キー]





目次

1

2

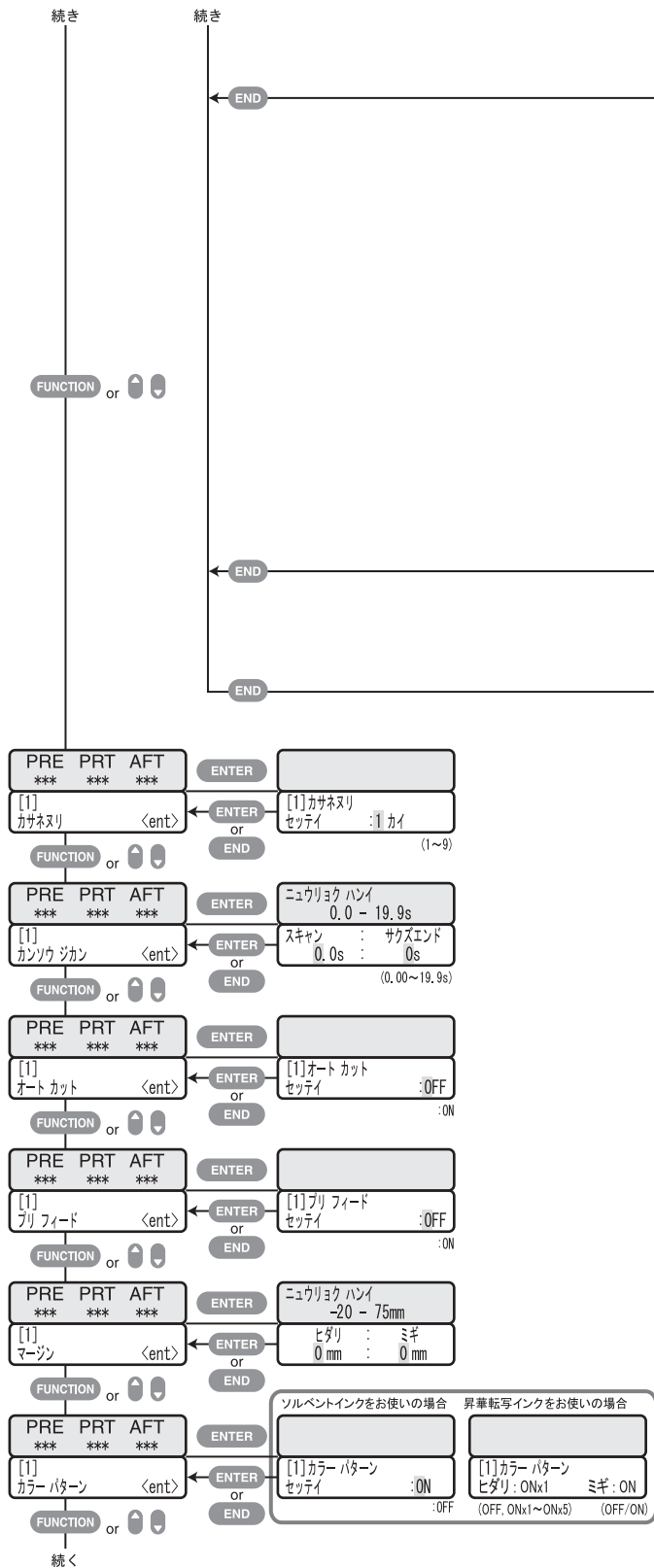
3

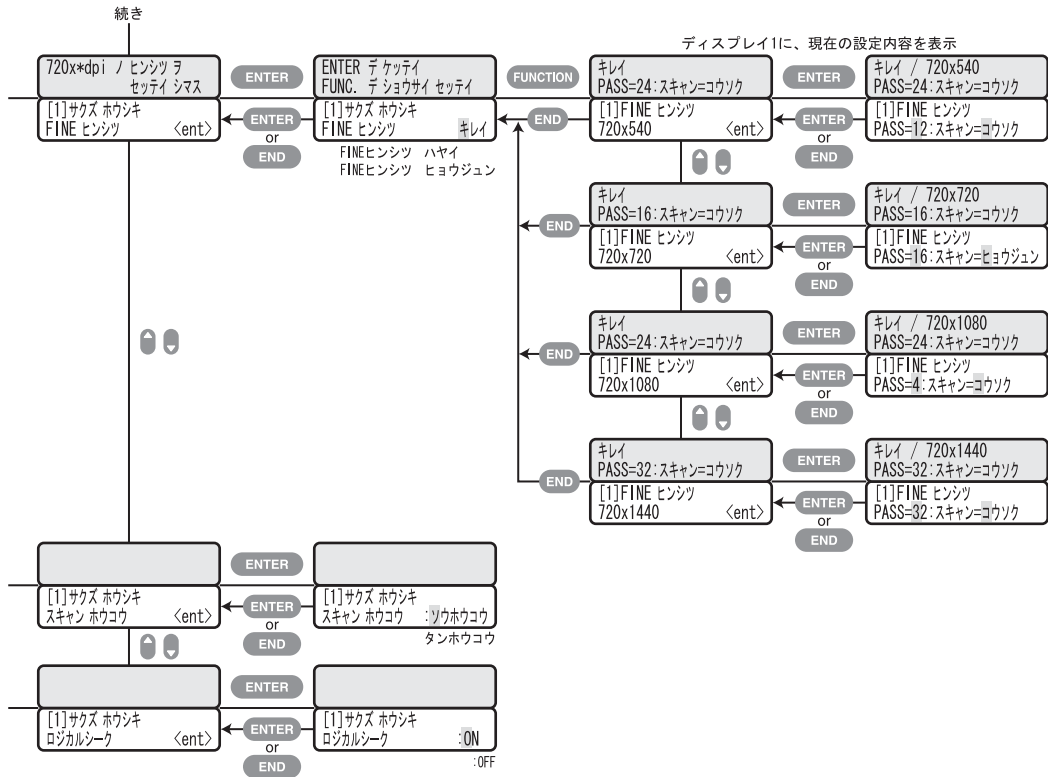
4

5

6

索引





目次

1

2

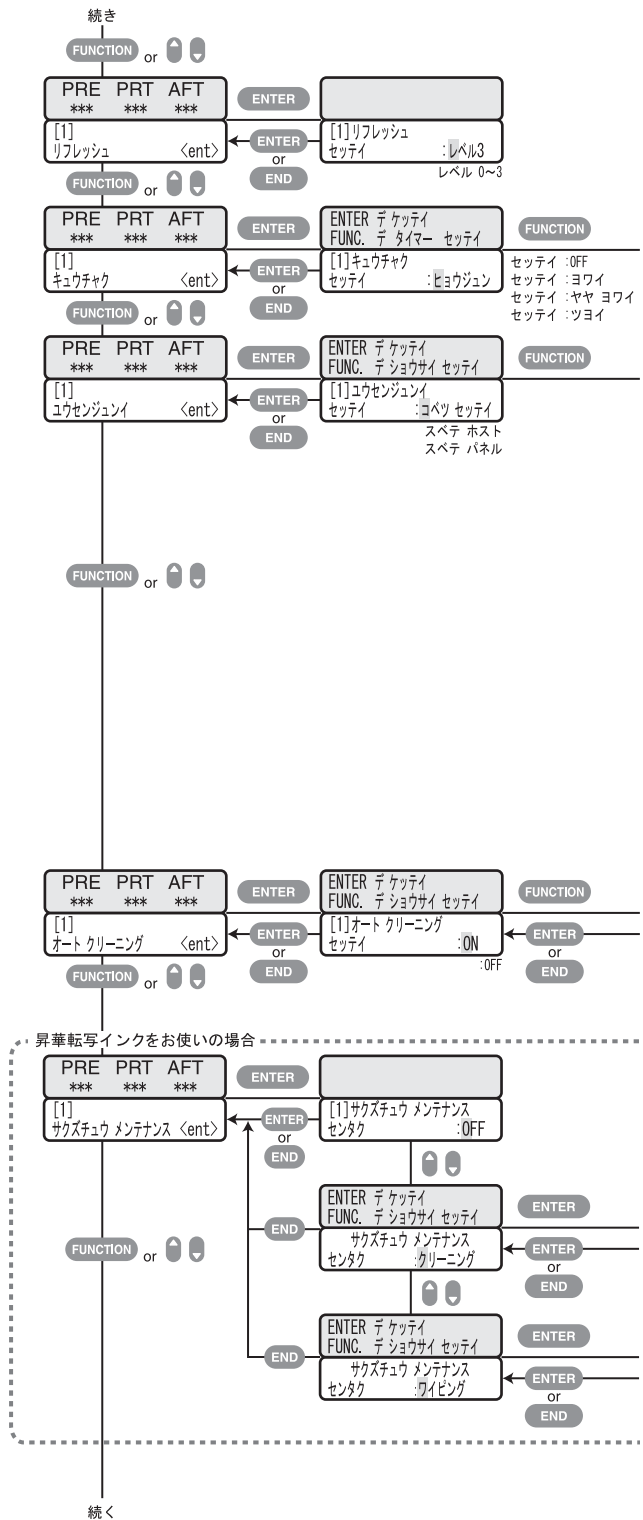
3

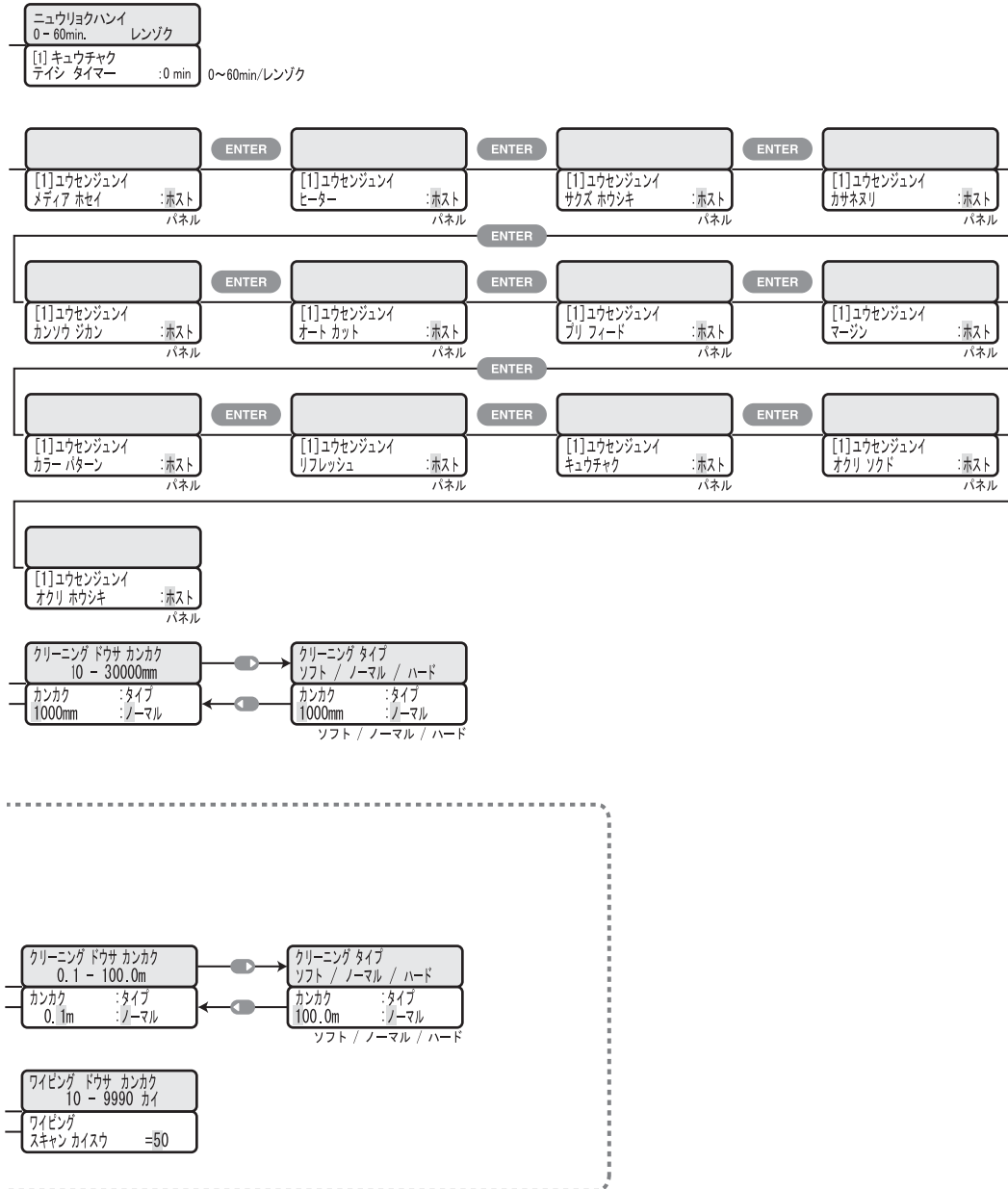
4

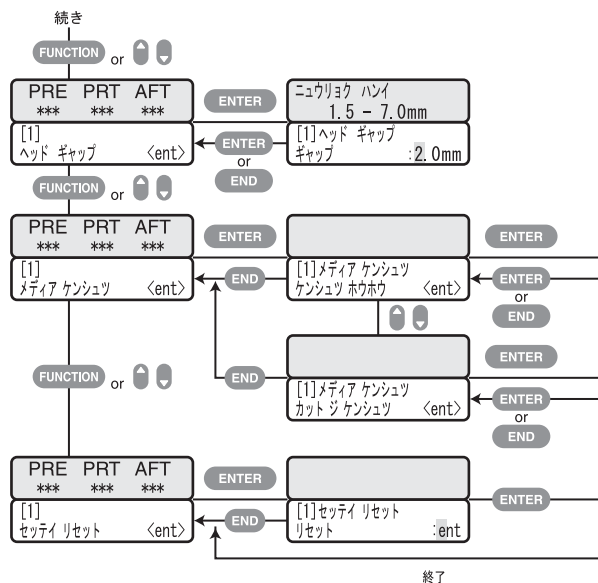
5

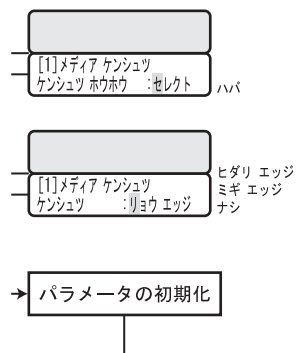
6

索引









目次

1

2

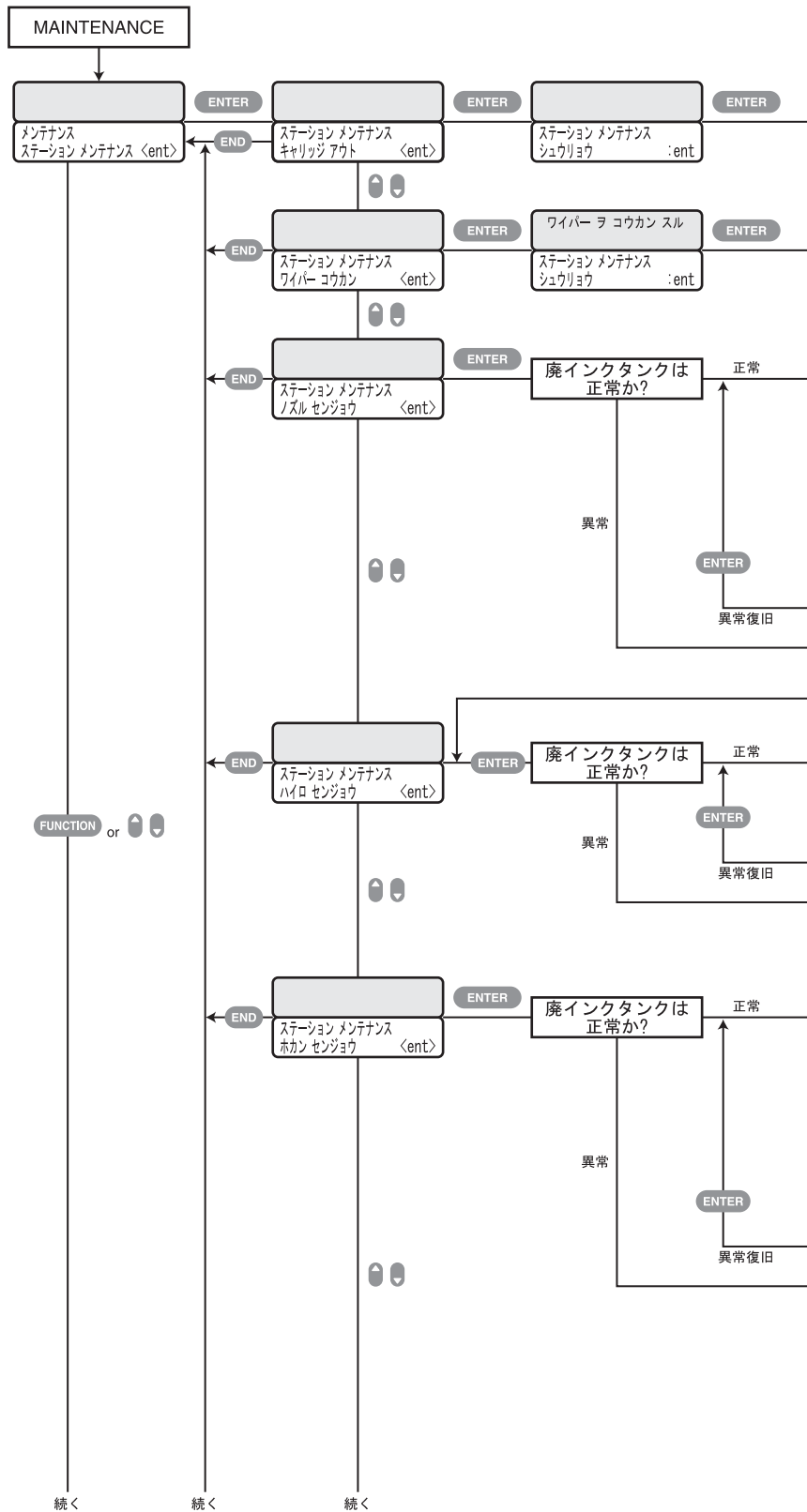
3

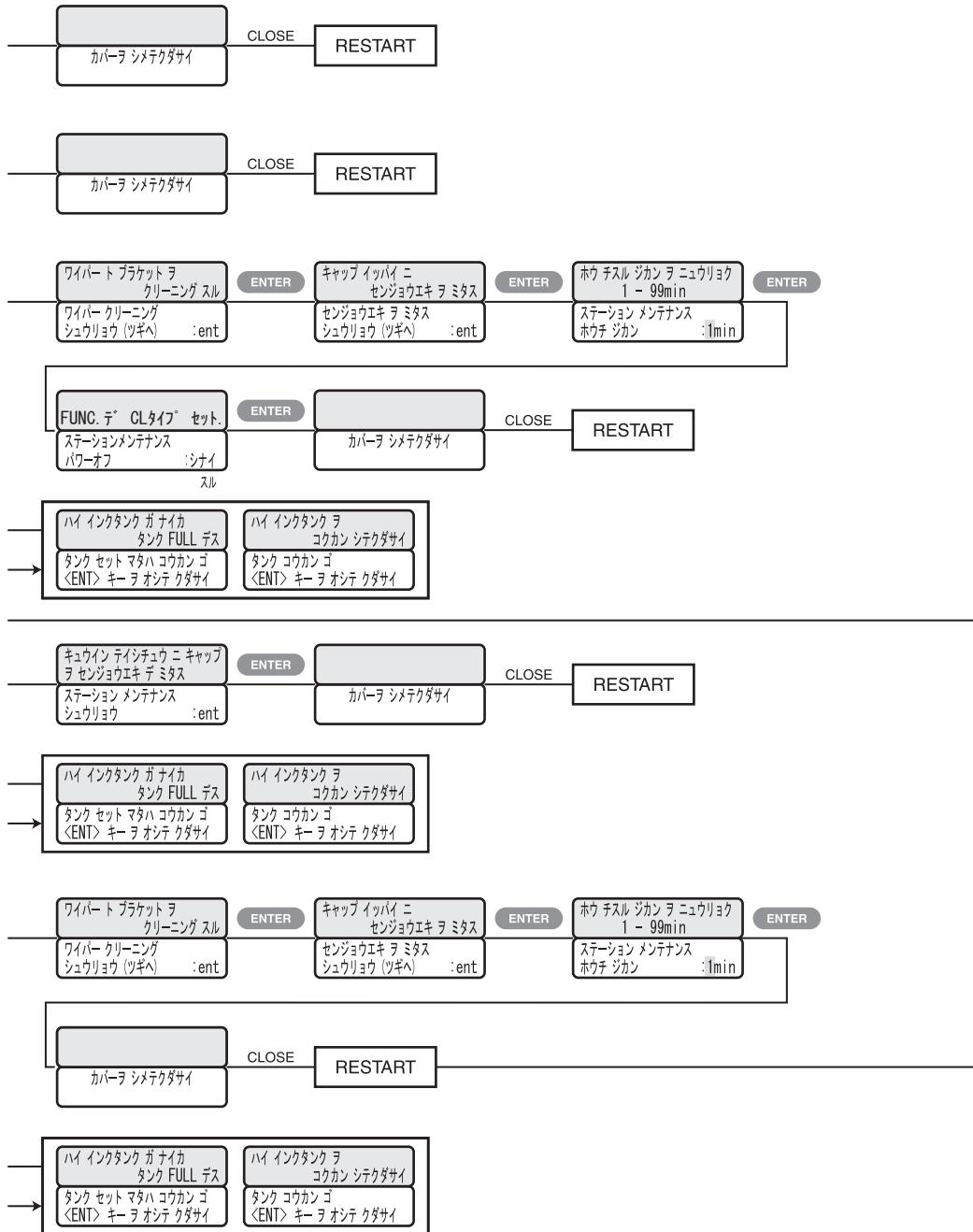
4

5

6

索引





目次

1

2

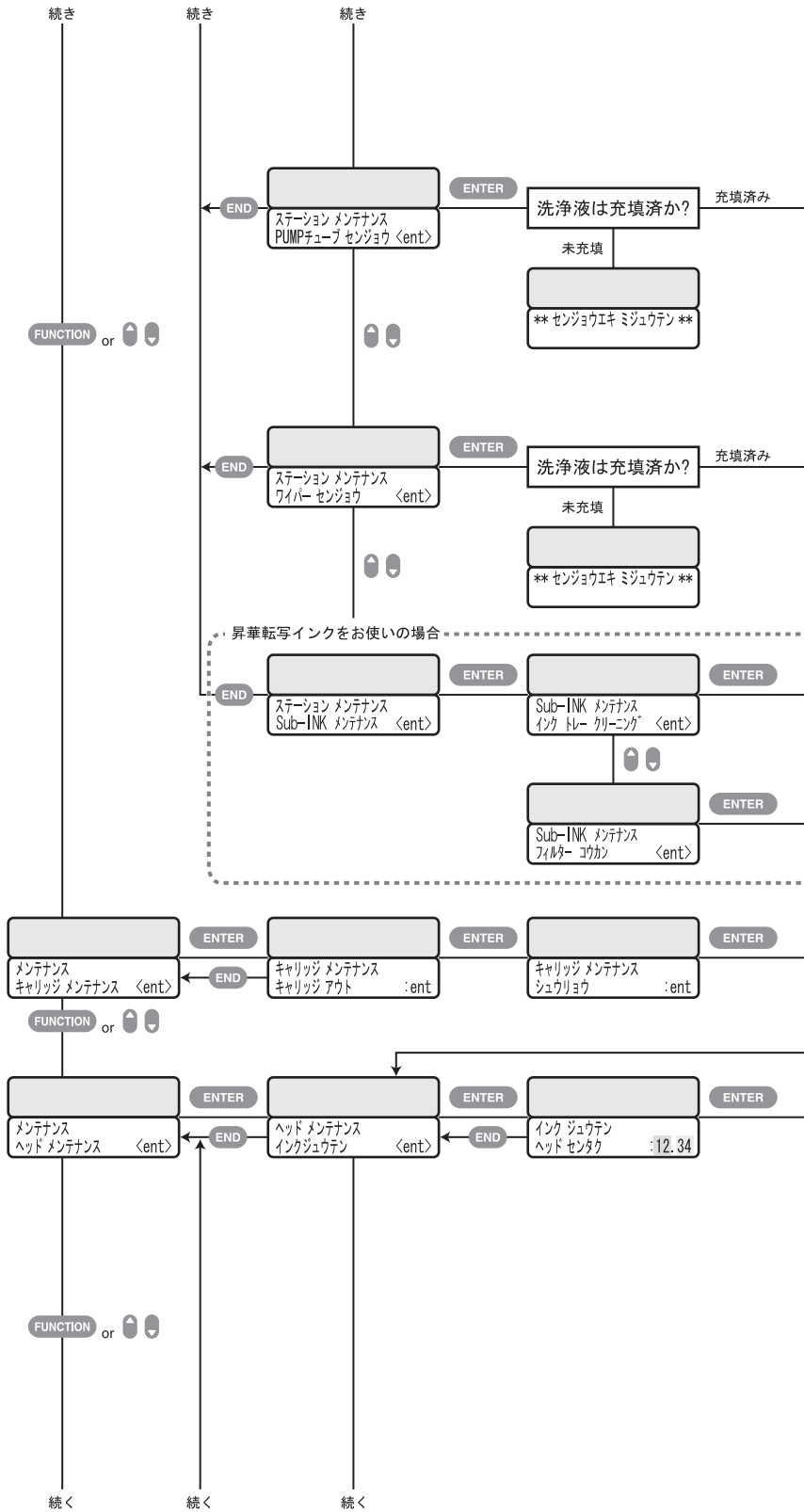
3

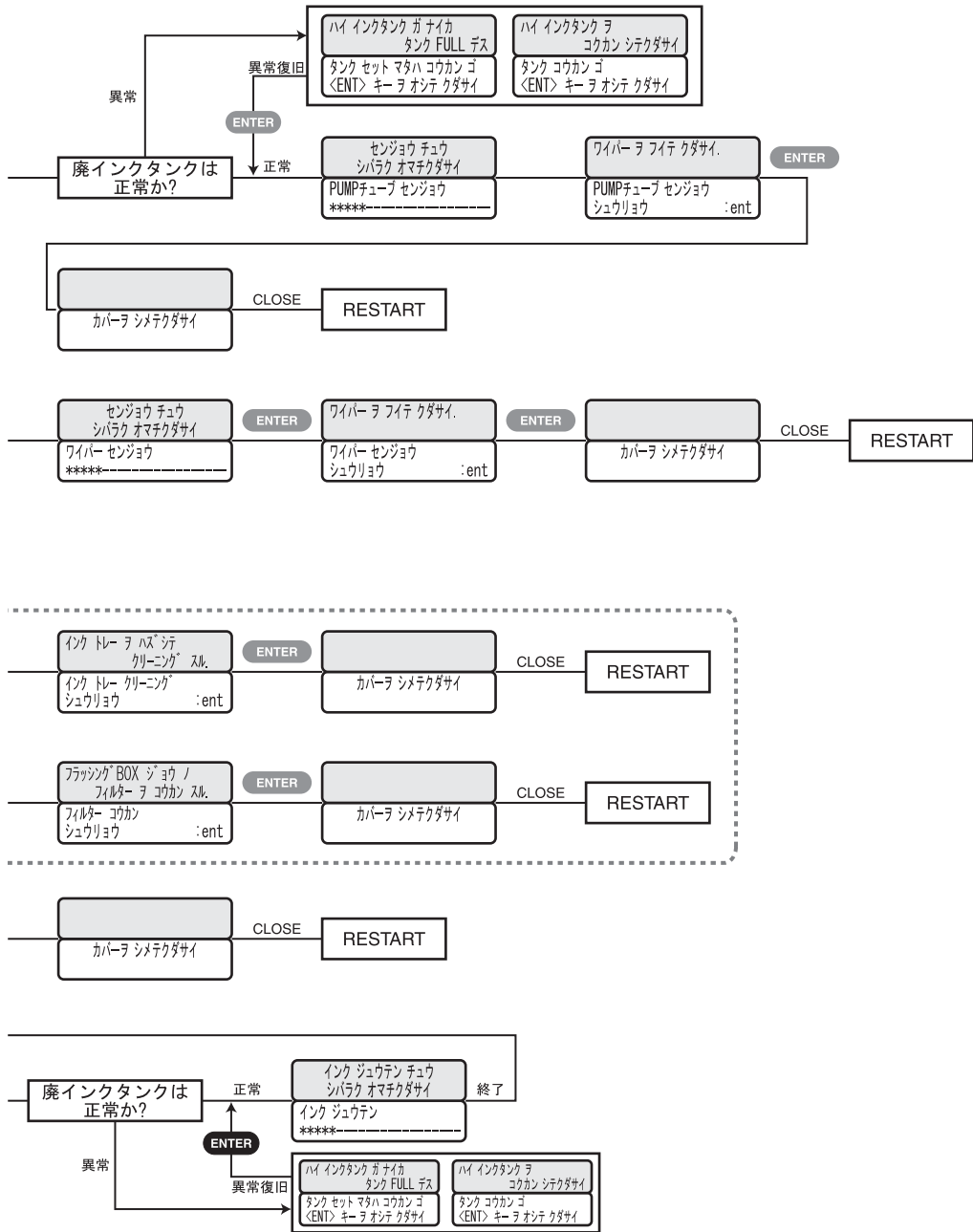
4

5

6

索引





目次

1

2

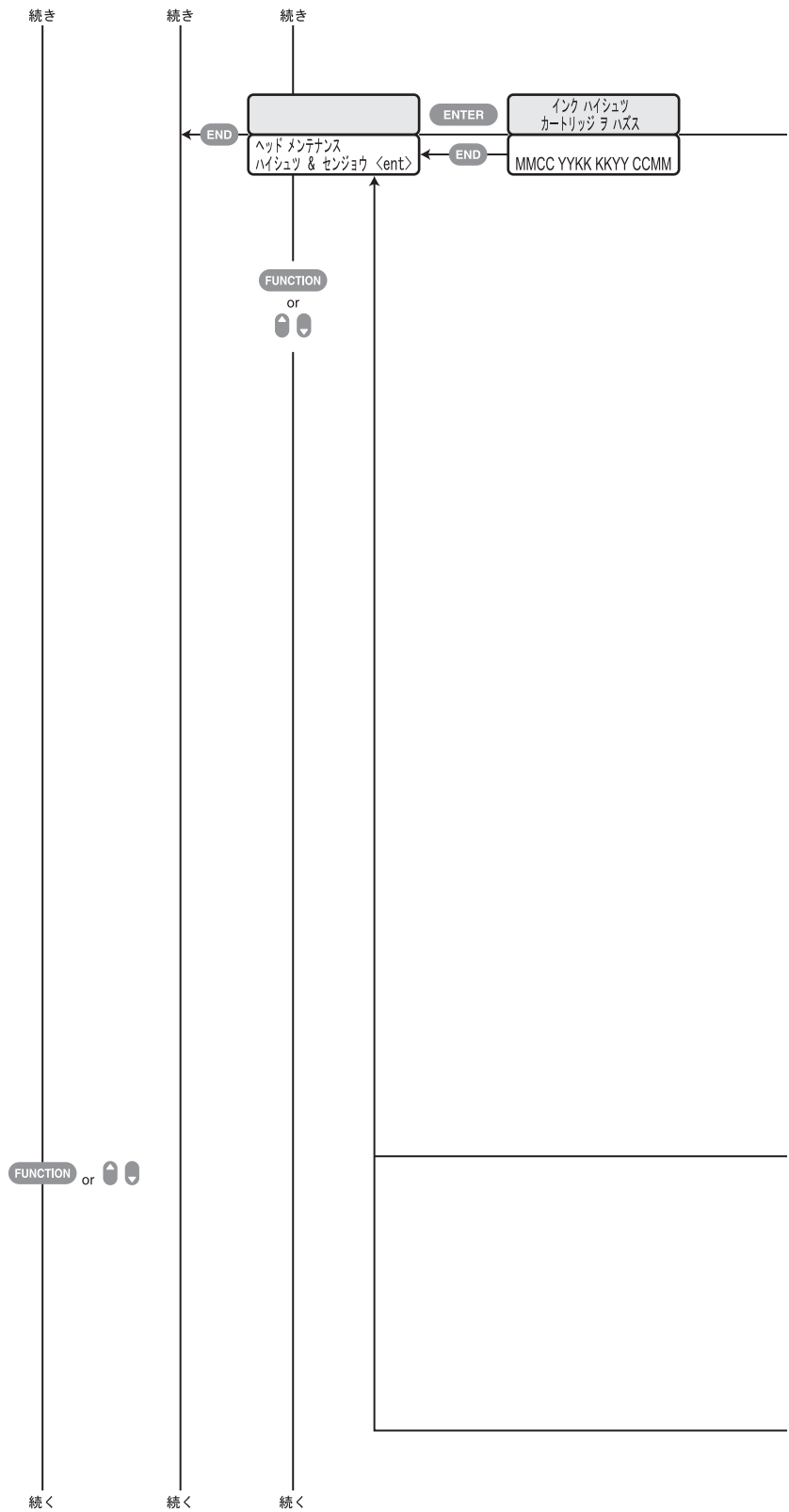
3

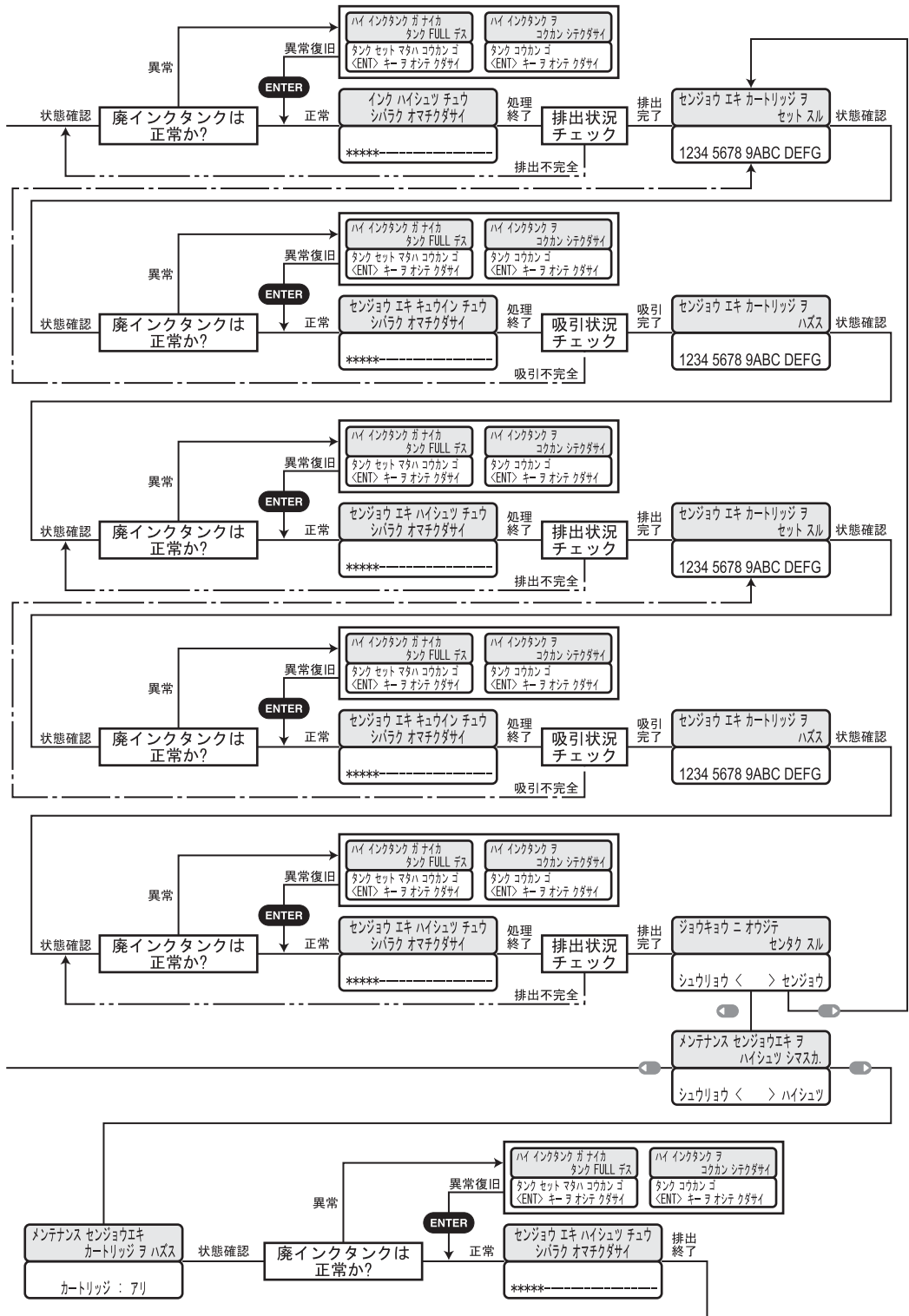
4

5

6

索引





目次

1

2

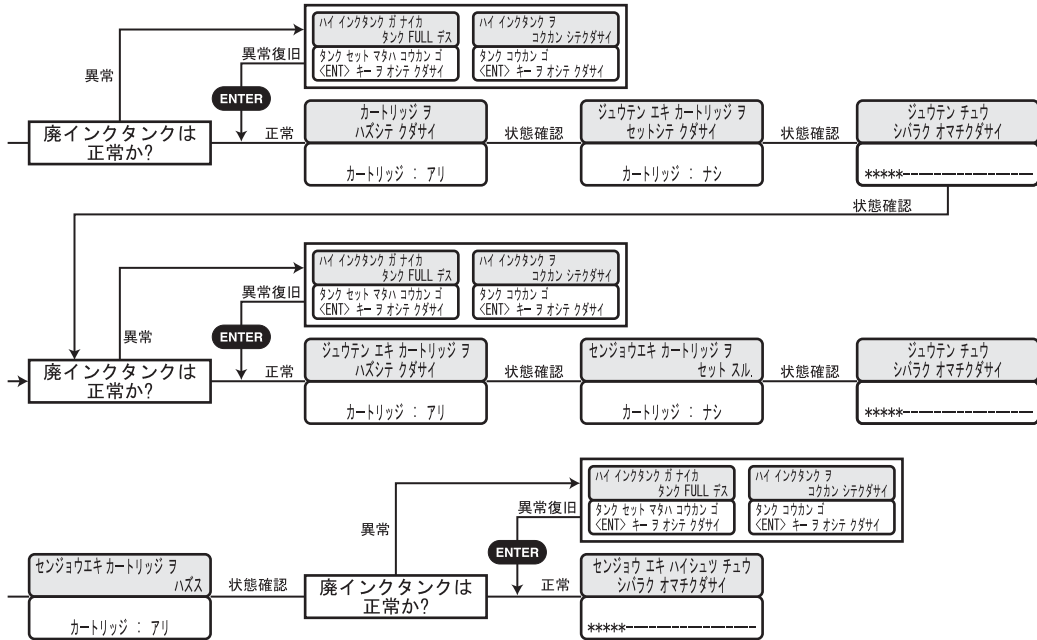
3

4

5

6

索引



ホセイチヲ ニュウリョク シマス
-40.0 ~ +40.0
ドット イチ ホセイ
パターン1 = 0.0
パターン1~4
-40.0~40.0

ホセイチヲ ニュウリョク シマス
-40.0 ~ +40.0
PGチャクダン チョウセイ
パターン1 = 0.0
パターン1~8
-40.0~40.0

目次

1

2

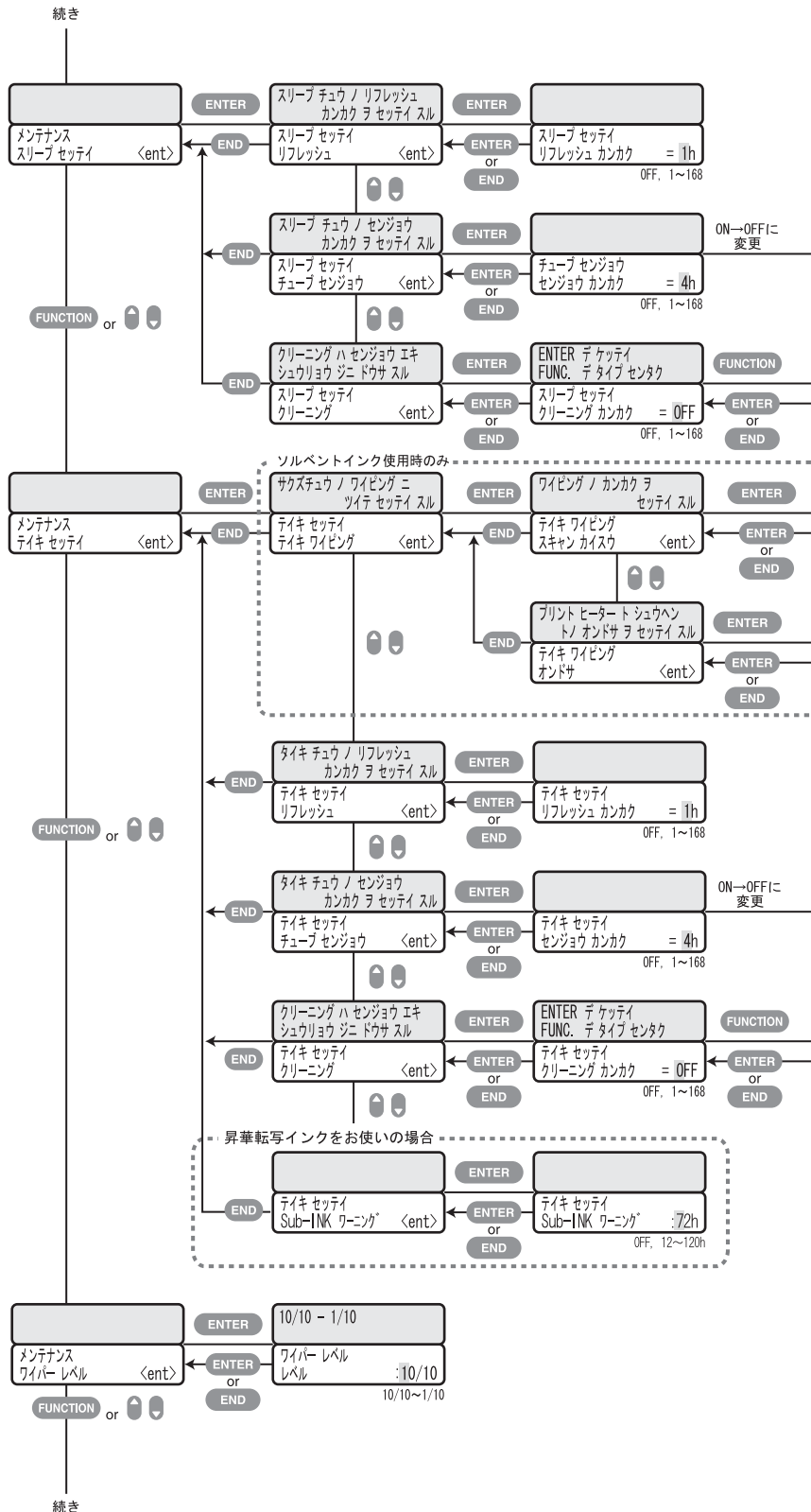
3

4

5

6

索引



洗浄液充填の必要ありの場合

センゾウエキ ミジュウテン

スリープ セットイ
クリーニング タイプ : <input checked="" type="radio"/> ノーマル <input type="radio"/> ソフト <input type="radio"/> ハード

0 - 9990カイ (0 = OFF)
ティキ ワイピング
スキャン カイスウ =50
1 - 60°C
ティキ ワイピング
オンドサ = 20°C

洗浄液充填の必要ありの場合

センゾウエキ ミジュウテン

ティキ セットイ
クリーニング タイプ : <input checked="" type="radio"/> ノーマル <input type="radio"/> ソフト <input type="radio"/> ハード

目次

1

2

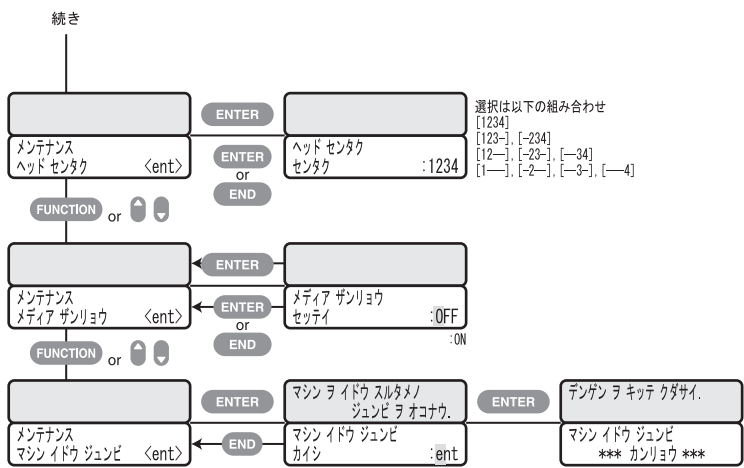
3

4

5

6

索引



目次

1

2

3

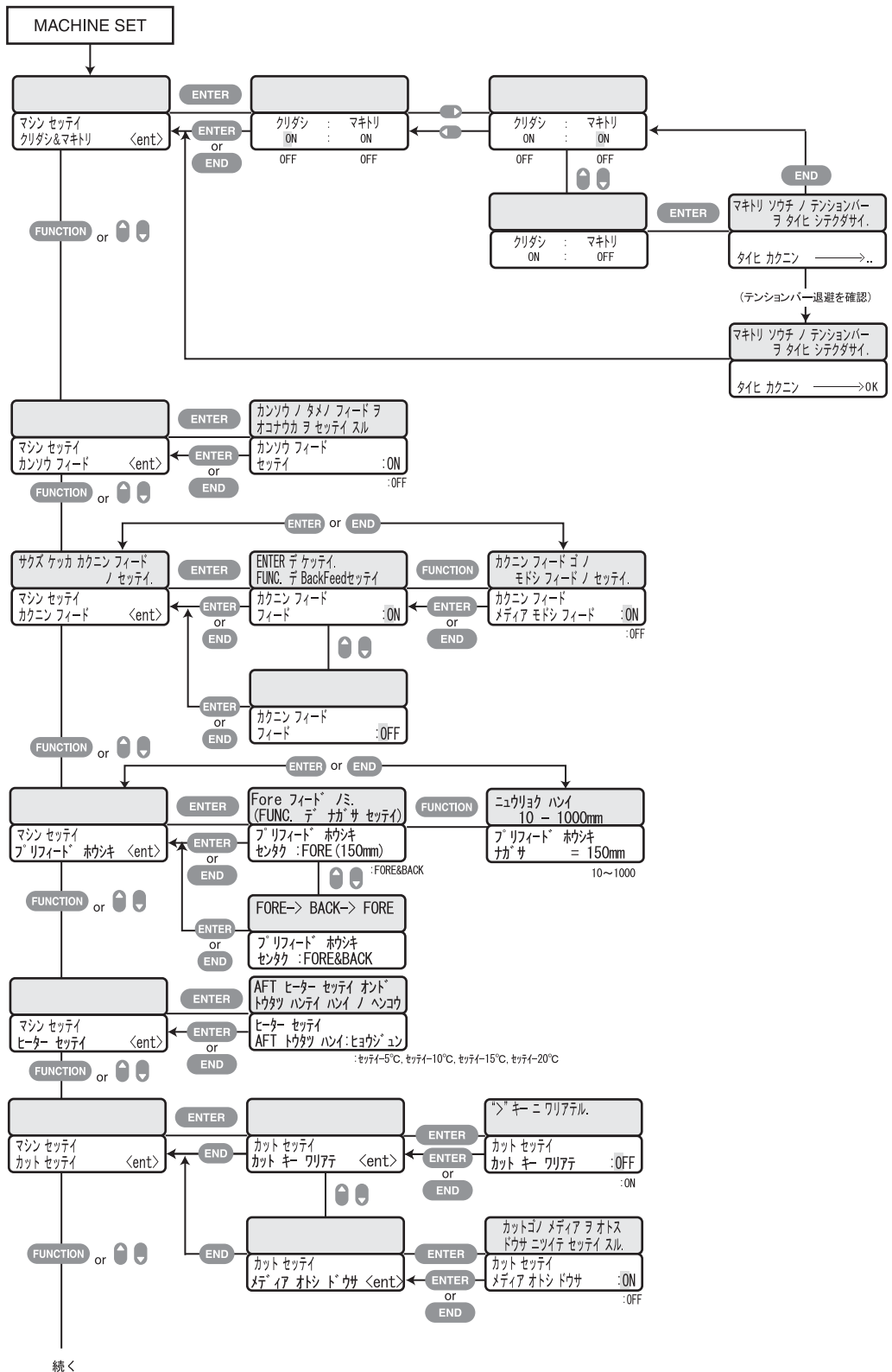
4

5

6

索引

6 各機能の操作方法



目次

1

2

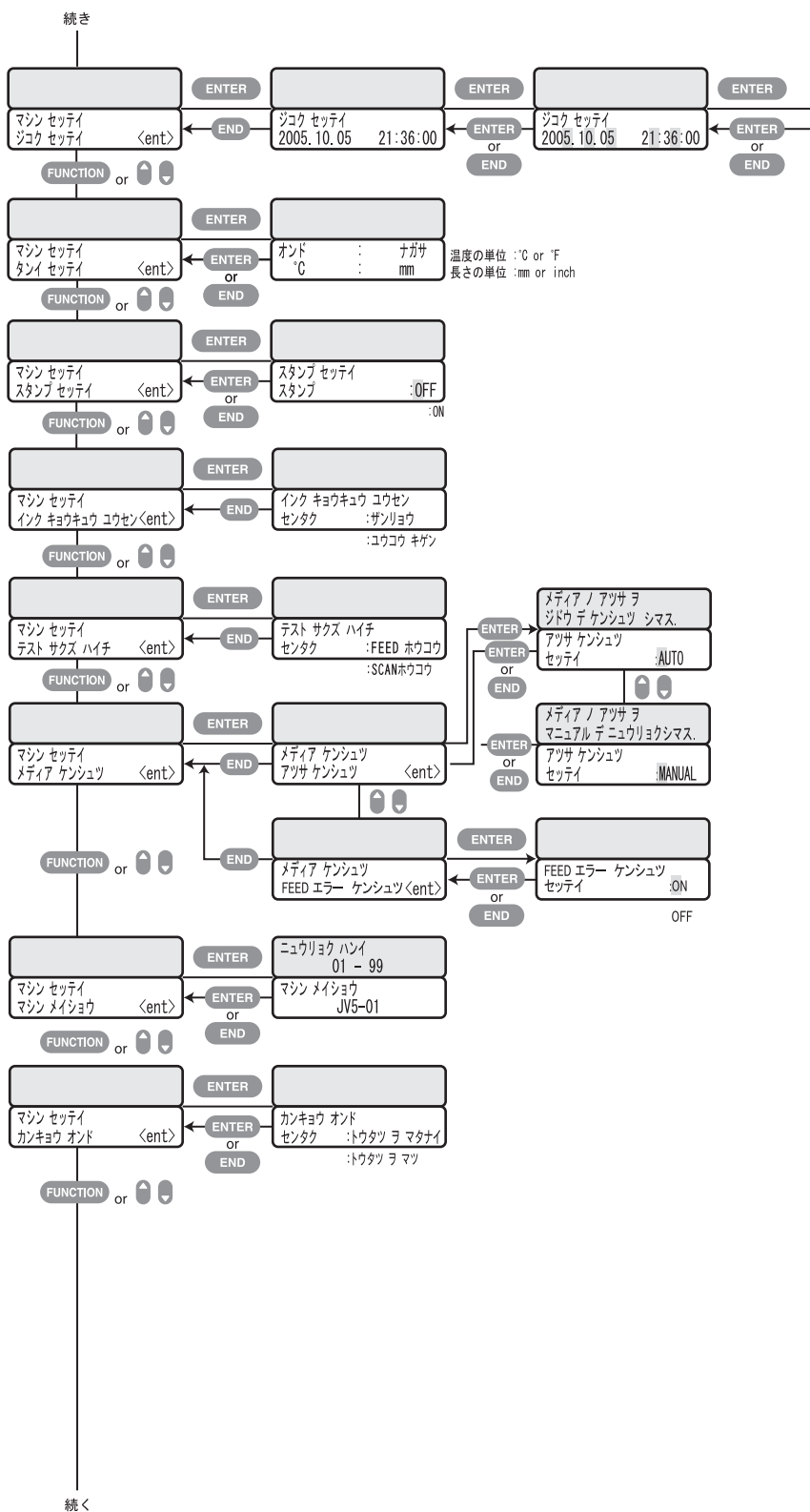
3

4

5

6

索引



2006.11.23 09:15
-> 2005.12.13 11:50
ジユク セツテイ
ヘンコウ シマスか? :ent

目次

1

2

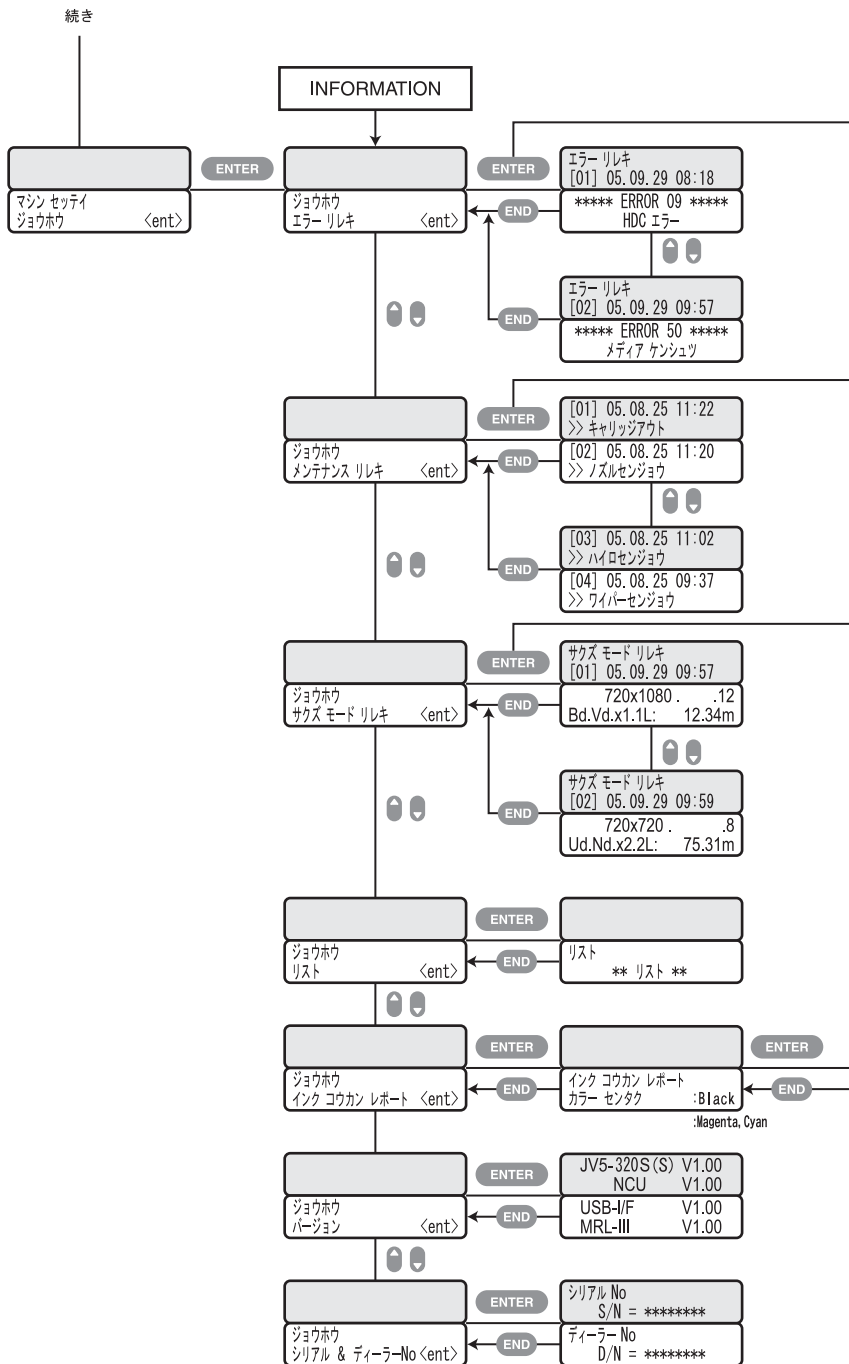
3

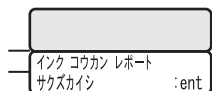
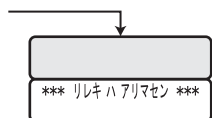
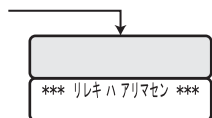
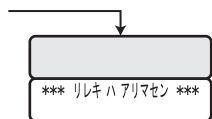
4

5

6

索引





目次

1

2

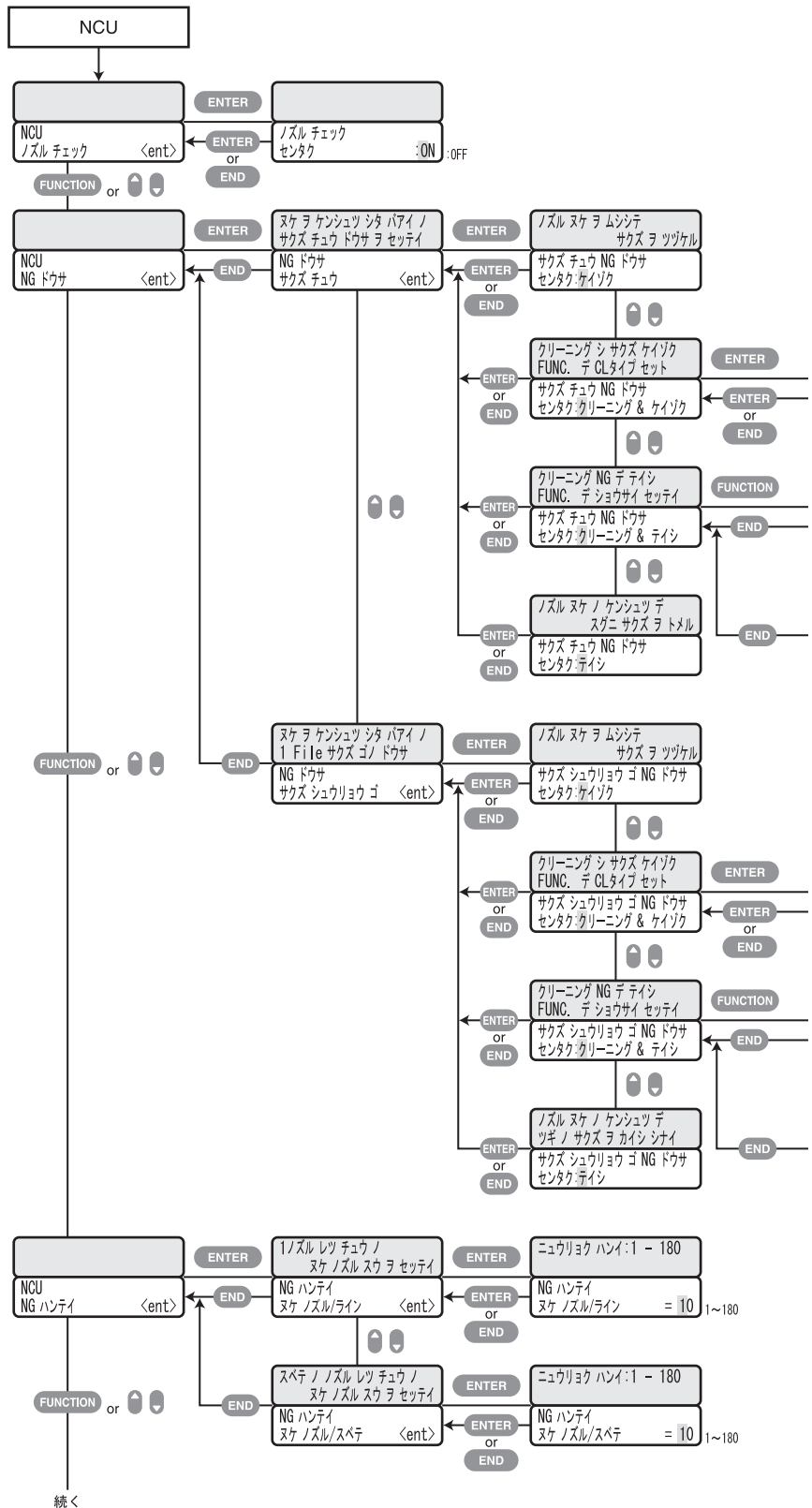
3

4

5

6

索引



目次

1

2

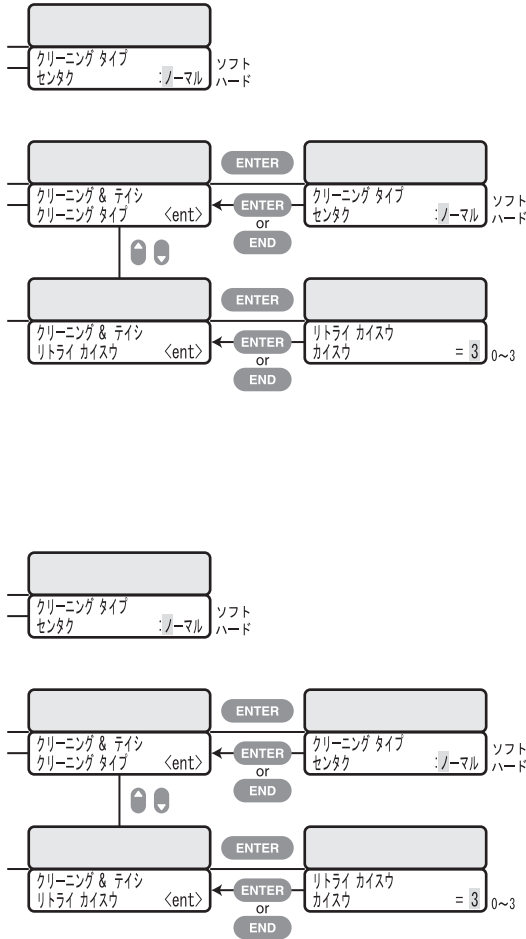
3

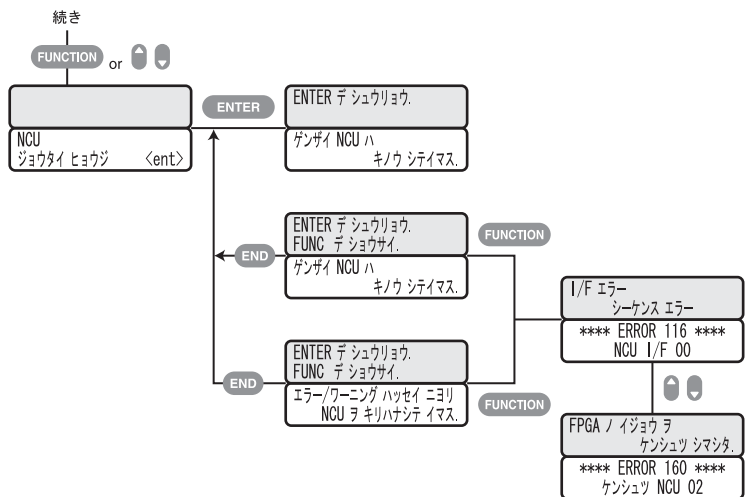
4

5

6

索引





目次

1

2

3

4

5

6

索引

索引

Numerics

4 スタガ	1-4
4 色インクセット	2-7, 2-8
6 色インクセット	2-7, 2-8

A

AC インレット	2-3
AFTER ヒーター	2-19

B

BUSY ランプ	2-19
----------------	------

C

【CLEANING】キー	2-21
CONSTANT ランプ	2-19, 5-3

D

【DATA CLEAR】キー	2-21
DISPLAY 設定	6-29
DRAFT 品質	6-6

E

Eco-HS1 インク	1-4, 1-22
【END】キー	2-21
【ENTER】キー	2-21

F

【FEED COMP.】キー	2-21
FINE 品質	6-7
【FUNCTION】キー	2-21

H

HEAT SW ランプ	2-19
【HEAT SW】キー	2-21
HEAT ランプ	2-19, 5-3
【HEATER】キー	2-21

I

【INFORMATION】キー	2-21
-----------------------	------

N

NCU 機能の導入	6-26
NCU 機能	2-37

NG 動作	6-27
NG 判定	6-28

O

OFF ジカン	6-31
---------------	------

P

PG チャクダンチョウセイ	3-43
PRE ヒーター	2-19
PRINT ヒーター	2-19
PUMP チューブセンジョウ	4-23

R

【REMOTE】キー	2-21
------------------	------

S

【ST.MAINT】キー	2-21
--------------------	------

T

【TEST DRAW】キー	2-21
---------------------	------

U

USB 2.0 インターフェイス	1-23
USB 2.0 コネクタ	2-3
【USER TYPE】キー	2-21

あ

厚さ検出	6-23
アフターヒート	6-30

い

色の濃いスジ	5-4
インク ジュウテン	3-48
インクエンド	3-67
インクカートリッジ	2-3
インクカートリッジと MBIS1 を混在している 場合	3-75
インクカートリッジ - の取り扱い	1-14
インクキャップ	2-11
インク供給経路の切替設定	3-74
インク仕様	1-21
インク情報を表示する	3-69
インクステーション	2-3
- とヘッドの関係	2-7

インクセットを変更したいときは	6-38
インクの取り扱い	1-13
インクの有効期限を延長したカートリッジをセットすると	3-73
インクの有効期限を延長したときは	3-73
インクの有効期限を延長する	3-72
インク排出路の洗浄	4-14

え

エラーメッセージ	5-19
エラー履歴	5-14, 6-24

お

オートカット	6-9
オートクリーニング	3-62, 6-11
大型ロールホルダー	3-13
オクリホウシキ	6-5
お手入れ	4-2
温度	6-21
オンド セッテイ	6-30
温度設定	6-30

か

カートリッジ	2-9
カートリッジ LED	2-9
カートリッジ異常が発生したら	5-12
外装のお手入れ	4-3
確認フィード	6-19
各部の名称とはたらき	2-2
重ね塗り	6-8
画質不良	5-4
カスレ	5-4
画像データを作図する	3-57
カッター刃	2-12
カッター刃の交換	4-60
カットキーワリアテ	6-20
カット時検出	6-12
カットライン	2-12
カラーパターン	6-10
乾燥時間	6-8
乾燥フィード	6-19

き

キーの使いかた	2-20
機能フローチャート	6-48
機能メニュー	2-23
機能メニューの設定値一覧	2-29
機能メニュー表示状態	2-17
脚	2-4
キャストのロック	1-9
キャッピングステーション	2-3, 2-11
キャリッジ	2-3, 2-11

キャリッジアウト	4-7
キャリッジメンテナンス	4-28
吸着	6-11

<

クランプレバー	2-3, 2-4, 3-12
クリーニング	3-46, 4-33, 4-39
クリーニングタイプ	6-11
クリーニング動作間隔	6-11
繰出 & 巻取	6-19

け

警告ラベル	1-17
-------	------

こ

項目 / 設定値表示状態	2-18
コベツセッテイ	6-11

さ

作図エンド	6-8
作図原点	3-55
作図ズレ	5-5
作図待機状態	2-17
作図中の温度設定	3-39
作図中メンテナンス	6-12
作図できない	5-2
作図範囲	3-54
作図方式	6-6
作図モード履歴	6-24
作図を開始する	3-57
作図を中止する	3-58

し

ジカン セッテイ	6-31
時刻設定	6-21
しぶき	5-4
重量ロールメディア	3-8
主電源スイッチ	2-3, 3-4
使用可能メディア	1-16
使用環境温度	1-8
状態表示	6-28
使用できないカートリッジ	2-9
ジョウホウ機能	6-24
ジョグキー	2-21
ジョブ処理状態	2-18
シリアル & ディーラー No	6-25
白スジ	5-4

す

推奨メディアの種類	1-16
-----------	------

スキャン	6-8
スキャン方向	6-7
スタンバイ	6-31
スタンプ設定	6-22
ステーションメンテナンス	2-32
スペテパネル	6-11
スペテホスト	6-11
スリープセッテイ	4-31

せ

設置場所について	1-8
設定温度の確認	3-39
セッテイ機能	2-29
セッテイ機能の導入	6-3
セッテイリセット	6-12
セレクト	6-12
洗浄液カートリッジ	2-4
洗浄キット	4-7

そ

操作パネル	2-3, 2-16
装置前面	2-2
装置を安全に移動する	6-16
ソウホウコウ	6-7
ソクドキリカエ	6-5
ソフト	3-47

た

タイプ登録	6-3
ダイレクトキー	2-28
単位設定	6-21
タンホウコウ	6-7

ち

チューブセンジョウ	4-32, 4-37
長期間使用しない場合	4-16

て

テキキセッテイ	4-34
定期ワイピング	4-34
ディスプレイ	2-17, 2-21
適温調整	3-41
テスト作図	3-45
テストパターン	3-45
デッドスペース	3-54
電源が入らない	5-2
電源スイッチ	2-3, 3-4
電源の接続について	1-11
電源	
-をオフにする	3-76
-をオンにする	3-3

テンションバー	3-9
---------	-----

と

ドウサテスト	6-5
ドットイチホセイ	3-52
-往路	3-43, 3-52
-復路	3-43, 3-52

な

長さ	6-21
----	------

に

ニアエンド	3-67
2重、3重にブレる	5-4

ぬ

抜けノズル	6-28
-------	------

ね

年間保守契約	1-15
--------	------

の

ノーマル	3-47
ノズルセンジョウ	4-10
ノズルチェック	6-27
ノズル詰まり	3-45, 5-6, 5-10
ノズル抜け	5-5
ノズルの洗浄	4-10
ノットレディモード	2-22

は

バージョン	6-25
ハード	3-47
廃インクが溜まったら	4-44
廃インクタンク	2-3
廃インクタンクガード	4-44
ハイシュツ & センジョウ	5-6
ハイロセンジョウ	4-14
ハバ	6-12
バンディング	3-40

ひ

ヒーター	2-14
ヒーター設定	6-20
ヒーター	
-に異常がある場合	3-42
-の設定	6-30
-の電源を ON にする	3-38
ビーディング	3-40

飛行曲がり	5-5
左マージン	6-9
ピンチローラー	2-13

ふ

ファンクションモード	2-22
フィードローラー	2-13
付属品の確認	1-2
フラッシング機能	2-3, 3-76
プラテン	2-3
プラテンの清掃	4-3
プリヒート	6-30
プリフィード	6-9
プリフィード方式	6-20
プリントヒート	6-30
フロントカバー	2-3, 2-6

へ

ヘッドメンテナンス	3-48
ヘッドギャップ	6-12
-を確認する	3-6
-を調整する	3-5
ヘッド周辺の清掃	4-28
ヘッドセンタク	5-10

ほ

ホカンセンジョウ	4-16
ボタ落ち	5-5
本装置の移動	1-10
本体仕様	1-19

ま

マーク表示について	1-7
マージン	3-54, 6-9
巻取装置	2-3, 3-22, 3-33
マシンイドウジュンビ	6-16
マシンセット機能	2-35, 6-17
マシン名称	6-23

み

右マージン	6-9
-------	-----

め

メッセージ表示状態	2-18
メディア	1-14
メディア置きバー	2-4
メディアオクリホセイ	6-37
メディア送り設定	6-5
メディア押さえの清掃	4-4
メディアオートシドウサ	6-20

メディアカット	3-59
メディア検出	6-12
メディアザンリョウ	6-15
メディア残量表示機能	6-15
メディアセンサー	2-12
メディアセンサーの清掃	4-4
メディア詰まり	5-3
メディア補正	6-5
メディアホセイ	3-50
メディア	
-が汚れる	5-3
-のセット	3-7
-の取り扱い	1-14
メディア戻しフィード	6-19
メディアを自動でカットする	6-9
メニュー階層の概要	2-26
メンテナンス センジョウエキ	4-20
メンテナンスカバー L	2-3
メンテナンスカバー R	2-3
メンテナンス機能	2-32
メンテナンス機能の導入	6-13
メンテナンス洗浄液	4-3
メンテナンス履歴	6-24

ゆ

ユーザータイプ	
-を確認する	3-37
-を選択する	3-37
優先順位	6-11

よ

用紙をカットしたいときは	6-35
--------------	------

ら

ランプ	2-19
-----	------

り

リーフメディアのセット	3-34
リスト	6-25
リニアエンコーダスケール	4-5
リフレッシュ	4-31, 4-36, 6-10
リモートモード	2-22

れ

レーザセンサー	1-13
レベルフット	1-9

ろ

ローカルモード	2-22
ロールホルダー	2-4

ロールメディア	3-23
ロジカルシーク	6-8

わ

ワーニングエラー	5-15
ワーニングと動作の関係	2-10
ワイパー	2-11
ワイパーコウカン	4-58
ワイパーセンジョウ	4-25
ワイパーレベル	4-41
ワイパー	
- 交換の警告時期を変更する	4-41
- とキャップの清掃	4-7
- の交換	4-58

JV5-320S 取扱説明書

2016年11月
発 行 者 株式会社ミマキエンジニアリング
発 行 所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D201702-22-25112016

Mimaki[®]